

小阪合遺跡

—八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査—
(昭和58年度 第2次調査・第3次調査報告書)

1987年

(財)八尾市文化財調査研究会

（財）八尾市文化財調査研究会報告 11
 「小阪合遺跡」 正誤表

誤 正

本文目次 11行	第3節 基本調査	第3節 基本調査
表目次 4行	25K地区SE10木枠材観察表	25K地区SE10木枠材観察表
図版目次 図版二十九	2、27m地区ビット列	2、27m地区ビット列1

誤 正

1P 21行	58年度事業	昭和58年度事業
5P 第2回	大具	大県
6P 12行	現長土面	現地表面
6P 13行	精度	精査
25P 9行	現往Ⅱ地区	現往A-Ⅱ地区
25P 21行	溝状	溝状遺構
35P 26行	東弓削遺跡出土	弓削遺跡出土
35P 許5	「東弓削遺跡」	「弓削遺跡」
281P 19行	東弓削遺跡	弓削遺跡

小阪合遺跡

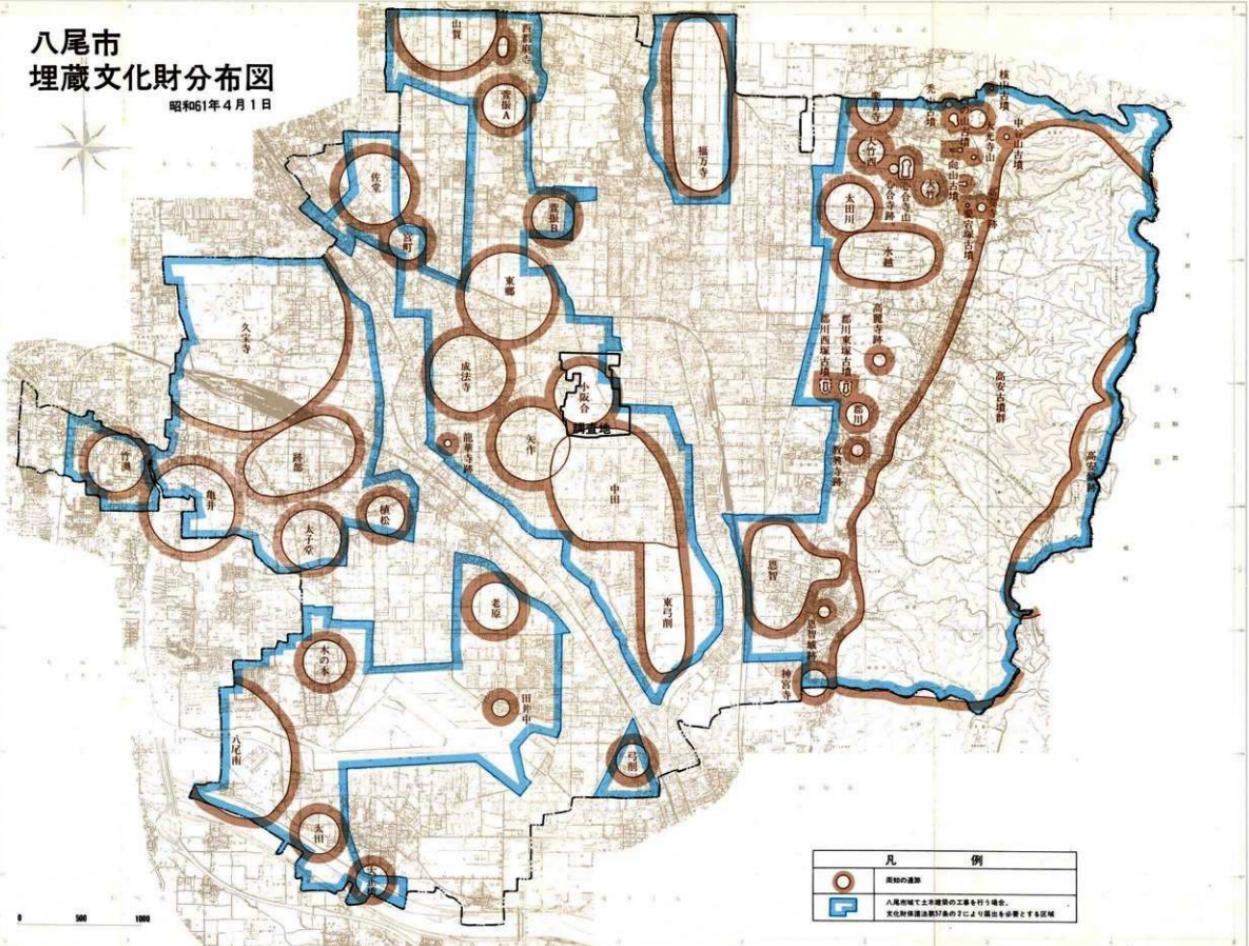
—八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査—
〈昭和58年度 第2次調査・第3次調査報告書〉

1987年

(財)八尾市文化財調査研究会

八尾市 埋蔵文化財分布図

昭和61年4月1日



序 文

八尾市は、河内平野の中央部よりやや南寄りに位置し、西に生駒山脈の景観をみる温暖で肥沃な土壤を有する地域であり、早くから人々が生活の場として住みはじめたところです。それらの先人が残した大切な遺構・遺物が多く存在しております。

今回の報告は、昭和58年度に実施した小阪合遺跡であります。この遺跡は、旧大和川の幾多の洪水等による氾濫で沖積された河内平野上に位置します弥生時代～中世に至る遺構・遺物が多量に検出しています。

当該地は、昭和57年度より実施して来ました南小阪合地区画整理事業に伴う区画街路・公共施設等の建設による発掘調査を行っています。今回が第2次調査と第3次調査の結果報告を刊行する運びとなりました。

ここに攻めて、事業者をはじめとし関係各位の文化財保護の立場から充分ご理解賜わり、ご協力いただきましたことを、ここに深甚なる感謝を申し上げます。

今後、この書が広く文化財保護にご活用いただければ、この上もない幸せに存じます。

今後共、当研究会に対して尚一層のご指導とご協力を伏してお願い申し上げます。

昭和62年3月

財團法人八尾市文化財調査研究会

理事長 山脇 悅司

例　　言

1. 本書は、八尾市南小阪合町・青山町・山本町南に所在する八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業(以下、南小阪合土地区画整理事業と略称する)に伴う昭和58年度第2次調査・第3次調査の報告書である。

1. 本書で報告する小阪合遺跡の発掘調査は、財団法人八尾市文化財調査研究会が八尾都市整備室南小阪合土地区画整理事務所の委託を受けて実施したものである。

1. 本書に要した費用は全て南小阪合土地区画整理事務所が負担した。

1. 本書の期間は、昭和58年6月22日～昭和58年7月14日までの第2次調査と昭和58年10月20日～昭和59年3月15日までの第3次調査である。なお、出土遺物の整理作業及び報文作成業務は、昭和60年度第5次調査終了後の昭和61年1月6日～昭和61年3月25日までである。

1. 本調査並びに本報告書に關係した者は下記のとおりである。

理事長　山脇悦司

事務局長　児玉生一(昭和58年7月1日～昭和61年3月31日)

市森管宣(昭和61年4月1日以降現在に至る)

事務員　森本よしの

中谷暁子

調査員　高萩千秋

1. 本調査の参加諸氏は、笹井伸彦・中野健太郎・山西嘉彦・柴田正明・米野茂幸・多田謙・香林浩道・嶋村友子・木曾直美・岩本多貴子・徳谷久美子・寺川恵子・北村教江・中村百合であり、内業整理は上記に加えて、徳谷貢正・西森忠幸・岡田清一・八元聰志・高井裕之・小倉弘恵・吉村幸子・杉本尚子・村田英子・村田圭子・中西隆子・横山真鶴の協力を得た。

1. 本調査に関わる土木工事は鶴東海アースが請負った。

1. 本書の執筆は高萩が担当したが、第5章出土遺物観察表は岩本が行った。

1. 本書の作成にあたり、遺物写真撮影は高萩、トレースは小倉・吉村・杉本が行った。

1. 全体の編集構成は、全員が共同で行った。

凡 例

1. 実測図の縮尺率は、遺構は1/60・1/80・1/100を基本とし、遺物は土器・埴輪等を1/4、石類を1/2、銅鏡・古鏡を1/1、木製品を1/2・1/4、井戸の木枠を1/16に統一した。
1. 遺構実測図の方位は、全て真北を示している。
1. 遺構番号は、発掘調査時に付したそのままの番号で表した。
1. 遺物実測図は、断面の表示によって次のように分類した。弥生式土器・土師器・黒色土器・瓦・埴輪・石類—白、須恵器—黒、木製品—斜線で表した。
1. 本書掲載の地図は、国土地理院発行の1/25000・八尾市発行の1/2500・1/1000を使用した。
1. 本書で用いた高さの基準は東京湾の平均海面で、T Pと略して記載した。
1. 本調査に際しては、写真・実測図の他にカラースライドも多数作成している。市民の方々が、広く利用されることを希望する。

本文目次

八尾市埋蔵文化財分布図

序文

例言

凡例

第1章 調査に至る経過	1
第2章 地理・歴史的環境	3
第3章 第2次調査	6
第1節 調査の概要	6
第2節 調査の地区割	6
第3節 基本層序	6
第4節 調査の結果	8
第4章 第3次調査	11
第1節 調査の概要	11
第2節 調査の地区割	11
第3節 基本層序	12
第4節 調査地区の概要	23
第5節 調査の結果	27
I 先生時代後期～古墳時代初頭の遺構・遺物（第3調査面）	27
II 古墳時代前期の遺構・遺物（第2・3調査面）	45
III 古墳時代中期の遺構・遺物（第2調査面）	86
IV 奈良時代～平安時代の遺構・遺物（第1・2調査面）	94
V 鎌倉時代～近世に至る遺構・遺物（第1調査面）	107
VI 遺物包含層出土遺物	114
第5章 遺物観察表	159
第6章 まとめ	279

挿 図 目 次

第1図 調査地位置図.....	2
第2図 弥生時代～古墳時代の遺跡分布図.....	5
第3図 第2次調査地地区割図.....	7
第4図 K地区西壁断面図.....	8
第5図 K地区遺構平面図.....	10
第6図 第3次調査地地区割図.....	13・14
第7図 24-1・24-2地区北壁断面図.....	15・16
第8図 25地区西壁断面図.....	17・18
第9図 26地区西壁断面図.....	17・18
第10図 27地区北壁断面図.....	19・20
第11図 28地区北壁断面図.....	21・22
第12図 第3次調査地第1調査面平面図.....	23
第13図 第3次調査地第2調査面平面図.....	24
第14図 第3次調査地第3調査面平面図.....	26
第15図 25b・c地区SK54出土遺物実測図.....	27
第16図 25c地区SK56出土遺物実測図.....	28
第17図 23n地区落ち込み27出土遺物実測図.....	29
第18図 25i地区と27n・o地区落ち込み28出土遺物実測図1.....	30
第19図 25i地区と27n・o地区落ち込み28出土遺物実測図2.....	31
第20図 25j・k地区落ち込み29出土遺物実測図.....	31
第21図 25l・m地区落ち込み30出土遺物実測図.....	32
第22図 24-1m地区SP135出土遺物実測図.....	33
第23図 27l地区SD321平面図.....	35
第24図 27i地区SD321出土遺物実測図1.....	36
第25図 27i地区SD321出土遺物実測図2.....	37
第26図 27i地区SD321出土遺物実測図3.....	38
第27図 27i地区SD321出土遺物実測図4.....	39
第28図 27i地区SD321出土遺物実測図5.....	40
第29図 27i地区SD321出土遺物実測図6.....	41

第30図	27 i 地区 S D 321出土遺物実測図 7	42
第31図	27 i 地区 S D 321出土遺物実測図 8	43
第32図	27 i 地区 S D 321出土遺物実測図 9	44
第33図	24-1 i 地区 S K 52平面面図	46
第34図	24-1 i 地区 S K 53平面面図	46
第35図	26 a ~ c 地区落ち込み26土器平面図	47
第36図	26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図 1	48
第37図	26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図 2	49
第38図	26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図 3	50
第39図	26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図 4	51
第40図	25 c 地区 S W 1出土銅鏡実測図	52
第41図	25 c 地区 S W 1土器平面図	52
第42図	25 b 地区 S W 1出土遺物実測図	53
第43図	24-1 j ~ k 地区 S D 308 + S D 309平面面図	54
第44図	24-1 k 地区 S D 309出土遺物実測図	55
第45図	24-1 n 地区 S D 310出土遺物実測図	55
第46図	24-1 n 地区 S D 310平面面図	55
第47図	25 i 地区 S D 314平面面図	57
第48図	28 n 地区 S D 315土器平面図	57
第49図	25 i 地区 S D 314出土遺物実測図 1	58
第50図	25 i 地区 S D 314出土遺物実測図 2	59
第51図	25 i 地区 S D 314出土木製品実測図	60
第52図	28 n 地区 S D 315出土遺物実測図	61
第53図	28 n + o 地区 S D 316土器平面図	63
第54図	28 n + o 地区 S D 316出土遺物実測図 1	64
第55図	28 n + o 地区 S D 316出土遺物実測図 2	65
第56図	28 n + o 地区 S D 316出土遺物実測図 3	66
第57図	28 n + o 地区 S D 316出土遺物実測図 4	67
第58図	28 n + o 地区 S D 316出土遺物実測図 5	68
第59図	28 n + o 地区 S D 316出土遺物実測図 6	69
第60図	28 n + o 地区 S D 316出土遺物実測図 7	70
第61図	28 n + o 地区 S D 316出土遺物実測図 8	71

第62図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 9	72
第63図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 10	73
第64図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 11	74
第65図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 12	75
第66図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 13	76
第67図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 14	77
第68図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 15	78
第69図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 16	79
第70図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 17	80
第71図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 18	81
第72図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 19	82
第73図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 20	83
第74図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 21	84
第75図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 22	85
第76図	24-1 o 地区 S D 318出土遺物実測図	85
第77図	25 f 地区落ち込み16小石集積土坑平面図	87
第78図	25 e・f 地区落ち込み16平面図	87
第79図	25 e・f 地区落ち込み16出土遺物実測図	88
第80図	25 e・f 地区落ち込み16出土サスカイト剝片実測図	88
第81図	28 a～c 地区落ち込み19出土遺物実測図	89
第82図	28 a～c 地区落ち込み19出土サスカイト剝片実測図	89
第83図	28 j～m 地区落ち込み24出土遺物実測図	91
第84図	24-2 a 地区 S D 303平断面図	92
第85図	24-2 a 地区 S D 303出土遺物実測図	93
第86図	25 k 地区 S E 10平断面図	94
第87図	25 k 地区 S E 10出土遺物実測図	95
第88図	25 k 地区 S E 10木枠実測図 1	97
第89図	25 k 地区 S E 10木枠実測図 2	98
第90図	25 k 地区 S E 10木枠実測図 3	99
第91図	28 p 地区 S E 9 平面図	100
第92図	28 p 地区 S E 9 出土遺物実測図	100
第93図	27m・n 地区ビット列 1 平断面図	101

第94図	28 o・p 地区ビット列2平面図	101
第95図	25 k 地区 S P 85・28 n 地区 S P 108・S P 113柱根平断面図	102
第96図	28 n 地区 S P 115出土遺物実測図	104
第97図	28 o 地区 S D 288出土遺物実測図	104
第98図	25 b 地区河川3出土木製品勘定実測図	106
第99図	24-1地区・25地区遺物包含層出土サヌカイト剝片実測図	117
第100図	25地区・27地区遺物包含層出土サヌカイト剝片実測図	118
第101図	28地区遺物包含層出土サヌカイト剝片実測図	119
第102図	22地区・24-1地区遺物包含層出土遺物実測図	120
第103図	24-1地区遺物包含層出土遺物実測図1	121
第104図	24-1地区遺物包含層出土遺物実測図2	122
第105図	24-2地区・25地区遺物包含層出土遺物実測図	123
第106図	25地区・26地区・27地区遺物包含層出土遺物実測図	124
第107図	28地区遺物包含層出土遺物実測図	125
第108図	22 o～q 地区遺構平面図	126
第109図	23 a～d・l～n 地区第1調査面遺構平面図	127・128
第110図	24-1地区第1調査面遺構平面図	129・130
第111図	24-1地区第2調査面遺構平面図	131・132
第112図	24-1地区第3調査面遺構平面図	133・134
第113図	24-2地区第1調査面遺構平面図	135・136
第114図	24-2地区第2調査面遺構平面図	137・138
第115図	25 b～m地区第1調査面遺構平面図	139・140
第116図	25 b～m地区第2調査面遺構平面図	141・142
第117図	25 b～m地区第3調査面遺構平面図	143・144
第118図	26地区第1調査面遺構平面図	145・146
第119図	26地区第2調査面遺構平面図	147・148
第120図	27地区第1調査面遺構平面図	149・150
第121図	27地区第2調査面遺構平面図	151・152
第122図	27地区第3調査面遺構平面図	153・154
第123図	28 a～p地区第1調査面遺構平面図	155・156
第124図	28 a～p地区第2調査面遺構平面図	157・158

表 目 次

第1表 弥生時代後期のピット一覧表.....	32
第2表 古墳時代前期のピット一覧表.....	51
第3表 25c 地区 S E 10枠観察表.....	96・97
第4表 古墳時代中期～奈良時代のピット一覧表.....	102～104
第5表 中世以降のピット一覧表.....	109
第6表 中世～近世の溝一覧表.....	109～113
第7表 サヌカイト剝片一覧表.....	116

写 真 挿 図

写真1 25c 地区 S W 1 銅鏡.....	52
写真2 28n 地区 S D 288古錢	104

図 版 目 次

図版一	1. K-I 地区全景（南より） 2. K-II 地区全景（南より）
図版二	1. K-III 地区全景（北より） 2. K-IV 地区全景（東より）
図版三	1. 22o～q 地区第1調査面（東より） 2. 22o～q 地区第2・3調査面（東より）
図版四	1. 23a～d 地区第1調査面（北より） 2. 23l～n 地区第2・3調査面（南より）
図版五	1. 24-1a～d 地区第1調査面（西より） 2. 24-1e～j 地区第1調査面（西より）
図版六	1. 24-1k～o 地区第1調査面（東より） 2. 24-1a～g 地区第2調査面（西より）

- 図版七 1. 24-1 m ~ o 地区第2調査面(東より)
2. 24-1 k ~ o 地区第3調査面(東より)
- 図版八 1. 24-1 l 地区 S K52(北東より)
2. 24-1 l 地区 S K53(北東より)
- 図版九 1. 24-1 j・k 地区 S D308・S D309(東より)
2. 24-1 j 地区木製品出土状況(北より)
- 図版十 1. 24-1 n 地区 S D310(南より)
2. 24-1 n 地区 S D310土器出土状況(南より)
- 図版十一 1. 24-2 a ~ d 地区第1調査面(東より)
2. 24-2 a 地区 S D303(東より)
- 図版十二 1. 24-2 b ~ d 地区第2調査面(東より)
2. 25 b ~ e 地区第1調査面(南より)
- 図版十三 1. 25 e ~ i 地区第1調査面(南より)
2. 25 j ~ m 地区第1調査面(北より)
- 図版十四 1. 25 b ~ e 地区第2・3調査面(南より)
2. 25 f ~ i 地区第2調査面(北より)
- 図版十五 1. 25 j ~ m 地区第2調査面(北より)
2. 25 k 地区 S E10(東より)
- 図版十六 1. 25 k 地区 S E10底部(上より)
2. 25 k 地区 S E10(東より)
- 図版十七 1. 25 j 地区ビット検出状況(南東より)
2. 25 l 地区 S P85柱根(東より)
- 図版十八 1. 25 f 地区落ち込み16(北より)
2. 25 f 地区落ち込み16小石集積(西より)
- 図版十九 1. 25 c 地区 S W1土器出土状況(北より)
2. 25 c 地区 S W1銅鏃出土状況(東より)
- 図版二十 1. 25 c・d 地区 S D311・S D312(西より)
2. 25 h 地区 S D313(南西より)
- 図版二十一 1. 25 i 地区 S D314(西より)
2. 25 i 地区 S D314鼓形土器出土状況(西より)
- 図版二十二 1. 25 b ~ d 地区第3調査面(南より)
2. 25 e ~ i 地区第3調査面(南より)

- 図版二十三 1. 25 i ~ m 地区第3調査面（北より）
2. 25 i 地区落ち込み28土器出土状況（南より）
- 図版二十四 1. 26 a ~ d 地区第1調査面（南より）
2. 26 e ~ h 地区第1調査面（北より）
- 図版二十五 1. 26 a ~ d 地区第2調査面（南より）
2. 26 e ~ h 地区第2調査面（北より）
- 図版二十六 1. 26 b 地区落ち込み26土器出土状況（東より）
2. 26 c 地区落ち込み26土器出土状況（南より）
- 図版二十七 1. 27 a ~ d 地区第1調査面（西より）
2. 27 e ~ i 地区第1調査面（西より）
- 図版二十八 1. 27 j ~ n 地区第1調査面（東より）
2. 27 a ~ d 地区第2調査面（西より）
- 図版二十九 1. 27 j ~ n 地区第2調査面（東より）
2. 27m地区ピット列（南東より）
- 図版三十 1. 27 j ~ n 地区第3調査面（東より）
2. 27 l 地区 S D 321土器出土状況（西より）
- 図版三十一 1. 28 a ~ d 地区第1調査面（西より）
2. 28 j ~ q 地区第1調査面（西より）
- 図版三十二 1. 28 a 地区 S E 9 完掘（西より）
2. 28 q 地区 S E 9 曲物（西より）
- 図版三十三 1. 28 o 地区 S P 108柱根検出状況（北より）
2. 28 o 地区 S P 113柱根検出状況（北より）
- 図版三十四 1. 28 p ~ q 地区ピット列2（北より）
2. 28 a ~ d 地区第2調査面（西より）
- 図版三十五 1. 28 e ~ i 地区第2調査面（西より）
2. 28 b 地区落ち込み19自然木検出状況（南より）
- 図版三十六 1. 28 b 地区落ち込み19自然木検出状況（南より）
2. 28 c 地区落ち込み19隕（南より）
- 図版三十七 1. 28 d 地区落ち込み20（南より）
2. 28 n ~ o 地区 S D 316上層土器出土状況（北より）
- 図版三十八 1. 28 n ~ o 地区 S D 316下層土器出土状況（西より）
2. 28 n ~ o 地区 S D 316拡張部土器出土状況（西より）

- 図版三十九 1. 28n・o地区 S D 316南拡張部土器出土状況（北東より）
2. 28n・o地区 S D 316北拡張部土器出土状況（南より）
- 図版四十 出土遺物 25i 地区落ち込み28
- 図版四十一 出土遺物 25j 地区落ち込み29 38~42 落ち込み30 49
24-1m地区 S P 135 54・56
- 図版四十二 出土遺物 27l 地区 S D 321
- 図版四十三 出土遺物 27l 地区 S D 321
- 図版四十四 出土遺物 27l 地区 S D 321
- 図版四十五 出土遺物 27l 地区 S D 321
- 図版四十六 出土遺物 27l 地区 S D 321
- 図版四十七 出土遺物 27l 地区 S D 321
- 図版四十八 出土遺物 27l 地区 S D 321
- 図版四十九 出土遺物 27l 地区 S D 321 230・240
26a~c 地区落ち込み26 243・245・250・258
- 図版五十 出土遺物 26a~c 地区落ち込み26
- 図版五十一 出土遺物 26a~c 地区落ち込み26 280・287・291・302~304
25c 地区 S W 1 310・311
- 図版五十二 出土遺物 25c 地区 S W 1 320・322・323・328 24-1k 地区
S D 309 329 24-1n 地区 S D 310 330
- 図版五十三 出土遺物 25i 地区 S D 314
- 図版五十四 出土遺物 25i 地区 S D 314 338・340 28n 地区 S D 315 349~352
28n・o 地区 S D 316 359
- 図版五十五 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版五十六 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版五十七 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版五十八 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版五十九 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版六十 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版六十一 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版六十二 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版六十三 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版六十四 出土遺物 28n・o 地区 S D 316

- 図版六十五 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版六十六 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版六十七 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版六十八 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版六十九 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版七十 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版七十一 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版七十二 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版七十三 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版七十四 出土遺物 28n・o 地区 S D 316
- 図版七十五 出土遺物 24-2 a 地区 S D 303
- 図版七十六 出土遺物 25k 地区 S E 10 846~850 28p 地区 S E 9 852~853
28o 地区 S D 288 857~858
- 図版七十七 出土遺物(サヌカイト剝片) 22地区包含層 859 24-1 地区 860~862
24-2 地区包含層 863 25地区包含層 864~867
- 図版七十八 出土遺物(サヌカイト剝片) 25地区包含層 868~873
27地区包含層 874 28地区包含層 875~876
- 図版七十九 出土遺物 24-1 地区包含層
- 図版八十 出土遺物 24-1 地区包含層 914~918 24-2 地区包含層 927~928
25地区包含層 929
- 図版八十一 出土遺物 25地区包含層 933~936・949 26地区包含層 953~954
27地区包含層 957~959 28地区包含層 976
- 図版八十二 出土遺物(木製品) 25i 地区 S D 314 1001~1002 25b 地区河川 3 1018
(鍔)
- 図版八十三 出土遺物(木製品) 25k 地区 S E 10 1003(木札) 1004~1005(井戸の木枠材)
- 図版八十四 出土遺物(木製品) 25k 地区 S E 10(井戸の木枠材)
- 図版八十五 出土遺物(木製品) 25k 地区 S E 10(井戸の木枠材)
- 図版八十六 出土遺物(木製品) 25k 地区 S E 10(井戸の木枠材)
- 図版八十七 出土遺物(木製品) 25k 地区 S E 10(井戸の木枠材)

第1章 調査に至る経過

小阪合遺跡は、八尾市南小阪合町・青山町・若草町一帯に所在する弥生時代～中世に至る複合遺跡である。調査は八尾都市計画事業南小阪合土地地区画整理事業（以下、区画整理事業と略称する）に伴う発掘調査を昭和57年度より実施しており、既に昭和57年10月25日～昭和58年3月25日までの調査期間で実施した第1次調査の結果、古墳時代の遺構を中心として、各時代の遺構面が随所に検出され多大な成果をあげている。

今回の調査は、昭和58年度事業計画として行う発掘調査で、第2次調査と第3次調査の2回に分けて実施した。まず、第1次調査は、寝屋川流域（南部）下水道事業小阪合ポンプ場築造工事（この工事予定地内についての発掘調査は、大阪府教育委員会が実施している）の予定地内に楠根川の縦断と農業用水路の横断があり、外部への切換工事を行わなければならない。この仮設工事については八尾市が実施することとなり、事業者である区画整理事務所は仮設工事をする旨の計画書を八尾市教育委員会文化財室に提出した。これに基づき、区画整理事務所・八尾市教育委員会・財団法人八尾市文化財調査研究会（以下、当研究会と略称する）の三者間で協議を重ねた。その結果、調査方法として、農業用水路切換に伴う工事は掘削深度が浅く埋没した遺跡に影響を来さない為、立会調査を実施し、楠根川切換に伴う工事については掘削深度がやや深い為、工事によって破壊される部分まで全面発掘調査が必要であると判断され、これについての調査を八尾市教育委員会の指導の基で、当研究会が実施することとなった。当研究会は、協定に基づく三者契約を締結し、昭和58年6月12日工事委託業社の入札、同年6月22日現地発掘調査に着手し、同年7月14日に第2次調査を終了した。

そして、第3次調査は58年度事業として分割した当該計画地である幹線街路・区画街路等の予定地についての調査である。今年度事業は区画整理事務所の計画地として、青山町4丁目に所存する第1次調査地の南部に位置する区画街路（22号線の一部・23号線の一部・24-1号線・24-2号線・25号線・26号線・27号線・28号線）予定地の調査箇所の指定があり、この旨の計画書を文化財室に提出し、計画書に基づいて、区画整理事務所・文化財室・当研究会の三者間で再度協議を行い、協定に基づく三者契約を締結し、昭和58年10月5日工事委託業社の入札、同年10月25日現地発掘調査に着手した。しかし、調査期間中には民有地の補償や農地の水利等の問題による調査地の縮少・遺跡の埋没深度・遺構の検出と多量の遺物の出土による調査地の一部拡張・調査期間の延長などにより、数回にわたり契約変更を重ねながら、昭和59年3月25日現地に於ける調査を終了した。なお、現地に於いて、調査成果の一般への啓蒙をはかる為、新聞発表を行い、昭和59年2月18日に現地説明会を開催した。

内業整理については、昭和60年度事業として実施した第6次調査の発掘調査終了後、引き続いて、昭和61年1月6日～同年3月25日までの期間を内業整理業務とし、新たな協定に基づく三者契約を締結し、第2次調査・第3次調査の調査成果の報告書作成作業に勤しむ。報告書は、昭和62年事業として第2次調査・第3次調査報告を刊行した。



第1図 調査地位図

第2章 遺跡の地理・歴史的環境

小阪合遺跡は、行政区画した八尾市の中央部に位置する南小阪合町・青山町・若草町の一帯に所存する弥生時代後期から中世に至る複合遺跡である。

既往報告では河内平野とその周辺地域の地理・歴史的環境について論述したので、今回は当遺跡や隣接する周辺遺跡で最も検出の多い時期である弥生時代後期から古墳時代前期にかけての時期を中心に、簡単ではあるが論述していきたい。

弥生時代後期から古墳時代前期の時期は、「古墳の出現前夜」という歴史的・社会的な変遷があった時期で、現在、考古学会上に於いて論議が各地で繰広げられている。

さて、当遺跡の地形は旧大和川で主流である長瀬川と玉串川に挟まれた沖積地上に立地する。これと同一沖積地上の遺跡は、南に東弓削遺跡・中田遺跡、北に東郷遺跡・萱振遺跡、西に矢作遺跡・成法寺遺跡が隣接する遺跡としてあげられる。では、各遺跡の概略をしたい。

東弓削遺跡は長瀬川と玉串川の分岐点の接点に位置し、弥生時代中期から中世に至る遺跡である。弥生時代後期から古墳時代前期の遺構は自然河川の堆積土内から庄内式土器を出土しているが集落遺構は検出されていない。⁴³⁾

中田遺跡は当遺跡に接する南部に位置する。昭和47～49年度にかけて中田遺跡調査会が実施した畠川北区土地区画整理事業に伴う調査で、特に古墳時代前期の遺物が多量に出土している。その後の八尾市教育委員会で実施された試掘調査や小規模な発掘調査でも土坑状の遺構から一括土器として多量に出土している。また、土器の中に他地方の形態や胎土をもつ土器が多く含まれていることが確認されている。近年、中田遺跡の南部で大阪府教育委員会が実施した下水道建設関係の調査で、下層で弥生時代中期の土坑と上層で古墳時代前期の方形周溝墓が検出されている。⁴⁴⁾

東郷遺跡は現在大阪線近鉄八尾駅前を中心に広がる遺跡である。近年の駅前再開発によって現在までのところ22箇所の小規模な発掘調査が実施され、古墳時代前期の堅穴式住居跡12棟・掘立柱建物6棟・井戸10基等の集落遺構が自然堤防を形成した微高地上で確認されている。また、この集落の南部と北部に位置する地点の調査では方形周溝墓8基・土坑墓・壺棺等の墓域が検出され、居住域と墓域の構成が明らかにされつつある現状である。⁴⁵⁾

萱振遺跡は当遺跡の北部に位置し、現在の八尾市教育委員会の遺跡分布図で北部は萱振A、南部は萱振Bに区画されている。近年の調査では弥生時代中期から中世に至る遺跡であることが明らかになってきた。萱振Aに位置する府立高校の建設に伴う大規模な発掘調査で弥生時代から中世に至る遺構・遺物が検出されている。弥生時代後期の時期では掘立柱建物10棟以上・

井戸 1基等の集落遺構、古墳時代前期の方形周溝墓・方墳等の墓域が検出している。また萱振¹¹⁷ Bに位置する府営住宅の建設に伴う発掘調査でも弥生時代から中世に至る遺構・遺物が検出されている。ここでは一括土器を出土した古墳時代前期の井戸 1基が検出されている。また、河内平野低平地での古墳時代後期の古墳 1基が検出される。

矢作遺跡は古墳時代前期から中世に至る遺跡で、当遺跡に接する西部に位置する。近年のビル建設に伴う発掘調査で、古墳時代前期の遺構は変形四獸鏡と土器が一緒に出土した溝状遺構が検出されている。¹¹⁸

成法寺遺跡は弥生時代後期から中世に至る遺跡で、八尾市教育委員会が昭和55年度に実施したビル建設に伴う発掘調査で発見された遺跡である。弥生時代後期は土器溜め・土坑。古墳時代前期は方形周溝墓 4基・土坑等が古墳時代後期の建物跡遺構によって削平され検出されている。¹¹⁹

これらは隣接する遺跡である。検出された弥生時代後期から古墳時代前期の遺構面は、現在の表土面（近年の盛土は除外している）の高さより0.4~0.7m下に埋没されている自然堤防の形成された微高地上に立地し、住居地域と墓域を構成する集落が連続すると考えられる。

この沖積地は狭義でいう「河内平野」と称する。この河内平野の景観は弥生時代中期までは入江状になった河内湾があり、淀川・旧大和川などの河川によって運ばれてきた土砂の堆積や海水準変動による海水の低下などによって、河内湾の淡水化が進み、河内湾－河内潟－河内湖と移り変わっていったと言われている。当遺跡周辺もより陸地化し、安定化していったことと弥生時代より伝来した稻作文化が、豊富な水源と肥えた土壤と相まって稻作づくりの開墾が広がりによる分村的な集落が微高地上に広がっていったと考えられる。

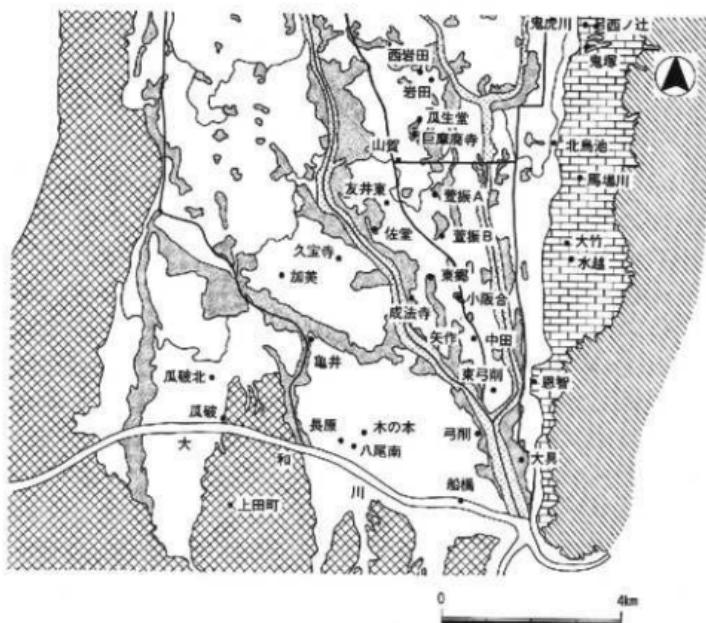
もう一つの要因は、これらの稻作文化の発展により人口の増加や生産力の拡大で、集落に貧富の差が起き、段級社会の出現より原始国家が形成され、支配する権力者により、古墳の発生する起源につながる時期にあたると言われている。

また、各遺跡の発掘調査から出土している弥生時代後期から古墳時代前期の遺物をみると、在地の土器と共に岡山県吉備地方の土器をはじめ、攝津・紀伊・和泉・大和・山陰・東海地方の形態や胎土をもつ土器が含まれている。これはこの地域の集落・集落集団が政治国家的な位置か、それとも文化や交易ルート等の交通の要衝としての役割をもつ位置を占めていたのではないかと考えられる。

以上、弥生時代後期から古墳時代前期の時期について簡単に述べてみたが、まだまだ不明瞭な点が多く、今後の発掘調査の資料や研究によって明らかにしていかなければならない。

註

- 註1 八尾市教育委員会「東弓削遺跡」八尾市文化財調査報告3 1975
註2 中田遺跡調査会「中田遺跡概要」 1973
註3 八尾市教育委員会「昭和53・54年度 埋蔵文化財発掘調査年報」八尾市文化財調査報告7 1981
註4 大阪府教育委員会「中田遺跡発掘調査概要」一柏原・八尾幹線下水管渠築造工事に伴う調査—1986
註5 八尾市教育委員会「八尾市埋蔵文化財調査概報」—1980・1981年度— 1983
註6 (財)八尾市文化財調査研究会「昭和60年度事業報告概要」(財)八尾市文化財調査研究会報告8 1986
註7 八尾市教育委員会「八尾市文化財紀要」『萱振遺跡調査速報』 1985
註8 大阪府教育委員会「萱振遺跡発掘調査概要」—八尾市轟ヶ丘2丁目所在— 1983
註9 八尾市教育委員会「現地説明会資料」 1986
註10 八尾市教育委員会「成法寺遺跡」—八尾市光南町1丁目29番地の調査— 1983



第2図 弥生時代～古墳時代の遺跡分布図

第3章 第2次調査

第1節 調査の概要

第2次調査の調査地は、区画整理事業区域内の北部に位置し、大阪府事業の寝屋川南部流域下水道事業南小阪合ポンプ場建設予定地内に楠根川と農業用水路が流れているため、これを建設予定地から除外しなければならない。そこで今回計画されたのが青山町1丁目内の区画街路である9号線の一部・12号線の一部と1号公園の東辺に仮設する楠根川切換工事（全長120m、幅6m）で面積約720m²と南小阪合1丁目内の区画街路である5-2号線、幹線街路である中央線の一部に仮設するA水路切換え工事（全長120m、幅1m）で面積約120m²の2箇所に仮設地が計画されたのである。

調査の方法は、前者が工事による掘削深度までの全面発掘調査である。後者は工事による掘削深度が浅いため立会調査としてそれぞれを実施した。楠根川切換工事は工事の進行に平行して行った。掘削の方法は、現長土面より約0.3m（第2層床土の下面）までを機械掘削で排除し、以下は工事掘削深度までの土層を一葉ごとに人力掘削・精度を行い、遺構・遺物の検出に努め、写真撮影・実測図の作成等の記録保存を実施した。

一方、立会調査は、掘削深度が約0.3mと比較的浅い工事である為、掘削工事に際して、平面・断面の観察を行い、部分的に写真撮影等の記録保存を実施した。なお、立会調査に於ける報告は遺構・遺物の検出がなかったので、ここでは報告を作成しなかった。

第2節 調査の地区割

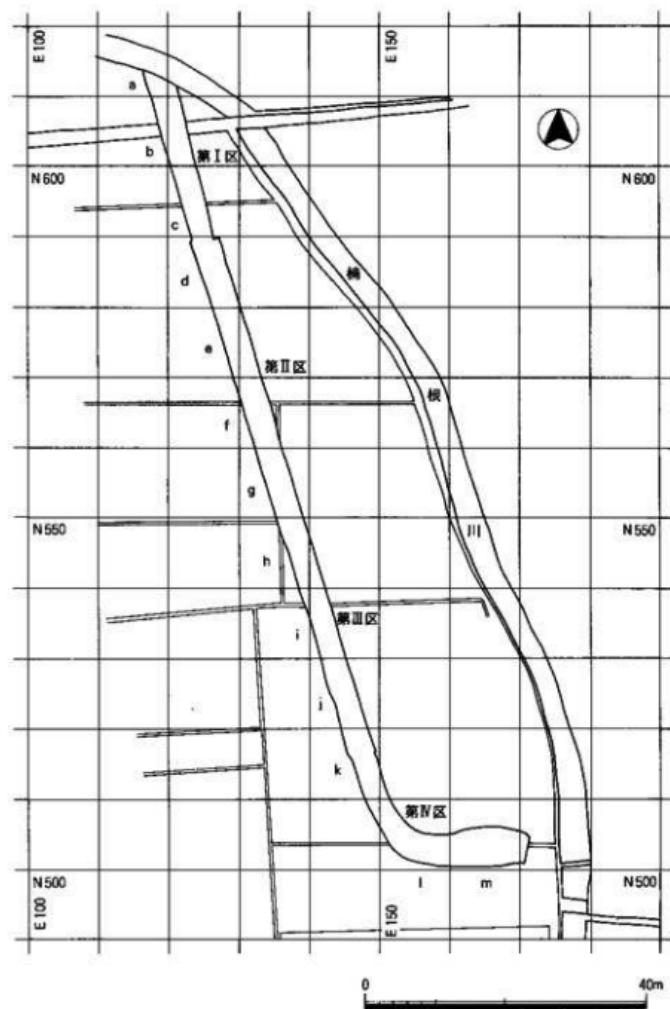
調査の地区割は、楠根川切換工事の調査地をK地区と付称し、工事計画の工程を順行に運ぶ為、北部よりK-I地区～K-N地区の4区画に区分して実施した。調査のメッシュ線は、第1次調査で使用した地区割を活用した（それは昭和47年にかけて実施された堺川北区土地区画整理事業に伴う中田遺跡の発掘調査で使用された地区割プラン図のD-IIラインを基準点としている）。これを10m間隔でメッシュ杭を打ち込み、調査地区が南北に長いトレンチであるため北方よりアルファベット（a・b・c・・・）を付した。

第3節 基本層序

K地区的調査対象は、南北方向に細長いトレンチで、掘削深度が限定された調査である。この調査での基本層序は5層に分けることができた。以下、これらの各層ごとに概説する。

第1層表土0.1～0.2m、調査寸前まで農耕地として耕されていた土層である。なお、K-I地区では盛土を行い畑・農道としている。

第2層暗茶色砂混じり粘土0.2～0.3m、耕土の床土と考えられる。中世～近世に至る時期の



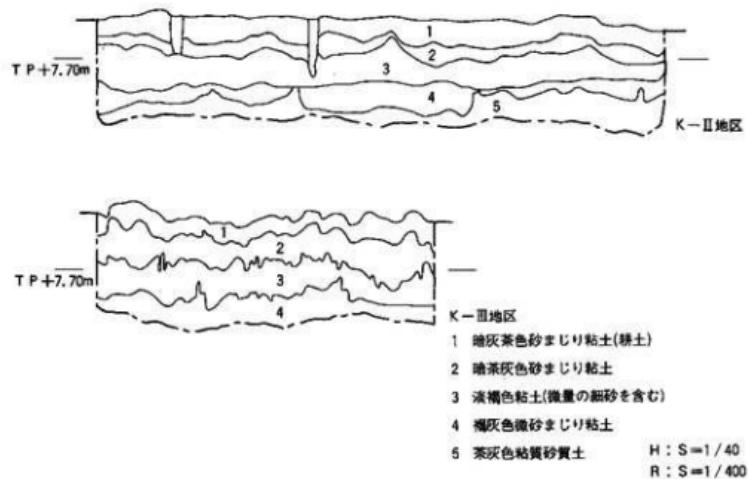
第3図 第2次調査地区割図

遺物が摩滅した状態でごく少量出土している。

第3層淡褐色粘土0.2~0.3m、粘性度の強い土層で、微量の細砂を含む。この土層は近世の時期の水田土層ではないかと推測される。

第4層褐灰色微砂混じり粘土0.1~0.2m、この土層の上面で中世~近世に至る時期の遺構を検出した。

第5層茶灰色粘質土0.2m以上、この土層の上面は波状に起伏している。遺物は出土していない。



第4図 K地区西壁断面図

第4節 調査の結果

この調査で検出した遺構は、TP + 7.4m位を測る第4層上面で出土した。中世~近世に至る時期と考えられる土坑1基・ピット2個・溝4条・河川跡である。遺物は摩滅した土器の細片をごく小量出土したにすぎない。以下、各遺構について概説する。

土坑（SK 38）

K-1a地区の西壁で検出した。検出部は東西径0.7m以上、南北径2.7m、深さ0.1~0.2mを測る土坑である。平面は不定形を呈す。断面は浅い皿状形を成し、基底面は起伏している。堆積土は淡灰褐色細砂の単一層で、一時的な氾濫によっての埋没であると考えられる。遺物は出土していないが、時期は近世と思われる。

ピット（SP 59）

K-1a地区で検出した。検出部は径0.34m、深さ0.2mを測る。平面は円形を呈す。断面はU字形を成す。堆積土は茶灰色粗砂混じり粘土の単一層である。遺物は出土していない。

溝

S D 116

K-1a地区で検出した。検出部は幅1.2~1.6m、深さ0.15mを測る東西方向に至る溝である。平面はやや西側へ拡がりをみせる。断面は逆台形を呈し、基底面には凹凸がみられる。堆積土はSK 38と同一層である。淡灰褐色粗砂である。遺物は出土していない。

S D 117

K-III地区で検出した。検出部は幅0.2m、深さ0.05mを測る東西方向に至る溝である。断面は皿状形を呈す。堆積土は淡灰褐色粘土の単一層である。遺物は出土していない。

S D 118

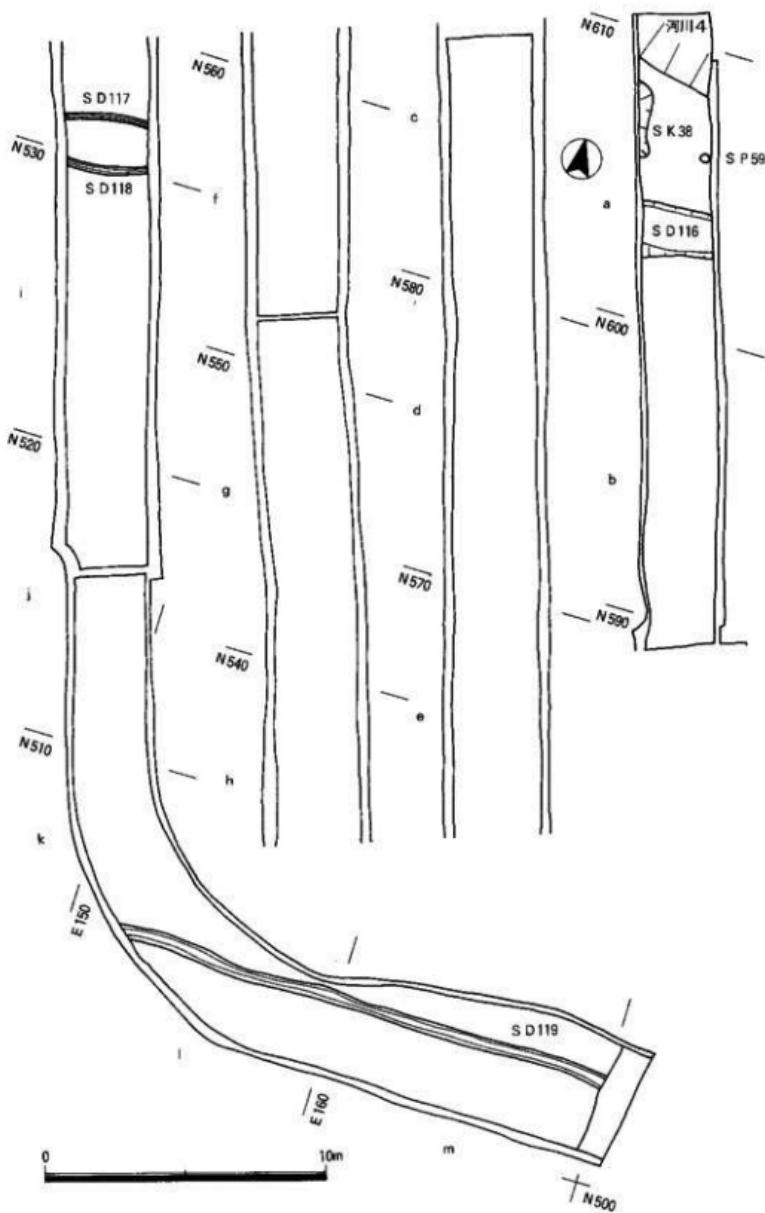
K-III地区で検出した。検出部は幅0.3m、深さ0.05mを測る東西方向に至る溝である。断面は皿状形を呈す。堆積土は淡灰褐色粘土の単一層である。遺物は出土していない。

S D 119

K-Nm地区で検出した。検出部は幅0.3m、深さ0.05mを測る東西方向に至る溝である。断面は皿状形を呈す。堆積土は淡灰褐色粘土の単一層である。遺物は出土していない。

自然河川（河川4）

K-1a・b地区で検出した。検出部は幅1.5m以上、深さ0.6m以上を測る自然河川と思われる。方向は検出した南肩で東西方向を指す。北部は現植根川によって切られた状態である。断面は南肩より約30°の角度で傾斜している。堆積土は淡灰褐色細砂である。遺物は近世の時期に比定される陶器、瓦等の細片をごく少量出土した。



第5図 K地区遺構平面図

第4章 第3次調査

第1節 調査の概要

今回の調査は、第1次調査地の南部に位置する青山町4丁目内の22号線の一部・23号線の一部・24-1号線・24-2号線・25号線・26号線・27号線・28号線である区画街路計画地の道路敷面下の調査である。調査面積は延べ約1500m²を測る。

調査の方法は、道路敷下の中央部の幅2mを対象に、既往調査の調査結果に基づき、現表土下0.3~0.4mを機械掘削し、以下は人力による掘削・精査を一層一葉ごとに行った。検出した遺構は、できるかぎり平面実測図（S=1/5・1/10・1/20・1/50）・断面図（S=1/20）の作成と写真撮影を実施した。これに伴い出土した遺物は、地区ごとに採集し、現場事務所にて洗浄・ネーミングを行った。

なお、第3次調査地は、北部が第1次調査地に接し、南部が中田遺跡と接するという間に挟まれた地点にある。中田遺跡は昭和47年～昭和49年にかけて中田遺跡調査会が実施した曙川北区土地区画整理事業に伴う発掘調査において弥生時代から中世に至る遺構・遺物が多量に検出されている。また、昭和56年度八尾市教育委員会が実施した中田1丁目39番地に於ける倉庫建設に伴う発掘調査では古墳時代前期（庄内式新相～布留式古相）に比定される土坑内から他地域の土器が多く含んで出土されている地点にも隣接するところである。よって、調査ではこれらを考慮しながら発掘調査を実施した。

第2節 調査の地区割

調査区の地区割は、既往第1次調査、第2次調査でも叙述したように各調査地区が細長いトレンチで網目状になっており、南部に中田遺跡が隣接し、当遺跡との関連を把握する目的などを考慮し、昭和47年～昭和49年に実施された曙川北区土地区画整理事業に伴う発掘調査で使用された地区割プラン図のD-IIラインを基準点として、当該地である東西・北方にメッシュ線の割付けを行った。地区名は、計画区画街路の道路番号をそのまま活用した。たとえば、区画街路22号線は22地区とした。そして、さらにこれらの各地区を基準点からのメッシュ線を10m間隔で細分し、東西方向のトレンチは西よりa・b・c・・・と付し、南北方向のトレンチは北よりa・b・c・・・と付した。

これらの地区割に従い、発掘調査を実施した。

第3節 基本層序

調査地区は、既往第1次調査で行った基本層序と今回の調査で観察した土層の様相は、若干の相異が見られるものの、総合的な觀点からは類似するようである。

今回の調査での基本層序について、再度、新たな知見から各土層ごとに概説する。

第1層表土0.1~0.2m、調査前まで農耕地として耕されていた耕土である。なお、24-1地区、24-2地区は疊道、27地区・28地区の中央部はグランドとして盛土されている。

第2層黄灰色～暗灰茶色粗砂混じり粘土0.1~0.4m、耕土の床土と考えられる。

第3層茶灰色粘質土0.2~0.4m、上面で近世以降と思われる水田耕作に関連する小溝を検出した。土層内からは中世～近世の遺物が摩滅した細片をわずかに出土した。なお、25 i ~ n地区は中世の時期に整地して壇状に盛土している。

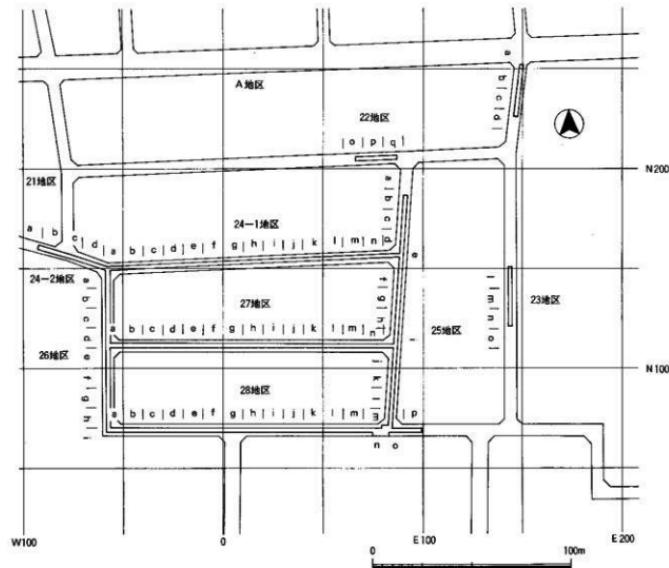
第4層暗茶灰色粘質土0.1~0.3m、この上面で中世の時期の東西・南北方向に走る小溝がほぼ全地区で検出した。また、25 i ~ m地区、27m ~ o地区、28m ~ p地区は古墳時代中期～平安時代に至る遺構を検出した。この土層は古墳時代前期の遺物包含層である。

第5層茶灰色シルト～褐灰色粘土0.1~0.3m、この上面で古墳時代前期の遺構が切り込まれている。

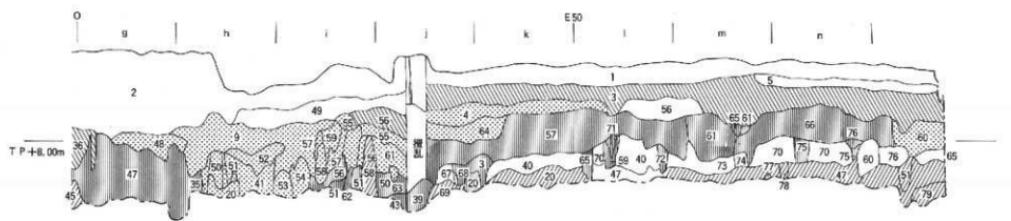
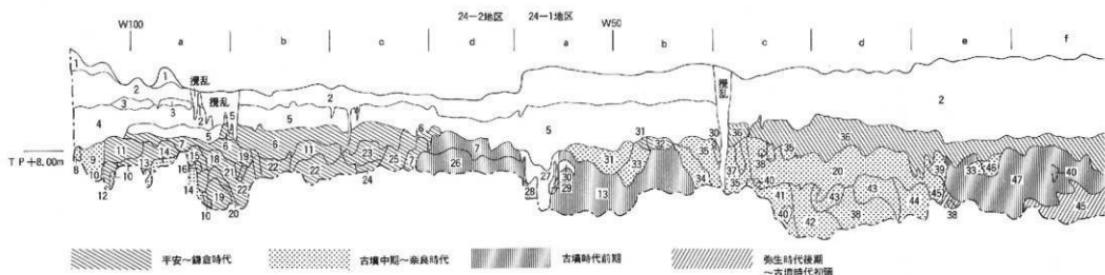
第6層黄灰色粘土0.3m、この上面は弥生時代後期の遺構を検出した。

第7層黄灰色砂混じり粘土0.2~0.3m、無遺物層である。

以上が、調査地区に於ける基本層序であるが、調査地区的西半部は第5層より以下は弥生時代後期～古墳時代前期に埋没した砂層が堆積する河川跡と考えられる土層である。

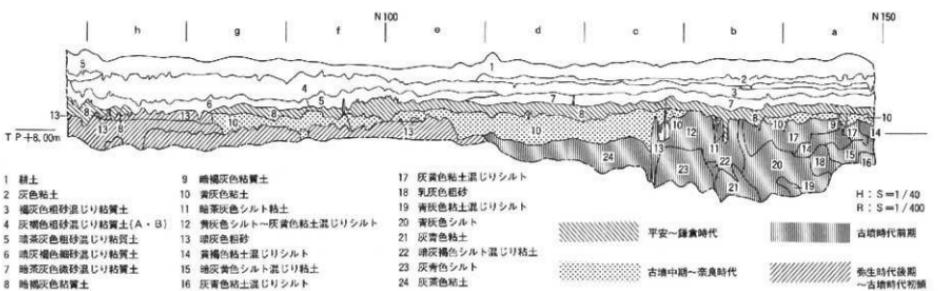
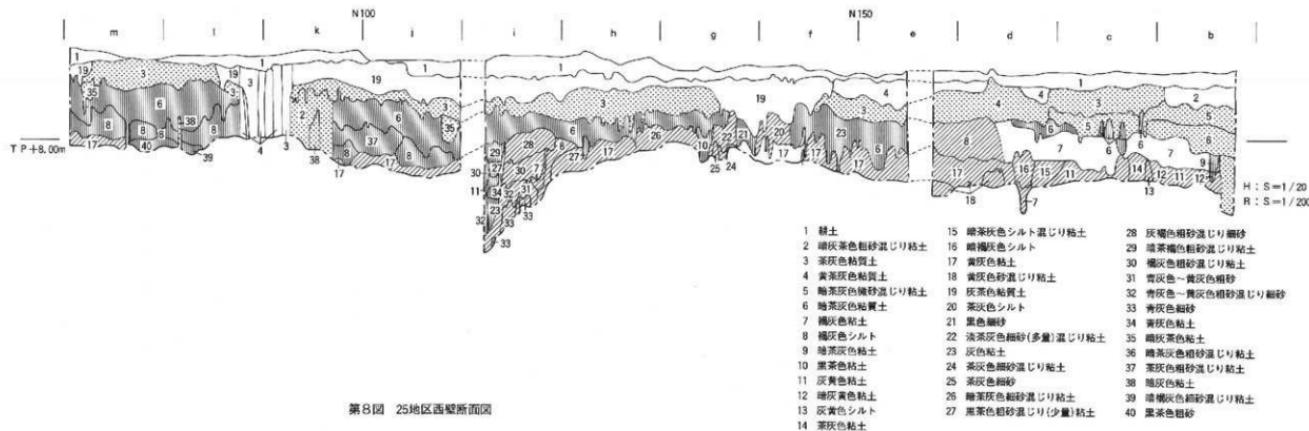


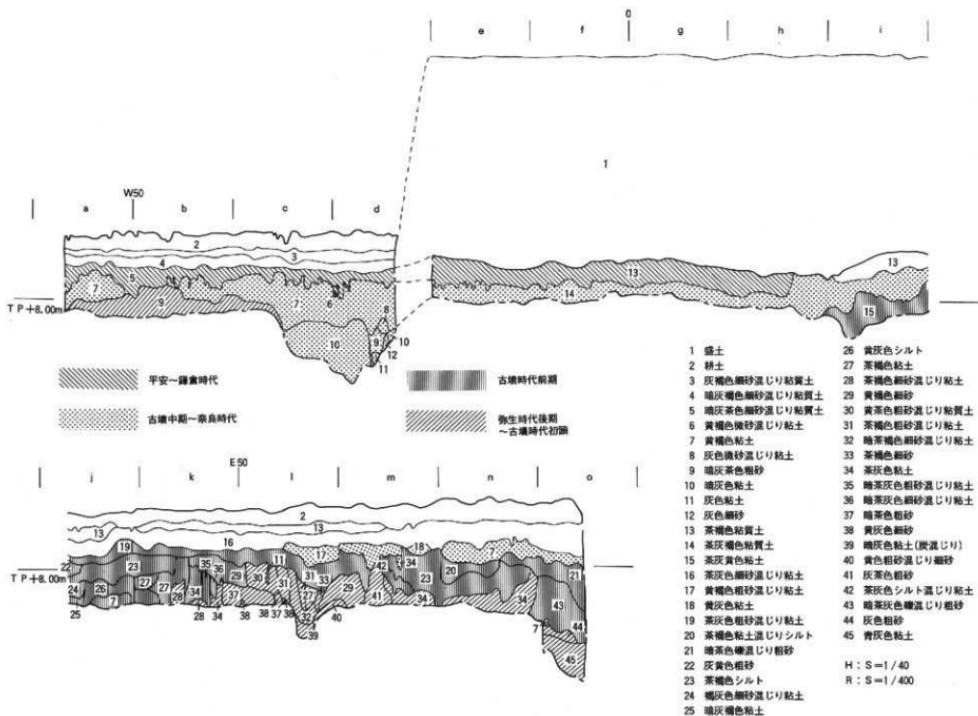
第6図 第3次調査地地区割図



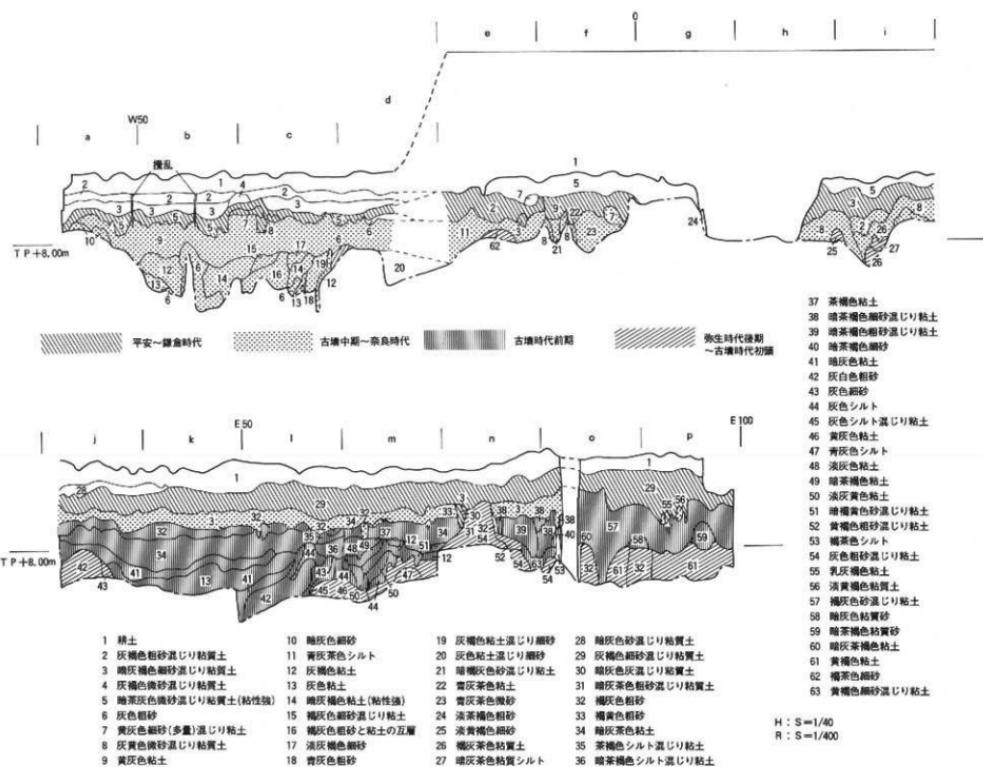
1 稲土	16 淡茶色細砂道じり粘土	31 淡黃褐色細砂道じり粘土	46 黄褐色シルト流じり粘土	61 鮎灰色粘土	76 淡茶色粘質シルト
2 稲土	17 鮎褐色細砂道じり粘土	32 黄褐色シルト	47 鮎灰色粘土	62 淡茶色粗砂	77 淡色シルト
3 深褐色粗砂道じり(多量)粘土	18 淡茶褐色細砂道じり粘土	33 黄褐色粘土道じりシルト	48 青灰色粘土道じり粘土	63 黑褐色粘土	78 茶灰褐色シルト
4 深褐色粗砂道じり粘土	19 淡茶褐色粗砂道じり粗砂	34 白褐灰色小石道じり粗砂	49 淡茶褐色粗砂道じり粘土	64 淡褐色細砂道じり粘土	79 青灰色粗砂道じり粘土
5 黄茶色粘土	20 青灰色粘土	35 黄灰色シルト	50 鮎褐色シルト粘土	65 淡茶色粗砂	
6 地質褐色粗砂道じり粘土	21 淡茶色粗砂道じり粘土	36 淡黃褐色細砂道じり粘土	66 淡茶色粘土道じりシルト	66 淡茶色粘土道じりシルト	
7 雀褐色粘土	22 淡茶色粗砂道じり粗砂	37 乳黃褐色細砂	67 地質褐色粘土	67 地質褐色粘土道じり粘土	
8 深褐色細砂	23 淡茶褐色粘土	38 青灰色粘土道じりシルト	68 地質褐色粘土	68 地質粘土	H : S = 1 / 40
9 深灰色粗砂道じり(多量)粘土	24 淡茶褐色粘質土	39 淡黃褐色シルト道じり粘土	69 淡茶色粗砂	69 地質粘土	R : S = 1 / 400
10 乳灰色細砂	25 淡茶色粗砂粘土	40 淡茶色粗砂道じり粘土	70 淡茶色粗砂	70 淡茶色粘質シルト	
11 橙褐色細砂	26 青灰色シルト	41 乳灰色粗砂	71 淡茶色粗砂シルト道じり粘土	71 淡茶色粗砂シルト	
12 深褐色粗砂道じり粘土	27 淡茶色粗砂道じり粘土	42 黄褐色細砂	72 淡茶色粗砂シルト	72 淡茶色粗砂シルト	
13 深褐色	28 青灰色粘土	43 青灰色シルト道じり粘土	73 淡茶色粗砂	73 淡茶色粗砂	
14 深茶褐色	29 鳞褐色粘土	44 鳞黄色細砂	74 鳞黄色シルト	74 鳞黄色粘土	
15 黄褐色粘質土	30 橙褐色粗砂道じりシルト	45 青灰色粘土	75 黑褐色粘土	75 黑褐色粘土	

第7図 24-1・24-2地区北壁断面図





第10図 27地区北壁断面図



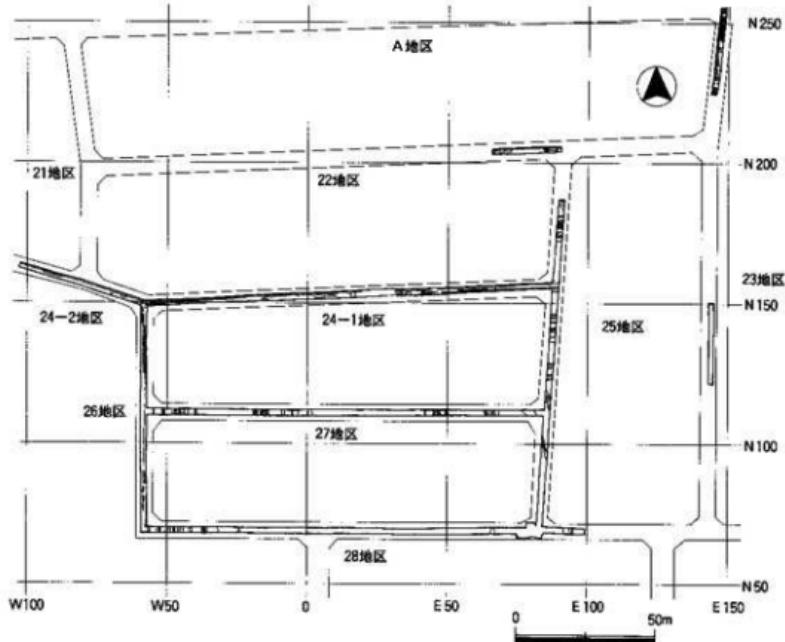
第11図 28地区北縦断面図

第4節 調査地区の概要

当調査区は、既往第1次調査地の南部にあたる。第1次調査では弥生時代後期から中近世に至る遺構・遺物が多く検出された。今回の調査でも第1次調査と同様に各調査地区で多大な成果をあげることができた。特に弥生時代後期から古墳時代前期に至る遺構・遺物が多量に検出された。以下、各地区ごとに遺構の検出状況等について簡単に概説する。

22c～p 地区

東西トレント（長さ25m）の調査区で、面積は約50m²を測り、既往第1次調査で行った続きの一部である。今回の調査で検出した遺構は前回と同様で、第1層・第2層を排除した第3層上面（TP +8.5m前後を測る）で中近世の農耕作によってできたと考えられる小溝を検出した（第1調査面）。第4層上面からは砂層の堆積する自然河川跡を検出した。この自然河川跡は既往第1調査のN地区で検出した河川3の南部にあたるものと思われる。第6層は弥生時代後期から古墳時代前期に至る遺物を包含する層で、その下の第7層上面から切り込む弥生時代後期のピット・溝状遺構を検出した。



第12図 第3次調査地第1調査面平面図

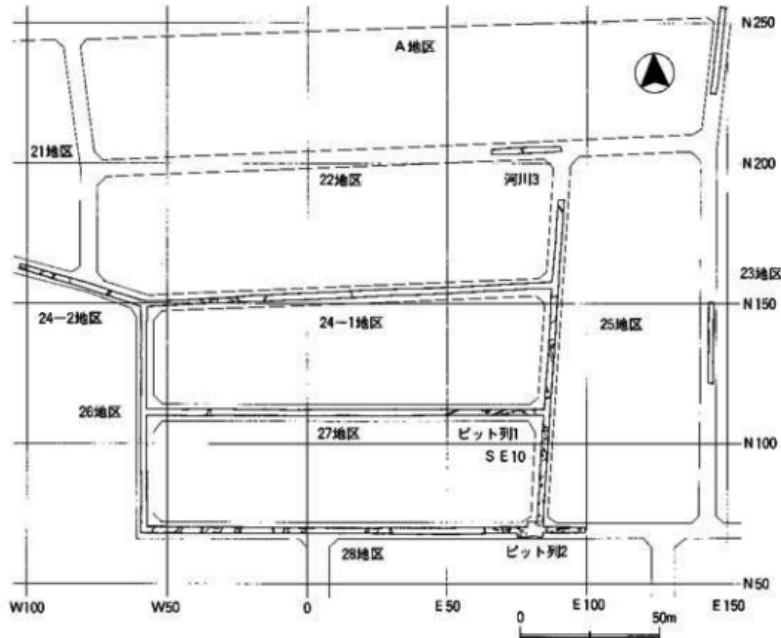
23a～d地区・23l～m地区

23a～d地区は第2層・第3層のそれぞれの上面で検出した。第2層の上面（TP +8.5m位）からは井戸4基、第3層の上面（TP +8.3m位）からは溝19条を検出した。これらは中世から近世に至る時期のものと考える。また、下層（TP +7.2mまで）から遺構・遺物包含層は検出されなかった。

23l～m地区は表土下0.5～1mまでが現在の擾乱によって破壊されていた。南部の一部で残存した部分より遺構を検出した。遺構は第4層上面（TP +8.4m位）より切り込む古墳時代前期と思われる溝1条と第5層上面（TP +8.2m位）より切り込む弥生時代後期と思われる落ち込み状遺構1箇所が検出した。

24-1地区

この地区は第3層の上面（TP +8.5m位）より切り込みがみられる中世から近世に至る農耕作に関連すると考えられる溝20条、第4層の上面（TP +8.3m位）はa～i地区で古墳時代中期の遺物を含む粘土の堆積する落ち込み状遺構を検出した。そして、この下層は砂層の堆



第13図 第3次調査地第2調査面平面図

積する弥生時代後期から古墳時代前期に埋没したと思われる自然河川を検出した。j～o地区は既往A～Ⅲ地区・22地区で検出された自然堤防である微高地の南側の延長上にあたる。第5層は古墳時代前期の包含層、その下の第6層は弥生時代後期の包含層であることを確認した。第6層上面(TP+7.5m位)からは古墳時代前期の遺構(土坑・溝)で、第7層上面(TP+7.3m位)は弥生時代後期の遺構(ピット・溝)が検出された。

24-2 地区

24-1地区の西側の延長にあたる東西トレンチ(長さ40m)である。調査区の面積は約80m²である。調査は2面を行なった。第3層からは中世から近世に至る農耕作に関連する溝を4条検出した。また、第3層からは既往Ⅱ地区と21地区で検出した河川2を検出した。この第4層上面は西部で埴輪片が含まれている溝(SD301)1条を検出した。東側は24-1地区の続きである古墳時代中期の落ち込み状遺構と弥生時代後期から古墳時代前期に埋没した河川を検出した。

25 b～m地区

南北トレンチ(長さ約120m)で、調査区の面積は約240m²である。遺構は22地区の検出状況とはほぼ同じであるが遺構面を4面確認した。第3層の上面(TP+8.5m位)は中世から近世に至る農耕作に関連する溝13条・井戸1基を確認した。また、j～m地区は壇上に整地した上面(TP+8.6m位)から奈良時代の井戸1基・ピット10個を検出した。第4層の上面(TP+8.3m位)は古墳時代中期から平安時代に至る土坑・溝・ピットを検出した。この層は古墳時代前期の遺物包含層である。この下の第5層の上面(TP+8.1m位)からは古墳時代前期の土坑・溝が切り込まれている。さらに、この第5層は畿内第V様式の土器を含む弥生時代後期の遺物包含層と考えられ、その下の第6層上面(TP+7.7m位)から弥生時代後期に類似する土器を出土した土坑・溝状を検出した。

26地区

南北トレンチ(長さ約80m)の調査区で、面積は約160m²である。遺構検出面は2面を確認した。第3層上面(TP+8.5m位)からは中世から近世に至る農耕作に関連する溝5条を検出した。北部のa～d地区は第4層上面(TP+8.3m位)から切り込まれている古墳時代前期から中期に類似する土器を出土した落ち込み状遺構を検出した。これより下は砂層の堆積で弥生時代後期から古墳時代前期に埋没した自然河川(河川1)である。

27地区

東西トレンチ(長さ約130m)の調査区で、面積は約260m²である。この調査区は中央部(e～g地区)に約1.8mの盛土をしている。遺構は3面を確認した。第3層上面(TP+8.5m位)からは中世から近世に至る農耕作に関連する溝30条を検出した。第4層上面(TP+8.2m位)からは古墳時代中期の落ち込み状遺構。第5層上面(TP+7.9m位)からは西側(a～g地区)

で弥生時代後期から古墳時代前期の河川1、東側（j～o地区）で弥生時代後期の落ち込み状遺構1箇所・溝状遺構1条を検出した。落ち込み状遺構は25i地区に統くものである。溝状遺構は漁網のおもりに使用したと思われる土垂が畿内第V様式に類似する土器と一緒に多量に出土している。

28地区

東西トレント（長さ140m）の調査区で、面積は約290m²である。遺構は3面を確認した。第3層上面（TP +8.5m位）からは他の調査区と同じ中世から近世に至る農耕作に関連する溝20条を検出した。また、n～o地区は25j～m地区で検出した壇上に盛り上げた整地層の一部を検出した。この上面（TP +8.5m位）からは奈良時代から平安時代に至るピットが検出されている。第4層上面（TP +8.2m位）からは古墳時代中期の落ち込み状遺構4箇所を検出した。第5層上面（TP +8.0m位）からはm～p地区で古墳時代前期の土坑3基・溝2条・落ち込み状遺構1箇所を検出した。a～m地区は砂層の堆積する弥生時代後期から古墳時代前期に埋没したと考えられる河川1を検出した。



第14図 第3次調査地第3調査面平面図

第5節 調査の結果

I 弥生時代後期～古墳時代初頭の遺構・遺物(第3調査面)

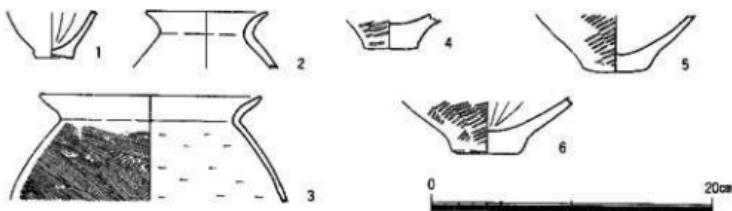
この時代の遺構は、第1次調査A-I地区・22地区で検出した自然堤防を形成した微高地上で確認されている。今回の調査はこの南部に位置する地点で、連続する微高地を検出した。前回と同様に弥生時代後期に比定される遺物包含層が一部(22o-p地区、24-I n-o地区・25地区・27 I-o・28 n-p地区)で確認した。この下面(TP+7.7mを測る)を構築面として切り込まれている。今回検出した遺構は土坑7基・ピット8個・落ち込み状遺構4箇所・溝7条である。以下、個々の遺構について概説する。

土坑

S K 54

25 b-c地区で検出した。北部は古墳時代前期に比定されるS K 44と平安時代に比定される河川3に切られ、東西ともに調査区外に至る。検出部は東西径2m以上、南北径6.7m以上、深さ0.15~0.2mを測る土坑と推定する。この土坑の南部は薄(S D 319)と切り合う関係にある。基底面は平坦である。堆積土は灰黄色粘土の単一層である。

遺物は北部の基底面付近の1ヶ所に集中した状態で畿内第V様式に類似される土器の細片をごく少量出土した。器種は鉢(1)・甕(2~6)等である(第15図)。



第15図 25 b-c地区 S K 54出土遺物実測図

S K 55

25 c地区で検出した。北西部は調査区外に至る。検出部は東西径2m以上、南北径1.6m、深さ0.1mを測る土坑である。平面は検出部で隅丸方形を呈す。断面は緩やかな逆台形を成し、基底面は平坦である。堆積土は暗灰黄色粘土の単一層である。

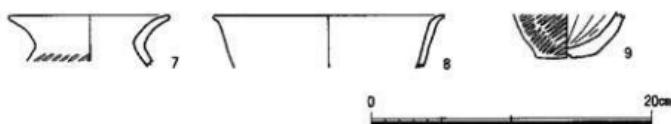
遺物は出土していないが、S K 54等の遺構と同一面で検出していることから弥生時代後期に比定されると考えられる。

S K 56

25 c地区的中央部で検出した。東部は調査区外に至る。検出部は長径1.8m以上、短径1.6m、

深さ0.1mを測る土坑である。平面は検出部でやや半円形を呈す。断面は逆台形を成し、基底面はほぼ平坦である。堆積土は灰黄色粘土の單一層である。

遺物は堆積土内より畿内第V様式に類似する土器の細片がごく少量出土した。器種は壺(7)・鉢(8)・甕(9)等である(第16図)。



第16図 25c 地区SK 56出土遺物実測図

S K 57

25c地区で検出した。西部は調査区外に至る。検出部は長径1.2m以上、短径1m、深さ0.1mを測る土坑である。平面は検出面でやや半円形を呈す。断面は逆台形を成し、基底面はほぼ平坦である。堆積土は茶灰色粘土の單一層である。

遺構は出土していないが、SK 54等の遺構と同一時期であると考えられる。

S K 58

25c・d地区で検出した。東部・西部は共に調査区外に至る。検出部は東西径2m以上、南北径6.8~8.4m、深さ0.15~0.3mを測る土坑である。平面は検出面で不定形を呈し、南部の肩沿いには南東-北西の方向に延びる溝状(幅1m、深さ0.3mを測る)の深い落ち込みが認められる。堆積土は灰黄色粘土の單一層である。

遺物は畿内第V様式に類似する甕の底部片をごく少量出土している。

S K 59

25e地区の東壁で検出した。東半部は調査区外に至る。検出部は東西径0.6~1m以上、南北径2.4m、深さ0.2~0.37mを測る土坑である。平面は検出面で不定形を呈す。断面は逆台形を成し、基底面は北側にやや傾斜している。堆積土はSK 54と同一層である。

遺物は出土していないが、SK 54等と同一時期であると推測される。

S K 60

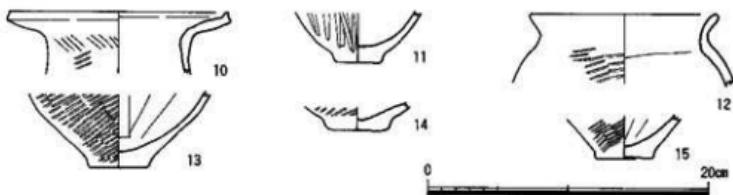
25f地区の南部で検出した。南部は上層で検出したSD 291によって一部が切られている。西半部は調査区外に至る。検出部は東西径1m以上、南北径0.8m以上、深さ0.1mを測る土坑である。平面は検出部で半円形を呈す。断面は逆台形を成し、基底面は平坦である。堆積土は暗茶黒褐色シルト粘土の單一層である。

遺物は出土していないが、SK 54等と同一時期であると推測される。

落ち込み27

23n 地区で検出した。東部・西部・南部は調査区外に至る。検出部は東西径 2m 以上、南北径 8m 以上、深さ 0.8m を測る落ち込み状遺構である。平面・断面は不明である。基底面はやや起伏している。堆積土は灰茶褐色粘土・灰青色シルトで構成している。上層は溝 (SD 149) によって切り込まれている。

遺物は顕著にローリングを受けた畿内第V様式に類似する土器の細片がごく少量出土している。器種は壺 (10)・高杯・甕 (11~15) である (第17図)。



第17図 23n 地区落ち込み27出土遺物実測図

落ち込み28

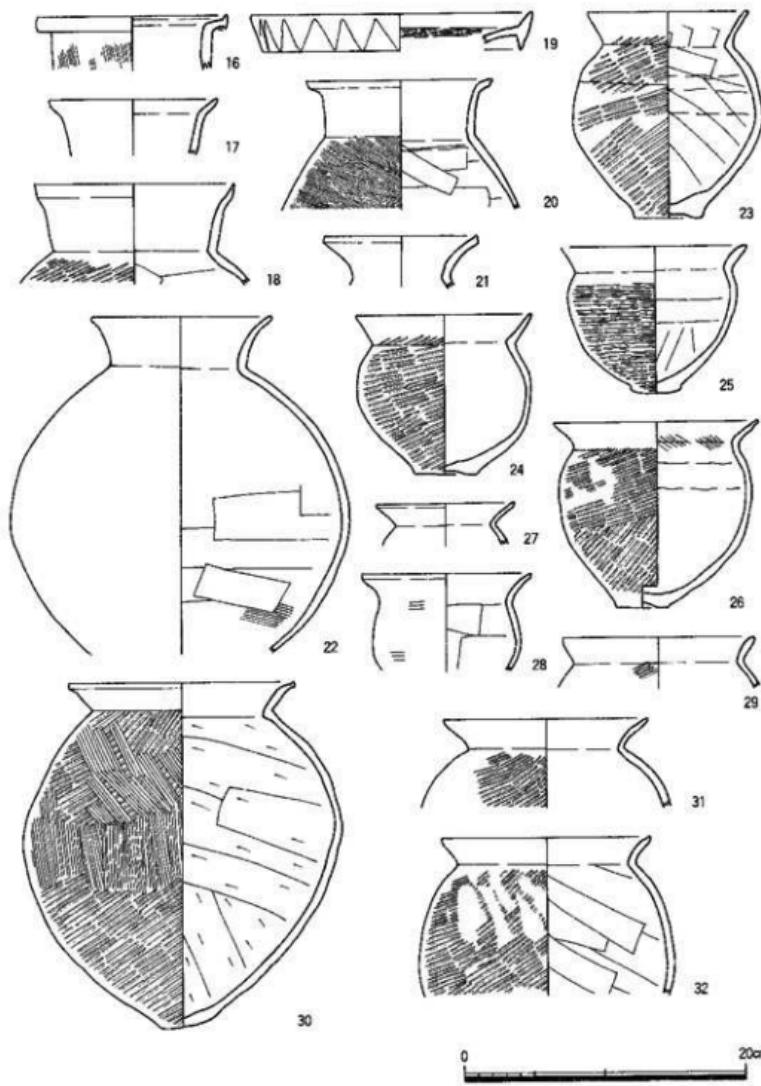
25i 地区と 27n・o 地区で検出した。東西部ともに調査区外に至る。検出部は東西径 8m 以上、南北径 7.6~8m、深さ 0.8m を測る東西の方向に延びる落ち込み状遺構である。平面は不明で、断面は皿形状を呈し、基底面は緩やかな起伏がみられる。堆積土は上方から灰褐色粗砂混じり細砂・褐灰色粗砂混じり粘土・褐灰色粘土・青灰色~黄灰色粗砂混じり粘土で構成されている。南側は埋没後に溝 (SD 314) が基底面まで切り込まれている。

遺物は、中層に堆積する褐灰色粗砂混じり粘土・褐灰色粘土内より畿内第V様式に類似する土器片をコンテナにして 2 杯分出土した。器種は壺 (16~22)・有孔鉢・甕 (23~37) で、圧倒的に甕が多い (第18図・第19図)。

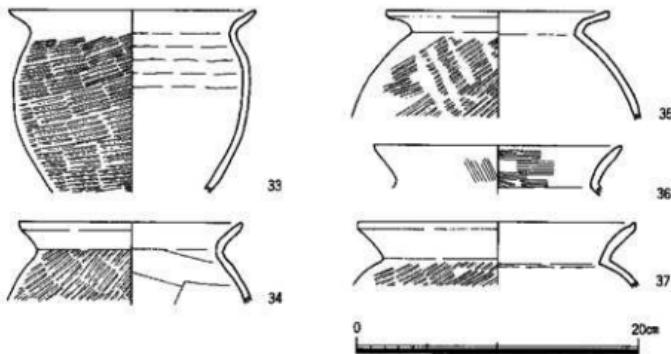
落ち込み29 (第20図)

25j 地区に検出した。東西部は共に調査区外に至る。検出部は東西径 2m 以上、南北径 8.5m 以上、深さ 0.3m を測る落ち込み状遺構である。南部は奈良時代の井戸 (S E 10) によって切られている。平面は不明で、断面は皿形状を呈し、北部の基底面はやや深く成っている。堆積土は茶灰色粗砂混じり粘土の単一層である。

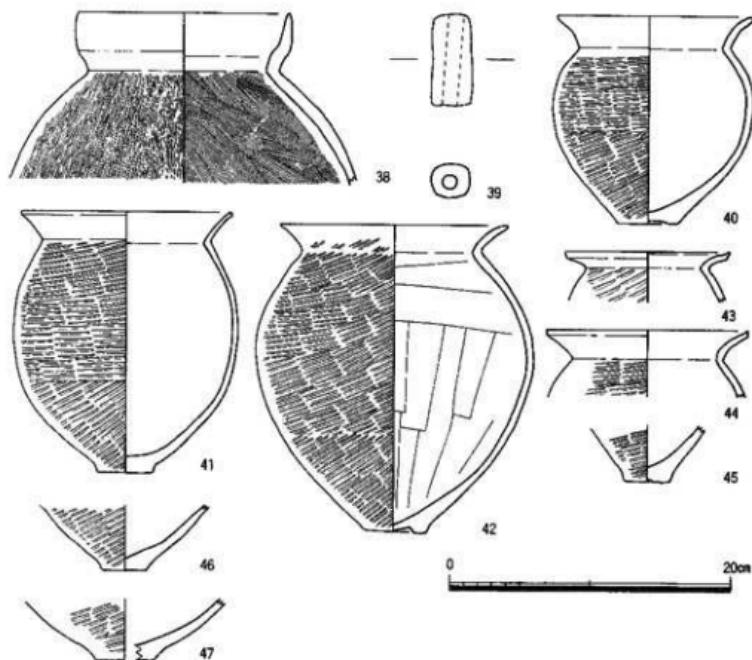
遺物は南部の上層で逆向きになった状態の壺 (38)・甕 (40)、北部の両壁基底面より完形に近い甕 (41・42) が横向きになった状態で出土した。他には堆積土内より完形の土壙 (39)・細片化した甕 (43~47) を少量出土した。これらの土器は畿内第V様式に類似する資料と考える。



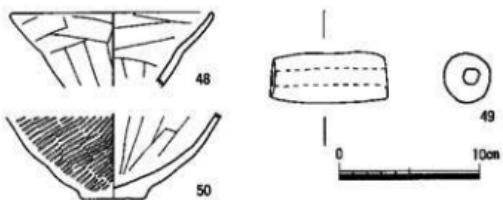
第18図 25 i 地区と27 n + o 地区落ち込み28出土遺物実測図 1



第19図25：地区と27 n・o地区落ち込み28出土遺物実測図2



第20図 25 j・k 地区落ち込み29出土遺物実測図



第21図 25 I - m地区落ち込み30出土遺物実測図

面は緩やかな起伏がみられる。堆積土は暗茶色細砂の単一層である。

遺物は畿内第V様式に類似する土器の細片をごく少量出土した。器種は鉢(48)・土壺(49)・甕(50)である(第21図)。

ピット(S P)

S P 126・S P 134～S P 136・S P 141～S P 145

この時期のピットと判断できたのは8個を数える。検出地点は22o地区(S P 126)・24-1m～o地区(S P 134～S P 136・S P 141・S P 142)・25e地区(S P 143・S P 144)である。検出部の規模は径0.2～0.35m、深さ0.15～0.25mを測る小形のピットである。平面は円形及び橢円形を呈し、断面はU字形を成す。堆積土は灰色粘質シルトの単一層である。

24-1m地区の南壁で北半部のみを検出したS P 134～S P 136は、東西方向に並ぶピット列である。間隔は西より3.3m・2.8mを測る。南北部は調査区の範囲が既定されているため明確ではないが、住居址に伴う柱穴・棚列等が推測される。また、その他のピットも同様の性格をもつものと考えられる。24-1o地区で検出したS P 142は基底面付近より腐敗して小片化したと思われる柱根の一部を確認しているが、規則的に配列するものは見出せなかった。

第1表 弥生時代後期のピット一覧表

地 区	遺構番号	径(cm)	深さ(cm)	平面形	断面形	堆 積 土	備 考
22o	S P 126	16.0～19.0	11.8	橢円形	瓶状形	灰色粘質シルト	
24-1m	S P 134	73.0	17.0～19.3	不定形	瓶状形	灰色粘質シルト	
24-1m	S P 135	71.0	8.6～11.8	不定形	瓶状形	灰色粘質シルト	土師片多數
24-1m	S P 136	75.0	19.8	不定形	U字形	灰色粘質シルト	
24-1o	S P 141	21.0～31.0	20.0	橢円形	逆台形	灰色粘質シルト	若干柱根残存
24-1o	S P 142	21.0～27.0	12.5	橢円形	瓶状形	灰色粘質シルト	
25e	S P 143	34.0	13.2	円形	瓶状形	灰色粘質シルト	
25e	S P 144	40.0	9.6	円形	瓶状形	灰色粘質シルト	
27n	S P 145	61.0～79.0	25.9	橢円形	瓶状形	灰色粘質シルト	

落ち込み30

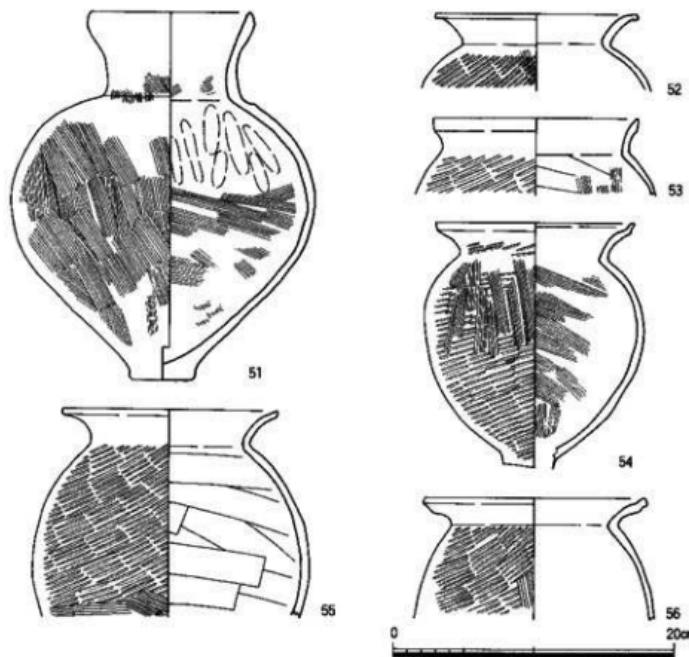
25 I - m地区で検出した。

東西部は共に調査区外に至る。検出部は幅5m、深さ0.2mを測る南東一北西の方向に延びる落ち込み状遺構である。断

面は浅い皿状形を呈し、基底

遺物はピットの堆積土内からほどんど出土していないが、SP 135では細片化した土器を発見した状態で基底面から検出面まで集積して出土している。器種は戦内第V様式に類似する壺(51)・甕(52~56)等である(第22図)。

なお、個々のピットの規模・形状等については第1表に表示した。



第22図 24-1 m地区 SP 135出土遺物実測図

溝 (S D)

S D 304

22o 地区で検出した。検出部は幅 2m、深さ 0.2m を測るほぼ南北方向の溝である。南北部は共に調査区外に至り、S D 305 と切り合う関係にある。断面は皿状形を呈す。堆積土は灰褐色粘土の單一層である。

遺物は出土していないが層位的にみて弥生時代後期に比定されると推測できる。

S D 305

22o 地区で検出した。検出部は幅 0.4m、深さ 0.2m を測るほぼ東西方向の溝である。西部は S D 304 と切り合う関係にあり、東部は途切れる。断面は皿状形を呈す。堆積土は S D 304 と同じ灰褐色粘土の單一層である。遺物は出土していない。

S D 306

22o 地区の南壁で検出した。検出部は幅 0.4m、深さ 0.1m を測る南東方向に至る溝である。断面は皿状形を呈す。堆積土は灰褐色粘土の單一層である。遺物は出土していない。

S D 307

22p 地区で検出した。検出部は幅 1.7m、深さ 0.1m を測る溝である。方向は南東ー北西に延びた後、屈曲して北東方向に至る。断面は皿状形を呈し、基底面は平坦である。堆積土は灰褐色粘土の單一層である。遺物は出土していない。

S D 317

24-1 地区で検出した。検出部は幅 0.3~0.5m、深さ 0.1m を測る溝である。方向は北を主軸として N-60°-W を指し、南北部は調査区外に至る。断面は U 字形を呈す。堆積土は灰色粘質シルトの單一層である。遺物は出土していない。

S D 319

25c 地区で検出した。検出部は幅 0.3~0.6m、深さ 0.12m を測る溝である。方向は主軸として N-20°-W を指し、北西部は S K 54 とつながり、南東部は調査区外に至る。断面は皿状形を呈す。堆積土は灰黄色粘土の單一層である。遺物は出土していない。

S D 321

27l 地区で検出した。検出部は TP +8.0m 位を測る黄灰色粗砂の上面より切り込まれていた。検出部は幅 1.9~2.1m、深さ 0.7m を測る溝状遺構である。方向は北を主軸として N-15°-W を指す。南北部は調査区外に至る。断面はやや皿状形を呈し、両肩中位には緩やかな段が見られる。堆積土は上方から第 1 層茶褐色粘土・第 2 層茶褐色粗砂混じり粘土・第 3 層茶褐色細砂・第 4 層暗茶褐色細砂混じり粘土・第 5 層暗灰色（炭混じり）粘土で構成されている。

この S D 321 は北部（約 40m）に位置する東西方向の 24-1 地区では検出されなかった。南部

(約40m)に位置する東西方向の28地区は延長した方向に一致する古墳時代前期に比定されるS D316が存在し、つながりを持つ可能性が考えられる。しかし、地盤土内から出土遺物では若干の時期差が認められる(第23図)。

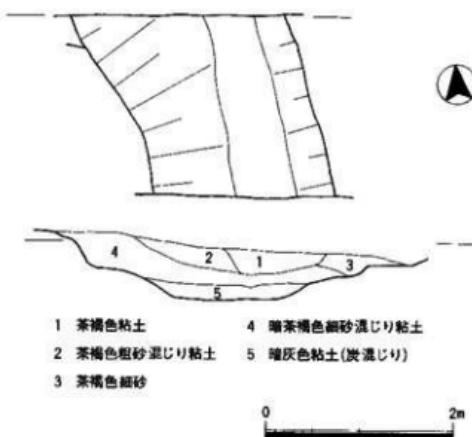
出土遺物
遺物は上層(第1層・
第2層)でS D316と同一時期の古墳時代前期に類似する庄内式の甕(238・239)の土器細片

をごく少量出土した程度である。下層(第4層・第5層)からは畿内第V様式に類似する土器が多量に出土した。出土量はコンテナにして5箱を数える。下層の出土遺物の状況は大半が基底面上に付着したような状態で検出した。特に南部の基底面より漁網のおもに使用したと考えられる土壙(98~175)が集積して出土した。その他には壺(57~74)・鉢(75~90)・有孔鉢(91)・台付き鉢(92)・高杯(93~97)・手培り型土器・甕(176~237)・東部瀬戸内系と思われる甕(240)等の土器とサヌカイト剝片(241)・紀伊産の紅麻石黒雲母片岩片(242)の石類を出土している(第24図~第32図)。

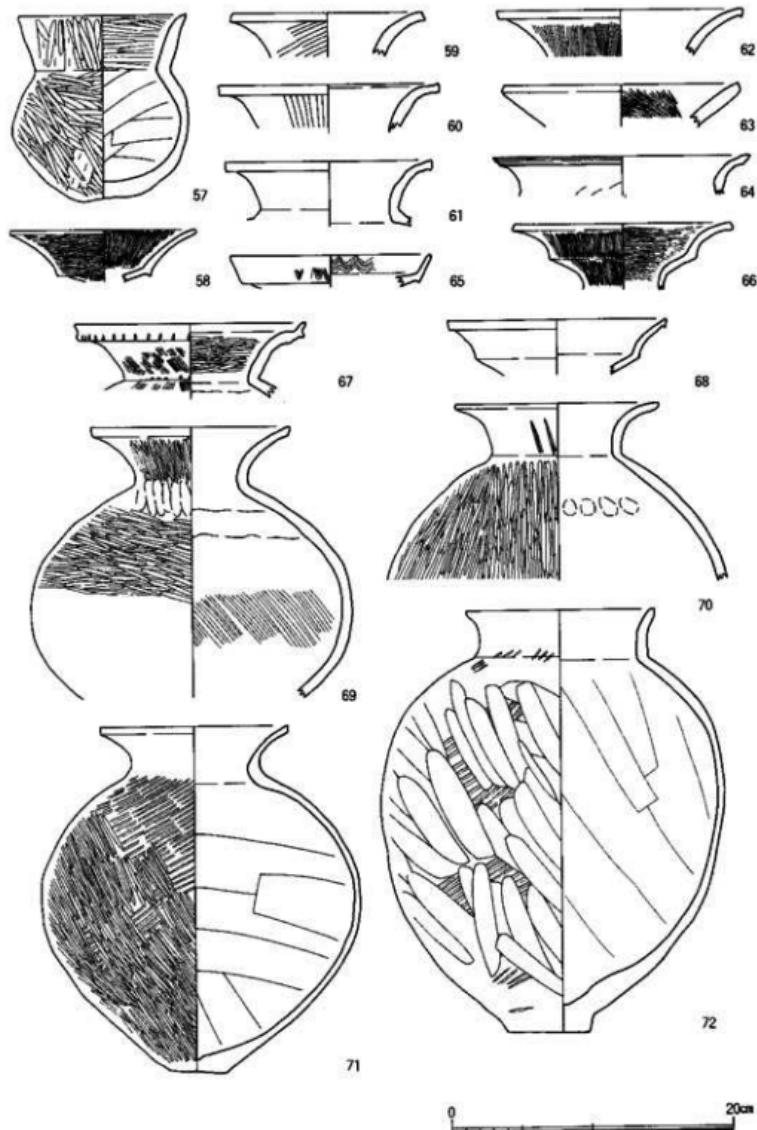
これらの出土した土器は東大阪市北鳥池遺跡出土の土器群や柏原市船橋遺跡第9トレンチ出土の土器群等の資料に類似するものと考えられる。また、八尾市に於いては八尾南遺跡出土の土器群・成法寺遺跡出土の土器群・東弓削遺跡出土の土器群等があげられる。
註1 註2 註3 註4 註5

註

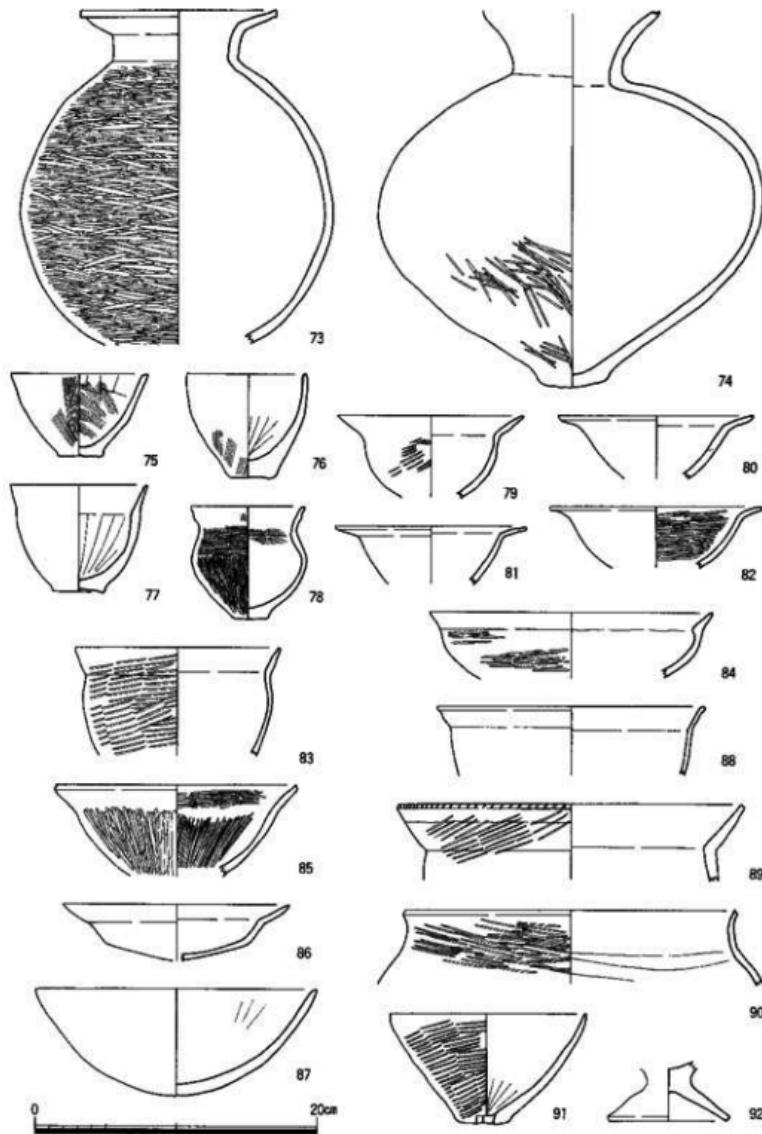
- 註1 「河内古代遺跡の研究」「北鳥池遺跡」大阪府立花園高等学校地歴部 1971
- 註2 「大和川環境整備事業柏原地区高水敷修正工事に伴う船橋遺跡試掘調査報告書」(財)大阪文化財センター 1976
- 註3 「八尾南遺跡」一大阪市高速電気軌道2号線建設に伴う発掘調査報告書一八尾南遺跡調査会 1981
- 註4 「成法寺遺跡」一八尾市光南町1丁目29番地一 (財)八尾市文化財調査研究会報告2 1983
- 註5 「昭和59年度事業概要報告」「東弓削遺跡」(財)八尾市文化財調査研究会報告8 1984



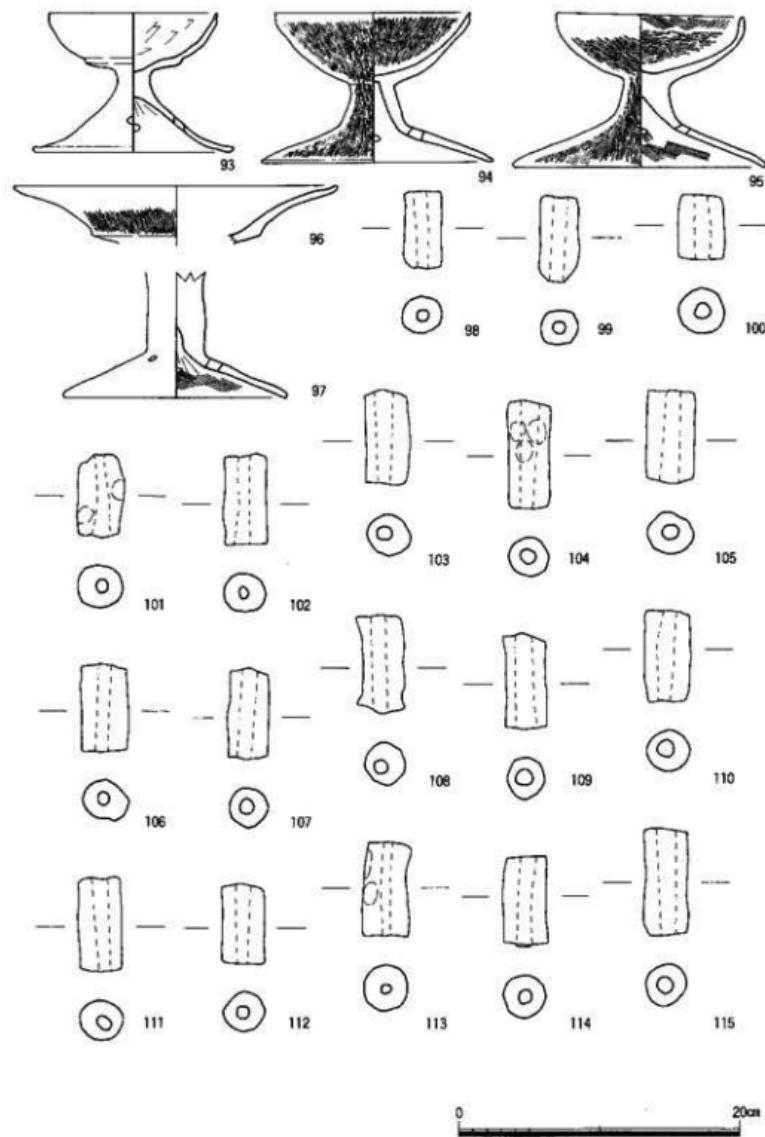
第23図 271地区 S D321平面断面図



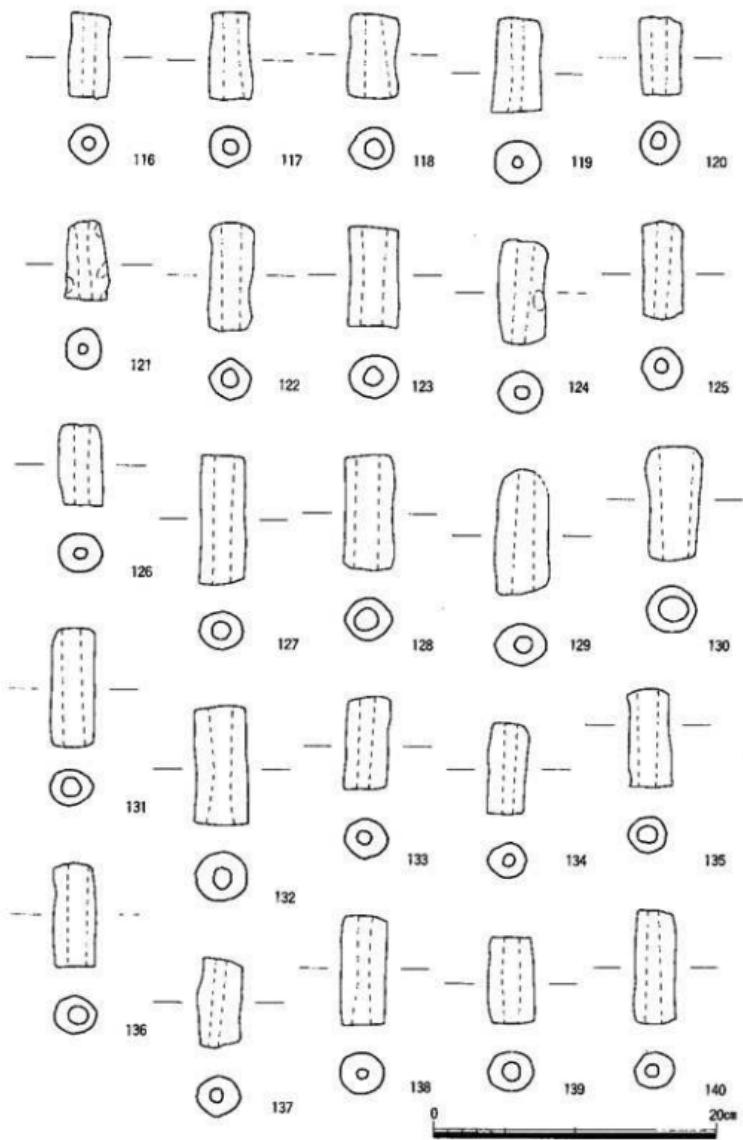
第24図 271地区 SD 321出土遺物実測図 1



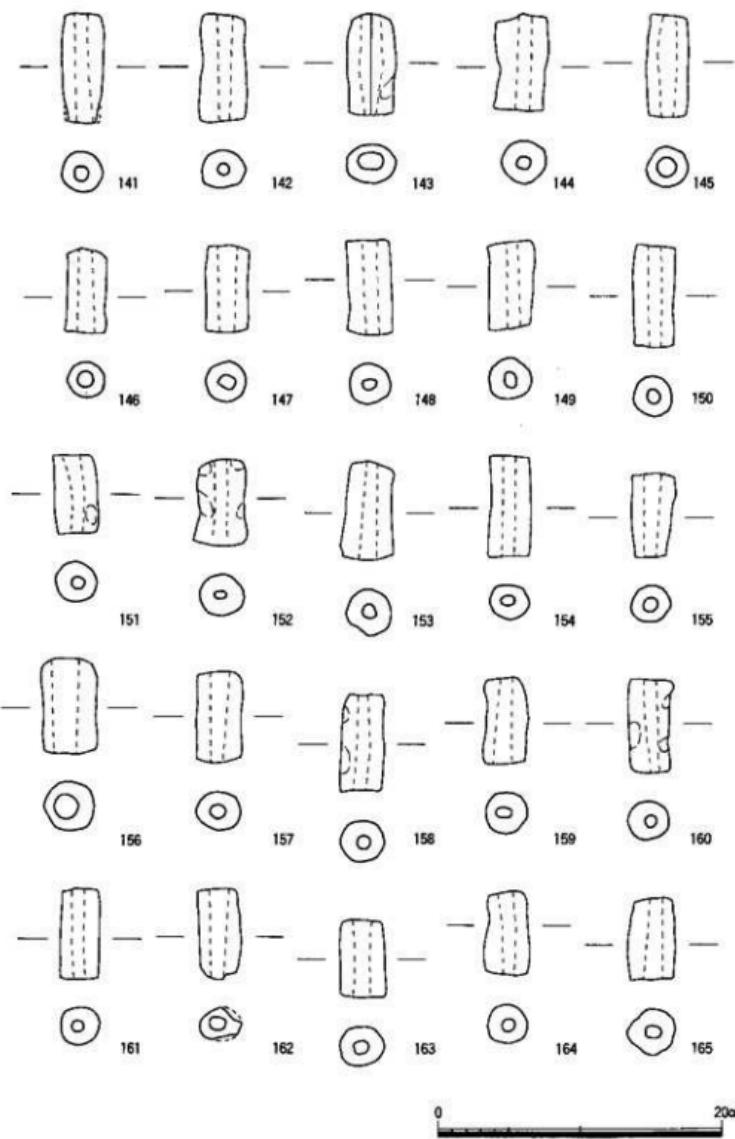
第25図 27 I 地区 SD 321出土遺物実測図2



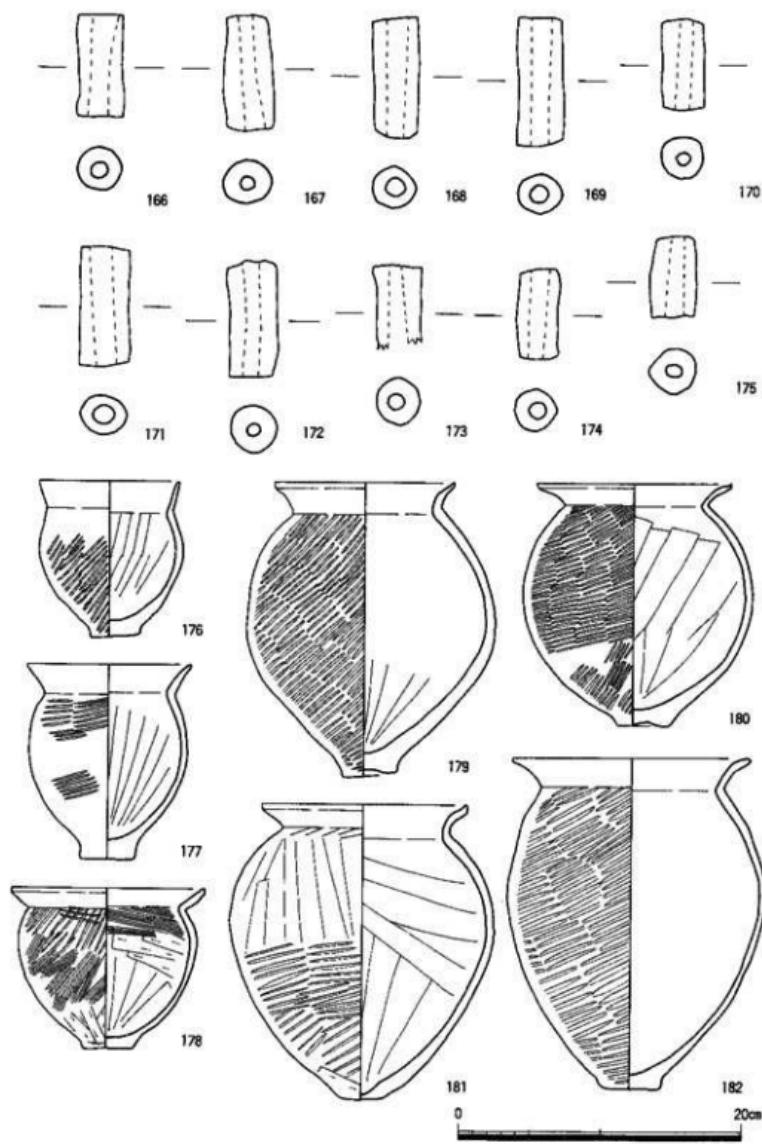
第26図 27 I 地区 S D 321出土遺物実測図3



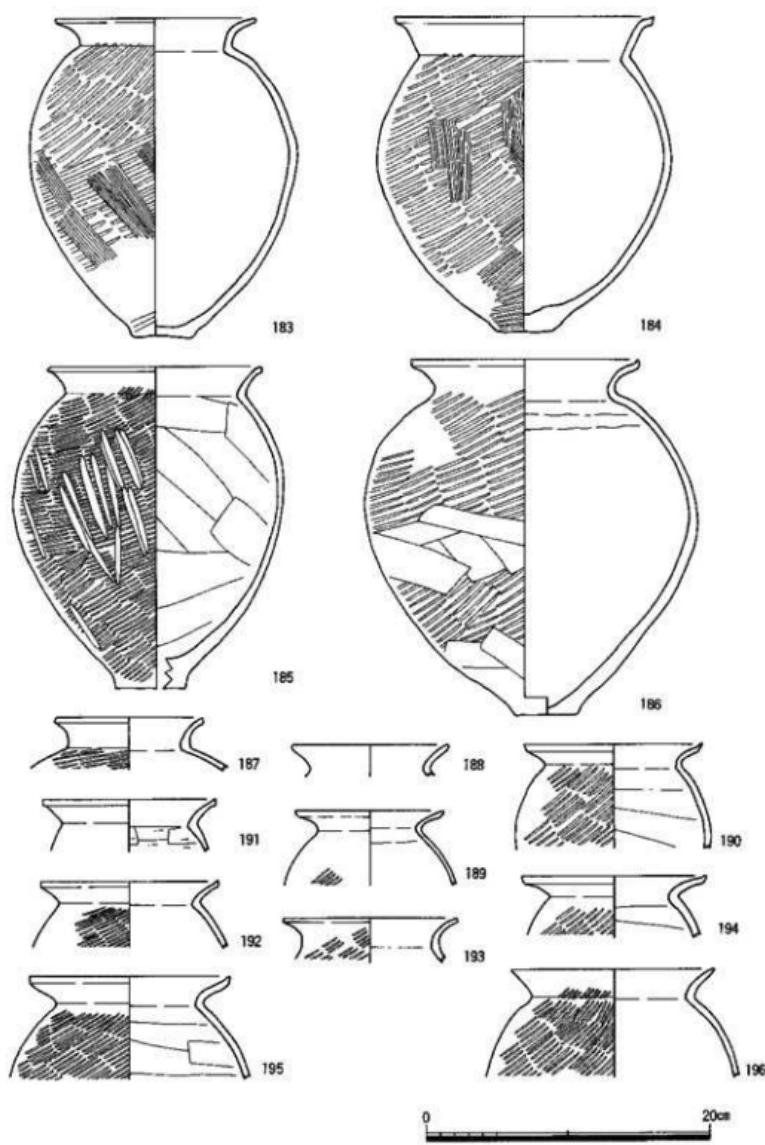
第27図 27 I 地区 S D 321出土遺物実測図4



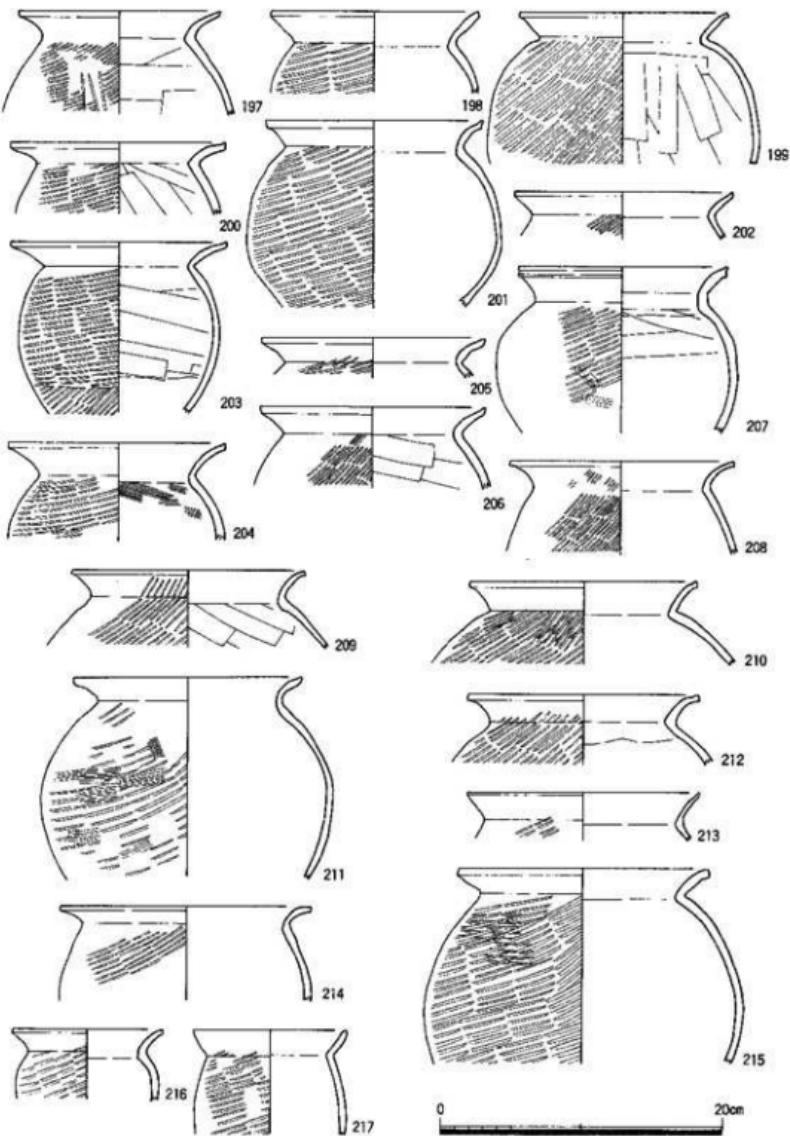
第28図 27 I 地区 S D 321出土遺物実測図5



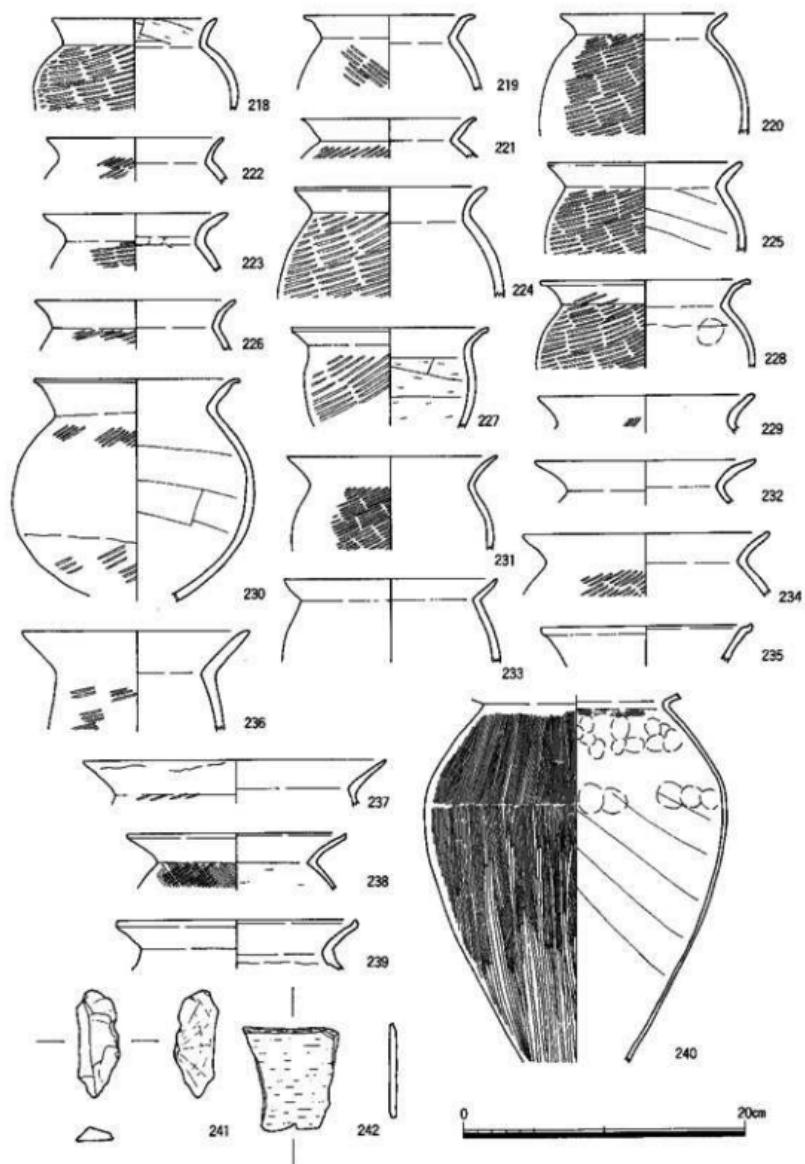
第29図 27 I 地区 S D 321出土遺物実測図 6



第30図 27 I 地区 S D 321出土遺物実測図7



第31図 27 I 地区 S D 321出土遺物実測図 8



第32図 27 I 地区 SD 321出土遺物実測図 9

II 古墳時代前期の遺構と遺物（第2・3調査面）

この時期の遺構は、検出した弥生時代後期の遺構と同様に自然堤防を形成した微高地上で大半の遺構が確認された。遺構はTP +8.0m前後を測る第5層上面で構築されている。今回検出した遺構は土坑10基・ピット8個・落ち込み状遺構1箇所、溝状遺構13条である。時期は庄内式古相～布留式に比定される。

以下、個々の遺構と遺物について概説する。

土坑

S K 44

25b地区で検出した。北部は上層より切り込む河川3に切断され、西部は調査区外に至る。検出部は東西径1.1m、南北径1.86m、深さ0.3mを測る土坑と思われる。平面は不明で、断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶褐色粘土・暗灰黄色粘土の2層に分かれる。

遺物は出土していないが、層位的・堆積土からみて布留期古相に比定されると推測される。

S K 45

25c地区で検出した。西部は調査区外に至る。検出部は東西径1.5m以上、南北径1m、深さ0.13mを測る土坑と思われる。平面は検出面で北を主軸として円弧を描きながら東に細くなる。断面は南北で皿状形を呈す。堆積土は黒灰色粘土の單一層である。

遺物は布留式土器に類似すると考える壺・甕等の細片をごく少量出土した。

S K 46

25b地区で検出した。東部は調査区外に至る。検出部は東西径0.8m以上、南北径0.8m、深さ0.15mを測る土坑である。平面は検出部でやや半梢円形を呈す。断面は皿状形を成す。堆積土は黒灰色粘土の單一層である。

遺物は出土していないが、SK 44等と同一時期であると考えられる。

S K 48

28m地区の落ち込み24の基底部で検出した。南部は調査区外に至る。検出部は東西径1.9m、南北径0.5m以上、深さ0.15mを測る土坑である。平面は不定形を呈すと推察する。断面は逆台形を成す。堆積土は暗灰色粗砂混じりシルトの單一層である。

遺物は出土していない。

S K 49

28m地区の落ち込み24の基底部で検出した。南北部は共に調査区外に至る。検出部は東西径2.1m、南北径2.2m、深さ0.2mを測る土坑である。平面は不定形を呈す。断面は緩やかな逆台形を成し、基底面は若干の起伏がみられる。堆積土は暗灰褐色砂混じり粘土の單一層である。

遺物は出土していない。

S K 50

28m地区の落ち込み24の基底面で検出した。南部は調査区外に至る。検出部は東西径0.5m、南北径0.8m以上、深さ0.15mを測る土坑である。平面は検出部で不定形を呈す。断面は逆台形を成す。堆積土は暗灰褐色砂混じり粘土の單一層である。遺物は出土していない。

S K 51

24-1-j地区で検出した。北部は調査区外に至る。検出部は東西径1.3m、南北径1m以上、深さ0.1mを測る土坑である。平面は検出部で半椭円形を呈す。断面は皿状形を成す。堆積土は

灰黄色シルト混じり粘土の單一層である。

遺物は出土していないが、層位的にみて古墳時代前期に比定されると推測する。

S K 52

24-1-l地区で検出した。北部の一部は調査区外に至る。検出部は長径2m以上、短径0.9m、深さ0.32mを測る土坑である。平面は隅丸長方形を呈す。断面は逆台形を成す。堆積土は暗茶灰色シルト混じり粘土・灰褐色シルト混じり粘土に分かれる(第33図)。

遺物は布留式古相に類似する樂等の上器の細片をごく少量出土した。

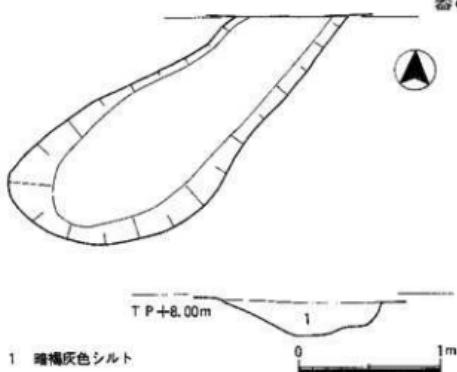
S K 53

24-1-l地区で検出した。北部の一部は調査区外に至る。検出部は長径1.9m、短径0.9m、深さ0.25mを測る土坑である。平面は隅丸長方形を呈す。断面は逆台形を成す。堆積土は暗褐灰色シルトの單一層である(第34図)。

遺物は細片化した布留式土器と腐敗した木片1点を出土した。



第33図 24-1-l地区 S K 52断面図



第34図 24-1-l地区 S K 53断面図

落ち込み状遺構

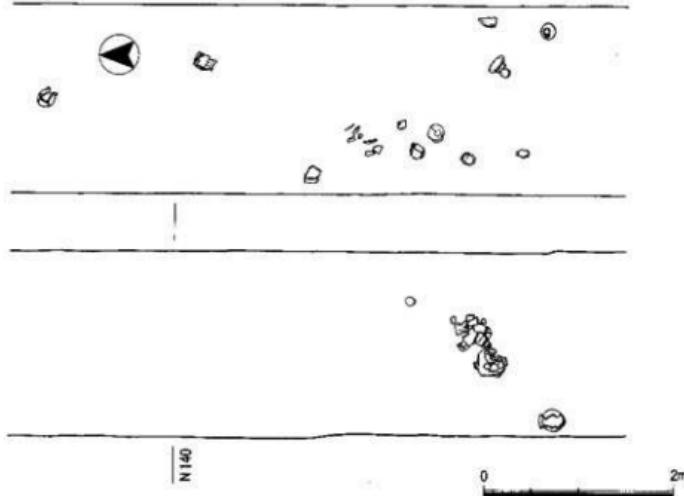
落ち込み26

26a～c地区・24-1a地区の一部・24-2c地区の一部で検出した。東西部・北部は共に調査区外に至る。検出部は東西径10m以上、南北径30m以上、深さ1mを測る落ち込み状遺構である。平断面形は明確でないが、弥生時代後期に比定される河川1の埋没して堆積した疊砂土層上の堆积みに自然堆積したものと思われる。堆积土は黄灰色シルト・黄褐色粘土混じりシルト・灰黄色シルト混じり粘土・暗灰黄色シルト混じり粘土・乳灰色粗砂・青灰色シルト・灰青色シルト・灰茶色粘土で構成している(第35図)。

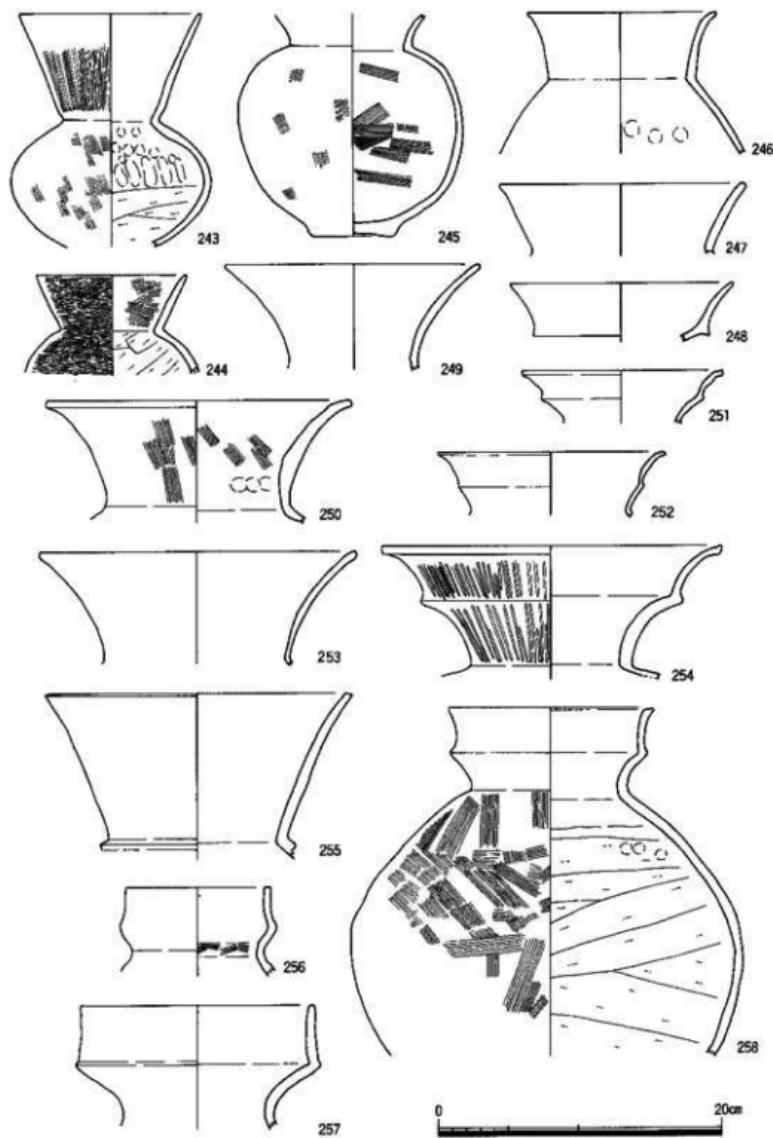
出土遺物

遺物はすべて流れ込みと思われ、堆积土内の中層に浮いた状態で布留式の時期に類似する土器と上層で古墳時代中期に比定される古式須恵器が出土した。

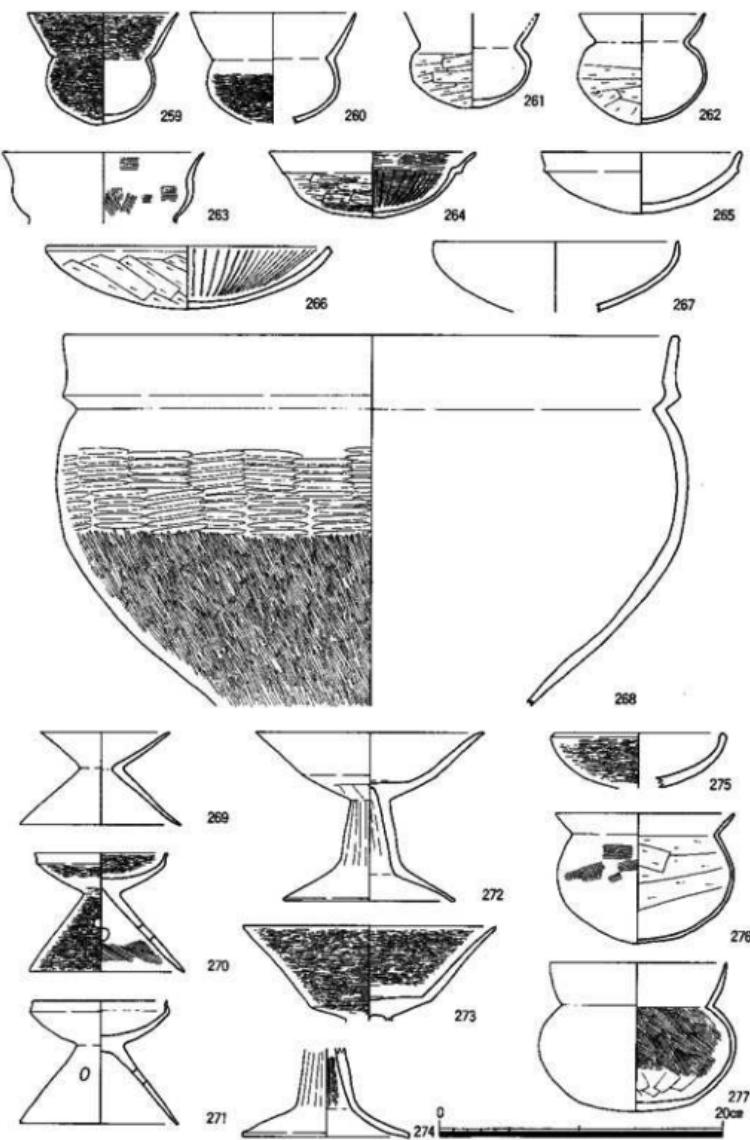
布留式土器は壺(243～258)・小型丸底壺(259～262)・鉢(263～268)・器台(269～271)・高杯(272～275)・小型甕(276・277)・庄内式甕(278)・畿内第V様式系甕(284～286)・布留式甕(287～301)・吉備地方の酒津式系甕(302)・その他の甕(279～283)等である。古式須恵器は鉢(303)・大型器台(304)等である(第36図～第39図)。



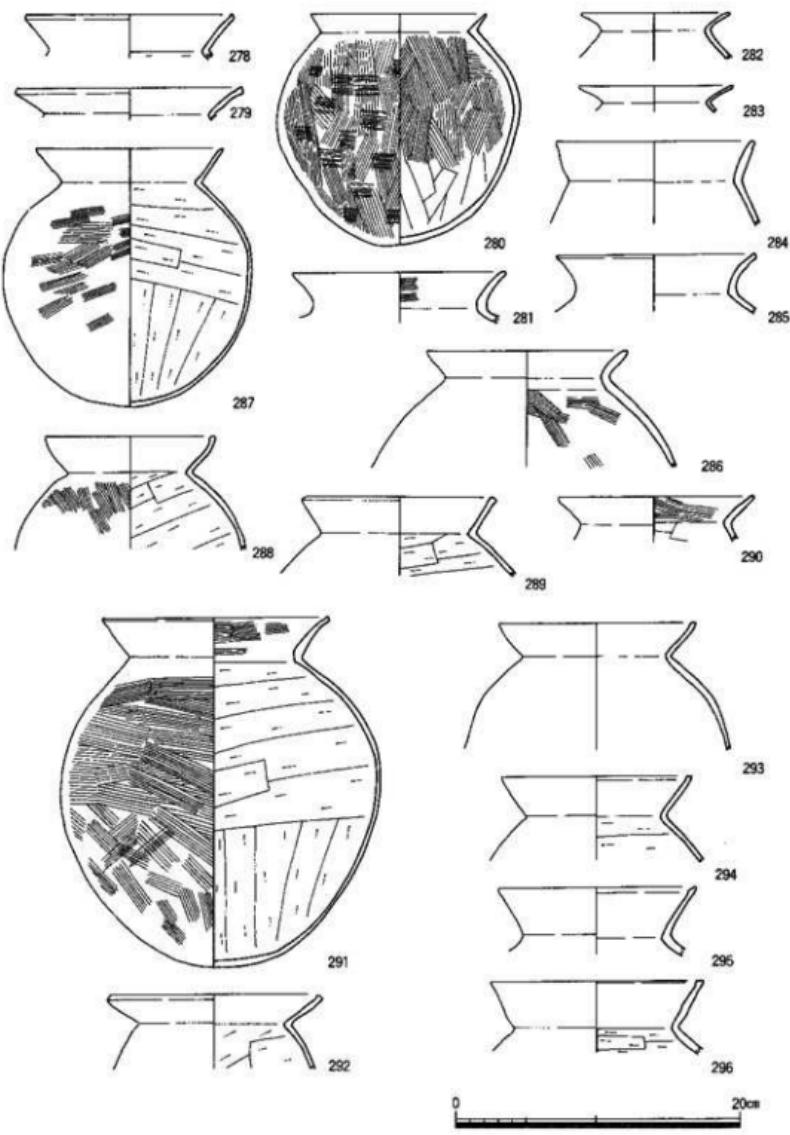
第35図 26a～c地区落ち込み26土器平面図



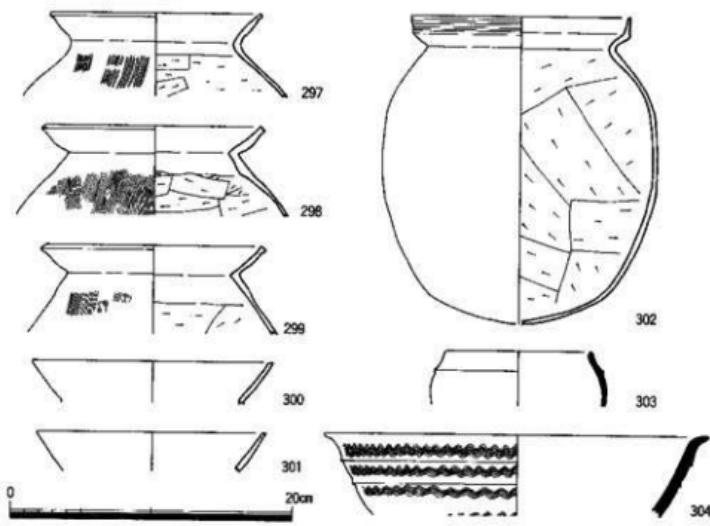
第36図 26a～c 地区落ち込み26出土遺物実測図1



第37図 26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図2



第38図 26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図3



第39図 26a~c地区落ち込み26出土遺物実測図4

ピット(S.P.)

S.P.129~S.P.133・S.P.138~S.P.140

この時期に比定されるピットは8個を数える。検出地区は24-11~m地区・28m地区である。規模は径0.25~0.65m、深さ0.2~0.3mを測る。平面は円形及び楕円形を呈す。断面は逆台形及びU字形を成す。堆積土は暗茶灰色シルト混じり粘土又は暗灰褐色砂混じり粘土の單一層である。これらのピットは住居址に伴う柱穴跡と若干異なるものと考える(第2表)。

第2表 古墳時代前期のピット一覧表

地 区	遺構番号	径(cm)	深さ(cm)	平面形	断面形	堆 積 土	備 考
25 I	S.P.129					暗茶灰色シルト混じり粘土	
24-1 m	S.P.130	48.0	8.6~9.0	円 形	逆 台 形	暗茶灰色シルト混じり粘土	
24-1 n	S.P.131	29.0	6.2	円 形	楕 状 形	暗茶灰色シルト混じり粘土	
24-1 n	S.P.132	40.0~66.0	2.7~4.0	楕 圆 形	逆 台 形	暗茶灰色シルト混じり粘土	
24-1 n	S.P.133	23.0	6.5	円 形	楕 状 形	暗茶灰色シルト混じり粘土	
28 I	S.P.138	47.0	20.7~26.0	円 形	逆 台 形	暗灰褐色砂混じり粘土	
28 I	S.P.139	36.0	12.1~17.8	円 形	逆 台 形	暗灰褐色砂混じり粘土	
28 I	S.P.140	23.0~43.0	13.7~17.5	不 定 形	逆 台 形	暗灰褐色砂混じり粘土	

土器溜め (SW)

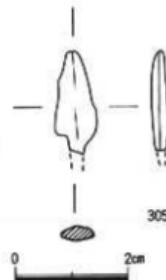
SW1

25c 地区で検出した。検出面はTP + 8.0m前後を測る褐灰色粘土の上面で、土坑状の窪みを有しない土器の集積である。土器は径0.6~1mを測る平面梢円形で、断面は高さ0.15mを測り、やや山形状に盛り上がっている。これらの土器はすべて細片化していて、使用不能になった土器を廃棄したのではないかと思われる(第41図)。

遺物はコンテナにして1杯分で、ほとんどが庄内式甕(321~328)である。その他は壺(306)・有孔鉢(307)・最内第V様式系甕(308~320)と長さ3.2cm以上、重さ3.2gを測る銅鏡(305)1点を出土した(第40図・第42図)。



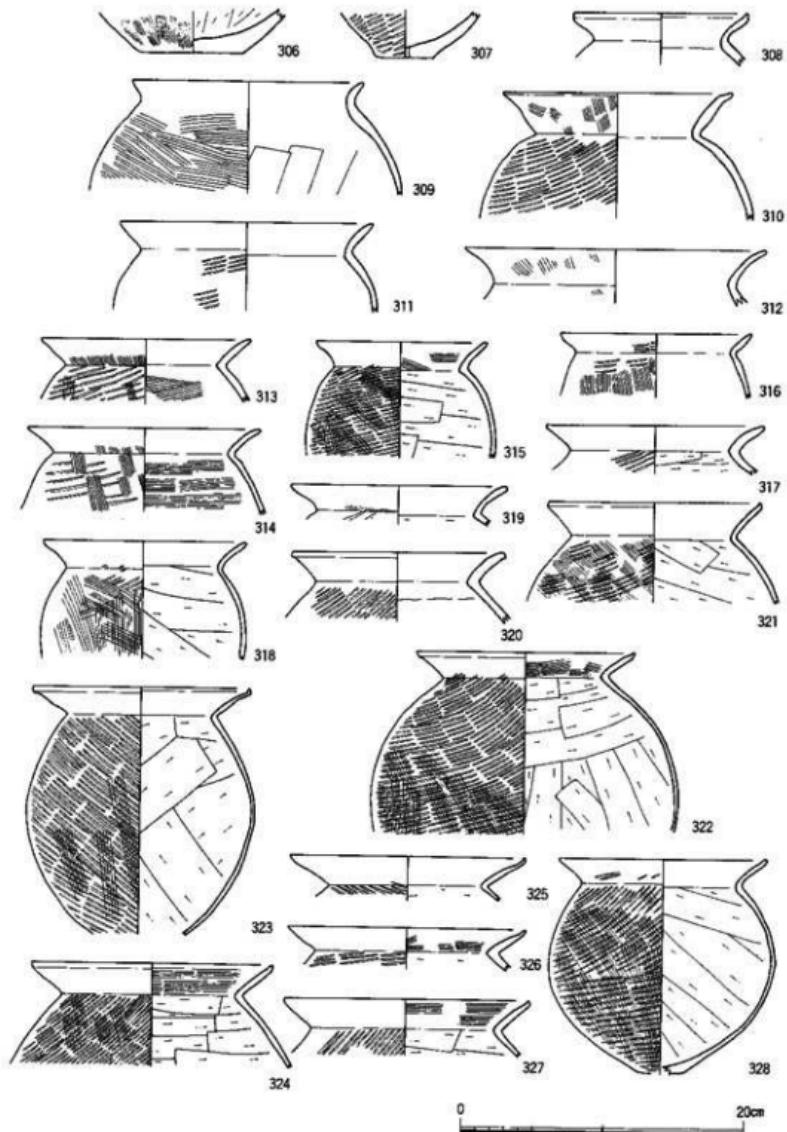
写真1 25c地区SW1銅鏡



第40図 25c地区 SW1出土
銅鏡実測図



第41図 25c地区 SW1土器平面図



第42図 25c地区 SW1 出土遺物実測図

溝

S D 146

23n 地区で検出した。検出部は幅0.6~0.8m、深さ0.2mを測る溝である。方向は南東一北西の方向で調査区外に至る。断面は皿状形を呈し、弥生時代後期に比定される落ち込み27の堆積土を切り込んでいる。堆積土は黒茶褐色粘土の單一層である。

遺物は古墳時代前期に比定される土器片をごく少量出土した。

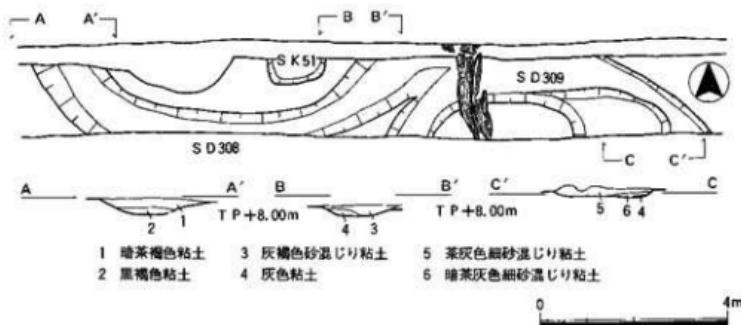
S D 308

24-1j 地区で検出した。東部は S D 309 と切り合う関係にあり、南部と北部は調査区外に至る。検出部は幅0.8~1.5m、深さ0.2~0.3mを測る溝である。平面は北を主軸として円弧を描く。断面は皿状形を成す。この溝は S D 309 の接点に木片（腐敗しているために、加工した痕跡はない）が置かれたような状態で検出した。堆積土は褐灰色粗砂混じり粘土の單一層である。この溝の性格は墳丘の高まりや主体部等の検出が認められない。また限られた調査区で全景を確認していないなどがあるが、北方で溝が廻らした方形周溝墓の可能性が強いのではないかと考える。

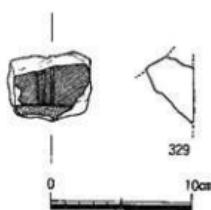
遺物は畿内第V様式系の甕・布留式甕等の土器片をごく少量出土した程度である。

S D 309

24-1k 地区で検出した。西部は S D 308 と切り合う関係にあり、北部の一部と南部は調査区外に至る。検出部は幅0.8~3m、深さ0.1~0.25mを測る溝である。平面は南を主軸として円弧を描く。断面は皿状形を成す。この溝は S D 308 で述べたように木片が横たわった状態で検出している。堆積土は暗灰褐色砂混じり粘土の單一層である。この溝の性格は S D 308 と同様に墳丘の高まりや主体部の検出等はないが、調査区外の南部で溝が廻る方形周溝墓の可能性がある。

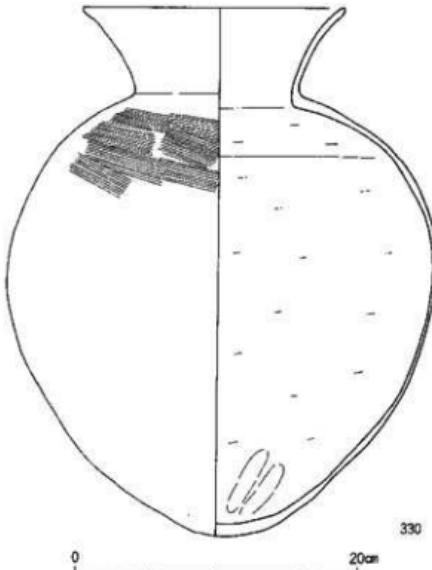


第43図 24-1 j + k 地区 S D 308・S D 309 平断面図

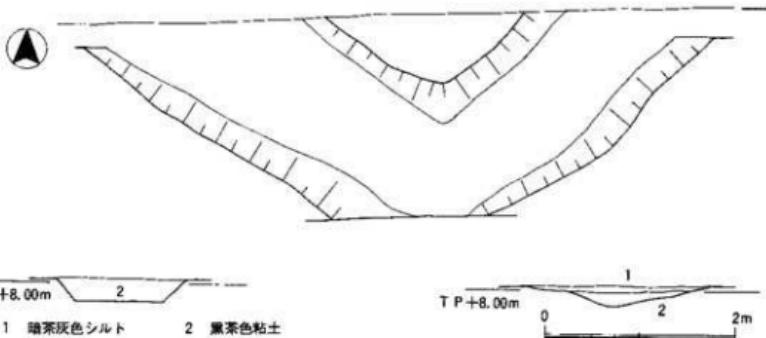


第44図 24-1 k 地区 S D 309
出土遺物実測図

遺物は畿内第V様式系の甕・布留式甕等の上器細片をごく少量出土した。また、上面付近から流れ込みで混入したと思われる形象埴輪の小片(329)1点を出土した(第44図)。



第45図 24-1 n 地区 S D 310出土遺物実測図



第46図 24-1 n 地区 S D 310平面面図

またこの溝は墳丘の高まりや主体部の検出はないが、コーナー部の基底面より供獻土器かと思われる土器が土圧によってへしゃがった状態で出土していることから、北方に溝が廻っている方形周溝墓ではないかと推察される（第46図）。

遺物は供獻土器かと思われる壺（330）1点・布留式甕等の細片をごく少量出土した（第45図）。

S D 311

25c 地区で検出した。検出部は幅1.1～2.1m、深さ0.3mを測る溝状遺構である。方向は南西～北東の方向を指す。南西部は途切れ、北東部は調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈す。堆積土は暗茶灰色砂混じり粘土・黒灰色粘土の2層に分かれれる。下層はレンズ状の堆積がみられ、当時は一定期間の帯水状態であったことを示すものと推察される。

遺物は布留式古相に比定される土師器の細片をごく少量出土した。器種は壺・甕等である。

S D 312

25d 地区で検出した。検出部は幅0.9～0.2m、深さ0.3mを測る溝状遺構である。方向は南東～北西の方向を指す。北西部は途切れ、南東部は調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈す。堆積土は暗茶灰色砂混じり粘土・黒灰色粘土の2層に分かれれる。下層はS D 312と同様にレンズ状の堆積がみられ、一定期間の帯水状態であったことを示すものと推察される。

この遺構の性格を考える上でS D 311と関連づけると、西部のコーナー部に陸橋部を備えた方形周溝墓ではないかと推測される。しかし、S D 310と同様に限られた調査区内であり、墳丘の高まりや主体部の検出等が確認されていない。

遺物は布留式古相に類似する土師器の細片をごく少量出土した。器種は壺・甕等である。

S D 313

25h 地区で検出した。検出部は幅2.3m、深さ0.4mを測る溝状遺構である。方向は南西～北東の方向を指し調査区外に至る。断面は浅い掘り鉢状形を呈す。堆積土は黒茶色粗砂混じり粘土の單一層である。この溝は南西部に位置する東西トレンチの27地区では検出されなかった。

遺物は布留式古相に類似する土師器の細片をごく少量出土した。器種は壺・甕等である。

S D 314

25i 地区と一部27o 地区で検出した。検出部は幅2.4～3m、深さ0.86mを測る溝状遺構である。方向は東西方向を指し調査区外に至る。断面は掘り鉢状形を呈す。堆積土は上方から暗茶褐色粗砂混じり粘土・黒茶色粗砂混じり粘土・灰黄色粘土・青灰色粘土・灰色粘土の5層で構成されている。この遺構のベース面は弥生時代後期に比定される落ち込み28が埋没して堆積した上面より切り込まれている（第47図）。

遺物は東壁の上層より山陰地方の形態をもつ鼓形器台（340）の完形が1点出土した。中層よりは東海地方の形態をもつ壺（338）で、赤色顔料を塗布している。その他は布留式古相に類似

する壺(331~337)・鉢(339)・甕(342~346)等を出土した。下層は沈殿した植物遺体上面より完形で壺(332・333)・細片化した畿内第V様式系に類似する甕(341)等と薄く板状に加工した木製品(1001・1002)2点を出土した。

1001は長径23.5cm、短径16.4cm、厚み1.4cmを測る長方形の板状木製品である。各辺の端部付近には径0.3~0.4cmの円形を呈する穿孔が施されている。穿孔は長辺部2対の2箇所で間隔2cmと2箇所で間隔9cm・短辺部2箇所で間隔5cmとコーナー部の1箇所である。用途は不明である。材質は針葉樹に属すると思う。

1002は長径21.2cm(片端部は欠損する)、短径17.8cm、厚み1.5cmを測る長方形と思われる板状木製品である。この木製品には穿孔が認められない。用途は1001と同様に不明である。材質は針葉樹に属する(第49図~第51図)。

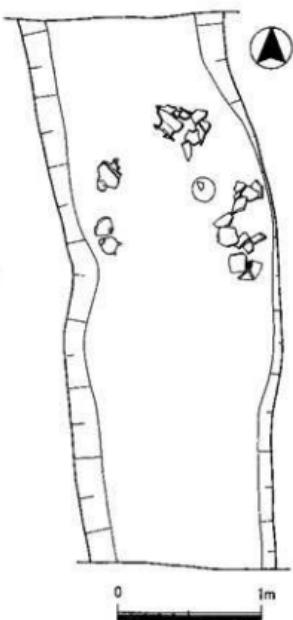
S D 315

28n地区で検出した。東部にS D 316が隣接している。検出部は幅1.3~1.5m、深さ0.2mを測る溝状遺構である。方向はほぼ南北方向を指し調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈す。堆積土は暗茶灰色粗砂混じり粘土・灰青色粘土の2層に分かれる(第48図)。

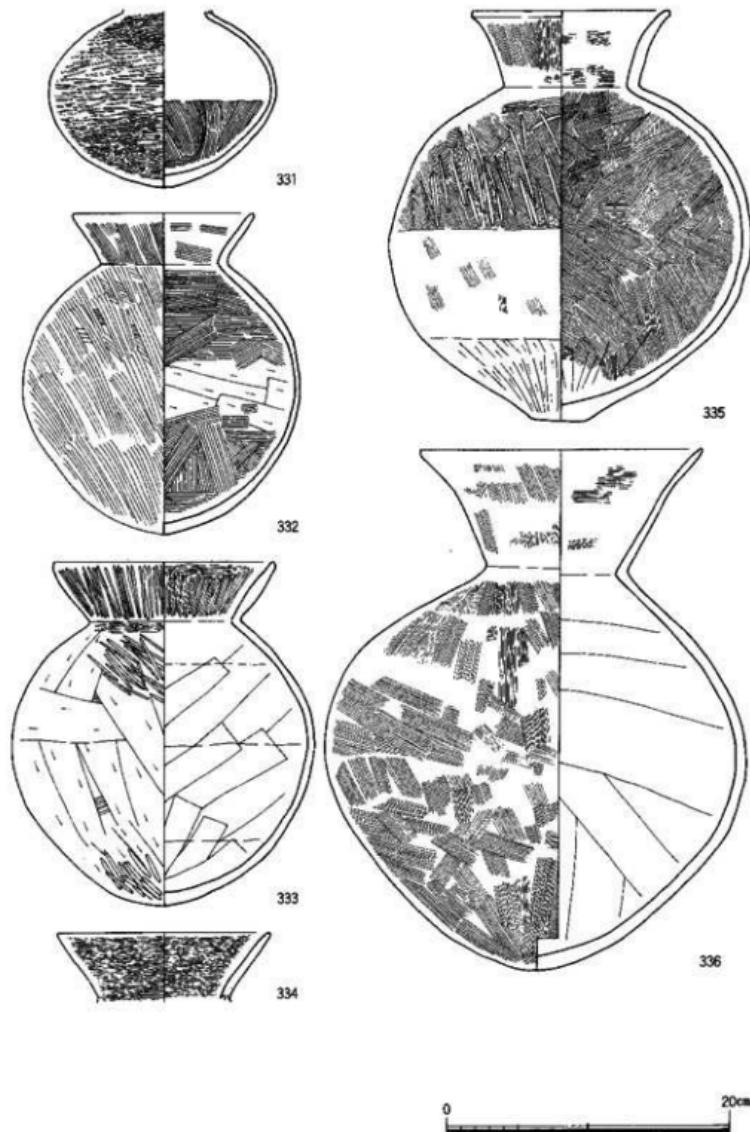
遺物は検出した溝状遺構の中央部に集中して出土した土器で、基底面にへばりついたような状態で検出した。土器は庄内式土器に類似する資料である。器種は壺(347~350)・有孔鉢(351)・畿内第V様式系の甕(352・353)・庄内式甕(354~358)等である。350の壺は体部中位に2次的の穿孔が1箇所認められる(第52図)。



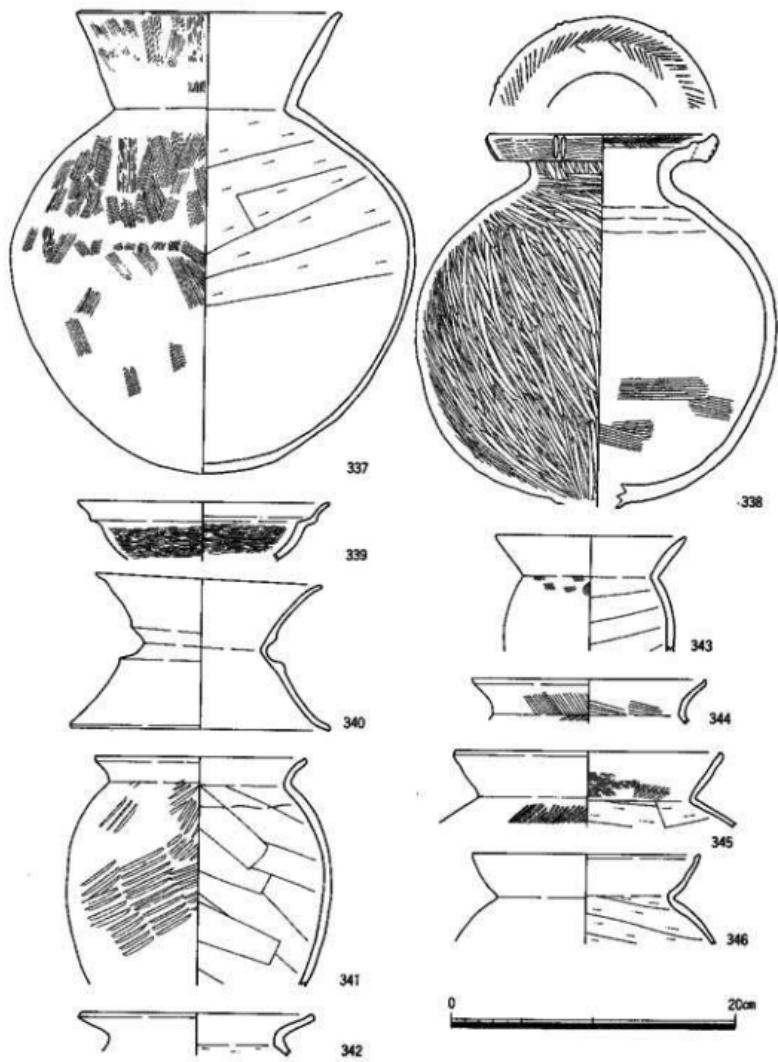
第47図 25i地区 S D 314断面図



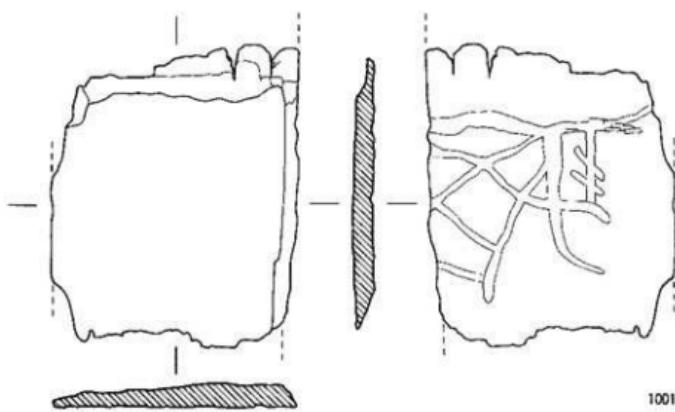
第48図 28n地区 S D 315土器平面図



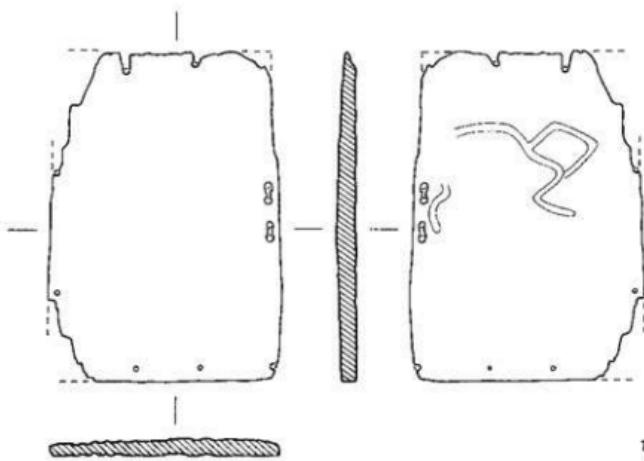
第49図 25 i 地区 S D 314出土遺物実測図 1



第50図 25 i 地区 S-D 314出土遺物実測図2



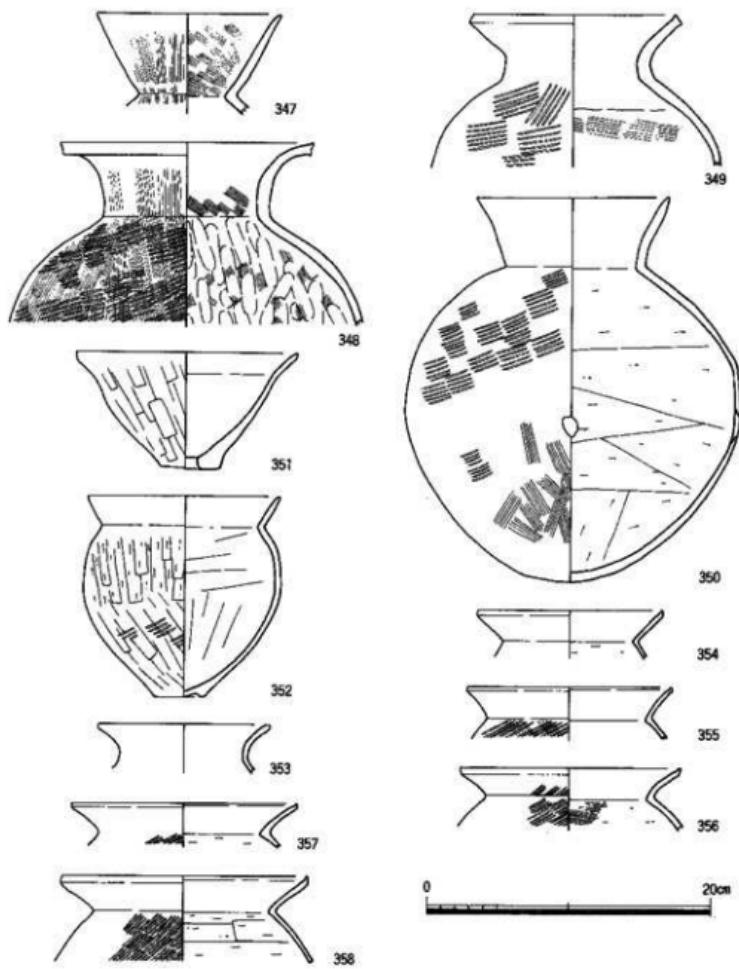
1001



1002



第51図 25 i 地区 S D 314出土木製品実測図



第52図 28n地区 S D 315出土遺物実測図

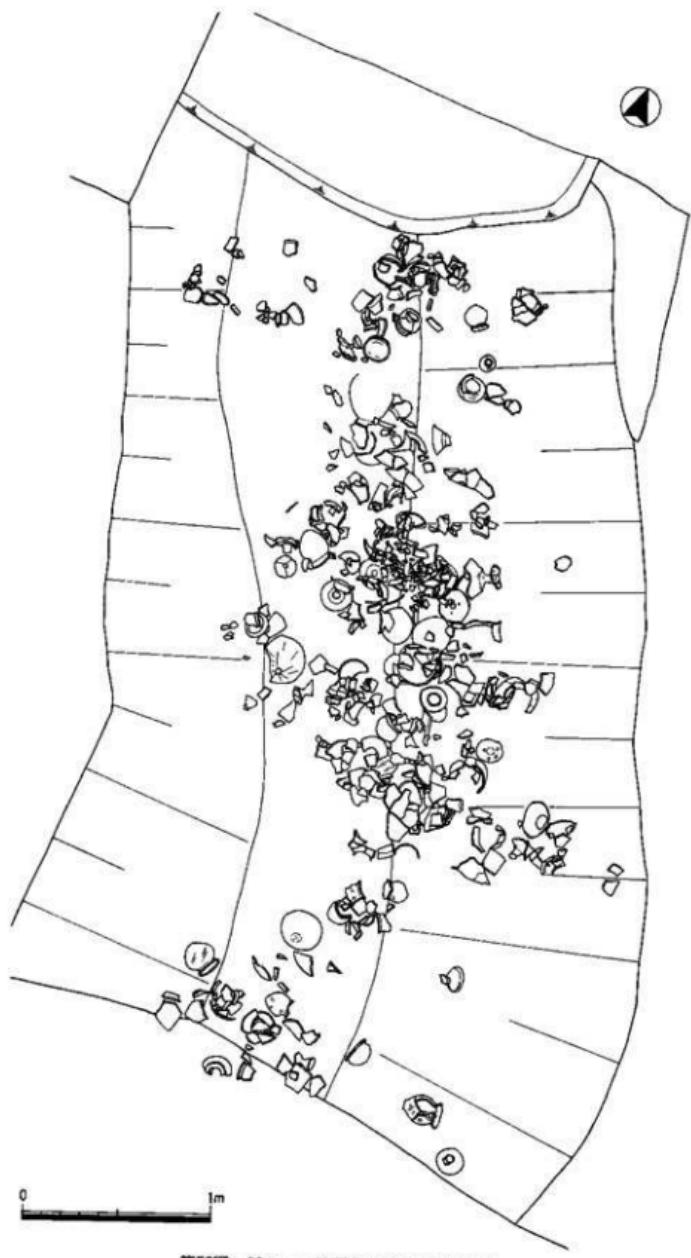
28n・o 地区で検出した。検出部は幅2.7~3.4m、深さ0.38~0.76mを測る溝状遺構である。南部と北部は約1.5mの拡張を行なったが、南北部は共に調査区外に至る。方向は南部拡張部ではほぼ南北方向を示した後、緩やかなカーブを描き北西方向(北を主軸としてN-30°-Wを指す)に至る。北部は現在の擾乱に因って切断されている。断面は浅い掘り鉢状形を呈し、東斜面は西斜面より緩やかな角度で傾斜している。基底面は南部と北部で約0.38mを測る高低差がみられ、当地形とは逆方向の南方に傾斜している。これは調査区が限られているため詳細は不明であるが、部分に落ち込んでいる箇所ではないかと考えられる。堆積土は上方から茶褐色砂混じり粘土・暗茶褐色粗砂混じり粘土・黄褐色細砂混じり粘土で構成されている(第53図)。

出土遺物

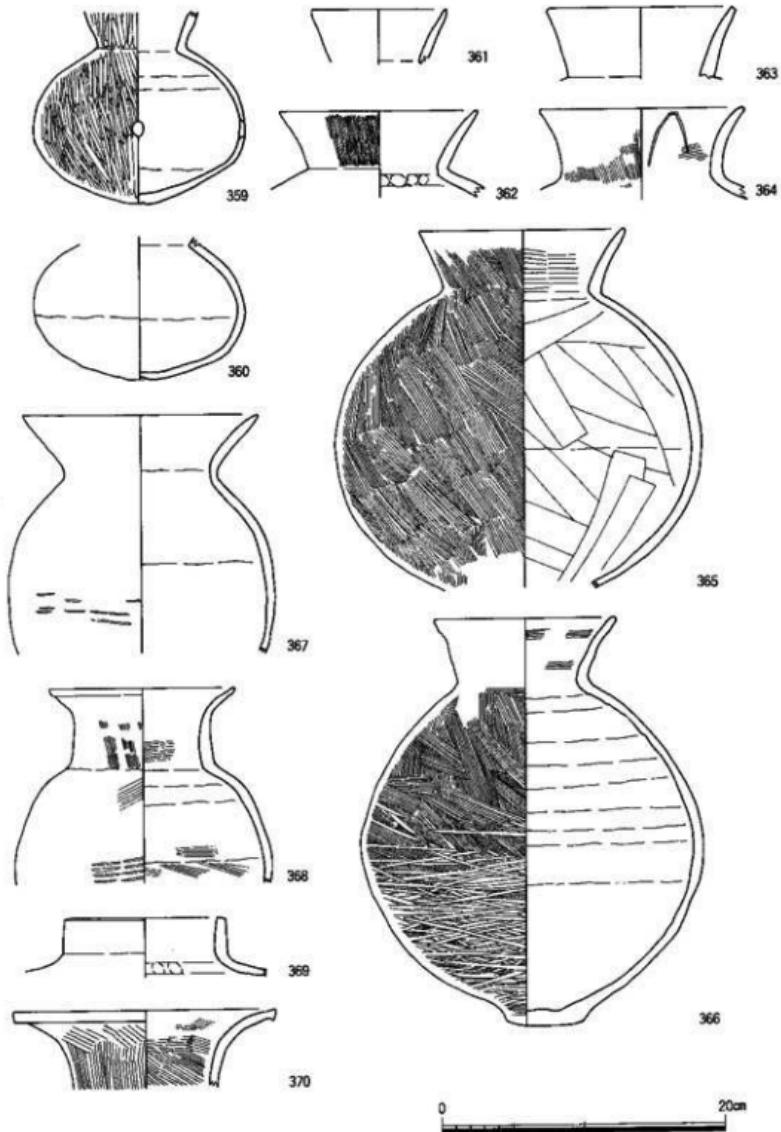
遺物の出土状況は、表土下0.6m(TP+8.4m)の奈良時代~鎌倉時代の遺構面上で一部の土器が露出していた。これより約0.1mを掘り下げた暗灰茶色粘土の上面でこの遺構の切り込み面を検出した。土器はこの遺構面より盛り上った状態であった。これを掘り下げると東側より投げ込まれたような状態で、東斜面上部より基底面まで何重にも積み重なり完形又は完形に近い土器も多く含まれていた。また、北部拡張部の東斜面上で検出した土器には、器台の坏部を庄内式壺の中に人為的に入れたものが2点(400と464・401と459)を検出した。これらの土器は完形で出土している。これらは単に棄棄したものとは考えにくく、何かの祭祀に関連するものではないかと考えられる。しかし、調査区の範囲が限られて、遺構の全景を知りうることできなかった。

出土した土器はすべて古墳時代前期で、庄内式に類似する資料である。出土量はコンテナ箱にして約40箱分を数え、実測できたものは437点である。器種は壺(451~797)を主体とし、壺(359~379)・鉢(380~396)・有孔鉢(397)・器台(398~411)・高坏(412~449)・製塩土器等で構成されている。土器の器種は壺347点で全体の78%を占め最も多く、次に高坏が38点で約8%、壺が21点で約6%・鉢が17点で約5%・器台が14点で約4%・製塩土器が1点で約0.1%の割合である。

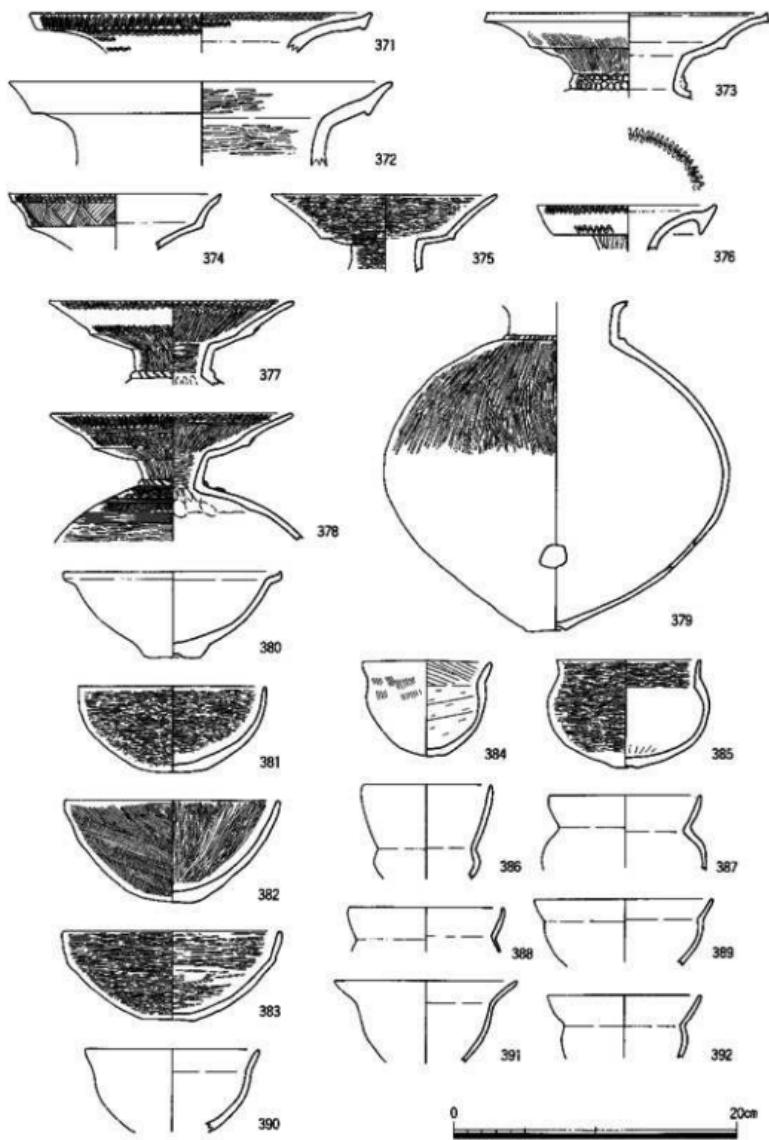
壺には畿内第V様式系・庄内式・他地域の壺の形態をもつものなどがある。畿内第V様式系の壺は底部の形態的特徴によって、突出する平底をもつもの(455~458・585)と突出しない小さな底み底(又は平底)をもつもの(459~493)の2つに分けることができる。庄内式壺(504~781)は最大径を中位又は上位にもつ体部や底部は尖り底の形態をもつものでやや古相のものではないかと思われる。他地域の壺(782~792)は東部瀬戸内地方にみられる壺(793)や岡山県吉備地方の酒津式の形式をもつ壺(795~797)などがみられる。また、他器種にも他地域と思われる土器が含まれている(第54図~第75図)。



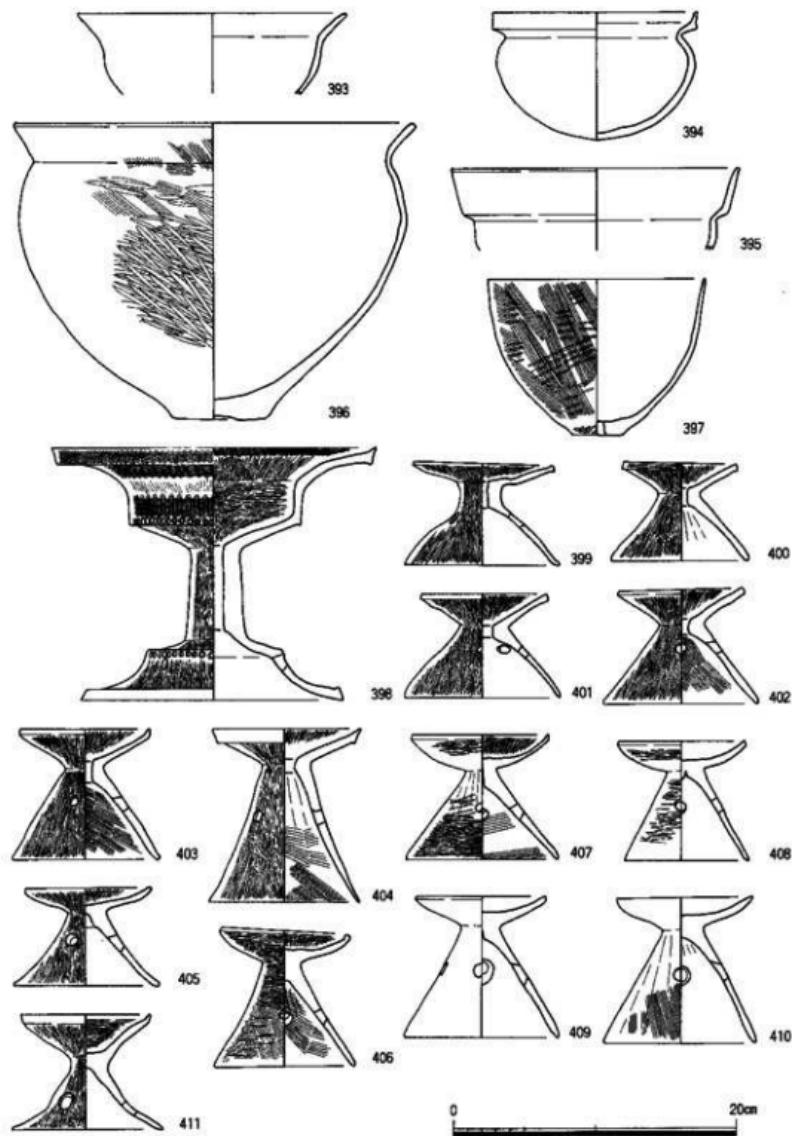
第53図 28n・o地区 S D 316土器平面図



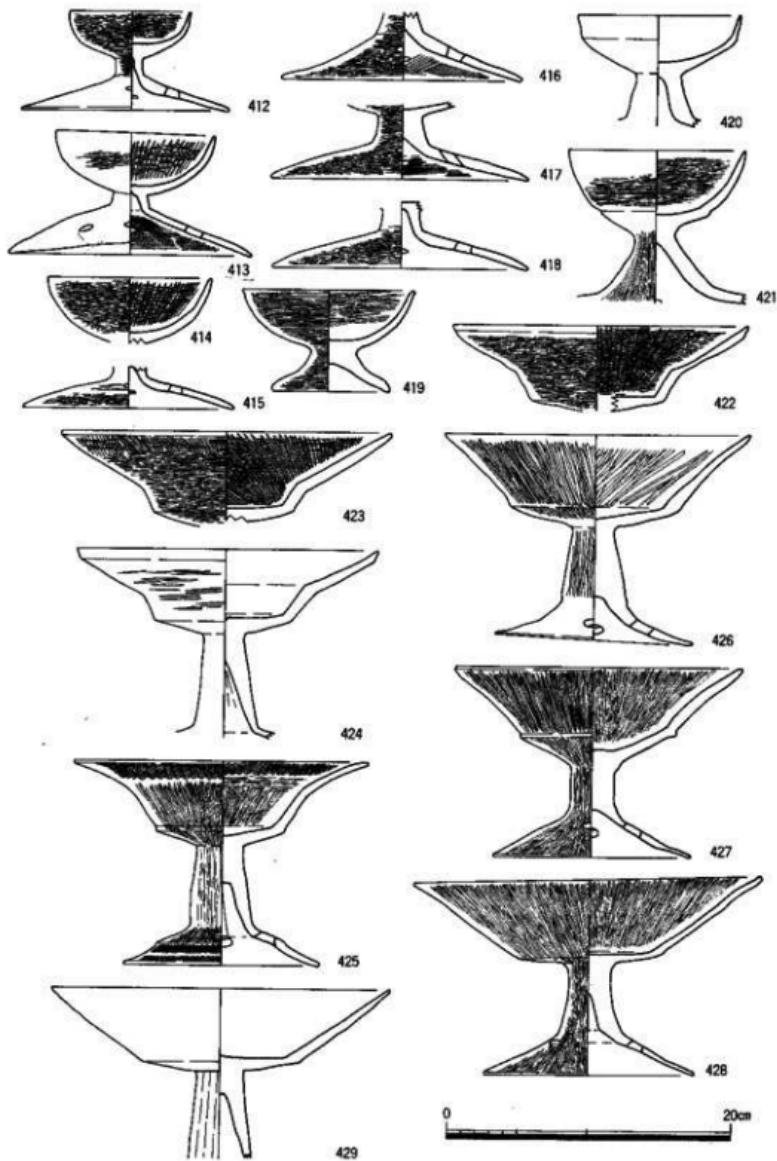
第54図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図1



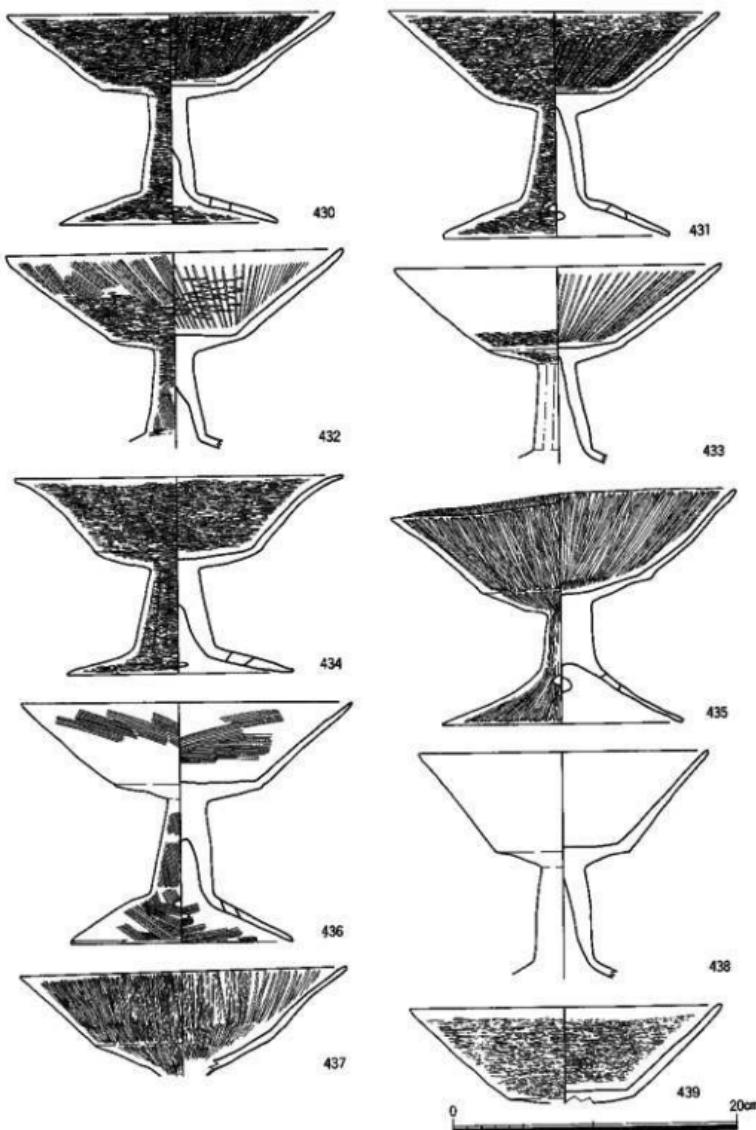
第55圖 28n・o地区 S D316出土遺物実測図2



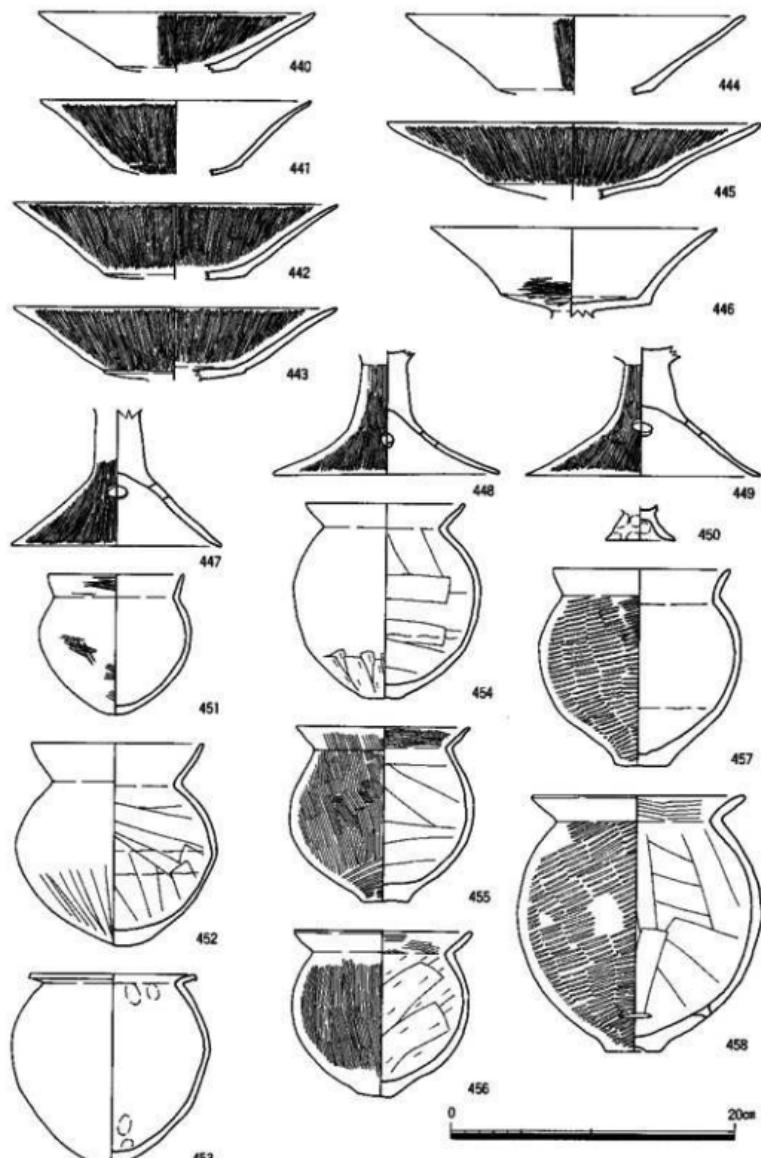
第56図 28n・o地区 S D316出土遺物実測図3



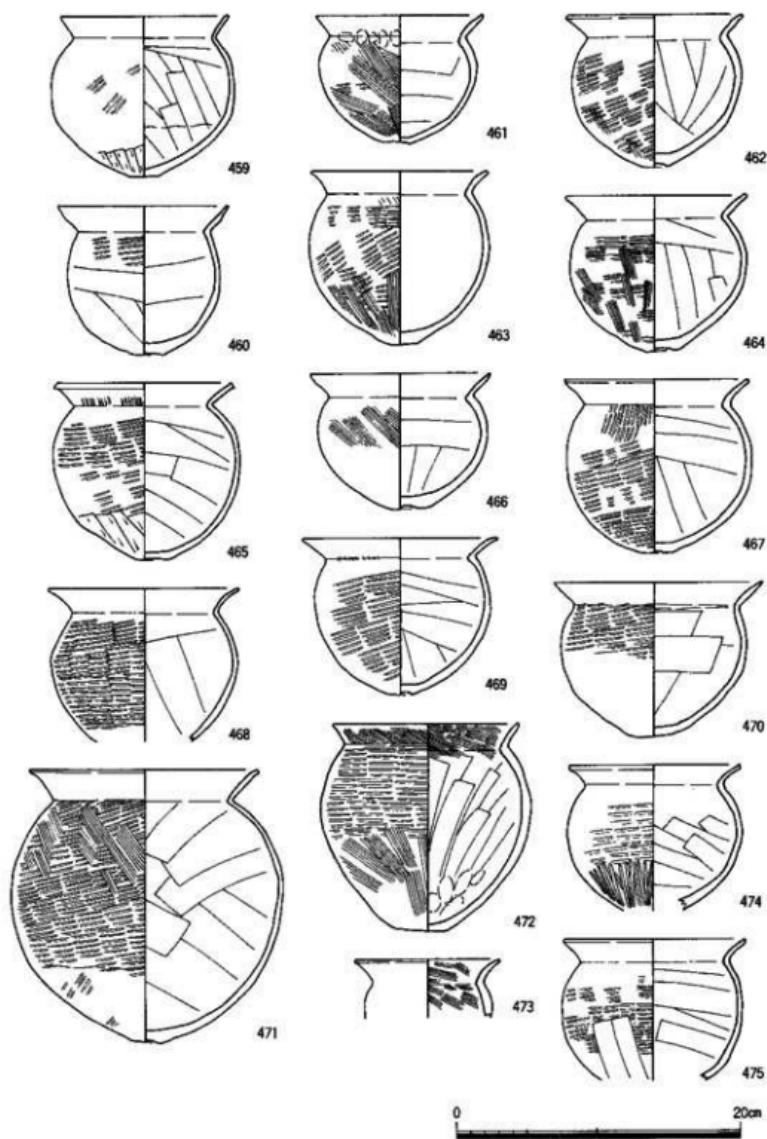
第57圖 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図4



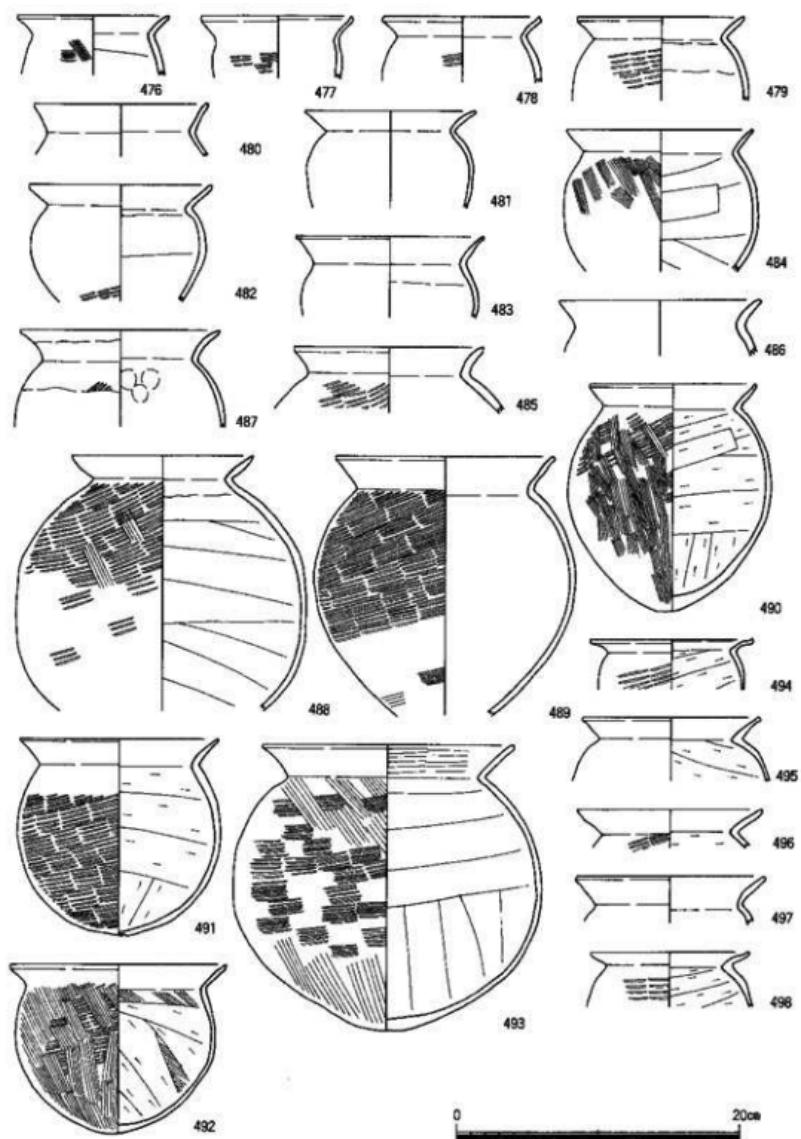
第58圖 28 n · o 地區 S D 316 出土遺物實測圖 5



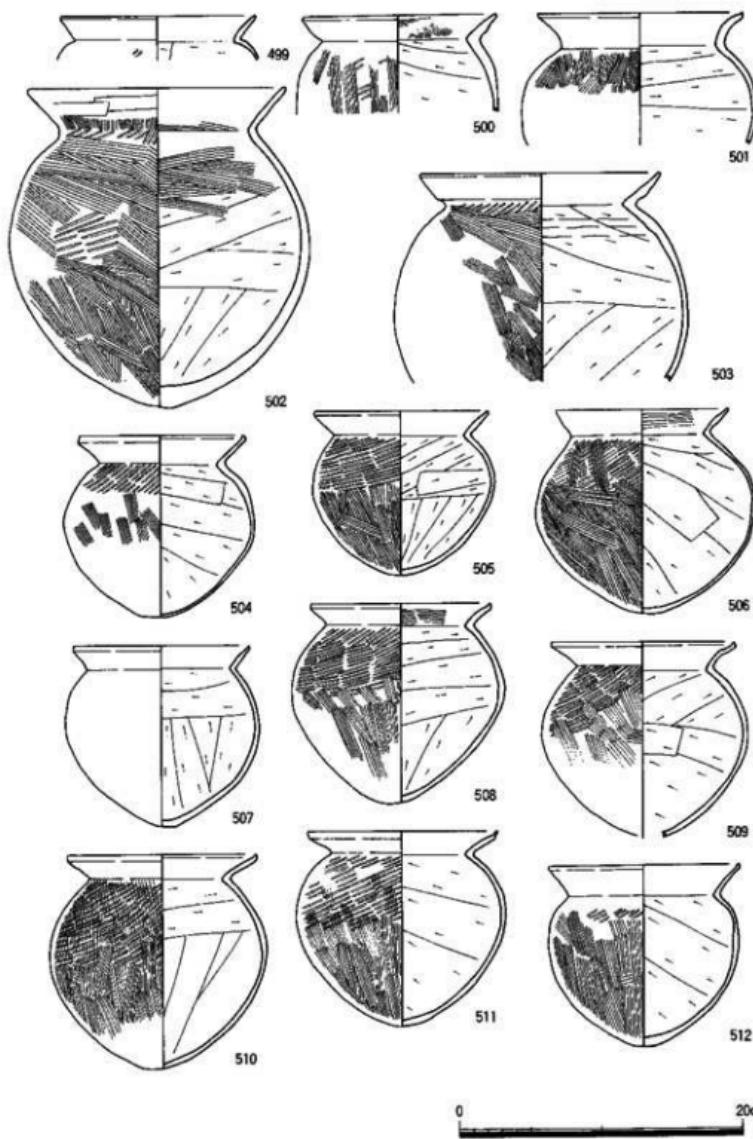
第59図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図 6



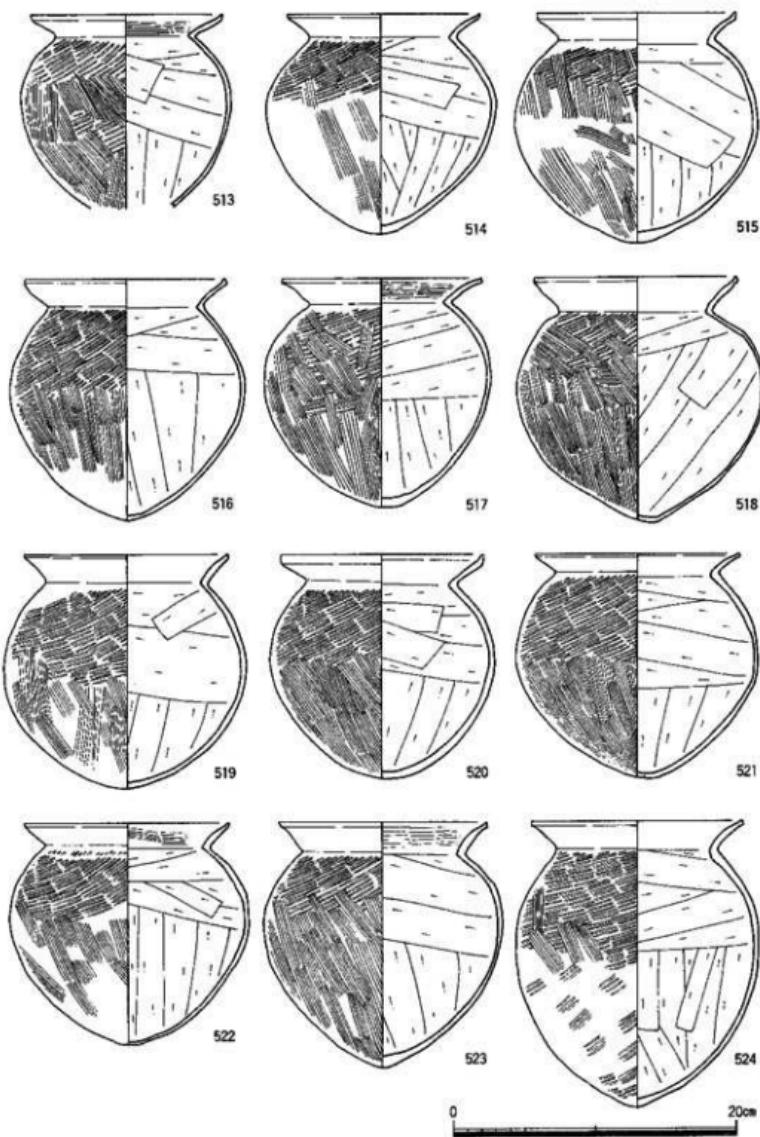
第60図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図7



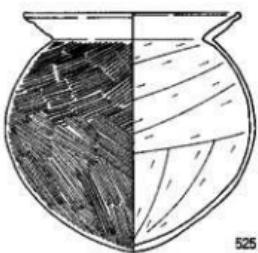
第61図 28 n・o地区 S D316出土遺物実測図8



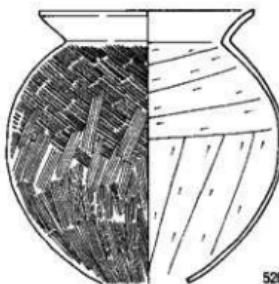
第62図 28n・o地区 S D316出土遺物実測図9



第63図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図10



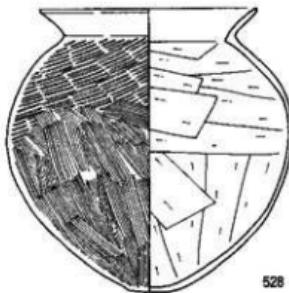
525



526



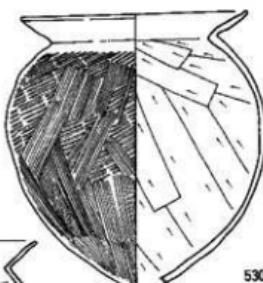
527



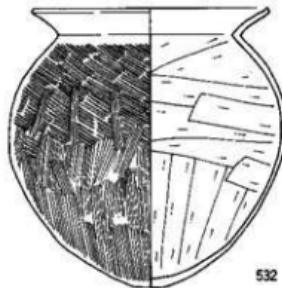
528



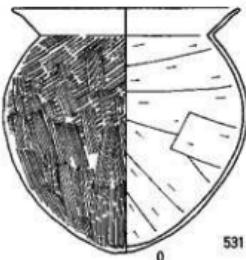
529



530



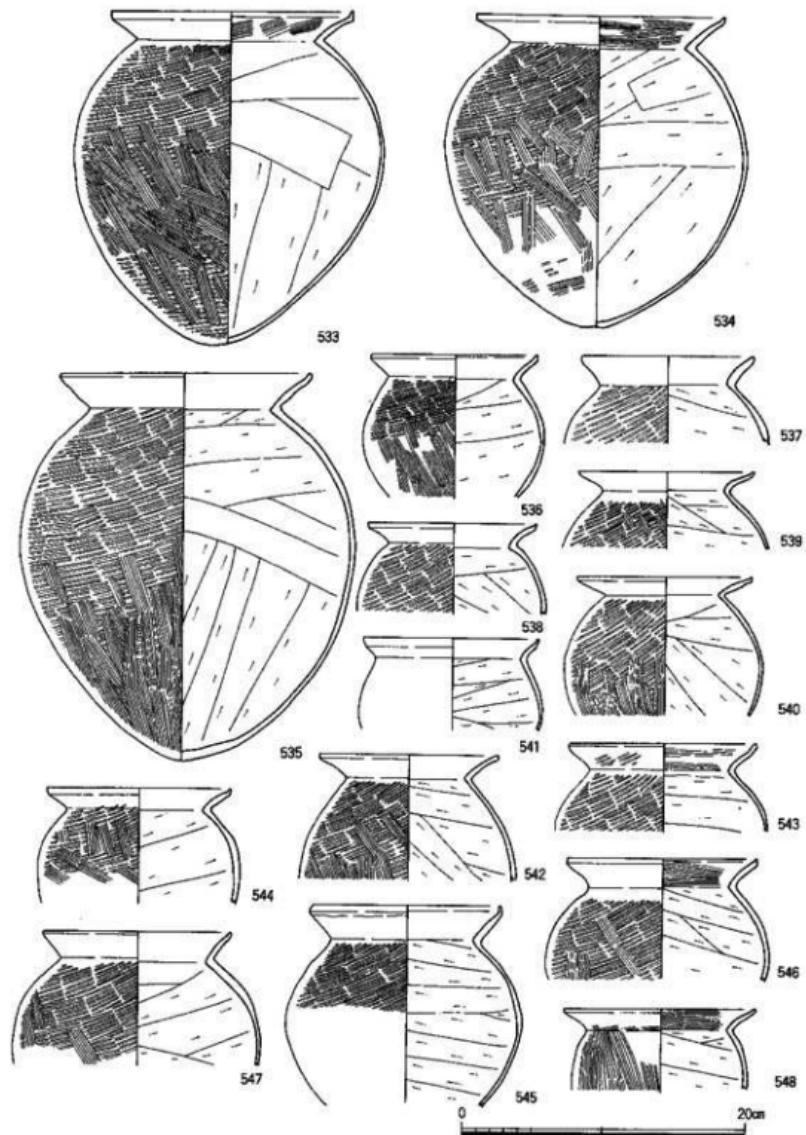
532



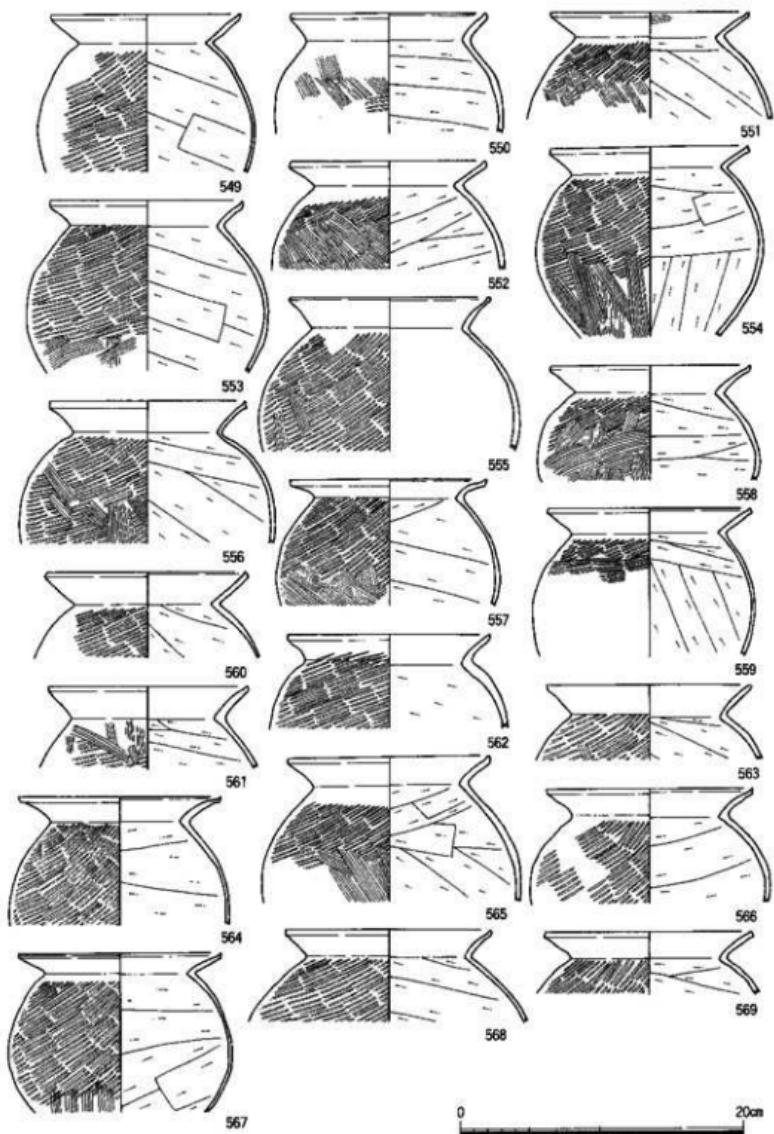
531



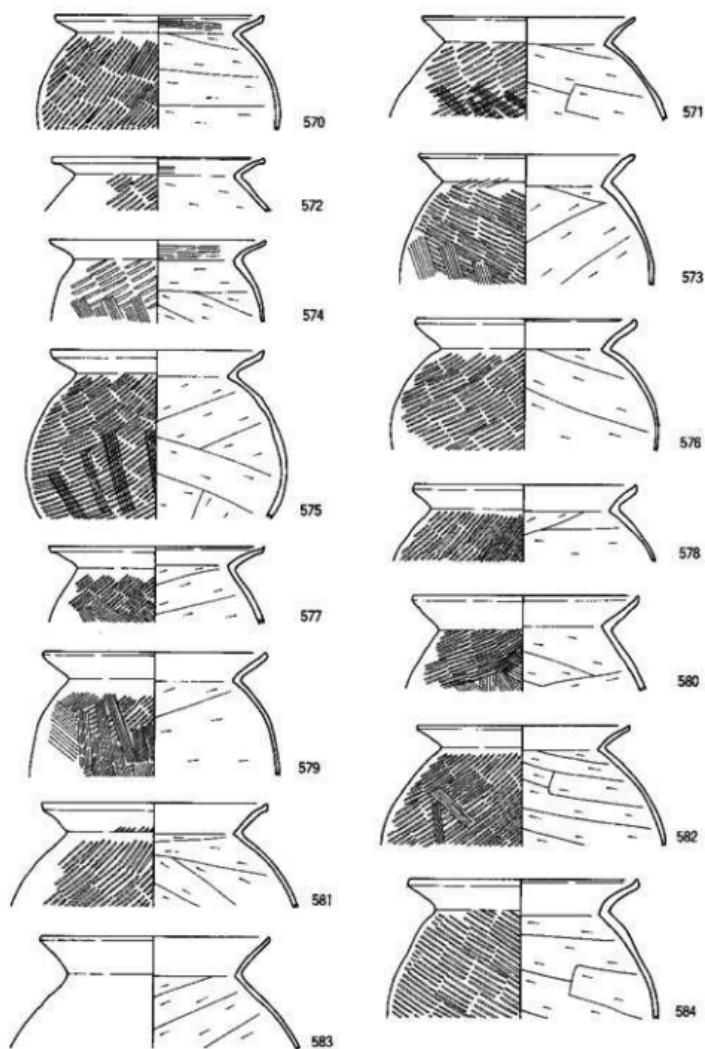
第64図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図11



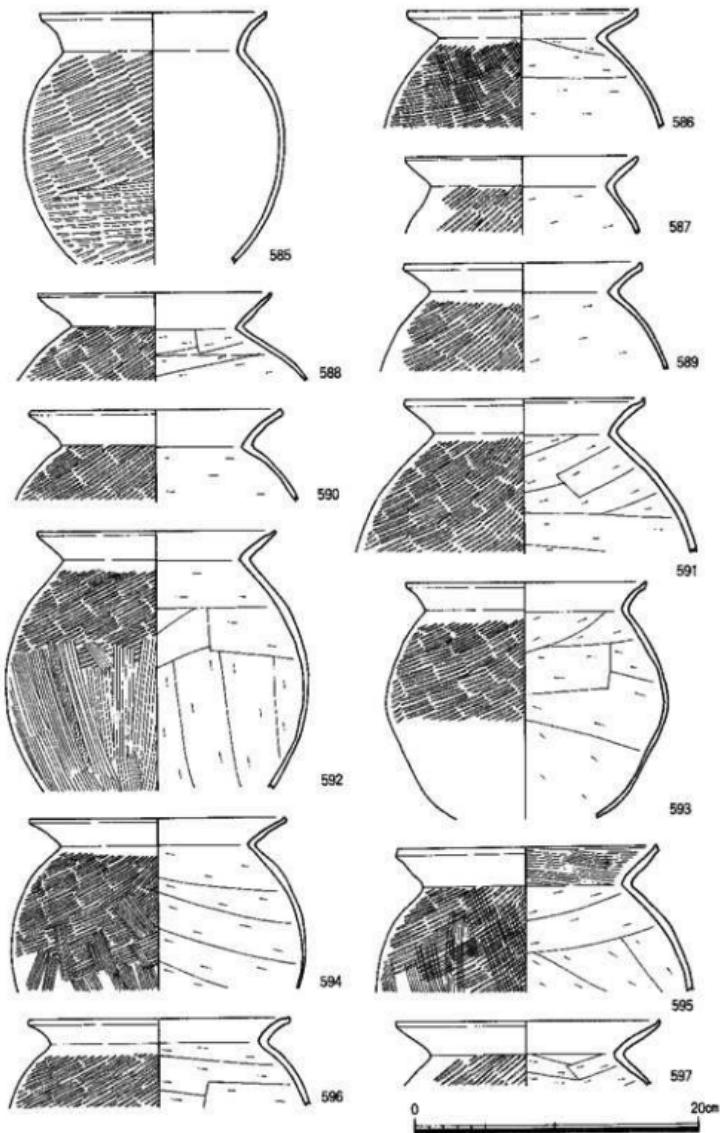
第65図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図12



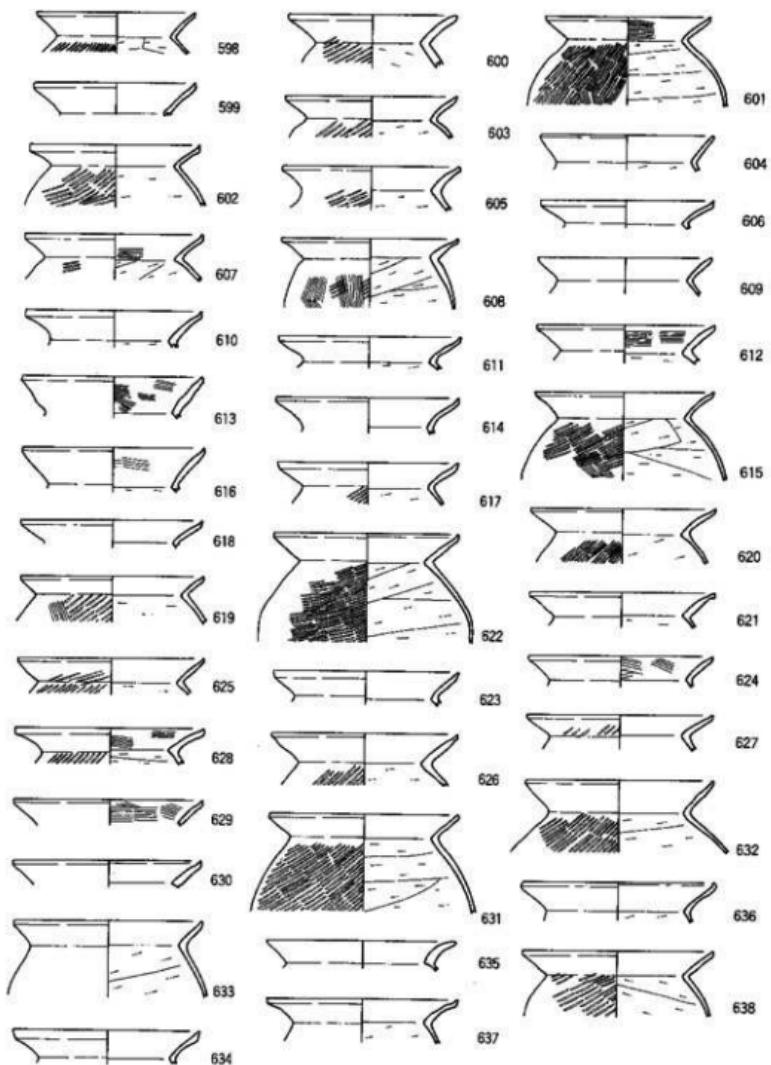
第66図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図13



第67図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図14

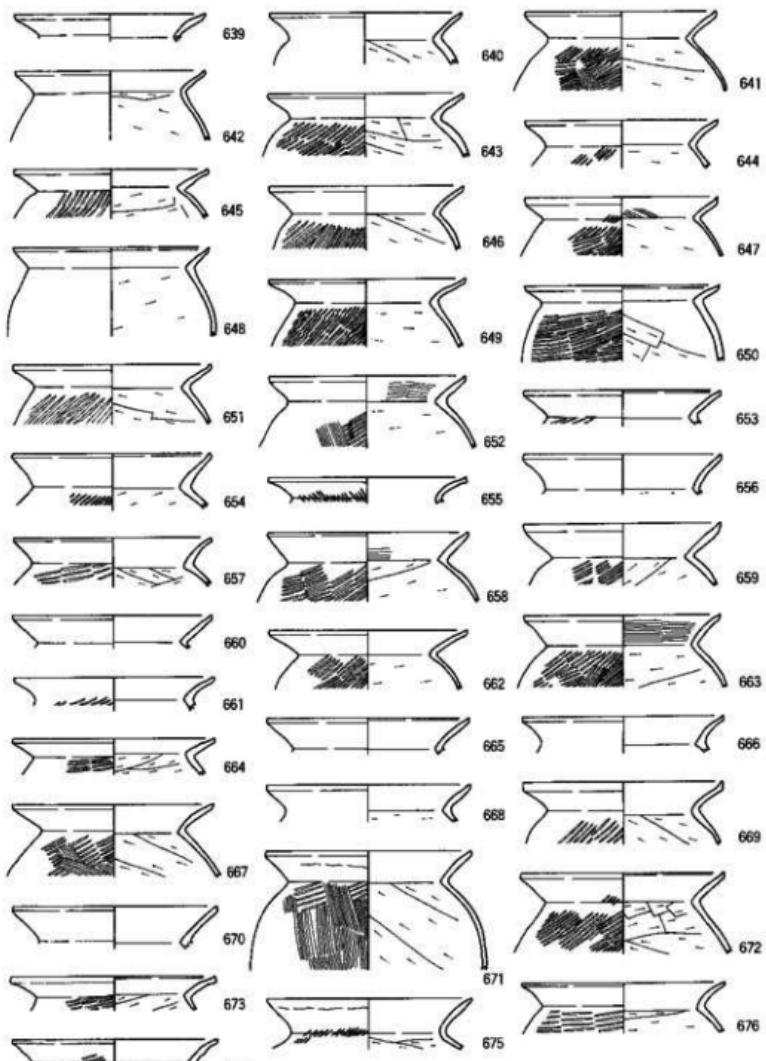


第68図 28n・o地区 S D316出土遺物実測図15

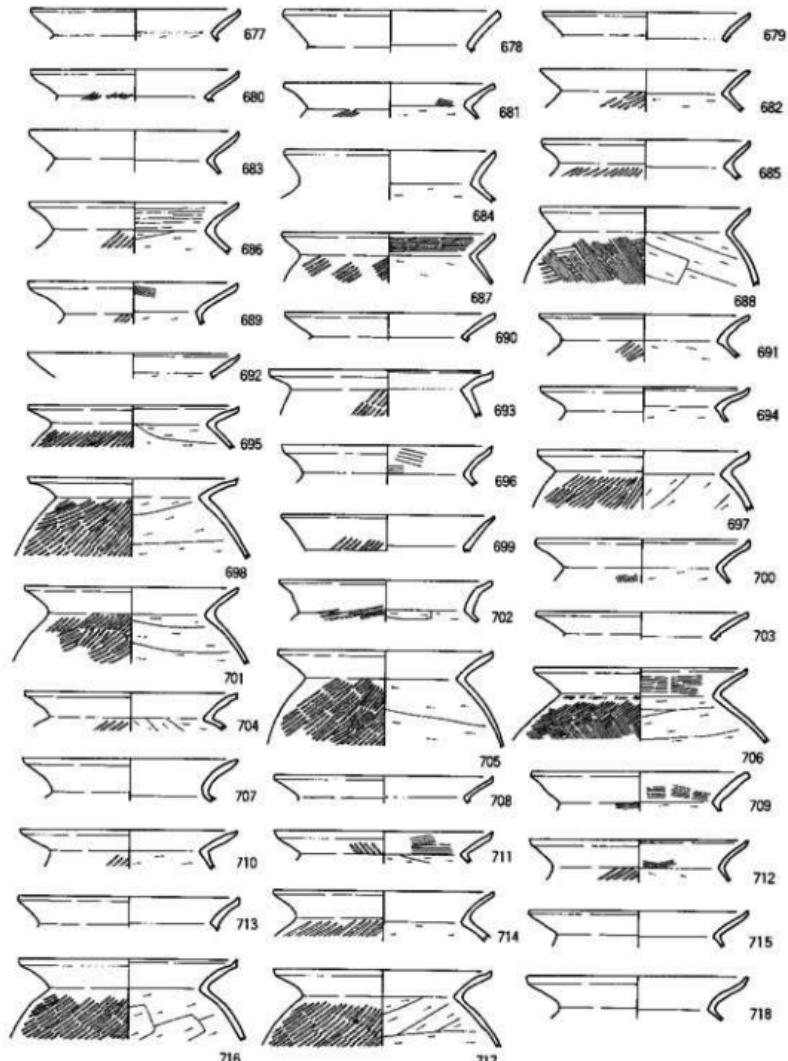


0 20cm

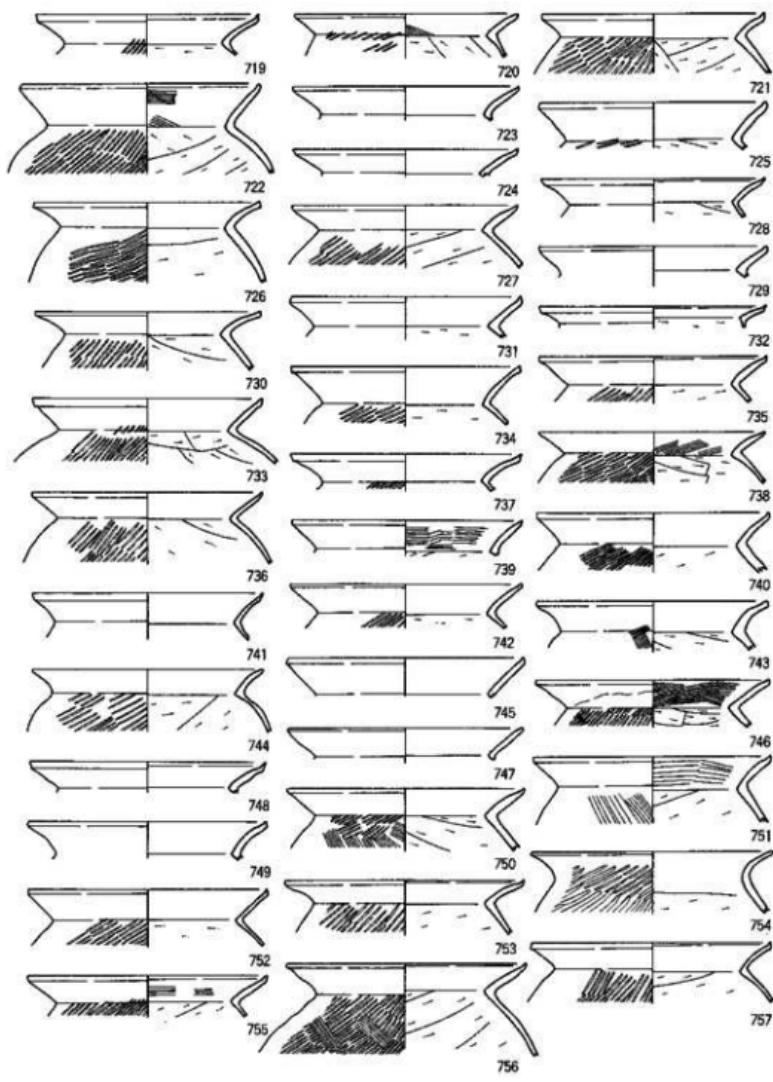
第69図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図16



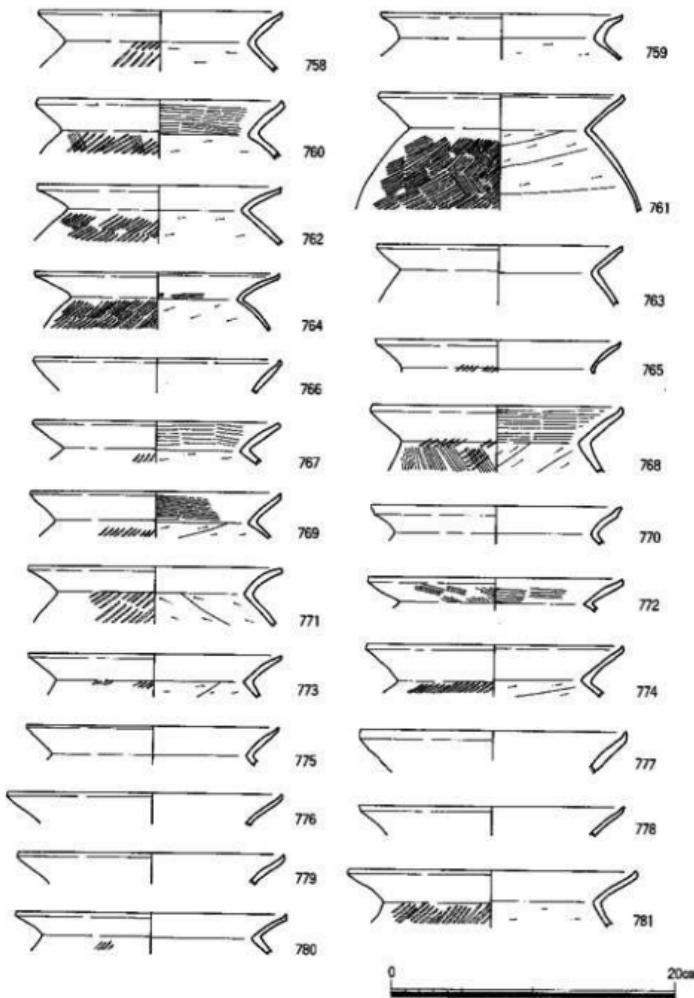
第70圖 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図17



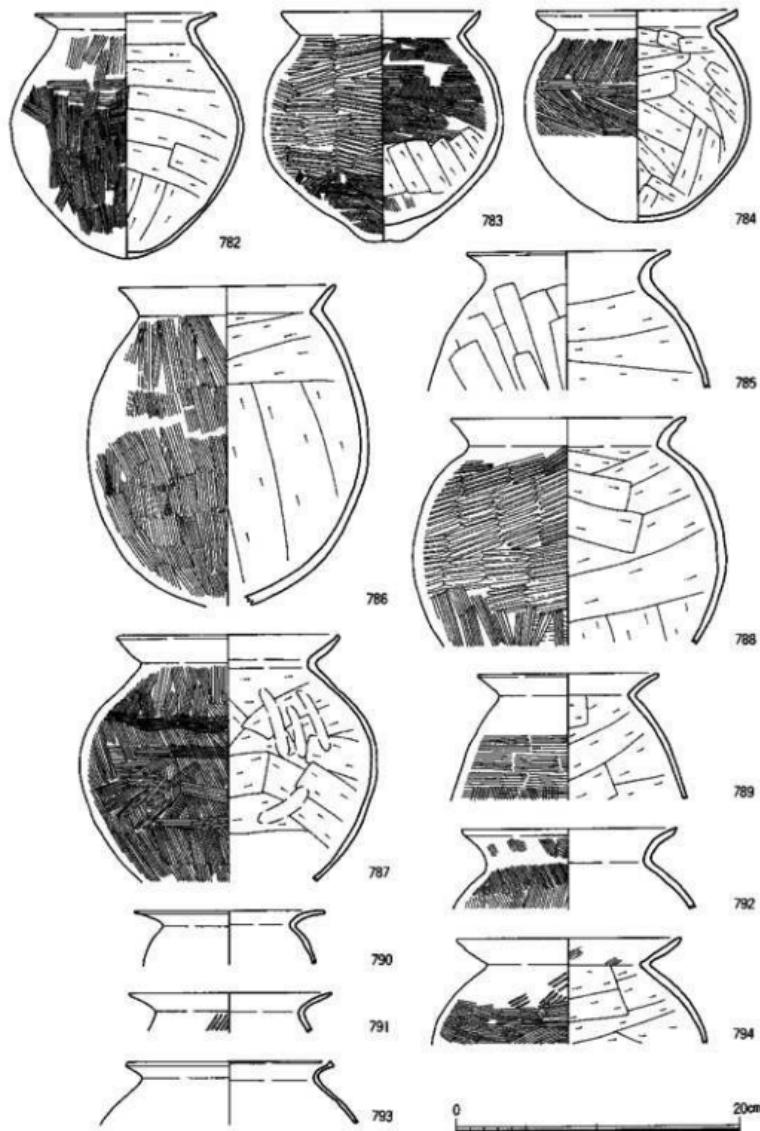
第71図 28n・o地区 S D316出土遺物実測図18



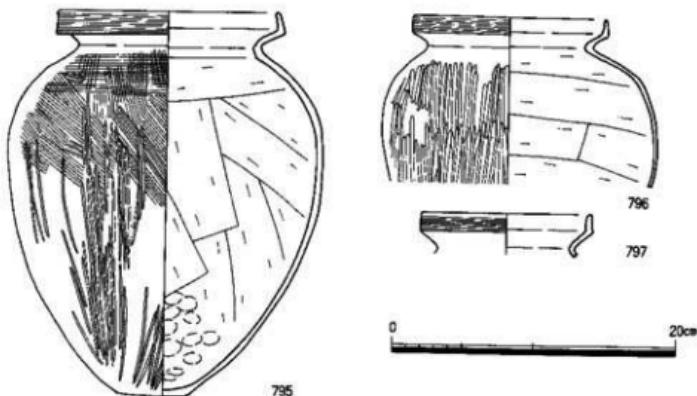
第72図 28 n・o地区 S D316出土遺物実測図19



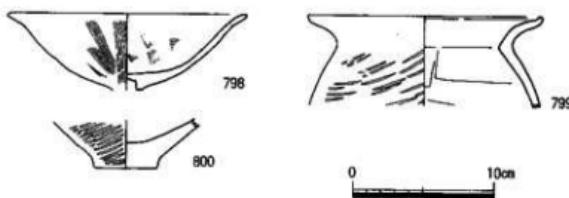
第73図 26 n・o地区 S D 316出土遺物実測図20



第74図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図21



第75図 28n・o地区SD 316出土遺物実測図22



第76図 24-1 o地区SD 318出土遺物実測図

SD 318

24-1 o地区で検出した。検出部は幅1.1~1.5m、深さ0.2mを測る溝状遺構である。方向は、N-20°-Eを指す。南北部は共に調査区外に至る。断面は浅い皿状形を成す。堆積土は暗茶灰褐色粘質シルトの単一層である。

遺物は高杯(798)・畿内第V様式系に類似する甕(799・800)等を少量出土した(第76図)。

SD 320

25g地区で検出した。検出部は幅1~1.2m、深さ0.3mを測る溝状遺構である。方向は東を主軸としてE-25°-Sを指し、東西部は共に調査区外に至る。断面は浅い皿状形を呈す。堆積土は黒茶色粘土の単一層である。

遺物は布留式古相に類似する土師器の細片をごく少量出土した。器種は壺・甕等である。

Ⅲ 古墳時代中期の遺構・遺物(第2調査面)

この時期の遺構は24-1地区・24-2地区・25地区・27地区・28地区で検出した。構築面はTP+8.1~8.2mを測る。遺構は第1次調査のA-Ⅲ地区で検出した自然堤防が連続する微高地上とA-Ⅰ地区・A-Ⅱ地区で検出した弥生時代後期に埋没したと考えられる自然河川の堆積上に分かれる。前者は25地区・27地区で集落址に伴うと思われる土坑3基・落ち込み状遺構3箇所を検出した。後者は24-1地区・27地区・28地区で自然環境によって形成された落ち込み状遺構10箇所と古墳の周濠ではないかと考えられる溝1条を検出した。

以下、検出した遺構・遺物について概説する。

土坑

S K 41

27m地区で検出した。検出部は長径1m、短径0.4m、深さ0.1mを測る土坑である。平面は不定形を呈し、断面は皿状形を成す。堆積土は暗茶灰色砂混じり粘土の單一層である。

遺物は出土していない。

S K 42

27m地区で検出した。検出部は長径1.7m、短径0.7m、深さ0.15mを測る土坑である。平面は不定形を呈し、断面は皿状形を成す。堆積土は暗茶灰色砂混じり粘土の單一層である。

遺物は古墳時代中期に比定される高杯等の土器の細片をごく少量出土した。

S K 43

27n地区で検出した。検出部は長径1.4m、短径0.8m、深さ0.15mを測る土坑である。北部の一部はS P 99と落ち込み18によって切られる。平面は梢円形を呈し、断面は緩やかな逆台形を成す。堆積土は暗茶灰色砂混じり粘土の單一層である。

遺物は古墳時代中期に比定される土師器の細片をごく少量出土した。器種は甌・壺等である。

落ち込み状遺構

落ち込み13

24-1a~c地区で検出した。検出部は東西幅約17m、深さ0.3~0.6mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈し、基底面は緩やかな起伏がみられる。堆積土は淡黄褐色細砂混じり粘土・黄褐色粘土混じりシルトである。

遺物は出土していない。

落ち込み14

24-1b~e地区で検出した。検出部は東西幅約27m、深さ0.5~0.9mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈し、基底面は大きな起伏がみられる。堆積土は黄灰色シルト・乳黃灰色細砂・青灰色粘土混じりシルト・褐灰色粘土混

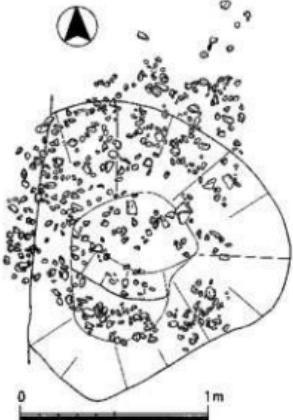
じりシルト・灰黄色シルト混じり粘土・青灰色粘土・青灰色シルト・青灰色シルト混じり粘土・
黄灰色細砂・乳灰色粗砂・暗黃褐色細砂である。遺物は出土していない。

落ち込み15

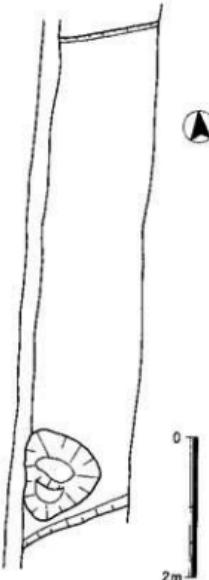
24-1 g ~ i 地区で検出した。検出部は東西幅約27m、深さ0.4~0.6mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈し、基底面は波状の起伏がみられる。堆積土は褐灰色粗砂混じり粘土・灰茶色粗砂混じり粘土・灰褐色シルト・褐灰色シルト粘土・暗灰茶色粘土・褐茶色粗砂・黄灰色粘土混じり粗砂・黄灰色シルト・褐黄色シルト・灰黄色シルト・乳灰色粗砂・青黄色粘土・青灰色粘土である。遺物は出土していない。

落ち込み16

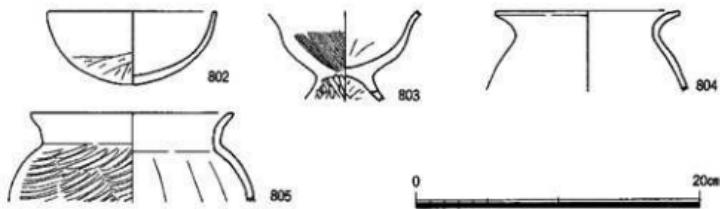
25 e・f 地区で検出した。検出部は南北幅約8.7m、深さ0.2mを測る落ち込み状遺構である。東西部は共に調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈し、基底面は平坦であるが、南部には径1.2~1.6m、深さ0.3mを測る土坑を検出した。平面はほぼ円形を呈し、断面は皿状形を成す。この土坑内は径1~4cmを測る小石が山状に盛り上がり溢れた状態で堆積している。これは人为的に埋められたものと考える。この遺構の堆積土は暗茶灰色粘土の単一層で、北部の中層に炭が径0.9~1.1mを測る平面橢円形状に集積していた。また、中央部付近の基底面にはピット2個を検出した。ピットの規模はS P 127が径0.6m、深さ0.2m、S P 128が径0.3~0.4m、



第77図 25 f 地区落ち込み16小石集積土坑平面図

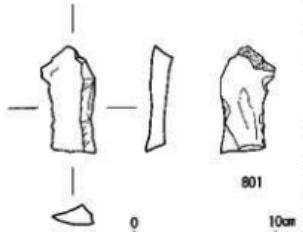


第78図 25 e + f 地区落ち込み16
平面図



第79図 25e・f地区落ち込み16出土遺物実測図

深さ0.2mをそれぞれ測る。平面はほぼ円形を呈し、断面はU字形を成す。ピット内は茶灰色シルトの単一層を堆積している（第77図・第78図）。



第80図 25e・f地区落ち込み16出土サヌカイト剝片実測図

遺物は弥生時代後期～古墳時代中期にかけての土器の細片を少量出土した。器種は畿内第V様式系に類似する鉢（802）、高环（803）、壺（804・805）等と古墳時代中期に比定される須恵器の壺蓋・壺等で、この遺構に伴う時期の遺物は図示できなかった。また、時期は明確にできないが石器に伴うサヌカイト剝片（801）1点出土している（第79図・第80図）。

落ち込み17

25j地区と27o地区で検出した。検出部は南北幅2m、東西幅2.5m以上、深さ0.2mを測る落ち込み状遺構である。東西部は共に調査区外に至り、平面形は明確にしない。断面は逆台形を呈し、基底面は平坦である。堆積土は暗茶灰色粘土混じり砂土の単一層である。

遺物は古墳時代中期に比定される土器の細片をごく少量出土した。器種は須恵器の壺蓋・土師器の壺・高环等である。

落ち込み18

27n・o地区で検出した。検出部は東西幅3.2～4.8m、深さ0.2～0.4mを測る落ち込み状遺構である。東肩の一部はS P 101に切られ、西肩の一部はS P 100に切られ、S K 43を切る関係にある。南北部は共に調査区外に至り、平面形は明確にしない。断面は逆台形を呈し、基底面は若干緩やかな起伏がみられる。堆積土は黄褐色粘土の単一層である。

遺物は落ち込み17と同時期と考えられる土器の細片をごく少量出土した。器種は須恵器の壺、土師器の高环・壺等である。

落ち込み19

28a～c地区で検出した。検出部は東西幅23m、深さ0.3～0.8mを測る落ち込み状遺構であ

る。南北部は共に調査区外に至る。断面は中央部に南西-北東の方向に延びる堤防状の高まりがある。皿状形を呈し、基底面は緩やかな起伏がみられる。そして東側の基底面には幅0.3~0.5m、深さ0.1mを測る南北方向に延びる小溝が検出された。また、堤防状の高まりの規模は上部幅0.3m、下部幅0.8~1.2m、高さ0.5mを測る。断面は逆U字形を呈す。堆積土は灰褐色粘土・暗灰褐色粘土・褐灰色細砂混じり粘土・淡灰褐色細砂・褐灰色粗砂と粘土のサンド・灰色粘土・灰色粗砂・青灰色粗砂・灰褐色粘土混じり細砂である。堤防状の高まりの両端基底面付近には流れ込みと思われる自然木が検出された。

遺物は古墳時代中期に比定される土器の細片を少量出土した。器種は須恵器の蓋坏・土師器の壺・高坏(807・809)・円錐埴輪(808)等である。また、混入していたサヌカイト剝片(806)1点が出土している(第81図・第82図)。

落ち込み20

28d地区で検出した。検出部は東西幅1.8m、深さ0.5mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は緩やかな皿状形を呈す。堆積土は灰色粘土混じり細砂である。この遺構は北部に位置する27地区落ち込み25とつながる可能性があると思われる。

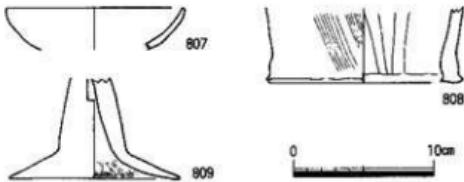
遺物は古墳時代中期に比定される土器の細片を少量出土した。器種は須恵器の蓋坏・壺・土師器の壺・甕等である。

落ち込み21

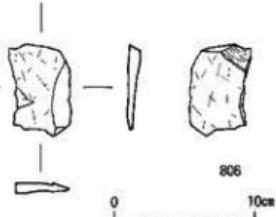
28e・f地区で検出した。検出部は東西幅4.1m、深さ0.2mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈し、北部で緩やかな高まりが見られる。堆積土は灰褐色微砂混じり粘土・青灰褐色粘土・暗灰褐色砂混じり粘土である。遺物は出土していない。

落ち込み22

28f地区で検出した。検出部は東西幅6.5m、深さ0.25mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈し、基底面は若干起伏している。堆積土は青灰褐色微砂・青灰色粘土・青灰色細砂混じり粘土である。遺物は出土していない。



第81図 28a~c地区落ち込み19出土遺物実測図



第82図 28a~c地区落ち込み19出土サヌカイト剝片実測図

落ち込み23

28 i 地区で検出した。検出部は東西幅4.8m、深さ0.3mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈し、基底面は緩やかな凹凸がみられる。堆積土は灰褐色粗砂混じり粘土・褐灰色粘土・灰黄色微砂混じり粘土である。遺物は出土していない。

落ち込み24

28 j ~ m 地区で検出した。検出部は東西幅40m、深さ0.8mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈し、東側の基底面は S K 48 ~ S K 50・S P 138 ~ S P 140 が切り込まれている。堆積土は褐灰色粗砂・暗灰茶色粘土・茶灰褐色シルト混じり粘土・暗茶褐色シルト混じり粘土・茶褐色粘土・暗灰色粘土・灰色粘土・灰色シルト・暗灰色粘土・灰色細砂・暗茶褐色粘土・灰褐色粘土・淡灰黄色粘土・暗褐黄色砂混じり粘土・灰色シルト混じり粘土・灰白色粗砂である。

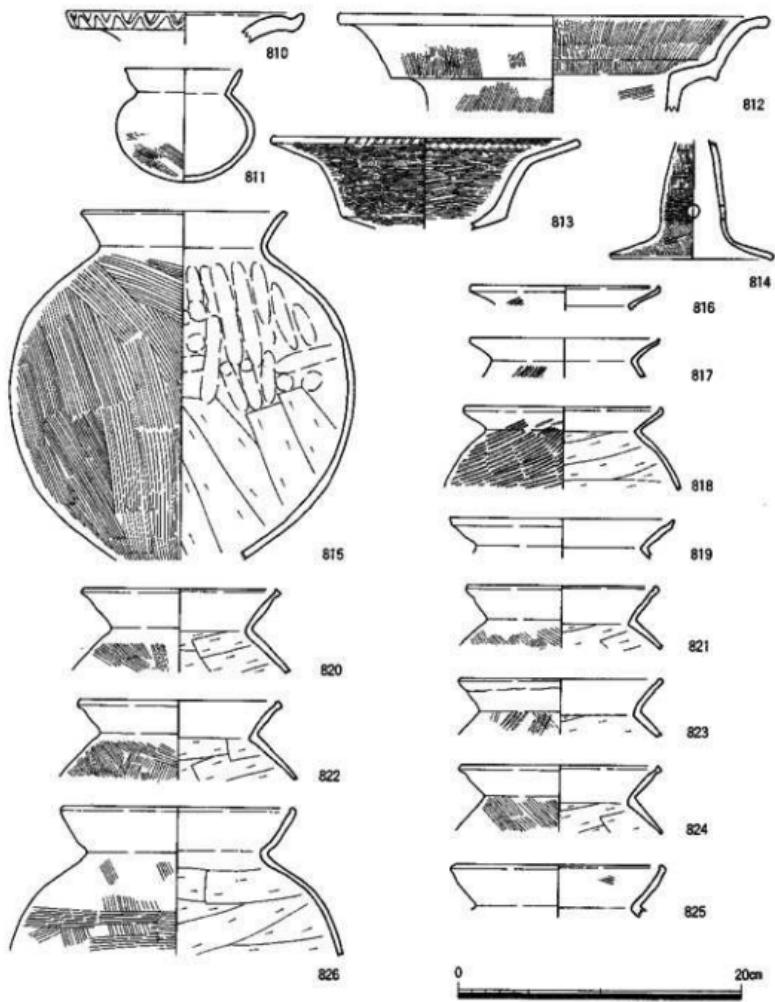
出土遺物

遺物は上層より古墳時代中期に類似する土器の細片を少量出土した。器種は須恵器の蓋坏・甕、土師器の高坏・甕等である。下層は古墳時代前期に類似する土器の細片を少量出土した。器種は土師器の壺（810・812）・小型丸底甕（811）・高坏（813・814）・甕（815~826）等である。甕には庄内式甕（816~824）・布留式甕（825・826）に分かれる（第83図）。

落ち込み25

27 c ~ d 地区で検出した。検出部は東西幅26m、深さ0.4~0.6mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は西側の斜面で2段に屈曲して落ち込み、中位に平坦面を持つ。基底面は緩やかに起伏している。堆積土は暗茶褐色疊混じり粗砂・茶灰色粗砂混じり粘土・茶褐色粘土混じりシルト・茶褐色シルト・灰黄色粗砂で構成されている。

遺物は出土していないが、層位的にみて、24-1地区の落ち込み14・28地区の落ち込み21などとつながる可能性が考えられ、古墳時代中期に位置づけることができるであろう。



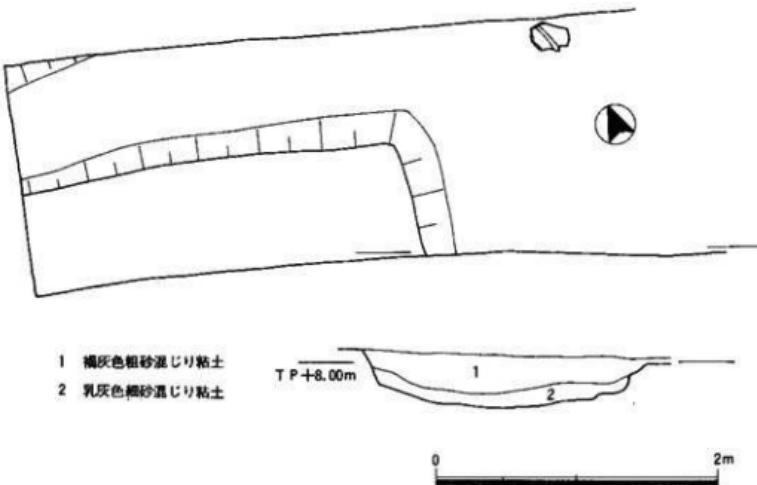
第83図 28 j-m地区落ち込み24出土遺物実測図

溝

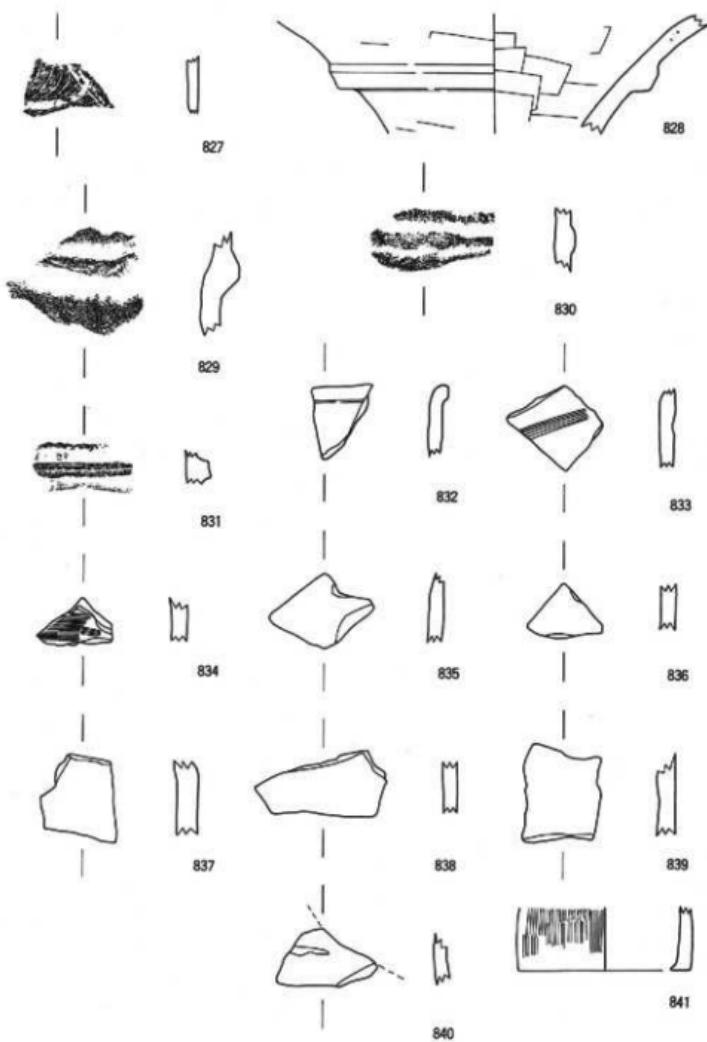
S D 303

24-2 a 地区で検出した。南部の溝肩が東側でほぼ 90° の角度で屈曲して南部の方向に至る。北部の溝肩は西側で下ばの一部を検出しただけでは調査区外である。検出部は北溝の幅0.85m以上、深さ0.2~0.3m、東溝幅1.2m、深さ0.15~0.3mを測る。断面は皿状形を呈し、基底面は平坦である。堆積土は灰色細砂混じり粘土の單一層である。検出面はTP +7.9mを測る。灰褐色シルト上面より切り込まれている。この溝は堆積土内より埴輪片が多く出土していることから古墳の周濠の可能性が強いとすれば、溝に囲まれた南部はマウンド(墳丘)と考えられる。マウンドは高まりがなく後世の時期によって削平されている。また、東部はコーナー部があり平面方形を呈する方墳と考えられる。

遺物は古墳時代中期に比定される土器と埴輪の細片を少量出土した。器種は須恵器の蓋壺・甕、土師器の壺・高壺・甕、埴輪の形象埴輪(827)・朝顔型円鉢埴輪(828)・円筒型埴輪(829~841)である(第84図・第85図)。



第84図 24-2 a 地区 S D 303 平断面図



0 20cm

第85図 24-2 a 地区 S D 303出土物実測図

IV 奈良時代～平安時代の遺構・遺物(第1・2調査面)

この時期の遺構はTP +8.4～8.6mを測る暗茶灰色粘質土(古墳時代前期の遺物包含層)より切り込まれていて、古墳時代中期の検出面(第2遺構面)とはほぼ同レベルである。既往調査である第1次調査のA-I地区で検出した自然堤防の微高地上と連絡する南部に位置する25g～m地区・27l～o地区・28l～p地区に集中した状態で検出した。検出した遺構は木枠を備えた奈良時代の井戸と曲物を備えた平安時代の井戸の2基・土坑2基・ピット列及びピット群66個・溝13条・自然河川1箇所である。

以下、これらの個々の遺構・遺物について概説する。

井戸

S E 10

25k地区の西壁で検出した。木枠を備えた井戸である。掘形はTP +8.4mを測る暗茶灰色粘質土上面より切り込まれている。西部の一部は調査区外に至る。検出部の規模は南北径3.6m、深さ1.65mを測り涌水層まで掘られている。平面は上面ではば円形を呈すると思われる。断面は検出面より約30cm下の北側に踊り場状になり、基底部まで逆台形で狭くなっている。基底面の径は1.3mを測り平面はほぼ円形を呈す。掘形内は上方から暗茶灰色粘質土・茶褐色砂混じり粘質土・褐灰色砂混じり粘土・淡灰色砂混じり粘土・青灰色粘土で埋め戻されている(第86図)。

井戸枠は掘形の検出面より約0.1

mを掘り下げた所で腐敗した井戸

枠の上端部を検出した。井戸枠の

平面は方形を呈し、1辺0.8～0.95

mを測る。辺の方向は南北方向を

指す。木枠の構造は縦160～170cm、

横40～50cm、厚み5～7cmを測り、

板状に加工した8枚の板を1辺2

枚1組で方形に組み、内側に長さ

80cm、縦8～10cm、横5～6cmを

測る断面長方形の角材の両端を凹

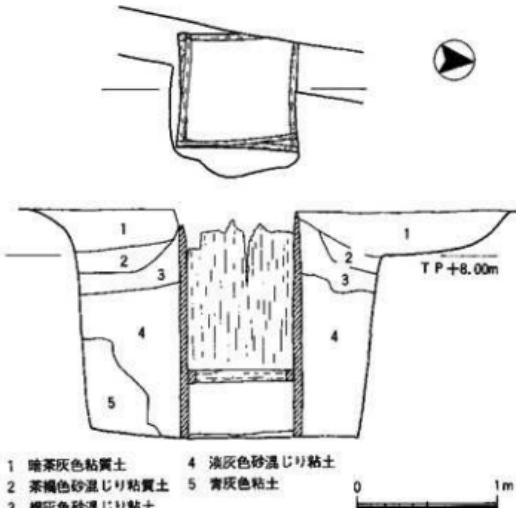
凸に加工した4本を組み合せ、凹

凸部の合致した箇所に鉄釘を打ち

込んで固定している。これを下部

から40cmと80cmの所の2箇所に組

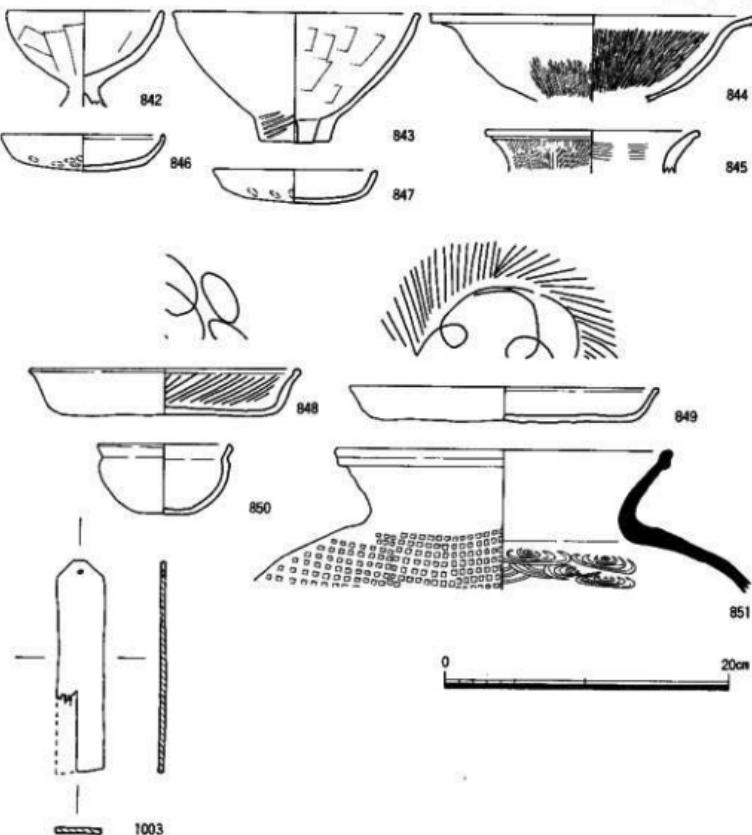
み合せていたが、上部は検出した



第86図 25k地区 S E 10断面図

時点では下にずれ落ち、2本分しか検出しなかった。これは井戸として機能していた時に破損して取り扱ったと思われる。また木枠は外面の中位（下部から約70cm）で組み立てる段階に固定するために使用したものではないかと考えられる杉の皮が巻き付けられていた。なお、1枚の木枠（1014）に角材を組み合わせた下部に位置する部分に墨によるしるし線と下端部付近の右側に「×」の記号が墨書きされていた。井戸枠内は暗灰色粘土・暗灰色粘泥土の2層が堆積している。

遺物は掘形と井戸枠内に分かれる。掘形は弥生時代後期に類似する台付鉢（842）・有孔鉢（843）・鉢（844）・甕（845）等である。井戸枠内は奈良時代前期（平城宮I）に類似する須



第87図 25 k 地区 S E 10出土遺物実測図

恵器の甕(851)・土師器の皿(846~849)・鉢(850)・把手付き甕等の土師片と長さ15.2cm、幅3.3cm、厚み0.4cmを測り、片端面のかどをカットし、三角形状にして中央部径0.2cmの穴が穿かれている木製の札である。文字や絵柄などは書かれていない。材質はスギである(第87図)。

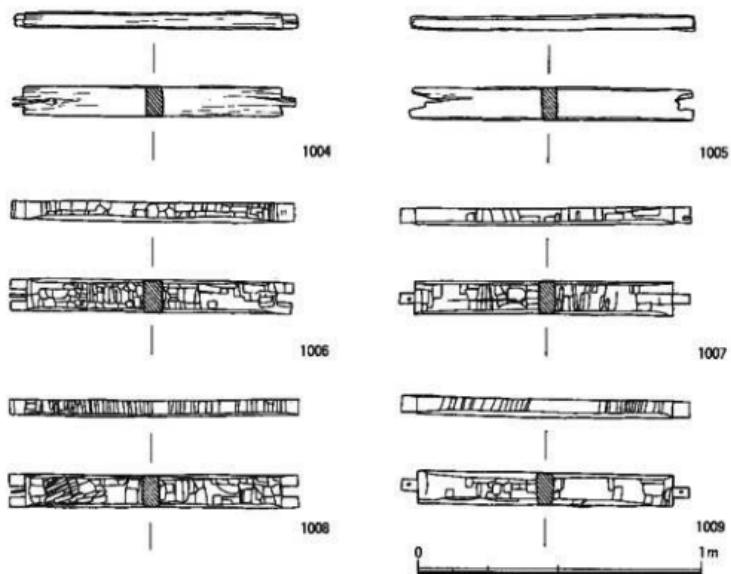
以下、個々の木枠の形態・法量等については第3表に表示した。

第3表 SE10木枠材観察表

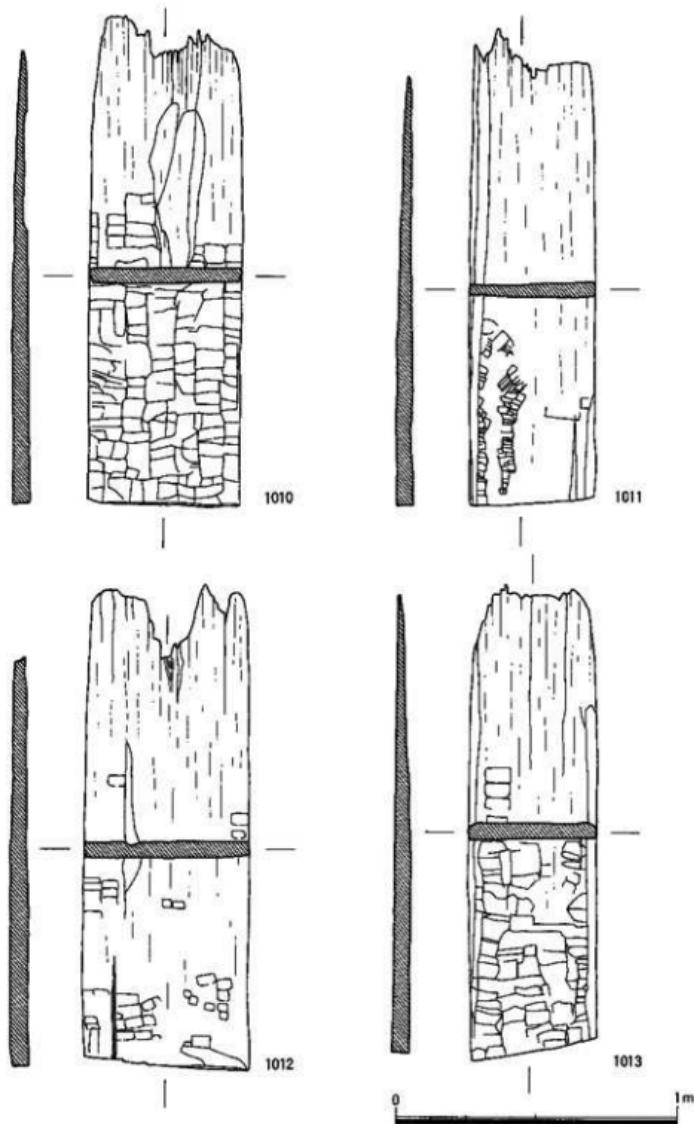
[単位(cm)]

遺物番号 回収番号	出土地点 遺構番号	(cm) 全長 幅 法量#3(3)	形 態	技 法	備 考
1003	25 k SE10	15.3 3.25 0.4	長方形状の薄い板状で、短辺の片端は両肩をおとして台形を成し、直角0.3×0.25の椭円形の穿孔がある。他方の一角は欠損。	加工しているが、痕跡により不明である。	
1004	同上	81.4 8.8 4.4	長方形状の板状で、短辺両端を凸状に削っている。 凸状(4.2×2.3・2.8×4.6)	加工痕は認められない。 凸状部が痕跡している。	
1005	同上	81.2 9.3 3.9	長方形状の板状で、短辺両端を凹状に削っている。 凹状(4.6×3.2・4.1×3.4)	加工痕は認められない。 凹状部の一方が痕跡している。	
1006	同上	81.4 9.4 5.6	長方形状の板状で、短辺両端を凹状に削っている。両端の凹状部分に一本ずつ方形状(1.0×1.2)の削が本残存する。 長辺の角二面を削っている。 凹状(4.4×2.6・4.6×3.2)	三面に工具による加工痕が認められる。	
1007	同上	83.2 9.6 4.8	長方形状の板状で、短辺両端を凸状に削っている。凸状部両端に一箇ずつ斜めの切欠がある。 長辺の角二面を削っている。 凸状(4.4×3.0・4.7×2.9)	三面に工具による加工痕が認められる。	
1008	同上	83.0 9.4 4.5	長方形状の板状で、短辺両端を凹状に削っている。一方の短辺の凹状部分に方形状(0.6×0.6)の削が一本残存する。 長辺の角二面を削っている。 凹状(4.4×3.0・4.6×3.0)	三面に工具による加工痕が認められる。	
1009	同上	82.2 9.2 5.3	長方形状の板状で、短辺両端を凸状に削っている。凸状部両端に一箇ずつ斜めの切欠がある。 長辺の角二面を削っている。 凸状(4.4×2.8×4.3×3.3)	三面に工具による加工痕が認められる。	
1010	同上	70.8 22.3 2.4	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	下方に工具による明瞭な加工痕が認められる。	材質は杉
1011	同上	68.7 18.5 2.4	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	下方に工具による明瞭な加工痕が認められる。	材質は杉
1012	同上	70.2 24.3 2.6	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	下方に工具による加工痕が認められる。	材質は杉

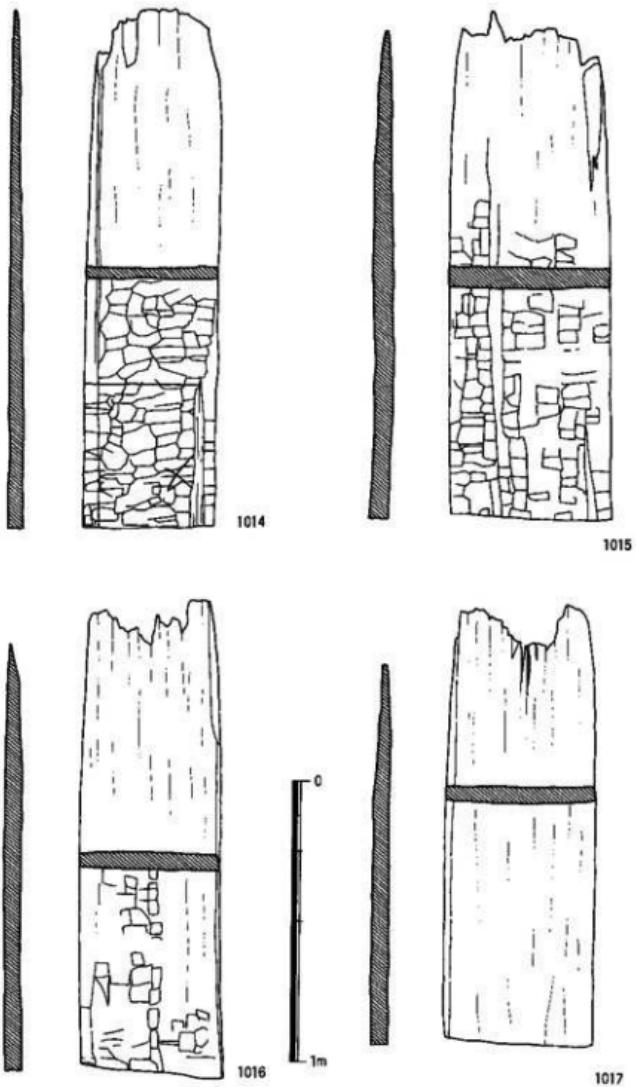
遺物番号 図版番号	出土場所 遺構番号	(cm) 全長 幅 法量(±2)	形態	技法	備考
1013	25 k S E10	68.7 18.8 2.4	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	下方に工具による明瞭な加工痕が認められる。	材質は杉
1014	同上	75.1 19.4 2.2	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。 下付近右に「X」の墨書による記号、中位よりやや下位に水平に一本の墨書の線がひかれている。(井戸枠内の組み合わせた角材の位置の印緒である。)	下方に工具による明瞭な加工痕が認められる。	材質は杉
1015	同上	73.6 23.3 3.1	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	下方に工具による明瞭な加工痕が認められる。	材質は杉
1016	同上	69.4 20.6 2.6	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	下方に工具による明瞭な加工痕が認められる。	材質は杉
1017	同上	64.8 21.8 2.4	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	加工痕は認められない。	材質は杉



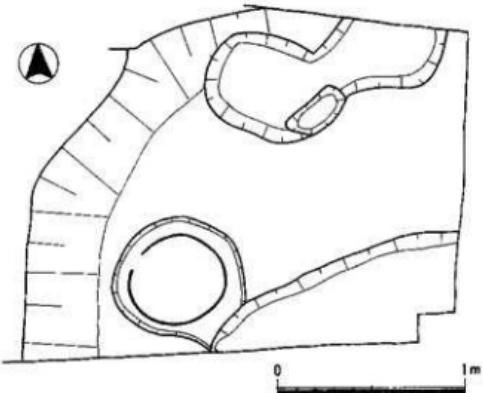
第88図 25 k 地区 S E10木枠実測図1



第89図 25k地区 S E 10木枠窓測図2

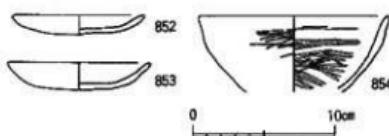


第90図 25 k 地区 S E 10木枠実測図3



第91図 28p地区 S E 9平面図

戸枠を検出した。曲物は1段だけに高さ15cm、厚み0.5cmを測り、上端部は腐敗して欠損している。掘形の埋土は灰色粘土で、曲物内は暗灰褐色砂混じり粘土を堆積している。なお、この井戸は掘形が広い・深度が浅い・曲物が1段のみ残在等で井戸としてではなく土坑状の窪みの性格をもつ可能性が考えられ若干疑問を残すが、一応、井戸として取り扱った(第91図)。



第92図 28p地区 S E 9出土遺物実測図

土坑

S K 39

25k地区の東壁で検出した。検出部は東西径0.6m以上、南北径1m、深さ0.2mを測る土坑と思われる。北部はS E 10の掘形に切られ、東半部は調査区外に至る。検出部の平面は方形を呈し、断面は逆台形を成す。堆積土は暗灰茶色粘土の単一層である。

遺物は古墳時代～奈良時代に至る土器の細片をごく少量出土した。器種は須恵器の壺・甕、土師器の壺・甕等である。

S K 40

25m地区の東壁で検出した。検出部は東西径0.6m以上、南北径1.9m、深さ0.15mを測る土坑である。東半部は調査区外に至る。検出部の平面はほぼ方形を呈す。断面は逆台形を成し、平坦な基底面の中央部付近に径0.3m、深さ0.2mを測る平面円形のピットが認められた。これ

S E 9

28p地区で検出した。曲物を備えた井戸である。掘形の検出部は東西径2.5m以上、南北径2m以上、深さ0.5mを測り、東部・南北部は共に調査区外に至る。平面面形は不明であるが、検出した西側の肩部より緩やかに傾斜して基底部に至る。基底面では凹凸がみられ、西側寄りの位置に径0.6mを測る曲物を備えた井

遺物は平安時代中期～後期に比定される土器を掘形の埋土内よりごく少量出土した。器種は土師器の小皿(852・853)・瓦器椀(854)等である(第92図)。

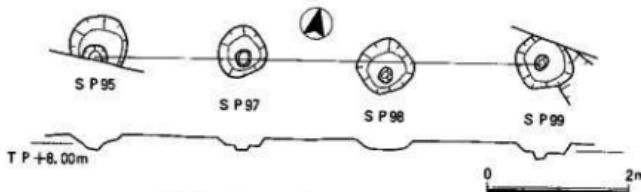
はこの遺構が柱穴跡である可能性が強いと思われる。堆積土は暗灰茶色粘土の単一層である。遺物は古墳時代～奈良時代に至る土器の細片をごく少量出土した。器種は須恵器の壺、土師器の壺・甕である。

ピット列及びピット群

ピット列1 (S P 95・S P 97～S P 99)

27m・n地区で検出した。検出部は東西3間6.2mを測るピット列である。間隔は西より2.1m・2.1m・2mを測る。方向は東を主軸としてE-12°-Nを指す。ピットの平面は隅丸方形を呈す。規模はS P 95-径0.8m、深さ0.2m、S P 97-径0.68m、深さ0.18m、S P 98-径0.74m、深さ0.2m、S P 99-径0.74m、深さ0.14mをそれぞれ測る。断面は逆台形を成し、中央部付近には径0.1～0.2mを測る平面円形の柱痕跡が認められる。ピットの掘形内は暗茶灰色砂粘土で埋められ、柱痕跡は暗灰褐色砂粘土である。このピット列は限られた調査区のために南北部は確認されていないが、第1次調査のA-II地区で検出した建物跡と同様の性格をもつ柱穴跡ではないかと推察する(第93図)。

遺物は土師器の細片をごく少量出土しただけで、時期を決定づけるものはないが、奈良時代になる可能性が強い。



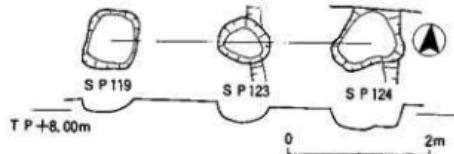
第93図 27m・n地区ピット列1平断面図

ピット列2 (S P 119・S P 123・S P 124)

28o-p地区で検出した。検出部は東西2間3.7mを測るほぼ東西方向のピット列である。間隔は西より2m・1.7mを測る。ピットの平面はほぼ隅丸方形を呈す。規模はS P 119-東西径0.75m、南北径0.84m、深さ0.16m、S P 123-東西径0.74m、南北径0.63m、深さ0.36m、S P 124-東西径1.05m、南北径0.91m、深さ0.4mをそれぞれ測る。断面は緩やかな逆台形を成す。堆積土は暗茶灰褐色砂粘

土の単一層で、柱痕跡は検出していない。S P 123とS P 124は中世以降の溝(S D 289)によって切られている。

このピット列2はピット列



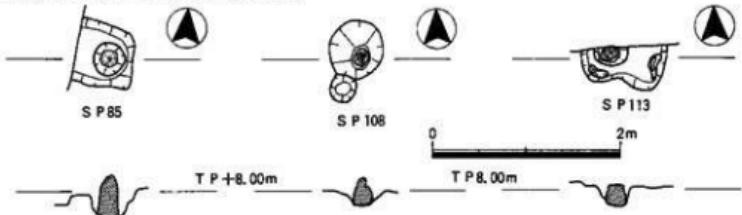
第94図 28o-p地区ピット列2平断面図

1と同様に建物跡ではないかと考えられる。遺物は出土していないが、奈良時代～平安時代に比定されるであろう（第94図）。

ピット群

25j～m地区・27k～o地区・28m～p地区に集中して検出した。ピットは59個を数える。規模は径0.1～0.4mを測る平面円形で小形のものと径0.5～1.1mを測る平面隅丸形及び橢円形の大形のものに大別できる。断面はU字形ないし逆台形を成し、中には柱根や柱痕跡が残存していた。柱根はSP85-長さ52cm、最大径24cm、SP108-長さ28cm、最大径20cm、SP113-長さ22cm、最大径20cmをそれぞれ測る丸い木が3箇所に残存していた（第95図）。また柱痕跡は径0.1～0.3mを測る平面円形及び橢円形で9個を検出した。ピット内は暗灰茶色砂粘土又は暗茶色シルト混じり粘土の單一層で、柱底内に暗灰褐色砂混じり粘土が堆積している。これらのピットの大半は住居址に伴う柱穴跡と考えられる。しかし、調査区の範囲が限られているために規則性のある配列をもつものは、前記したピット列1とピット列2の2箇所だけを確認したのみである。そして、これらのピットは時期差も考えられる。

遺物は大半のピットからは出土していない。一部のピットで古墳時代～平安時代に至る土器の細片をごく少量出土した（第96図）。



第95図 25k地区SP85・28n地区SP108・SP113柱根平面図

以下、これらの個々のピットの形状・法量等については第4表に表示したので参照されたい。

第4表 古墳時代中期～奈良時代のピット一覧表

地 区	遺構番号	径 (cm)	深さ (cm)	平面形	断面形	堆 積 土	備 考
25j	SP 67	17.0～40.0	10.8～13.4	不 定 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	上部片少景
25j	SP 68	28.0～34.0	23.4	不 定 形	椭 圆 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25j	SP 69	33.0	29.3	円 形	椭 圆 形	暗茶色シルト混じり粘土	土師片少量
25j	SP 70	38.0～47.0	12.8～30.7	椭 圆 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	土師片少景
25j	SP 71	26.0	28.3	円 形	U 字 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25j	SP 72	53.0～66.0	22.3～28.9	不 定 形	椭 圆 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25j	SP 73	23.0	14.2	円 形	椭 圆 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25j	SP 74	14.0	9.9	円 形	椭 圆 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25j	SP 75	22.0	21.7	円 形	U 字 形	暗茶色シルト混じり粘土	

第4表 古墳時代中期～奈良時代のピット一覧表

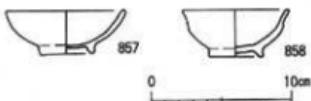
地 区	遺構番号	径(cm)	深さ(cm)	平面形	断面形	堆 積 土	備 考
25 j	S P 76	26.0	12.5	円 形	楕 状 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
25 j	S P 77	23.0	7.3	円 形	楕 状 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
25 j	S P 78	9.0~22.0	7.5	不 定 形	楕 状 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
25 j	S P 79	15.0~28.0	15.6	不 定 形	楕 状 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
25 k	S P 80	30.0	8.5	円 形	逆 台 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
25 k	S P 81	20.0~23.0	9.4	椭 圆 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
25 k	S P 82	46.0~56.0	23.8~25.1	長 方 形	逆 台 形	暗茶色シルト覆じり粘土	土師片少量
25 l	S P 83	10.0~20.0	4.0	半 円 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
25 l	S P 84	28.0~32.0	8.1~8.8	椭 圆 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
25 l	S P 85	61.0~68.0	12.7~16.2	隅 丸 方 形	逆 台 形	暗茶色シルト覆じり粘土	柱根有り
25 l	S P 86	78.0~114.0	37.3~42.0	不 定 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	土師片少量
25 m	S P 87	48.0~62.0	13.7	半 円 形	逆 台 形	暗茶色シルト覆じり粘土	柱根跡有り
25 m	S P 88	42.0~24.0	12.0~13.2	半 円 形	逆 台 形	暗茶色シルト覆じり粘土	柱根跡有り
25 m	S P 89	30.0~40.0	10.9~12.2	椭 圆 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	土師片少量
25 m	S P 90	19.0	9.4	円 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
25 m	S P 91	37.0	14.0	不 定 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
27 k	S P 92	24.0	11.8	円 形	皿 状 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
27 k	S P 93	23.0	7.5	円 形	皿 状 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
27 m	S P 94	30.0	18.2	円 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
27 m	S P 95	81.0	11.2~18.4	円 形	二段逆台形	暗茶灰色砂粘土	柱根跡有りピット列4 上部片・沿壁片少量
27 n	S P 96	64.0	29.6	不 定 形	逆 台 形	暗茶灰色砂粘土	
27 n	S P 97	68.0~76.0	9.3~18.1	隅 丸 方 形	二段逆台形	暗茶灰色砂粘土	柱根跡有りピット列1
27 n	S P 98	74.0~81.0	12.3~20.1	隅 丸 方 形	二段逆台形	暗茶灰色砂粘土	柱根跡有りピット列1
27 n	S P 99	74.0	12.7~13.8	円 形	二段逆台形	暗茶灰色砂粘土	柱根跡有りピット列1
27 n	S P 100	72.0	10.6~13.4	円 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	土師片少量
27 o	S P 101	74.0	16.5~17.3	円 形	逆 台 形	暗茶色シルト覆じり粘土	柱根跡有り
28 m	S P 102	42.0	19.1~25.1	円 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
28 m	S P 103	41.0~52.0	10.1	不 定 形	逆 台 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
28 m	S P 104	34.0~40.0	8.1~12.1	隅 丸 方 形	U 字 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
28 m	S P 105	37.0	3.6	円 形	逆 台 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
28 m	S P 106	30.0~66.0	3.3~4.2	椭 圆 形	逆 台 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
28 m	S P 107	32.0~38.0	3.8~5.9	椭 圆 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
28 m	S P 108	59.0	16.0	円 形	逆 台 形	暗茶色シルト覆じり粘土	柱根有り
28 m	S P 109	27.0	6.4~13.7	円 形	U 字 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
28 m	S P 110	17.0~23.0	9.5~9.9	椭 圆 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
28 m	S P 111	28.0~77.0	5.6~9.7	不 定 形	逆 台 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
28 m	S P 112	69.0~87.0	6.7~8.2	隅 丸 方 形	逆 台 形	暗茶色シルト覆じり粘土	
28 n	S P 113	45.0~87.0	4.4~7.8	不 定 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	柱根有り
28 n	S P 114	87.0~100.0	3.5~9.5	隅 丸 方 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	柱根跡有り
28 n	S P 115	56.0	28.6~33.7	円 形	皿 状 形	暗茶色シルト覆じり粘土	土師片少量
28 n	S P 116	48.0	12.2~15.7	円 形	椭 圆 形	暗茶色シルト覆じり粘土	土師片少量

28o	S P117	71.0~90.0	9.3~15.5	隅丸方形	逆台形	暗茶色シルト混じり粘土	
28o	S P118	34.0~38.0	13.9~14.6	楕円形	楕状形	暗茶色シルト混じり粘土	
28o	S P119	75.0~84.0	13.9~16.5	隅丸方形	皿状形	暗茶灰褐色砂粘土	ピット列2
28o	S P120	22.0	17.5	円形	逆台形	暗茶色シルト混じり粘土	
28o	S P121	31.0	18.1~28.7	円形	二段逆台形	暗茶色シルト混じり粘土	柱痕有り
28o	S P122	65.0~75.0	28.0	不定形	楕状形	暗茶色シルト混じり粘土	
28o	S P123	63.0~74.0	23.6~36.0	楕円形	楕状形	暗茶灰褐色砂粘土	ピット列2
28o	S P124	91.0~105.0	33.0~40.0	不定形	ほぼ逆台形	暗茶灰褐色砂粘土	ピット列2
28o	S P125	42.0~54.0	0.3~4.9	楕円形	楕状形	暗茶色シルト混じり粘土	



第96図 28o地区
S P115出土遺物実測図

28o地区で検出した。検出部は幅0.7~1m、深さ0.1mを測る南北方向に延びて調査区外に至る溝である。断面は緩やかな逆台形を



第97図 28o地区 S D 288出土遺物実測図

呈す。堆積土は灰色砂混じり粘土の單一層で、基底部は下層で検出した古墳時代前期に比定されるS D 316の堆積土の上層を切り込んでいる。

遺物は平安時代後期に比定される土器をごく少量出土した。器種は小型瓦器続(857・858)である。その他に天聖通宝(1023~1031年)の古錢(856)を1点出土している(第97図)。



写真2 28o地区 S D 288古錢

S D 291

25g地区で検出した。検出部は幅4.5m、深さ0.5mを測る東西方向に延び調査区外に至る溝である。断面は南部斜面に段がみられる逆台形を呈し、基底面の一部に凹凸面がある。堆積土は暗灰茶色粘土の單一層である。遺物は出土していないが、層位的にみて平安時代であろう。

S D 292

25g地区で検出した。検出部は幅0.5~0.6m、深さ0.25mを測る東西方向に延び調査区外に至る溝である。断面は深めの皿状形を呈す。堆積土は暗灰茶色粘土の單一層である。

遺物は出土していない。

S D 293

25g・h地区で検出した。検出部は幅0.4~0.6m、深さ0.25mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-12°-Wを指す。北部はS D 292と切り合う関係にあり、南部は調査区外に至る。

断面は深めの皿状形を呈す。堆積土は暗灰茶色粘土の単一層である。遺物は出土していない。

S D 294

25 i 地区で検出した。検出部は幅0.6m、深さ0.3mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-12°-Wで、S D 293と同一方向を指す。南東部は調査区内で途切れ、北西部は調査区外に至る。断面はU字形を呈す。堆積土は暗灰茶色粘土の単一層である。遺物は出土していない。

S D 295

25 i 地区で検出した。検出部は幅0.4~0.5m、深さ0.1mを測る東西方向に延び調査区外に至る。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗灰茶色粘土の単一層で S D 291等と同一層である。

遺物は出土していない。

S D 296

25 i 地区で検出した。検出部は幅0.3~0.4m、深さ0.1mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-40°-Eを指し、調査区外に至る。東側はS D 297と切り合う関係にある。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトの単一層である。遺物は出土していない。

S D 297

25 i 地区で検出した。検出部は幅0.2~0.25m、深さ0.08mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-20°-Wを指す。北西部はS D 295と交わり、南東部はS D 298と交わって調査区外に至る。またS P 86によって切られている。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトである。遺物は検出していない。

S D 298

25 i 地区で検出した。検出部は幅0.4m、深さ0.1mを測る東西方向に延びる溝である。東部はS D 297と交わる関係にあり、東西部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトの単一層である。遺物は出土していない。

S D 299

27 k + 1 地区で検出した。検出部は幅0.2~0.3m、深さ0.1mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-72°-Eを指す。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトの単一層である。遺物は出土していない。

S D 300

27m 地区で検出した。検出部は幅0.2~0.25m、深さ0.07mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-60°-Eを指す。南西部は調査区内で途切れ、北東部は調査区外に至る。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトの単一層である。遺物は出土していない。

S D 301

27m + n 地区で検出した。検出部は幅0.2~0.35m、深さ0.1mを測る溝である。方向は北を

主軸としてN-70°-Eを指し、南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトの單一層である。遺物は出土していない。

S D 302

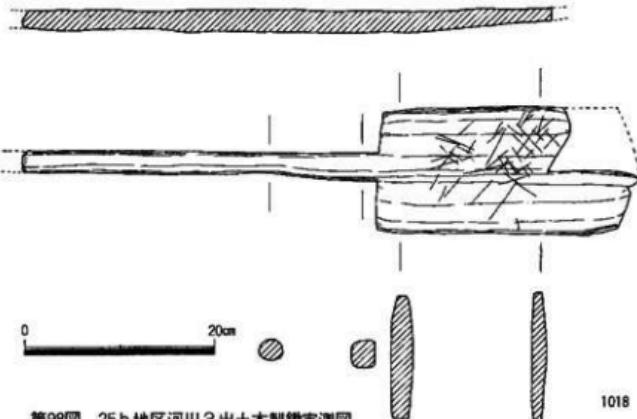
27m地区で検出した。検出部は幅0.2m、深さ0.07mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-70°-Eを指し、南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトの單一層である。遺物は出土していない。

自然河川

河川 3

22o地区と25b地区で検出した。検出部は幅8m、深さ0.7mを測る河川跡で、西肩のみを検出した。既にこの河川跡は北部に位置するA-N地区で検出されている。河川の方向は北西流に蛇行すると思われる。河川内は砂粒を基調として褐灰色細砂・灰褐色粗砂・灰褐色粗砂混じり粘土・黄褐色粗砂・乳黃灰色粗砂・乳黃灰色細砂・青灰色シルト・青灰色粘土・灰褐色粗砂混じり粘土等が乱雜に堆積している。

遺物は弥生時代後期～奈良時代にかけての土器が細片化してローリングを受けた状態で少量出土した。器種は畿内第V様式の甕、土笛器の壺・甕、須恵器の甕等である。また、25b地区の下層からは古墳時代中期～奈良時代に比定される木製の鋤が1点出土した。鋤(1018)は長さ66cm、柄部の長さ38.4cm、柄部径2.8cm、身部の長さ27.6cm、幅14cm、厚み1.2～2.4cmを測る。柄部は丸く加工する。身部は長方形を呈し、先端部は丸みを持ち、薄くなっている。身部面は平坦に加工している。片面に鋭い刃物のようなもので乱雜な傷跡が見受けられる。柄部の先端部は欠損している。この鋤の材質は未鑑定である(第98図)。



第98図 25b地区河川3出土木製鋤実測図

1018

V 鎌倉時代～近世に至る遺構・遺物(第1調査面)

この時期の遺構は、調査区の全体で検出した。検出面はTP +8.3～8.5mを測る暗灰褐色砂混じり粘土の上面で農耕に関連する遺構が検出した。遺構は井戸4基・土坑1基・落ち込み状遺構1箇所・ピット7個・溝170条を検出した。遺物は遺構に伴う遺物はほとんどなく、上層(床土と考えられる上層)よりローリングを受けて細片化した土器・瓦類等が少量出土した。

以下、これらの遺構・遺物について概説する。

井戸

S E 5

23b地区の西壁で検出した。検出部は径1m、深さ0.7mを測る素掘り井戸である。平面は円形を呈すると思われる。東部はS E 6と少し切り合い、西半部は調査区外に至る。断面は長方形を成す。堆積土は暗茶灰色砂粘土・暗茶青色砂粘土の2層に分けられる。遺物は出土していないが、耕土下より切り込まれていることから近世の時期と考えられ、農耕の灌漑用水に使用される井戸ではないかと思われる。

S E 6

23b地区で検出した。検出部は径1m、深さ0.7mを測る素掘り井戸である。平面は円形を呈す。西部の一部はS E 5と切り合う。断面は長方形を成し、基底部まで垂直に掘られている。堆積土は暗茶灰色砂粘土・暗茶青色砂粘土である。遺物は出土していないが、S E 5と若干の時期差はあると考えられる。この井戸も農耕の灌漑用水と思われる。

S E 7

23d地区の西壁で検出した。検出部は径1m、深さ0.7mを測る木枠のある井戸である。掘形はほとんど木枠と同時に掘られている。木枠は平面円形の桶の作りである。断面は長方形を成し、基底部に円形の底板(1枚板)がある。桶内は茶灰色粘土・茶褐色細砂・灰茶褐色粘質土・青灰色砂粘土を堆積している。遺物は出土していないが、耕土下よりの切り込みで近世の時期に比定される。この井戸は農耕の灌漑用貯水井戸ではないかと思われる。

S E 8

23d地区で検出した。検出部は径1m、深さ0.7mを測る素掘り井戸である。東部の一部は調査区外に至るが、平面は円形を呈す。断面は長方形を成し、基底部まで垂直に切り込んでいる。堆積土は暗茶灰色砂粘土・暗茶青色砂粘土である。遺物は出土していない。時期はS E 5等とほぼ同一時期であろう。

S E 11

25k・1地区の西壁で検出した井戸枠を備えた井戸である。掘形は耕土下より切り込み南北径5.3mを測る。西半部は調査区外に至る。断面は上部で垂直に掘られている。埋土は茶灰色粘

質土・黄茶灰色粘質土である。井戸枠は掘形のはば中央付近に上部より瓦・木枠・桶を組み合わせたものであると考えられるが、調査区幅が狭く、地層の軟弱で崩れる恐れがあり人命に係わる為、調査を断念した。

遺物は出土していない。時期は明治初期ごろであろう。

土坑

S K 38

24-1 h 地区の北壁で検出した。検出部は東西径2.9m、南北径1.4m以上、深さ0.15mを測る土坑である。北部の一部は調査区外に至る。平面は不定形を呈す。断面は皿状形を成し、基底面は緩やかな起伏がみられる。堆積土は褐灰色粗砂混じり粘土の單一層である。

遺物は出土していない。時期は中世以降であろう。

落ち込み状遺構

落ち込み12

24-2 a ~ b 地区で検出した。検出部は東西幅6.6m、深さ0.7mを測る落ち込み状遺構である。東部は河川 1 を切り、南北部は共に調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈す。堆積土は褐灰色粗砂混じり粘質土・灰茶色粗砂・灰茶褐色細砂混じり粘土・茶褐色粘質土・淡茶色細砂混じり粘土・暗灰茶色砂混じり粘土・灰茶色細砂・淡灰褐色砂混じり粗砂・乳灰色細砂・青灰色粘土で砂層を基調としている。

遺物は古墳時代～鎌倉時代にかけての土器片をごく少量出土した。器種は土師器の壺・甕、須恵器の壺・瓦器碗等である。また、用途不明の木片1点も出土した。

ピット

S P 60～S P 66

24-1 g 地区・25 f・m 地区で検出した。検出部は径0.2~0.3m、深さ0.1~0.2mを測る。平面はほぼ円形を呈す。断面はU字形を成す。堆積土は灰褐色砂粘土又は暗灰色粘土の單一層である。遺物は出土していないが、時期は中世以降であろう。これらのピットは住居址に伴うものとは考えにくく、農耕作によってできた杭跡ではないかと推測する（第5表）。

溝

S D 120～S D 148・S D 150～290

全調査区で検出した。検出面はほとんどが第3層上面で確認されている。規模は大きいもので幅0.6~2m、小さいもので幅0.1~0.5mを測る。深さは0.05~0.2mでほとんど浅い。断面は逆台形か浅い皿状形を呈す。方向は現在の土地区画された農耕地の方向とほぼ同じ方向を指す。堆積土は第2層（床土）と同一層である（第6表）。

遺物は細片化した土師器・須恵器・陶磁器・瓦等をごく少量出土した。

第5表 中世以降のピット・観察表

地 区	遺構番号	径 (cm)	深さ (cm)	平面形	断面形	堆積土	備 考
24-1g	S P60	21.0~28.0	27.4	隅丸方形	逆台形	暗灰褐色砂混じり粘土	
25f	S P61	30.0~35.0	7.4	不定形	楕円形	暗灰褐色砂混じり粘土	
25j	S P62	40.0~45.0	8.8	楕円形	楕円形	暗灰褐色砂混じり粘土	
25m	S P63	27.0	8.2	円 形	楕円形	暗灰褐色砂混じり粘土	
25m	S P64	25.0	4.3	円 形	楕円形	暗灰褐色砂混じり粘土	
25m	S P65	18.0	7.6	円 形	楕円形	暗灰褐色砂混じり粘土	
25m	S P66	18.0	7.5	円 形	楕円形	暗灰褐色砂混じり粘土	

第6表 中世～近世の溝一覧表

地 区	遺構番号	方 向	幅 (cm)	深さ(cm)	断面形	堆積土	備 考
22e	S D120	南西～北東	50~85	7.0~9.0	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22e+p	S D121	南西～北東	70~115	4.2~11.5	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p	S D122	南西～北東	32~70	3.5~12.1	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p+q	S D123	東 西	30~50	4.8~19.3	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p+q	S D124	東 西	22~35	3.8	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p+q	S D125	東 西	20	8.0	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p+q	S D126	東 西	30	5.1	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p+q	S D127	東 西	10~15	5.5	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p+q	S D128	東 西	60以上	5.1	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22q	S D129	?	40	3.7~6.9	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
23a	S D130	南 北	30~35	2.1~3.6	逆台形	灰茶色粘質土	
23a	S D131	東 西	75~80	2.0~3.1	皿状形	灰茶色粘質土	
23a	S D132	東 西	110	6.3~8.9	逆台形	灰茶色粘質土	
23a	S D133	東 西	30~40	5.7~9.1	皿状形	灰茶色粘質土	
23a	S D134	東 西	40	8.8~12.8	皿状形	灰茶色粘質土	
23a	S D135	東 西	30	2.3~6.0	皿状形	灰茶色粘質土	
23a	S D136	東 西	70	6.7~7.5	逆台形	灰茶色粘質土	
23b+c	S D137	ほぼ南北	40~50	7.3~12.7	逆台形	灰茶色粘質土	
23b	S D138	ほぼ南北	10~20	6.9~9.6	皿状形	灰茶色粘質土	
23b	S D139	ほぼ南北	12~28	8.9~9.9	皿状形	灰茶色粘質土	
23c	S D140	ほぼ南北	15~20	6.0~7.7	皿状形	灰茶色粘質土	
23e	S D141	ほぼ南北	20	5.5	皿状形	灰茶色粘質土	
23e	S D142	東 西	60	3.9~4.2	皿状形	灰茶色粘質土	
23e	S D143	東 西	20	2.4~13.0	皿状形	灰茶色粘質土	
23c+d	S D144	東 西	130~140	13.2~15.4	逆台形	灰茶色粘質土	
23d	S D145	南 北	25~40	7.3~19.8	皿状形	灰茶色粘質土	

地 区	通 標番号	方 向	幅 (cm)	深さ (cm)	断面形	堆 積 土	備 考
23d	SD146	南 北	20~30	7.2~7.7	逆台形	灰茶色粘質土	
23d	SD147	東 西	10	4.8	塊状形	灰茶色粘質土	
23d	SD148	東 西	10	8.4	塊状形	灰茶色粘質土	
24-1a~b	SD150	東 西	10~20	3.3~7.2	塊状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-2d~ 24-1a~e	SD151	東 西	200以上	15.1	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1e~h	SD152	東 西	80~140以上	11~29.9	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1g	SD153	東 西	60	9.1~10.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1h	SD154	南 北	570		逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1h	SD155	南 北	35	8.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1i	SD156	南 北	40	5.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1i	SD157	東 西	160以上	7.2	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-i~j	SD158	東 西	30~80	12.1~13.3	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-i~j	SD159	東 西	15~25	5.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	SD160	南 北	30	7.3~10.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	SD161	南 北	35~65	16.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	SD162	南 北	15	8.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	SD163	南 北	10~15	3.4~5.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	SD164	南 北	35~60	6.3~19.3	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	SD165	南西~北東	18	6.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	SD166	南西~北東	10~15	9.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j-k	SD167	東 西	15~25	2.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	SD168	東 西	18~25	4.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j-k	SD169	東 西	25~30	6.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j-k	SD170	東 西	15~40	2.3~8.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	SD171	南西~北東	30~35	9.4	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1k~m	SD172	東 西	20以上	1.7~3.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1k~m	SD173	東 西	22~25	2.8~3.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1k~m	SD174	東 西	25~30	4.1~9.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1k-l	SD175	東 西	10以上	3.8	——	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1l	SD176	東 西	15~20	2.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1l-m	SD178	東 西	15	3.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1m~o	SD179	東 西	60	10.3~17.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-2a~b	SD180	東 西	200以上	4.8~8.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-2c	SD181	東 西	150	13.1~24.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25b	SD182	南東~北西	20~30	6.4~7.5	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25b	SD183	南東~北西	50	9.6~15.9	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25b	SD184	東 西	20~25	4.7~5.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25c	SD185	東 西	30~45	3.7~5.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25c	SD186	東 西	20~25	3.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	

地 区	遺構番号	方 向	幅 (cm)	深さ (cm)	断面形	堆 植 土	備 考
25e	S D187	東 西	30~38	5.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25e	S D188	東 西	25~30	18.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25e	S D189	東 西	155	11.9~13.4	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25e-d	S D190	東 西	70~80	10.5~14.4	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25d	S D191	東 西	190~200	9.2~15.0	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25e	S D192	東 西	20	5.8~7.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25e	S D193	東 西	75~95	12.5~16.2	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25e	S D194	東 西	85	5.7~7.6	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25f	S D195	東 西	35~55	2.2~5.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25f	S D196	東 西	30~40	1.2~4.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25f	S D197	東 西	80	7.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25f	S D198	東 西	230	12.7~18.3	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25f-g	S D199	東 西	450	22.7~27.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25n	S D200	東 西	30~35	14.3	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25n	S D201	東 西	45~55	12.4~15.2	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25n	S D202	東 西	26~40	14.9~17.8	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25n	S D203	東 西	55	15.3~22.2	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25n	S D204	東 西	45	10.2~14.1	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25i	S D205	南東~北西	25~30	4.8~5.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25i	S D206	南東~北西	30~80	5.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25j	S D207	南東~北西	20	2.2~3.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25j	S D208	南東~北西	60	3.0~5.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25j-k	S D209	南東~北西	12~20	2.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	SD210と合流
25j-k	S D210	南東~北西	14~30	2.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	SD209と合流
25k	S D211	南東~北西	100	4.7~7.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26a	S D212	南東~北西	22~32	9.3~11.3	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26a	S D213	南東~北西	20	11.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26a	S D214	南 北	20~40	5.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26a-e	S D215	南 北	20~50	7.8~11.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26a-e	S D216	南 北	150	11.0~12.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26g-h	S D217	南 北	20	4.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26h	S D218	南 北	30以上	1.2~5.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27a	S D219	南 北	20~25	4.8~5.4	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27a	S D220	南 北	20	3.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27a	S D221	南 北	20	3.5~4.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27a-b	S D222	南 北	350	2.9~6.3	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27b	S D223	南 北	40	6.0~8.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27b	S D224	南 北	20~30	2.2~7.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27b	S D225	南 北	18	4.2~7.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	

地 区	土壤番号	方 向	幅 (cm)	深さ(cm)	断面形	堆 積 土	備 考
27 b	S D226	南 北	20	4.9~6.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 b	S D227	南 北	17~20	3.9~6.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 b	S D228	南 北	20	2.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 b	S D229	南 北	16	3.4	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 b	S D230	南 北	14	3.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 b	S D231	南 北	240	4.7~7.5	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 b	S D232	南 北	35~50	4.4~7.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D233	南 北	20	1.4~4.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D234	南 北	22	4.9~7.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 c	S D235	南 北	28~40	2.5~6.3	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 c	S D236	南 北	80~120	2.5~2.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 c	S D237	南 北	20	2.3~3.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 c	S D238	南 北	20	3.1~4.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 d	S D239	南 北	20~30	9.2~10.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D240	南 北	40	5.2~6.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D241	南 北	30~50	5.5~8.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D242	南 北	40~60	9.6~14.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D243	南 北	20	3.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D244	南 北	25	3.9~8.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D245	南 北	45	5.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D246	南 北	30	4.7~6.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D247	南 北	25	4.3~13.3	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D248	南 北	20	6.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D249	南 北	60	7.7~14.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D250	南 北	20~45	3.0~5.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D251	南 北	25	9.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D252	南 北	40	11.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 f	S D253	南 北	90~100	5.4~8.1	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 f	S D254	南 北	30	5.1~9.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 f	S D255	南 北	150	8.0~11.7	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 g	S D256	南 北	140~150	8.8~11.1	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D257	南 北	80~90	6.5~7.5	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D258	南 北	25~35	6.5~7.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D259	南 北	30	1.5~6.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D260	南 北	35	6.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D261	南 北	70	4.5~7.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D262	南 北	38	6.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D263	南 北	20	4.5~6.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D264	南 北	20~30	5.5~7.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	

地 区	土壤番号	方 向	幅 (cm)	深さ (cm)	断面形	堆 槍 土	備 考
27k	S D265	N-20°-W	40~50	10.0	Ⅲ状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27m	S D266	N-20°-W	20	6.5	Ⅲ状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27m	S D267	N-20°-W	20~45	0.5	Ⅲ状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27m	S D268	N-20°-W	80	9.5	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27m	S D269	N-20°-W	95~110	12.0	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27m	S D270	N-20°-W	15~25	7.5	Ⅲ状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27m	S D271	N-20°-W	90~130	11.8	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28a	S D272	南 北	30	9.7~12.0	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28a	S D273	南 北	18	1.4~2.6	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28a	S D274	南 北	95~125	3.7~7.5	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28a	S D275	南 北	160	13.1	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28a	S D276	南 北	60	3.6	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28b	S D277	南 北	90	7.5~14.3	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28b	S D278	南 北	20~35	6.0~6.3	椭状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28b	S D289	南 北	90	2.9~8.7	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28b	S D280	南 北	35~40	7.5~8.9	Ⅲ状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28b	S D281	南 北	220~230	9.9~16.3	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28b	S D282	南 北	45	15.0	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28c	S D283	南 北	60~70	10.3~10.7	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28c	S D284	南 北	25	7.9~8.9	椭状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28c	S D285	南 北	440	7.2~13.6	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28d	S D286	南 北	48	3.9	Ⅲ状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28m	S D287	南 北	110~250	15.4~25.9	Ⅲ状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28o	S D288	南 北	80	10.0	Ⅲ状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28p	S D289	南 北	210	8.1~14.4	Ⅲ状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28p	S D290	南 北	30~40	5.4~7.7	Ⅲ状形	灰褐色粗砂混じり粘土	

VI 遺物包含層出土遺物

第3次調査の調査に於いて遺構に伴わない各土層より検出した遺物は弥生時代後期から現在に及ぶ時期のものが出土している。これらの遺物の出土状況は「第2節基本層序」で述べているが、各土層で出土した遺物については第1次調査と同様に大雑把ではあるが時期区分をすることができる。第2層は中世から近世に至る時期。第3層は中世の時期。第4層は古墳時代から平安時代に至る時期。第5層・第6層は弥生時代後期から古墳時代前期に至る時期がそれぞれに想定できる。これらの土層より出土した遺物はコンテナ箱に約10箱分を数える。なお、調査による壁面や掘削による掘り過ぎで出土したものには遺構に伴っている遺物も含まれていると思われるが、これらの出土遺物も含めて遺物包含層の出土遺物として取り扱っている。

以下、出土した遺物から実測できるものをピックアップして、図化して表した。これらの遺物について各地区ごとに概説してみる。なお、各調査区で出土した石器類（サヌカイト剝片）については別枠にして第7表に記載した（第99図～第101図）。

22o～q 地区

この地区は第2層から第5層の土層より出土している。出土量はコンテナ箱に約1箱分である。第2層は近世の時期の土層で古墳時代から近世に至る遺物（須恵器・土師器・瓦器・瓦等）の細片をごく少量出土した。第3層は古墳時代から平安時代に至る土層で古墳時代前期からの遺物（土師器・須恵器）の細片をごく少量出土した。第5層は弥生時代後期から古墳時代前期に至る時期で弥生時代後期から古墳時代前期の遺物（畿内第V様式系土器・庄内式土器）の細片をごく少量出土した。実測できたものは第5層で出土した弥生時代後期から古墳時代前期に至る壺（877）・鉢（878）・畿内第V様式系甕（879～883）である（第102図）。

23a～d 地区

この地区は第2層から第3層で古墳時代から近世に至る遺物で、土師器（羽釜等）・瓦器・瓦等の細片をごく少量出土した。出土量は細片を91点数える。実測できるものはない。

23n～p 地区

この地区は第5層から第6層で弥生時代後期から古墳時代前期の土器の細片をごく少量出土した。出土量は細片を53点数える。実測できるものはない。

24～I 地区

この地区は第2～6層の土層から出土している。出土量はコンテナ箱にして約3箱分を数える。第2層は中世から近世に至る遺物。第3層は古墳時代から中世に至る遺物。第4層は古墳時代から平安時代に至る遺物。第6層は弥生時代後期から古墳時代前期に至る遺物で、それぞれ出土している。実測できたものは第6層より出土した弥生時代後期から古墳時代前期の時期の遺物で、長頸壺（884）・壺（885・886・889・890）・二重口縁壺（887）・脚台付壺（888）・平

底の鉢（891）・鉢（892～894）・高杯（895～901）・畿内第V様式系甕（902～908）・酒津式甕（909）・庄内式甕（910）・布留式甕（911）と第4層より出土した古墳時代中期以降はI型式3～5段階に類似する蓋杯（須恵器）の杯蓋（912）・杯身（913）と円筒型埴輪のタガの部分と思われる細片（914～918）。第2層より出土した奈良時代の遺物はII型式1～3段階に類似する須恵器の高台付壺（919）、IV型式1～3段階に類似する台付鉢（920）・中世の時期と思われる土師質皿（921）・土管（922）、近世以降の遺物としては瓦（923・924）である（第102図～第104図）。

24-2 地区

この地区は第2層と第4層から少量出土した。出土量はコンテナ箱にして約半分の量を数える。第2層は古墳時代から鎌倉時代の時期の遺物で土師器（壺・高杯・羽釜・甕等）・須恵器・瓦器・青磁器等の細片をごく少量出土した。第4層は弥生時代後期から古墳時代中期の建物で土師器（壺・甕等）・埴輪の細片をごく少量出土している。実測できた遺物は、古墳時代前期（布留式古相）に位置付けられる複合口縁壺の口縁部片（925）、近世以降の陶磁器（926～928）である（第105図）。

25b～m地区

この地区は第2層から第6層で出土している。出土量はコンテナ箱にして約2箱分を数える。第3層は中世から近世に至る遺物で土師器（壺・羽釜・甕等）・須恵器・瓦器・陶磁器等の細片を少量出土した。第5・6層で出土した弥生時代後期から古墳時代前期は二重口縁壺（929）・壺（930）・鉢（931～935）・土堆（936）・高杯（937）・畿内第V様式系甕（938）・甕（939～942）である。第3・4層で出土した古墳時代中期から鎌倉時代の時期は、奈良時代の須恵器の甕（943）・II型式1～3段階に類似する蓋杯（944）・杯身（945・946）、IV型式1～3段階の蓋（947）・高台付壺（948）、平安時代の土師皿（951）・鎌倉時代の瓦器椀（949）・土師小皿（950）である（第105図・第106図）。

26地区

この地区は第2層から第3層で出土している。出土量はコンテナ箱にして約1箱分を数える。第3層は古墳時代前期から中世に至る遺物で土師器（壺・器台・高杯・甕等）・須恵器・埴輪・瓦器・瓦等の細片を少量出土している。実測できたものは古墳時代前期（布留式古相）に類似する器台（952）、古墳時代中期頃の円筒埴輪片（953・954）、近世の時期と思われる陶磁器（955・956）である（第106図）。

27地区

この地区は第3層から第5層で出土している。出土量はコンテナ箱にして約3箱分を数える。第3層は古墳時代から近世に至る遺物で土師器（壺・高杯・羽釜・甕等）・須恵器（蓋杯・甕等）・

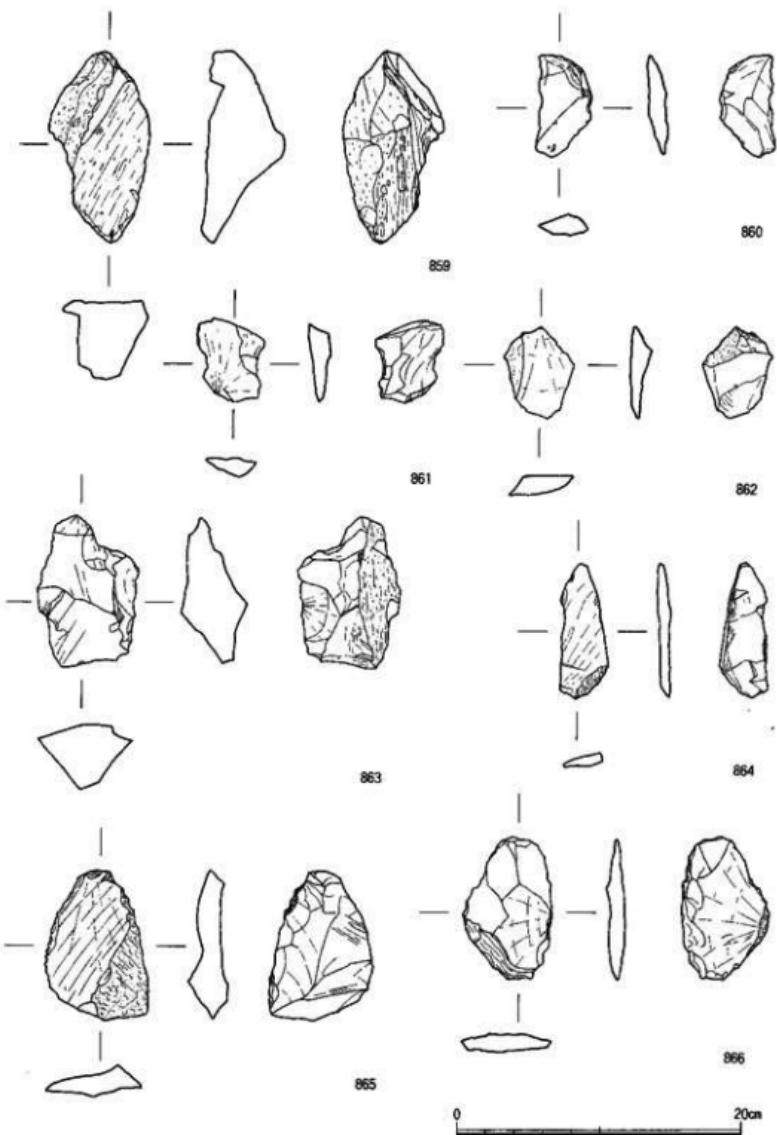
瓦器・陶磁器・瓦等である。第4層は古墳時代前期から中世に至る遺物で土師器(壺・高杯・羽釜・甕等)・須恵器(蓋杯・甕等)・瓦器・青磁器・瓦等である。第5層は弥生時代後期から古墳時代前期の遺物で土師器(壺・鉢・甕等)の細片を少量出土した。実測できたものは弥生時代後期から古墳時代前期に類似する小型丸底壺(957・959)・有孔鉢(958)・畿内第V様式系甕(960)・庄内式甕(961)、古墳時代中期はI型式3~4段階の須恵器壺身(962)、中世ごろと思われる甕型土器(963)である(第106図)。

28地区

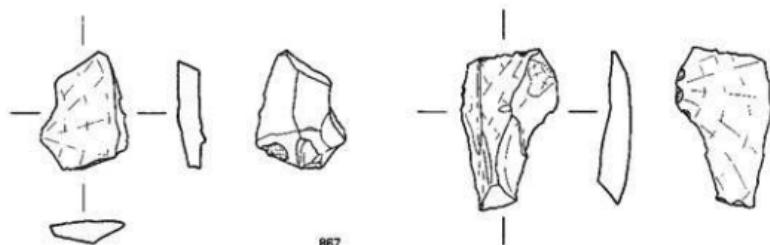
この地区は第2層から第6層で出土している。出土量はコンテナ箱にして約3箱分を数える。第2層・第3層は古墳時代から近世に至る遺物で土師器(壺・高杯・羽釜・甕等)・須恵器(蓋杯・甕等)・瓦器・陶磁器・瓦等の細片を少量出土している。第4層は古墳時代前期から古墳時代中期に至る遺物で土師器(壺・高杯・甕等)・須恵器(蓋杯・甕等)の細片を少量出土している。第5層は弥生時代後期から古墳時代前期に至る遺物で土師器(壺・鉢・器台・高杯・甕等)の細片を少量出土している。第6層は弥生時代後期の遺物で鉢・甕等の細片をごく少量出土している。実測できたものは弥生時代後期から古墳時代前期は壺(964)・器台(965・966)・畿内第V様式系甕(967・968)・庄内式甕(969)、古墳時代中期ごろと思われる円筒埴輪片(970)、古墳時代後期はIII型式1~3段階に類似する杯身(971)、平安時代から鎌倉時代の土師小皿(972~977)である(第107図)。

第7表 サスカイト剝片一覧表

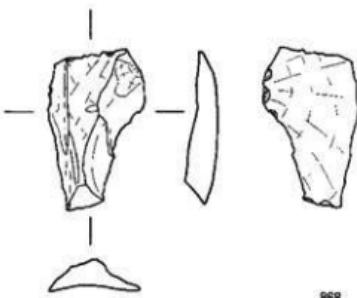
遺物 番号	種類	石材	大きさ(cm)			重量 (g)	図版 番号	備考
			長さ	幅	厚さ			
859	石核	サスカイト	6.8	3.6	2.7	54	77	22地区
860	剝片	サスカイト	3.6	1.8	0.6	4	77	24-1a地区
861	剝片	サスカイト	3.0	2.4	0.7	2	77	24-1b地区
862	剝片	サスカイト	3.2	2.5	0.7	2	77	24-1f地区
863	石核	サスカイト	5.4	3.7	2.3	39	77	24-1k地区
864	剝片	サスカイト	4.8	1.6	0.5	2	77	25地区
865	剝片	サスカイト	5.3	3.7	1.5	21	77	24-2地区
866	剝片	サスカイト	5.1	3.1	0.6	12	77	25.1地区
867	剝片	サスカイト	4.3	3.2	0.8	6	77	25地区
868	剝片	サスカイト	5.5	3.7	1	14	78	25地区
869	剝片	サスカイト	7.5	2.6	0.8	15	78	25地区
870	剝片	サスカイト	4.7	4.7	0.9	18	78	25地区
871	石核	サスカイト	3.8	3.5	1.2	21	78	27k地区
872	剝片	サスカイト	5.8	2.1	1.2	15	78	28l地区
873	石核	サスカイト	5.0	4.5	1.3	33	78	28m地区
874	剝片	サスカイト	3.4	1.9	0.5	2	78	28p地区
875	剝片	サスカイト	6.3	3.9	0.9	30	78	28o地区
876	剝片	サスカイト	5.2	3.5	0.9	13	78	28s地区



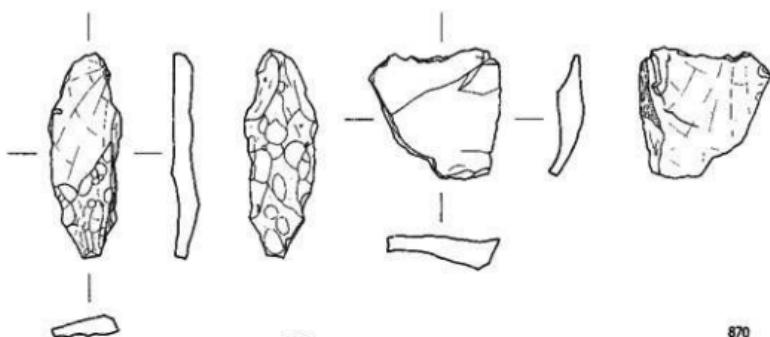
第99図 24-1地区・25地区遺物包含層出土サヌカイト剝片実測図



867

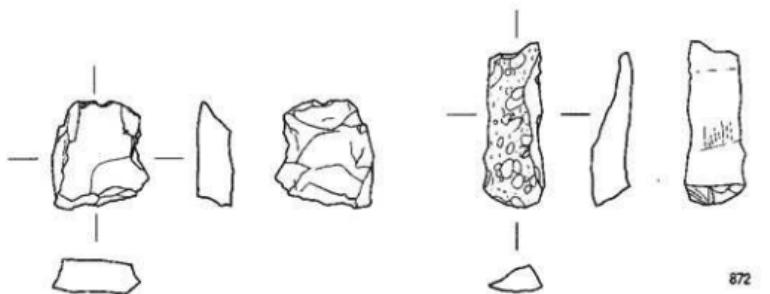


868



869

870

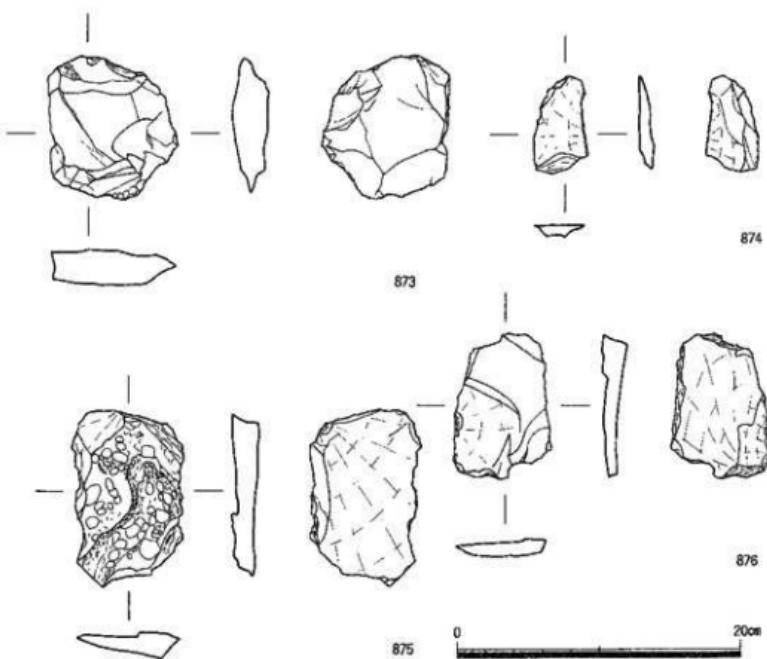


871

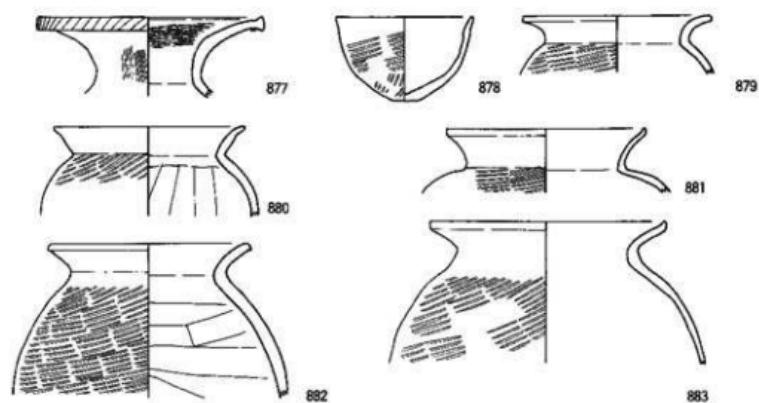
872



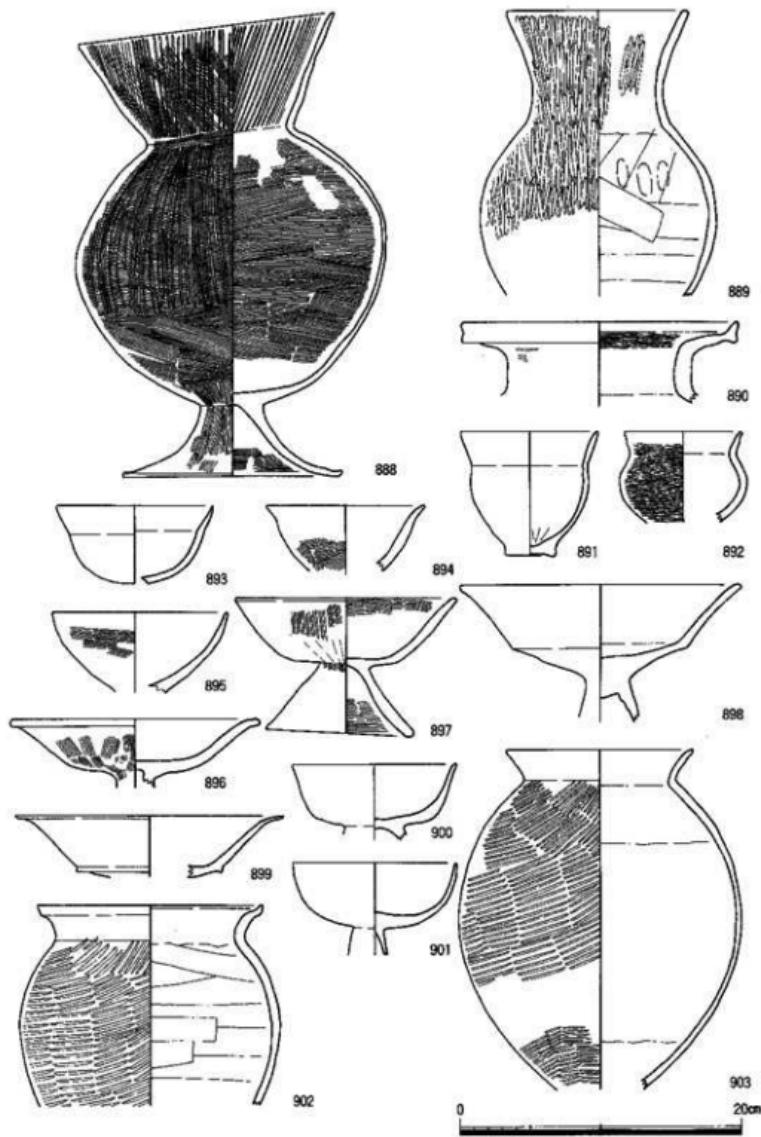
第100図 25地区・27地区遺物包含層出土サヌカイト剥片実測図



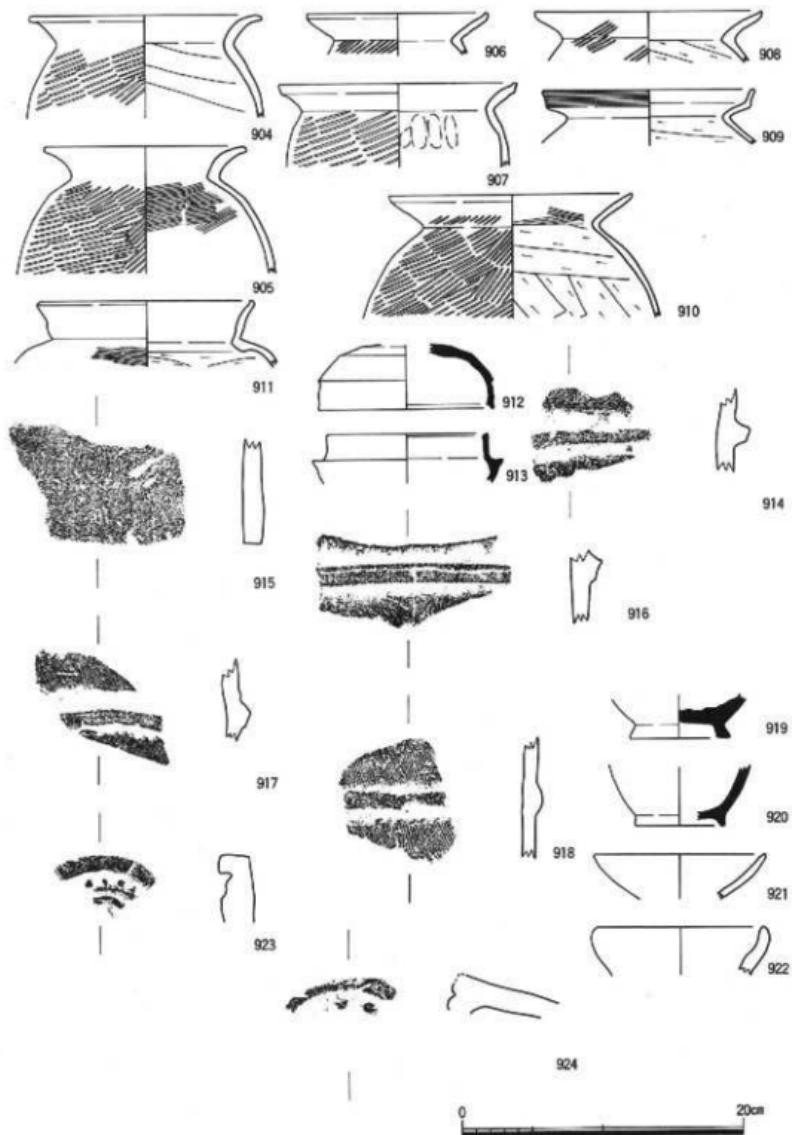
第101図 28地区遺物包含層出土サヌカイト剥片実測図



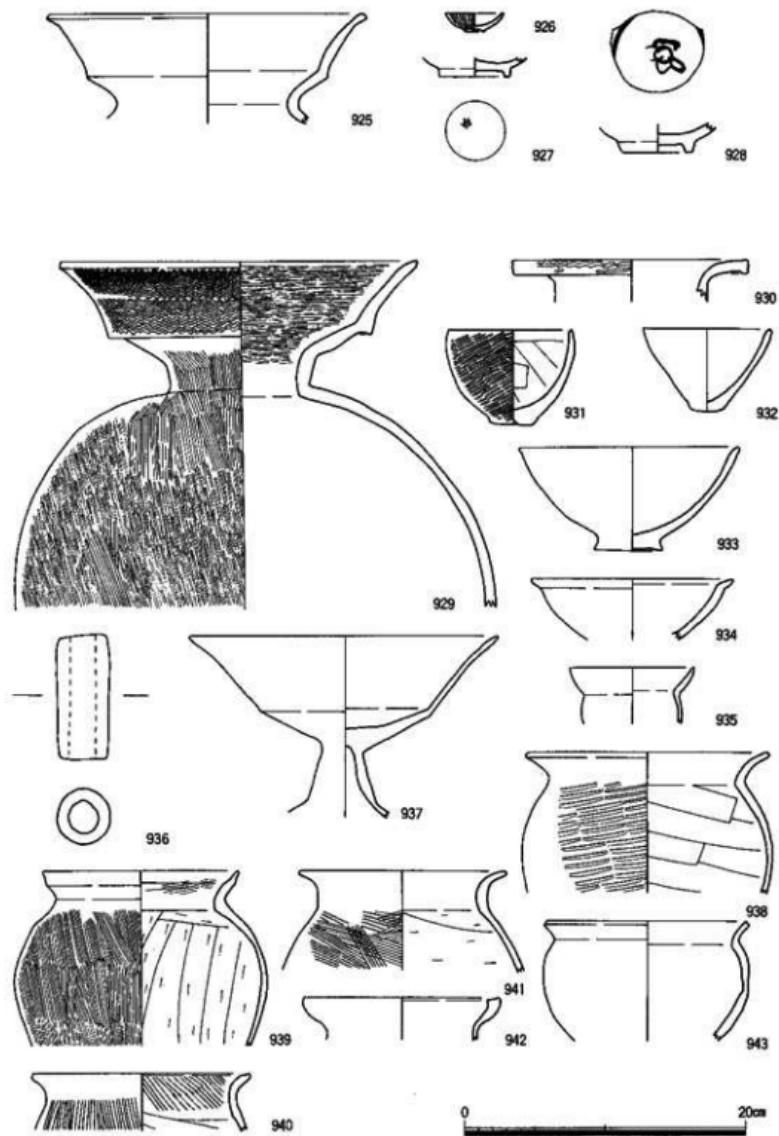
第102図 22地区・24-1地区遺物包含層出土遺物実測図



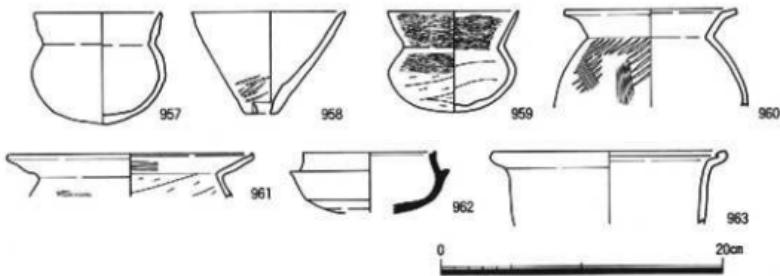
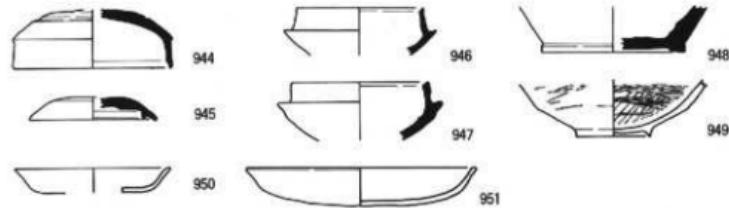
第103图 24-1地区遗物包含层出土遗物实测图1



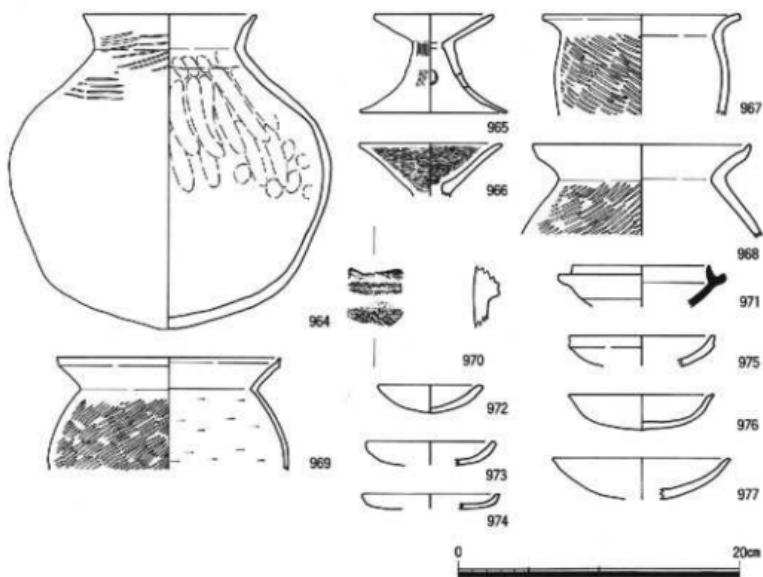
第104図 24-1地区遺物包含層出土遺物実測図2



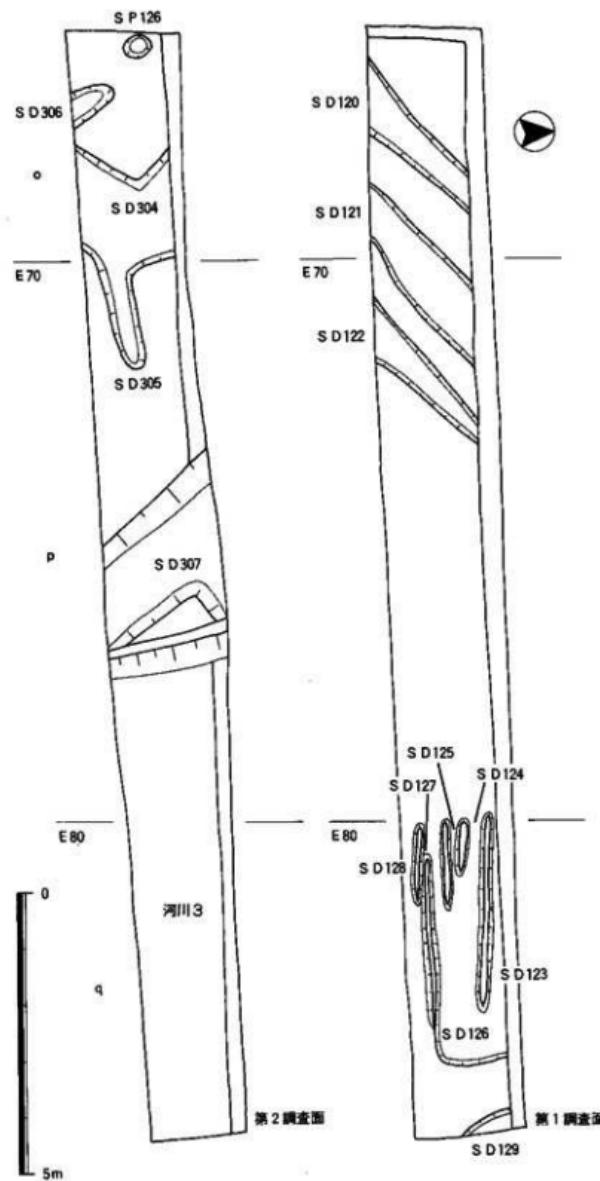
第105図 24-2地区・25地区遺物包含層出土遺物実測図



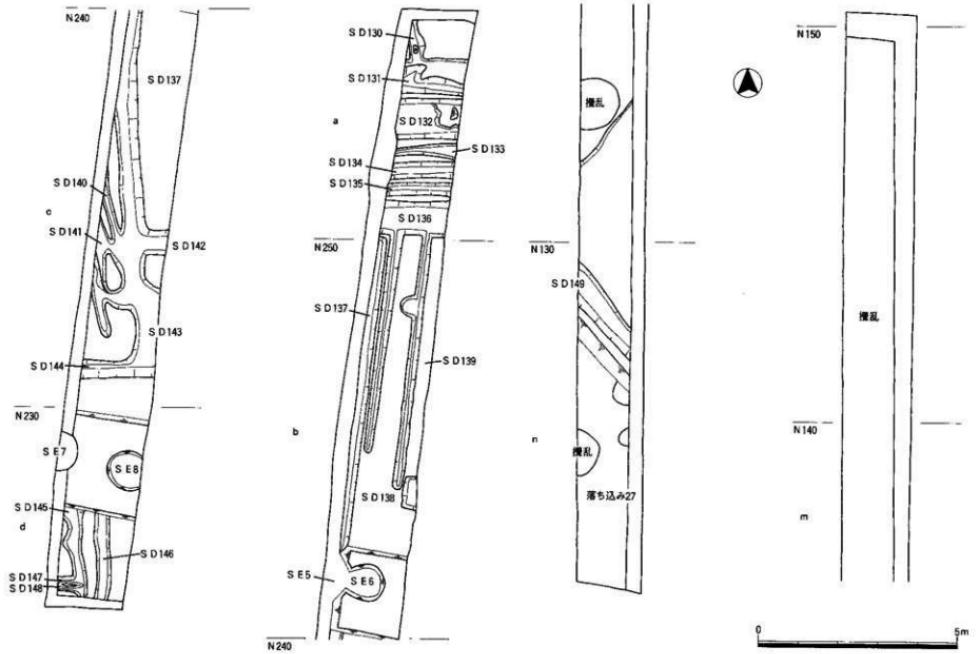
第106図 25地区・26地区・27地区遺物包含層出土遺物実測図



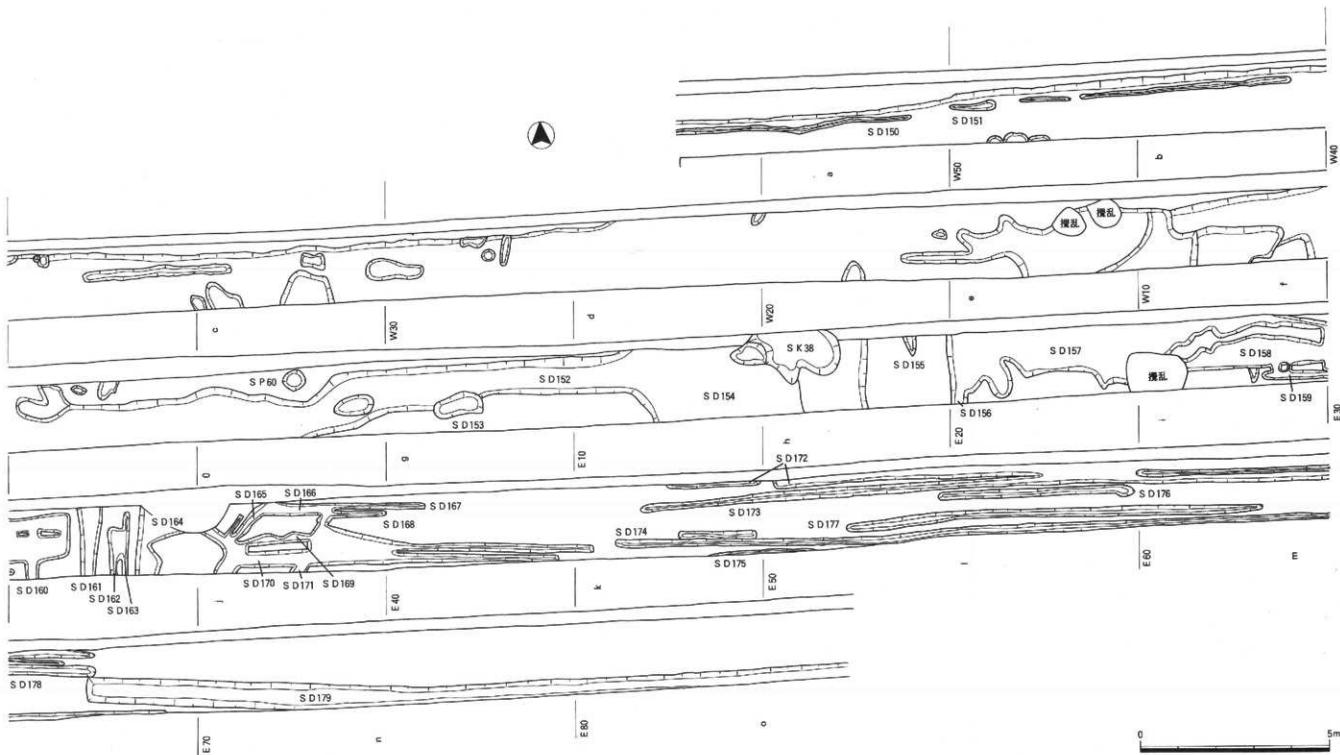
第107図 28地区遺物包含層出土遺物実測図



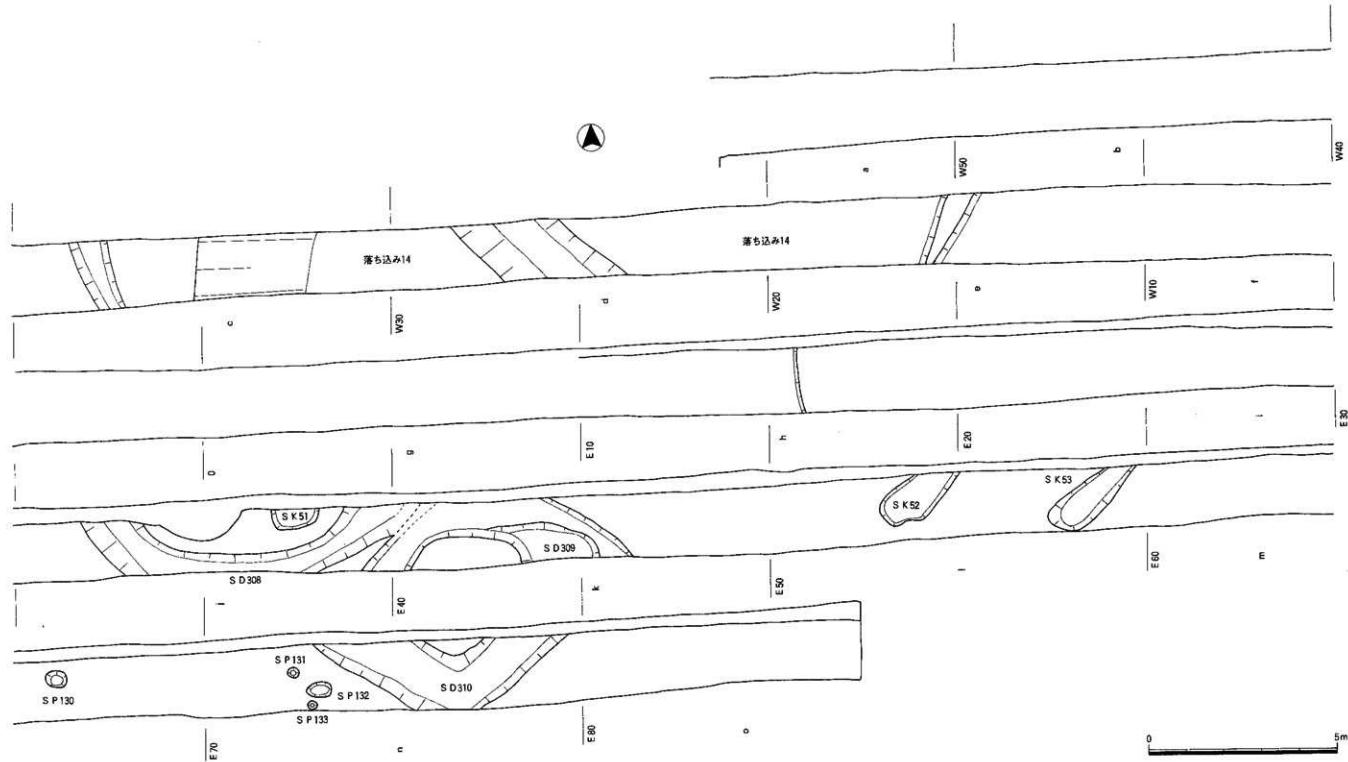
第108図 22o~q地区造橋平面図



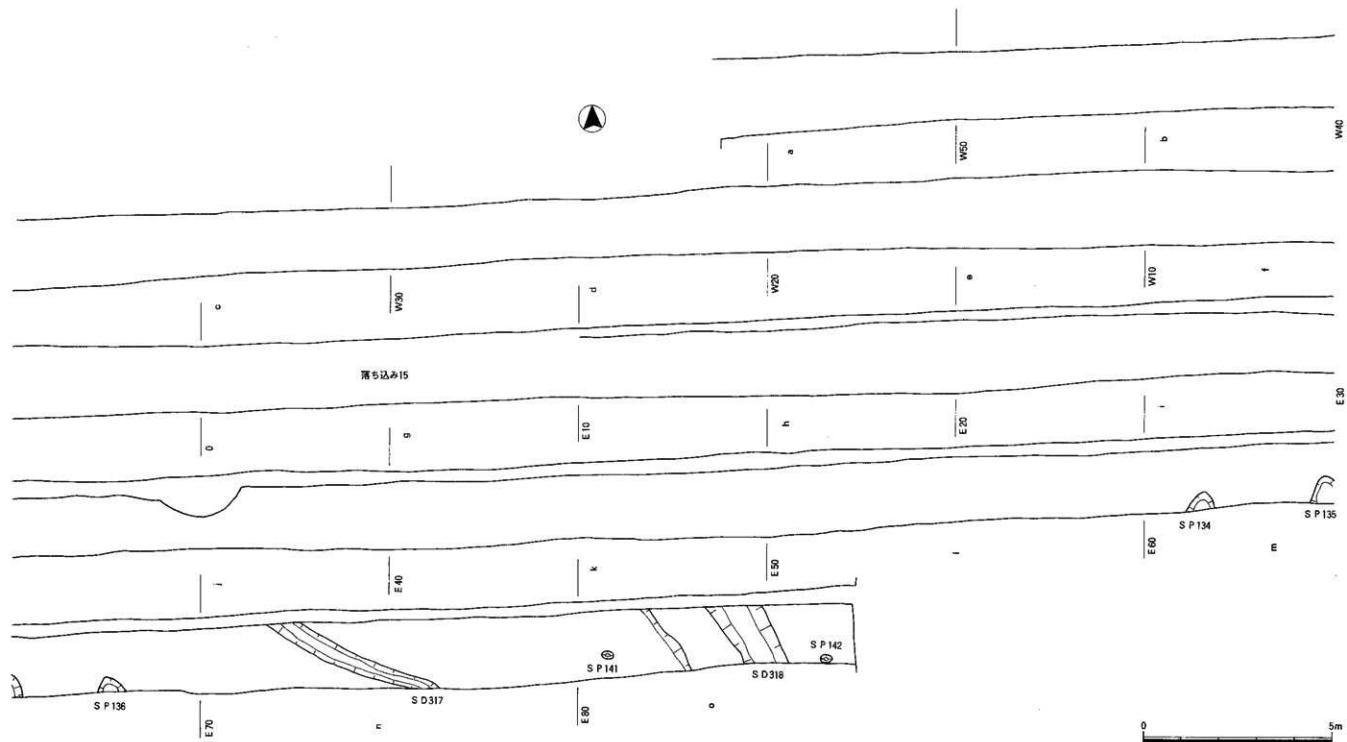
第109図 23 a ~ d + i ~ n 地区第1調査面造構平面図



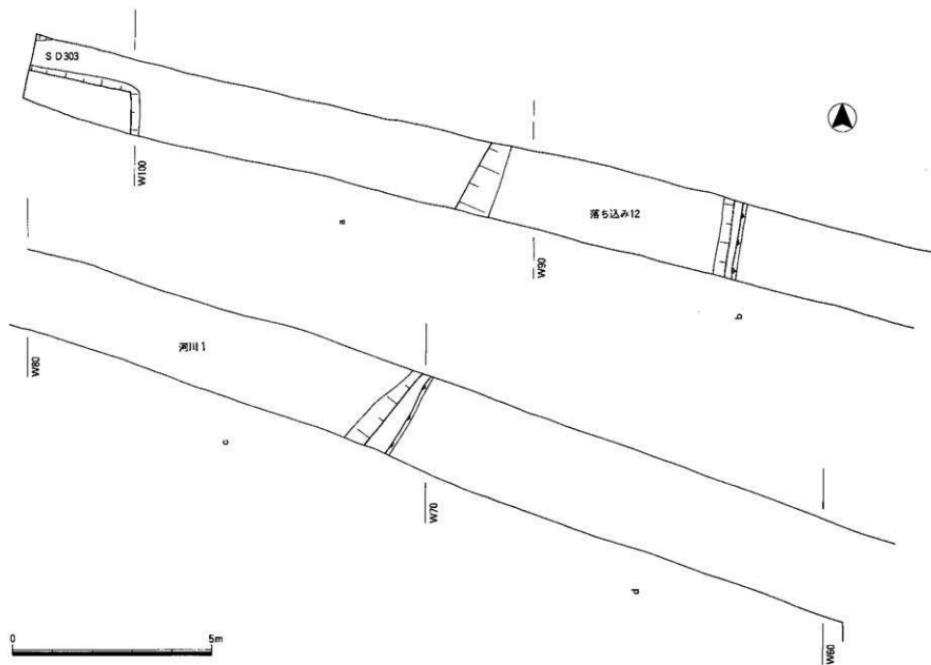
第110図 24-1地区第1調査面透構平面図



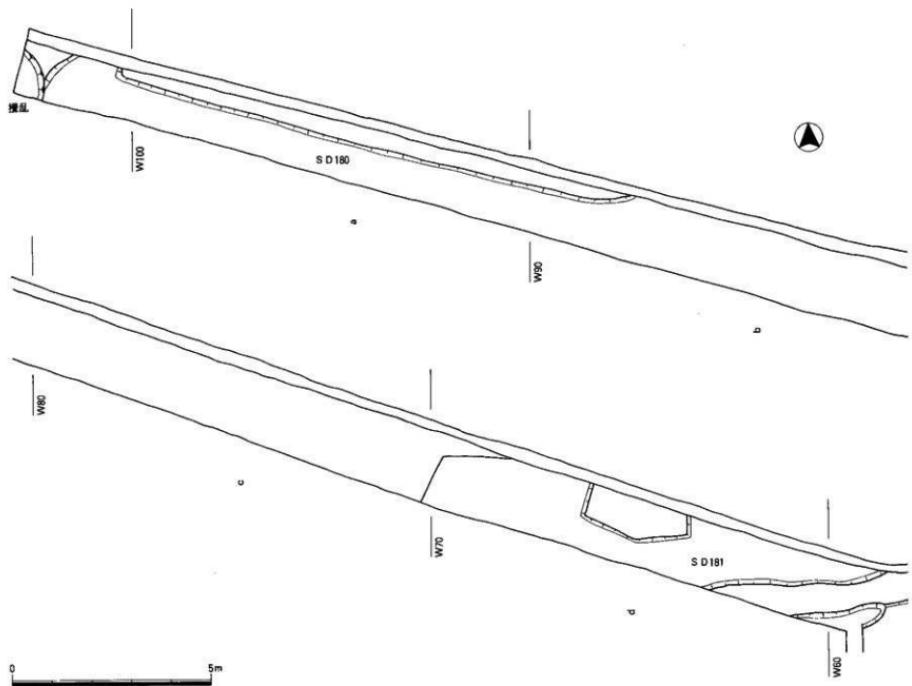
第111図 24-1地区第2調査面構造平面図



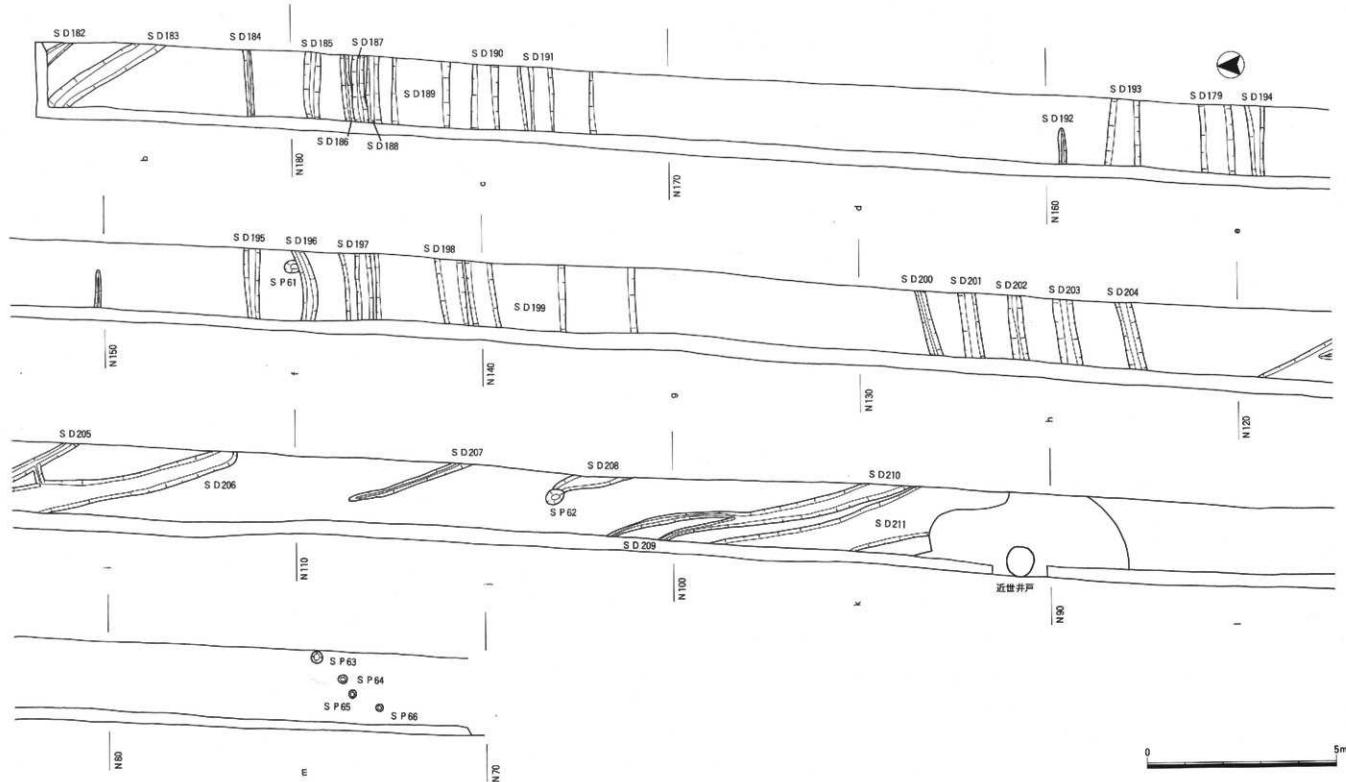
第112図 24-1地区第3調査面沿岸平面図



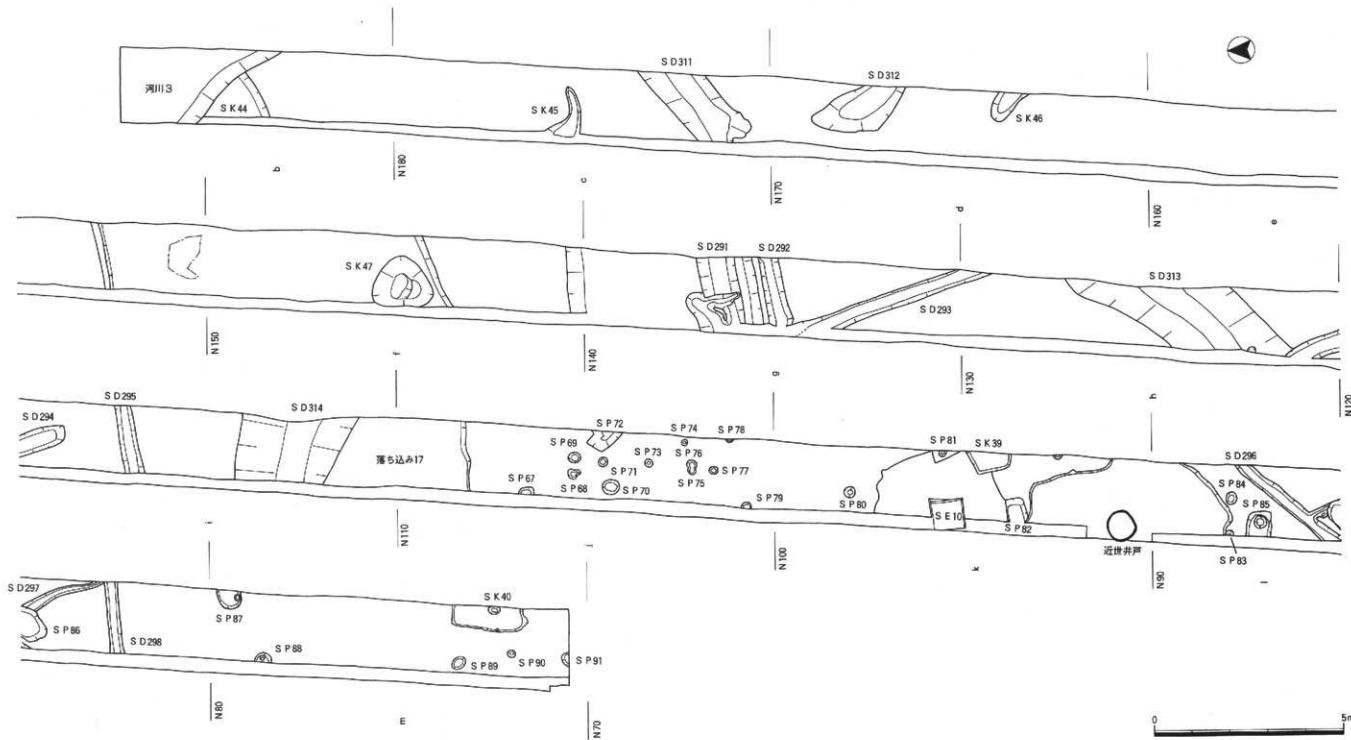
第113図 24-2地区第1調査面遺構平面図



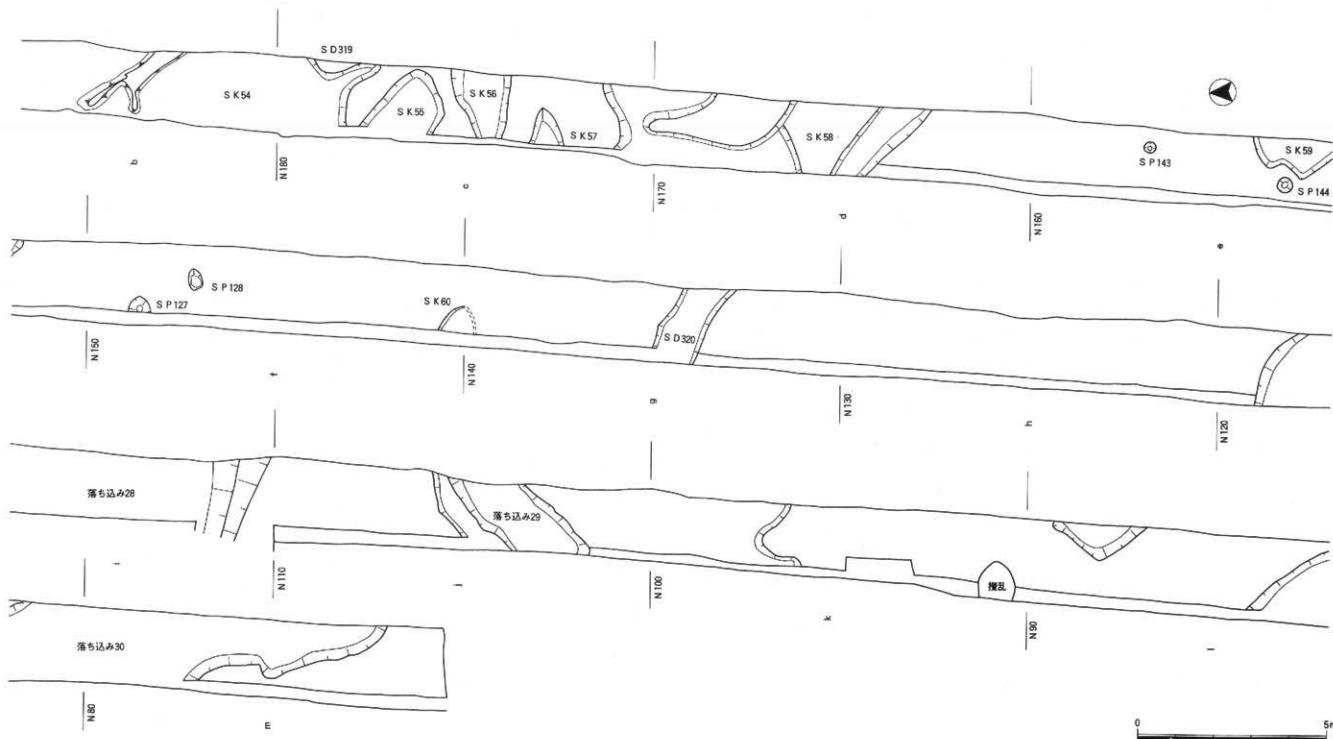
第114區 24—2地區第2調查面邊界平面圖



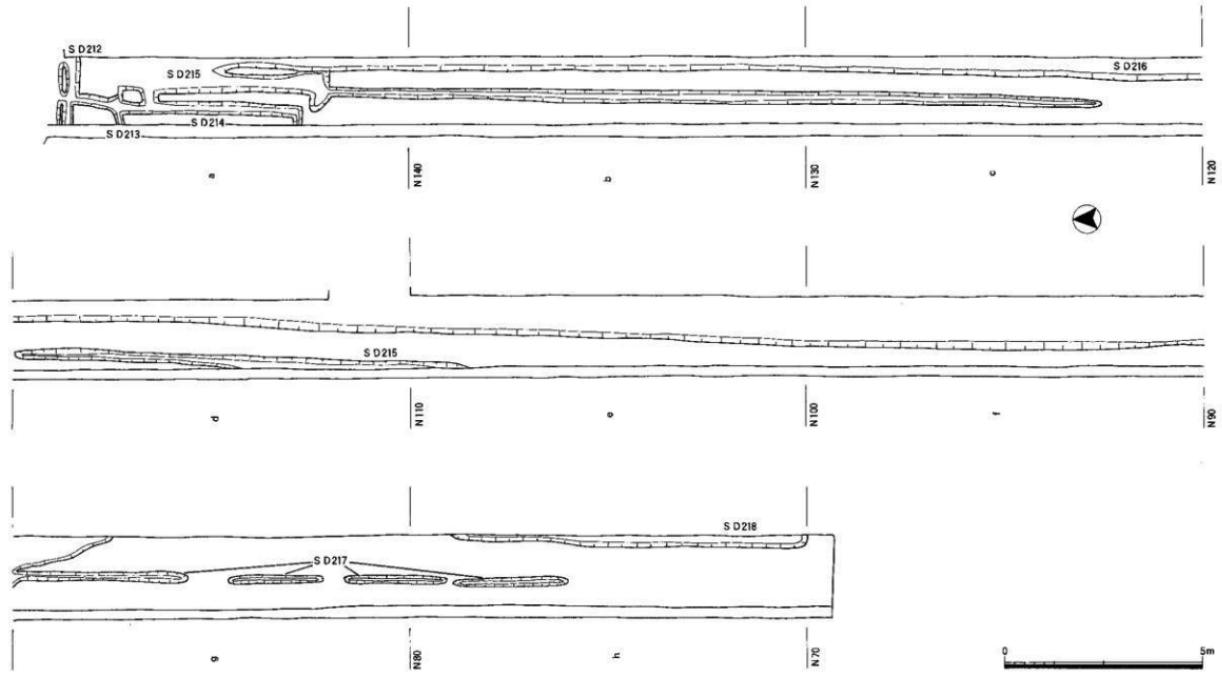
第115図 25b～m地区第1調査面遺構平面図



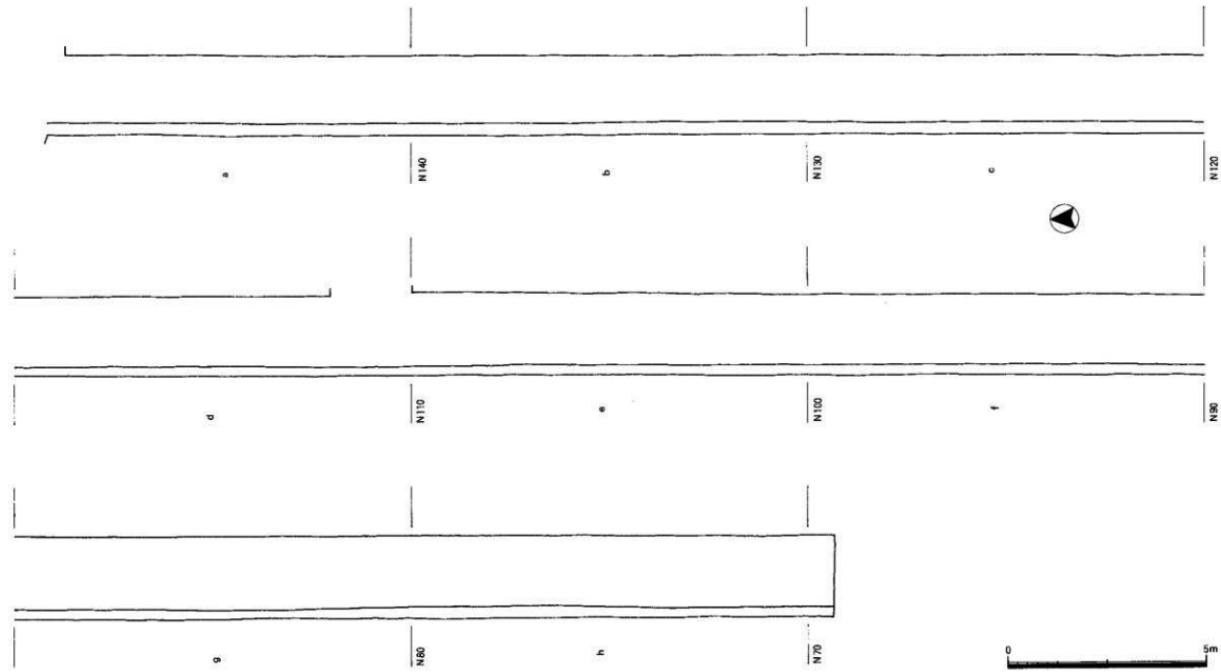
第116図 25b～m地区第2調査面縦横平面図



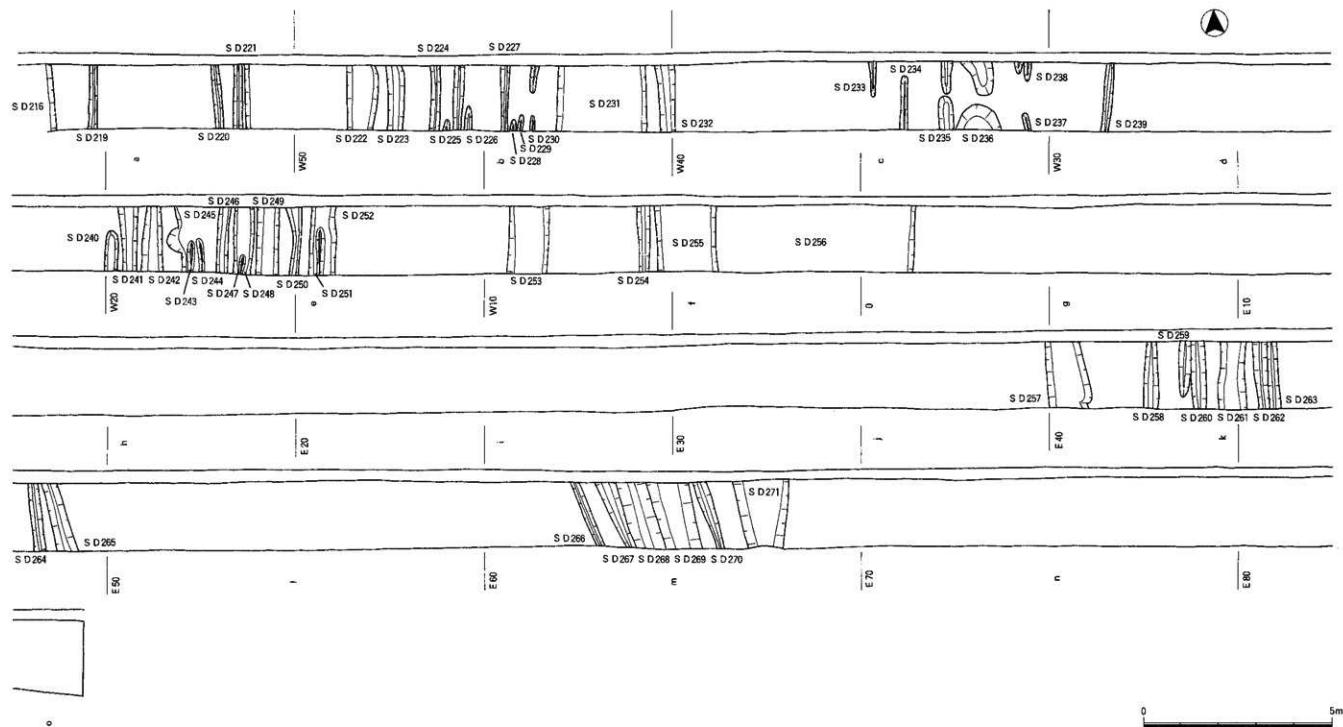
第117図 25b ~ m地区第3調査面構造平面図



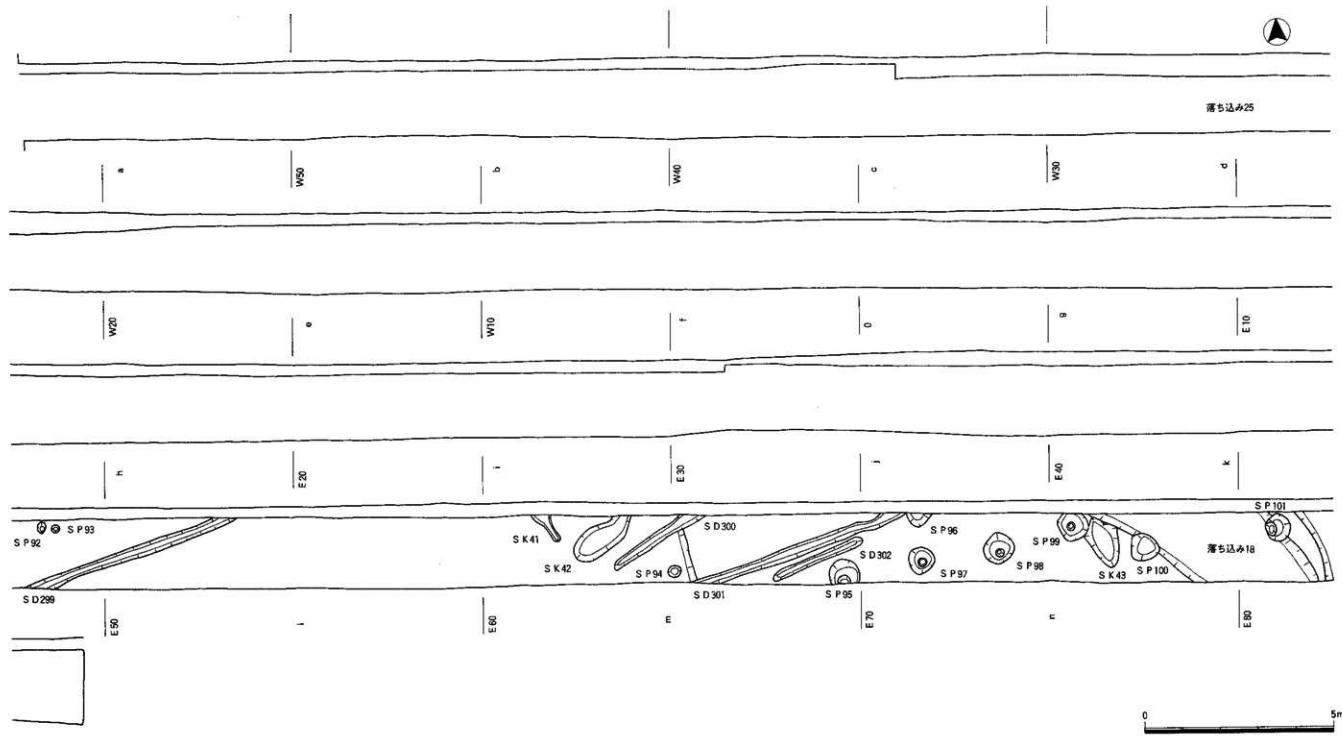
第118図 26地区第1調査面遺構平面図



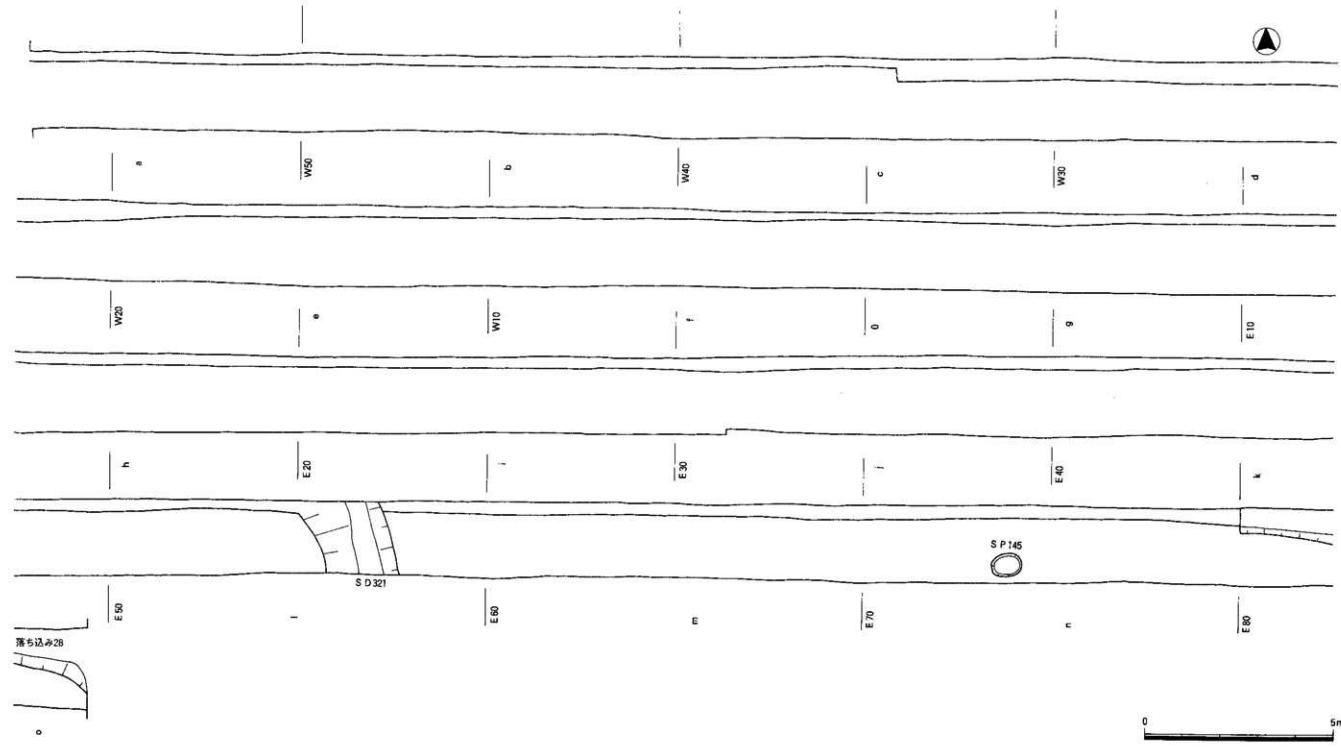
第119圖 26地區第2調全面連續平面圖



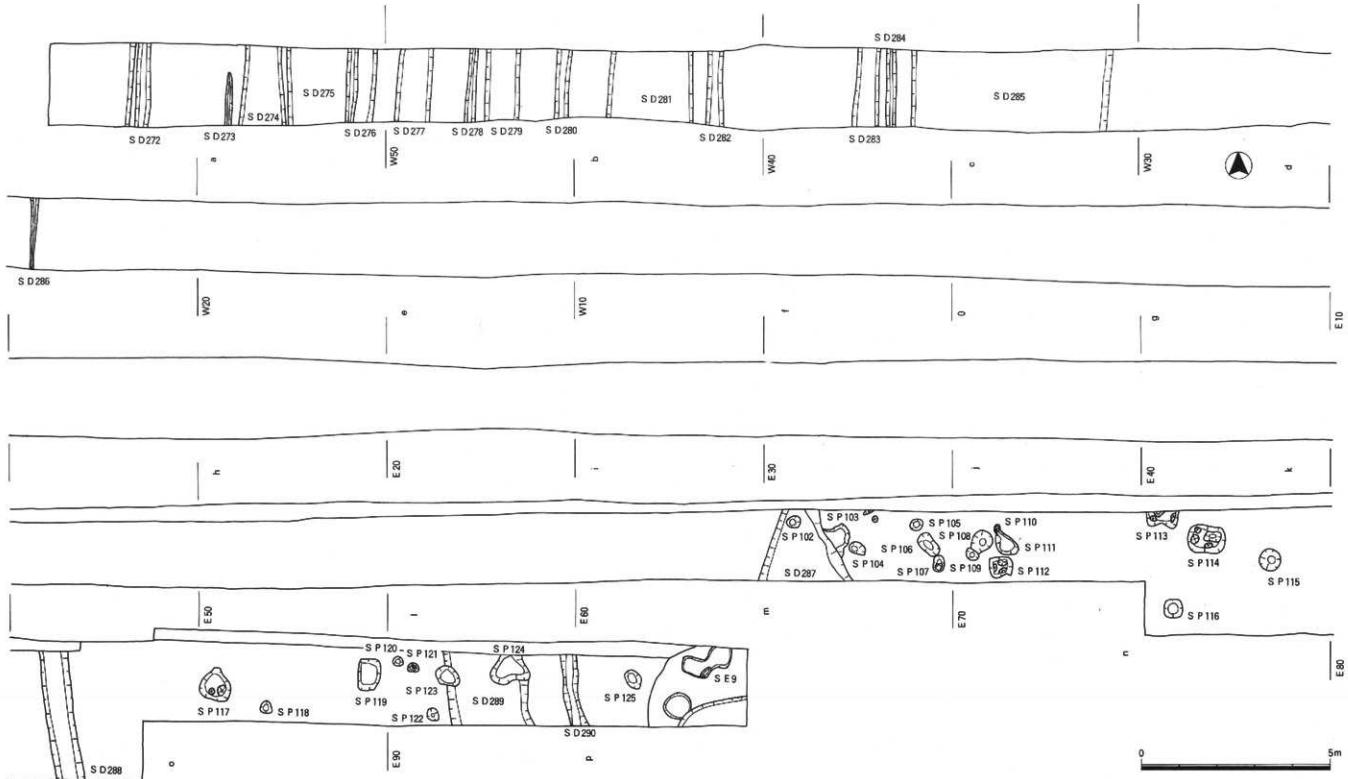
第120図 27地区第1調査面構造平面図



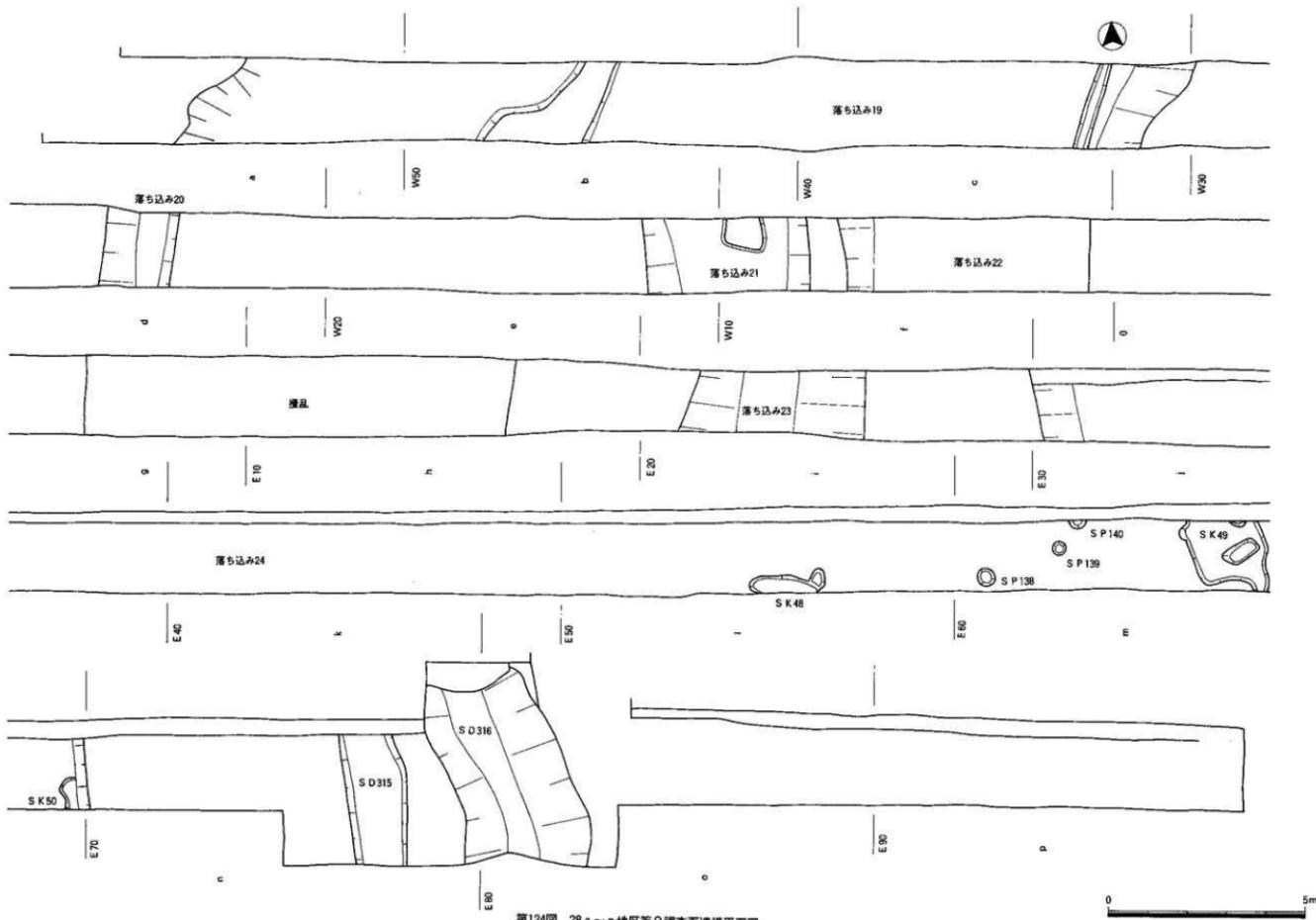
第121図 27地区第2調査面造構平面図



第122図 27地区第3調査面造構平面図



第123図 28a～p地区第1調査面遺構平面図



第124図 28a～p地区第2調査面構造平面図

第5章 出土遺物觀察表

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
1	鉢	底径 2.7 SK54	口縁部・体部は欠損。底部は突出する浅い上げ底。 体部外面ナデ、内面ハラナデ、底部外側ナデ。	灰茶色	長石・石英 雲母等の微砂粒を含む	良好	
2	甕	口径 8.6 SK54	上内方に伸びる体部から丸く屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ハケナデ(10本)、内面ハラケナデ。	淡茶灰色	3mm以下の 長石・角閃石、 隕石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
3	同上	口径 15.8 SK54	上内方に内側気味に伸びる体部から稍曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ハラケナデ。	外:茶色 内:茶色	長石・雲母等の微砂粒を多量に含む	良好	焼付着
4	同上	底径 3.7 SK54	口縁部・体部は欠損。底部は突出気味の平底。 体部外面タタキ(3本)、内面ナデ、底部ナデ。	茶灰色	3mm以下の砂粒を含む	良好	焼付着
5	同上	底径 4.8 SK54	口縁部・体部は欠損。底部は突出気味の平底。 体部外面タタキ(3本)、内面不明、底部ナデ。	外:茶色 内:黒褐色	長石・石英 ・チャート等の微砂粒を含む	良好	焼付着
6	同上	底径 4.2 SK54	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底、 体部外面タタキ(4本)、内面ハラナデ。	外:茶色 内:黒褐色	雲母・角閃石等の細砂粒を多量に含む	良好	
7	甕	口径 11.4 SK56	体部から丸く屈曲し、斜上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)。	外:茶色 内:茶色	長石・石英等の微砂粒を含む	良好	
8	甕	口径 16.4 SK56	口縁部は上方に伸び、端部は外上方につまみ出す。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外:乳白色 内:乳白色	3mm以下の 長石・石英等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	都 種 出土地点	(cm) 口径 法量 巻高	形 異・調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
9	甕	底 径 4.3 SK56	口縁部・体部は欠損。底部は突出しない小さくばみ底。 体部外側タタキ(4本)、内面へラナダ。	淡茶灰色	長石・石英 赤褐色酸化鉄等細砂粒を多量に含む	良好	
10	甕	口 径 15.5 落ち込み27	直上する腹部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側タタキ(3本)。	淡茶灰色	長石等の微砂粒を含む	良好	
11	甕	底 径 3.0 落ち込み27	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外側ヘラミガキ、内面へラナダ、底部ナデ。	灰灰色	4mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
12	同 上	口 径 13.2 落ち込み27	上内方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側タタキ(3本)、内面へラナダ。	外 淡茶色 内 雜灰褐色	5mm以下の角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
13	同 上	底 径 4.3 落ち込み27	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外側タタキ(4本)、内面へラナダ、底部ナデ。	外 暗褐色 内 茶灰色	5mm以下の石英・長石等の砂粒を含む	良好	擦付着
14	同 上	底 径 4.0 落ち込み27	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外側タタキ(4本)、ナデ、内面不規、底部へラナダ。	外 茶灰色 内 雜灰褐色	長石・石英等の細砂粒を多量に含む	良好	
15	同 上	底 径 3.8 落ち込み27	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外側タタキ(5本)、内面へラナダ、底部ナデ。	茶灰色	5mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	
16	甕	口 径 13.4 落ち込み28	直上して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に短く伸びる口縁部に至る。端部は上下に肥厚し、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側ハケナデ(6本)、内面ナデ。	暗灰褐色	4.5mm以下の角閃石・長石等の砂粒を多量に含む	良好	

遺物番号 目録番号	基 種 出土 地点	(cm) 口徑 法量 器高	形 態・調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
17	甕	口 径 12.0	口縁部は上方に伸びた後斜上方に伸びる。 端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	淡茶灰色	4mm以下の 長石・角閃 石・雲母等 の砂粒を含む	良好	
	落ち込み28						
18	同 上	口 径 14.2	内上方に内縁気味に伸びる体部から屈曲し、 上方に伸びた後外傾する口縁部に至る。端 部は上につまみあげて尖る。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面 タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	淡茶色	3.5mm以下 の長石・角 閃石・雲母 等の砂粒を 多量に含む	良好	
	落ち込み28						
19	同 上	口 径 21.0	口縁部は外上方に伸び、端部は上下に肥厚 し、外に面をもつ。体部は欠損。外端面にへ う先による一束の波状文を施す。 口縁部外面ヨコナデ、端部内面ヨコナデ、 内面暗突・ヘラミガキ。	乳灰色	3mm以下の 砂粒を含む	良好	
	落ち込み28						
20	同 上	口 径 13.2	上内方に内縁気味に伸びる体部から屈曲し、 上方に伸びた後上方に傾く伸びる口縁部に至る。端部は外に深い凹面をもつ。体部は 欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面 ハケナデ(10本)、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	3.5mm以下 の砂粒を多 量に含む	良好	
	落ち込み28						
21	同 上	口 径 11.0	口縁部は外上方に外反気味に伸び。端部は 上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰茶色	1mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 含む	良好	
	落ち込み28						
22	同 上	口 径 12.75	蝶形と思われる体部から屈曲し、上方方に 外反して伸びた後上方に伸びる口縁部に至 る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面不明、体部外面不明、内面ハ ケナデ(不明)後ヘラナデ。	外 茶灰色 内 黄色	3mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 多量に含む	良好	
四十	落ち込み28						
23	甕	口 径 11.6 器 高 14.8 底 径 4.85	蝶形に近い体部から屈曲し、上方方に伸び る口縁部に至る。端部は上に面をもつ。底部 は突出する浅いくぼみ底。体部上位外面に一 本、内面に二本の接合痕を有す。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヘラナ デ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	淡赤褐色	3mm以下の 長石・石英 角閃石・雲 母等の砂粒 を含む	良好	変形
	落ち込み28						
24	同 上	口 径 12.4 器 高 11.9 底 径 4.4	蝶形の体部から屈曲し、上方方に伸びる口 縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味の くぼみ底。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナ デ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	茶灰色	2mm以下の 長石・石英 チャート 角閃石等 の砂粒を含 む		
四十	落ち込み28						

遺物番号 回収番号	出土地点	(cm) 口径 法皇 器高 底径	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
25	斐	口径 13.1 器高 10.7 底径 3.6	肩部に最大径をもつ球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出する平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラナデ。	暗灰茶色	3mm以下の 角閃石・雲母・ 長石・ 赤褐色化 粧の砂粒 を含む	良好	焼付着
四十	落ち込み28						
26	同上	口径 14.6 器高 13.4 底径 3.7	肩部に張りのある球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出するくぼみ底。体部内面上位に二本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ後ヨコナデ、体部外 面タタキ(上5本、下3本)、内面ヘラナデ。	赤褐色	2mm以下の 長石・石英・ 雲母等の 砂粒を含む	良好	完形 焼付着
四十	落ち込み28						
27	同上	口径 10.0	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、 外上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は若干上につけた。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6 本)後ナデ、内面ナデ。	暗灰褐色	角閃石・雲 母・長石等 の微砂粒を 含む	良好	
	落ち込み28						
28	同上	口径 12.2	上内方に内側して伸びる体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6 本)後ナデ、内面ナデ。	外 暗茶色 内 暗灰褐色	2mm以下の 角閃石等の 砂粒を含む	良好	
	落ち込み28						
29	同上	口径 13.6	上内方に内側気味に伸びる体部から屈曲し、 上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5 本)、内面ナデ。	暗茶灰色	2mm以下の 角閃石・雲 母・長石・ 石英等の砂 粒を少數含 む	良好	焼付着
	落ち込み28						
30	同上	口径 16.0 器高 24.9	最大径を胴中位より上にもつ橢円形の体部 から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。 端部は上につまむ。底部は突出しない小さい 平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタ キ(4本)、中位ハケナデ(5本)、下位タタキ (3本)、内面ヘラケナデ。	淡灰茶色	2mm以下の 角閃石・長 石・雲母等 の砂粒を含 む	良好	完形 焼付着
四十	落ち込み28						
31	同上	口径 14.6	内上方に内側して伸びる体部から屈曲し、 斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5 本)後ナデ、内面ナデ。	茶灰色	3mm以下の 角閃石・雲 母・長石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	
	落ち込み28						
32	同上	口径 15.0	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、 上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につ まむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4 本)後ナデ、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	3mm以下の 長石・角閃 石・雲母・ 石英等の砂 粒を少數含 む	良好	
	落ち込み28						

遺物番号 国庫番号	都 標 出土 地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調査等の特徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
33	甕	口径 17.4	球形と思われる体部から瘤部とし、斜上方に伸びる口縁部に至る。瘤部は若干上につまむ。底部は欠損。体部内側上位に西本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外表面タキ(上5本、下4本)、内面ナギ。	茶灰色	5mm以下の 角閃石・長 石・石英・ 雲母等の砂 粒を多量に 含む	良好	焼付着
四十一	落ち込み28						
34	同 上	口径 15.8	上内方に内側気味に伸びる体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。瘤部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外表面タキ(3本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	6mm以下の 長石・雲母 等の砂粒を 多量に含む	良好	
	落ち込み28						
35	同 上	口径 16.0	内上方に内側に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。瘤部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外表面タキ(4本)後ナギ、内面ナギ。	暗茶灰色	4mm以下の 角閃石・長 石・雲母等の 砂粒を少 量含む	良好	焼付着
	落ち込み28						
36	同 上	口径 17.6	口縁部は上外方に伸び、瘤部はえい。体部は欠損。 口縁部外表面ハケナナデ後ヨコナギ、内面ハケナギ。	茶灰色	3mm以下の 長石・右英 ・雲母等の 砂粒を少 量含む	良好	
	落ち込み28						
37	同 上	口径 19.8	内上方に内側する体部から屈曲し、七外方に伸びる口縁部に至る。瘤部は上につまむ。体部は欠損。腹部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外表面タキ(4本)、内面ナギ。	乳茶灰色	2mm以下の 長石・右英 ・チャート 等の砂粒を 含む	良好	焼付着
	落ち込み28						
38	壺	口径 15.0	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。瘤部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外表面ヘラミガキ、内面ハケナナデ(10本)	淡茶褐色	6mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を多量 に含む	良好	
四十一	落ち込み29						
39	土 壩	長さ 6.6 最大径 2.9 管状径 1.1	管状形。 内外面ナギ。	淡褐色	3mm以下の 長石・右英 ・右英等の 砂粒を少 量含む	良好	完形
四十一	落ち込み29						
40	甕	口径 13.9 器高 14.9 底径 4.4	最大形を胴中位より上にもつ矮形の体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。瘤部は丸い。底部は突出しないくぼみ底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外表面タキ(5本)、内面ヘナナギ。	外 茶灰色 内 茶灰褐色	2mm以下の 角閃石等の 砂粒を含む	良好	完形
四十一	落ち込み29						

遺物番号 回収番号	器種 出土 地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
41	甕	口径 15.0 器高 18.6 底径 4.0	橢円形の体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は突出する平底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3~4本)、内面ナゲ、底部ナゲ。	外 暗茶灰色 内 黒灰色	3mm以下の 長石等の砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
四十一	落ち込み29						
42	同 上	口径 16.2 器高 22.0 底径 4.4	最大形を胴中位より上にもつ橢円形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。 端部は丸い。底部は突出気味のくぼみ底。 口縁部外面タタキ後ヨコナギ、内面ヨコナギ、体部外面タタキ(3~4本)、内面ヘラナギ。	暗茶灰色	5mm以下の 長石・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	完形
四十一	落ち込み29						
43	同 上	口径 11.8	上内方に内擣氣味に伸びる体部から屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(2本)、内面ナゲ。	淡赤茶色	4mm以下の 長石・石英・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	
	落ち込み29						
44	同 上	口径 14.4	上内方に内擣氣味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ナゲ。	外 茶色 内 暗茶灰色	長石・石英・雲母等の 微砂粒を含む	良好	焼付審
	落ち込み29						
45	同 上	底径 3.2	口縁部・体部は欠損。底部は突出気味のくぼみ底。 体部外面タタキ(5本)、内面ヘラナギ。	暗茶灰色	3mm以下の 長石・雲母・石英等の 砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み29						
46	同 上	底径 3.0	口縁部・体部は欠損。底部は突出気味の平底。 体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナギ。	淡茶灰色	7.5mm以下 のチャート・長石・石英等の 砂粒を少量含む	良好	黒斑有
	落ち込み29						
47	同 上	底径 4.2	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナギ。	暗茶灰色	3mm以下の 長石・雲母等の 砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み29						
48	鉢	口径 14.2	上外方に伸びる体部から斜上方に内擣氣味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は欠損。 内外面ヘラナギ。	外 暗灰褐色 内 淡茶灰色	4mm以下の 砂粒を含む	良好	
	落ち込み30						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法厚 壁高	形態・測定等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
49	土塊	長さ 8.5 最大径 3.6 管状径 1.2	管状形。 内外面ナデ。	灰系色	長石・石英 ・雲母・チ ヤート等の 細砂粒を含む	良好	完形 裏斑有
四十一	落ち込み30						
50	甕	底径 4.6	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外面タキ(4本)、内面ヘラナデ。	暗褐色	3mm以下の 長石・石英 ・角閃石等の砂 粒を含む	良好	
	落ち込み30						
51	甕	口径 11.4 器高 27.4 底径 4.3	肩部に彫りをもつ体部から丸く屈曲し、上 外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は 若干つまむ。 底部は突出気味の平底。 口縁部内外面ハケナデ後ヨコナデ。体部外 面ハケナデ(9本)、内面上面指ナデ、下位ハ ケナデ、底部ナデ。	外 淡灰褐色 内 淡灰色	4.5mm以下の 長石等の 細砂粒を含む	良好	
	SP135						
52	同上	口径 14.4	内上方に内側して伸びる体部から屈曲し、 斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部 は若干外方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ 後タキ(4本)、内面ナデ。	淡褐色	3mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	
	SP135						
53*	同上	口径 14.6	上内方に内側気味に伸びる体部から屈曲し、 上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部 は丸く。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タキ(3 本)、内面ヘラナデ後ハケナデ。	淡茶色	6.5mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	焼付有
	SP135						
54	同上	口径 14.25 器高 17.5 底径 3.6	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部か ら屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に 至る。端部はつまみ上げる。底部は突出する 平底。 口縁部外面タキ後ヨコナデ、内面ヨコナ デ、体部外面タキ(3本)後ハケナデ(10本)、 内面ハケナデ(10本)。	淡灰茶色	石英・長石 ・チヤート等の 細砂粒を含む	良好	完形
四十一	SP135						
55	同上	口径 15.3	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、 斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。体部 は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タ キ(4本)、下位ハケナデ、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	5mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	焼付有
	SP135						
56	同上	口径 15.7	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、 外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外側す る面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タ キ(3本)後ハケナデ、内面ナデ。	淡褐色	3mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	
四十一	SP135						

遺物番号 採取番号	品種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
57 四十二	小型丸底盤 SD321	口 径 15.9 器 高 13.3	環形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縫部に至る。端部は上につまむ。体部は丸味をもつ。 口縫部外縫ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面ナデ後ヘラミガキ、体部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	乳灰褐色	細砂粒一微砂粒を含む	良好	完形 無底有
		口 径 13.2	口縫部は外上方に伸びた後屈曲し、斜上方に外反して伸びる。屈曲部は垂下する。端部は丸い。体部は欠損。 口縫端部内外面ヨコナダ、口縫部外面タタキ(4本)後ヨコナダ、内面ヨコナダ。	淡茶灰褐色	3mm以下の 角閃石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	
58 SD321	同 上 SD321	口 径 13.4	口縫部は斜上方に外反して伸びる。端部は外傾する浅い凹面をもつ。体部は欠損。 口縫端部外面ヨコナダ、口縫部外面タタキ(4本)後ヨコナダ、内面ヨコナダ。	淡茶灰褐色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	
		口 径 15.6	口縫部は上外方に外反する。端部はつまみあがむ。体部は欠損。 口縫部外縫ヨコナダ後ヘラミガキ、内面ナデ。	外 乳白色 内 灰褐色	4mm以下の 長石等の砂 粒を含む	良好	
61 SD321	同 上 SD321	口 径 14.9	体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縫部に至る。端部はわずかに垂下し、面をもつ。体部は欠損。 口縫部外縫ヨコナダ後ヘラミガキ、内面不明。	外 基灰色 内 漆黒色	5mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 含む	良好	
		口 径 17.6	口縫部は斜上方に外反気味に伸びる。端部はわずかに垂下し、面をもつ。体部は欠損。 口縫部外面ハケナダ、内面ヨコナダ。	淡茶色	4mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を多量 に含む	良好	
63 SD321	同 上 SD321	口 径 18.2	口縫部は斜上方に伸びる。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナダ・ナダ、内面ヘラミガキ。	淡灰茶色	2mm以下の 砂粒を含む	良好	
		口 径 18.2	口縫部は上外方に外反して伸びる。端部は外に面をもち、二条の沈縮を認める。体部は欠損。 口縫部外縫タタキ(2本)後ヨコナダ、内面ヨコナダ。	灰褐色	4mm以下の 雲母・長石 ・石英等の 砂粒を含む	良好	

博物番号 図版番号	出 土 地 点	(cm) 口径 法 量 器 高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 上	純成	備 考
65	春	口径 14.2 SD321	口縁部は外上方に伸びた後屈曲し、外上方に伸びる。底部は素面下する。端部は丸い。体部は欠損。口縁部外面に一束(3本)、内面に一束(5本)の波状文を施す。 口縁部内外面ナゲ。	茶灰色	3mm以下の 角閃石・長 石・雲母等 の砂粒を少 量含む	良好	
66	同 上	口径 15.4 SD321	口縁部は二段に屈曲して外反して外上方に伸びる。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヘラミガキ。	茶灰色	長石・石英 ・雲母等の 微砂粒を含 む	良好	
67	同 上	口径 16.3 SD321	体部から屈曲し、外上方に外反して伸びる 口縁部に至る。端部は外に凹面をもち、つま みあがる。端部にヘラキザミを施す。体部は 欠損。頸部の端に刺突文を有す。内面に一本 の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナゲ、口縁部外面ハケ ナゲ(3本)、内面ヘラミガキ、体部外面ハケ ナゲ、内面ナゲ。	茶灰色	3mm以下の 雲母・長石 ・角閃石・ 赤褐色氧化 鉄等の砂粒 を含む	良好	輝付着
四十二	同 上	口径 15.6 SD321	口縁部は外上方した後上方に外反して伸 びる。端部は垂下し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、ナゲ、内面ヨコナゲ。	淡茶灰色	3mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を少 量含む	良好	黒斑有
68	同 上	口径 14.0 SD321	最大形を胴中位にもつ蝶形と思われる体部 から屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部 に至る。端部は若干上ににつまむ。底部は欠損。 体部上面に二本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナゲ、口縁部外面ヘラ ミガキ、内面ヨコナゲ、体部外面ヘラミガキ、 内面上位ナゲ、下位ハケナゲ(9本)。	淡灰褐色	5mm以下の 長石・石英 ・チャート 等の砂粒を 含む	良好	輝付着
四十二	同 上	口径 14.4 SD321	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、 上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部 は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヘラミガキ、体部外面ヘラミ ガキ、内面ナゲ後指痕。	乳灰茶色	5mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	
70	同 上	口径 12.4 器 高 24.9 底 徑 4.0 SD321	蝶形の体部から丸く屈曲し、斜上方に伸び る口縁部に至る。端部は外に面をもつ。底部 は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(4 本)後ヘラミガキ、内面ヘナゲ。	外 乳灰茶 色 内 暗灰茶 色	2mm以下の 砂粒を含む	良好	輝付着
四十二	同 上	口径 13.4 器 高 30.2 底 徑 5.9 SD321	椭円形の体部から屈曲し、上外方に外反し て伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は 突出する平底。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(3 本)後ヘナゲ、内面ヘナゲ。	乳灰茶色	3.5mm以下の チャート ・石英・長 石等の砂粒 を多量に含 む	良好	輝付着

遺物番号 回収番号	出 土 地 点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	底 土	成 因	備 考
73	壹	口径 14.0	球形と思われる体部から屈曲し、直上した様に伸びる口縁部に至る。端部は若干肥厚し、外に面をもつ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	茶灰色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	
四十二	S D321						
74	同 上	底 法量 4.9	そろばん球形の体部から丸く屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は欠損。 底部は突出気味の平底。 口縁部内外面不明、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	7mm以下の 長石・雲母 ・石英・チ ヤートの砂 粒を多量に 含む	良好	黒斑有
四十三	S D321						
75	肆	口径 器高 底 法量 3.2	瓶形の体部から内側気味に上外方に伸びる口縁部に至る。端部は突出する面をもつ。底部は突出気味の小さいくぼみ底。底部外面に一本の接合縫を有す。 体部外面ナデ、内面ヘラナデ。	淡褐色	2mm以下の 長石等の砂 粒を含む	良好	無付着
四十三	S D321						
76	同 上	口径 器高 底 法量 3.3	上外方に内側して伸びる体部から口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 体部外面ナデ後ハケナデ(5本)、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	4mm以下の 角閃石・雲 母・長石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	黒斑有
四十三	S D321						
77	同 上	口径 器高 底 法量 3.6	上外方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部、体部外面ナデ、内面ヘラナデ、底 部外面指頭痕。	淡灰褐色	5mm以下の 雲母・角閃 石・長石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	丸形 黒斑有
四十三	S D321						
78	同 上	口径 器高 底 法量 2.5	球形の体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ハケナデ後ヨコナデ、瓶部内 面ハケナデ、体部外面ハケナデ後ヘラミガキ 内面ナデ。	淡灰褐色	雲母・長石 ・角閃石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	
四十三	S D321						
79	同 上	口径 13.2	球形と思われる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4 本)、内面ナデ。	淡茶灰色	5mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を多量 に含む	良好	
	S D321						
80	同 上	口径 14.0	上外方に内側気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	茶灰色	3mm以下の 石英・長石 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	
	S D321						

遺物番号 四段番号	器 出土 地點	(cm) 口徑 法量 器高	形態・調整等の特徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
81	鉢	口 径 13.6 SD321	上外方に内擣して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	茶灰色	3mm以下の 角閃石・雲母・長石・ 石英等の砂粒を含む	良好	
82	同 上	口 径 13.2 SD321	上外方に内擣して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラミガキ、体部外面不明、内面ヘラミガキ。	淡灰褐色	6mm以下の 雲母・長石・ 石英等の砂粒を含む	良好	
83	同 上	口 径 14.7 SD321	上外方に内擣して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面タキ後ヨコナデ、内面ナデ。体部外面タキ(3本)、内面ナデ。	灰褐色	2mm以下の 角閃石・雲母・ 長石・石英等の砂粒を含む	良好	擦付着
84	同 上	口 径 20.2 SD321	上外方に内擣して伸びる体部から外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。底部内面一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の チャート・ 長石・赤褐色 色化粧等の 砂粒を含む	良好	黒斑有
85	同 上	口 径 17.2 SD321	上外方に内擣して伸びる体部から斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ。	外 茶褐色 内 晴茶褐色	雲母・角閃石・ 長石等の砂礫を含む	良好	黒斑有
86	同 上	口 径 16.2 SD321	外上方に伸びた後上外方する体部から屈曲し、外上方に内擣気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸く尖る。底部は欠損。 内外面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の 長石・雲母・ 赤褐色 色化粧等の 砂粒を少量含む	良好	黒斑有
87	同 上	口 径 20.0 器 高 7.6 SD321	楕円形の体部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 内外面不明。	淡茶褐色	長石・石英・ 赤褐色 色化粧等の 微砂粒を多量に含む	良好	黒斑有
88	同 上	口 径 19.0 SD321	上外方に内擣氣味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラミガキ。	淡黄色	3mm以下の 雲母・長石・ 石英等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 同族番号	器種 出土地点	(cm) 口徑 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
88	鉢	口 径 24.4 S D321	直上する体部から屈曲し、上方外方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、ヘラキザミを施す。体部は欠損。口縁部外面タタキ(2~4本)、内面ナデ、体部内外面ナデ。	淡灰褐色	4mm以下の長石・雲母・角閃石・石英等の砂粒を含む	良好	
90	同 上	口 径 23.4 S D321	上内方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、直上に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外側ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外側ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	茶褐色	3.5mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	
91	有孔鉢	口 径 14.0 器 高 7.9 底 径 3.7 S D321	上外方に内彎気味で伸びる体部から口縁部に至る。端部は純く丸る。底部は突出気味の平底。底部に穿孔を有す。 体部外側タタキ(4本)、内面不明、底部ヘラナデ。	茶灰色	4mm以下の長石・石英・赤褐色酸化鉄等の砂粒を含む	良好	完形
92	台付き鉢	底 径 8.6 S D321	体部は欠損。脚部は外下方に伸びる。端部は外傾する面をもつ。 内外面ナデ。	灰褐色	3mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	
93	高 环	口 径 12.0 器 高 9.9 底 径 14.1 S D321	平坦な环底部から屈曲した後上方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は純く丸る。 脚部は柱状部から外方に外反気味に伸びる。 端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 环部外側不明、内面ヘラナデ、脚部外側不明、内面上位ヘラナデ、下位不明。	暗灰褐色	3.5mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
四十三	同 上	口 径 14.0 器 高 10.8 底 径 17.1 S D321	楕円形の环部から上方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外に内面をもち、純く丸る。 中空の柱状部は外下方へ伸びた後屈曲し、外下方へ伸びる脚部に至る。端部は丸い。脚部下位に四方孔を有す。 口縁端部外側ヨコナデ、环部外側ヘラミガキ、脚部外側ヘラミガキ、内面ナデ。	茶褐色	2mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
四十三	同 上	口 径 13.3 器 高 11.0 底 径 18.0 S D321	楕円形の环部から直上に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下方外方に外反気味に伸びた後丸く屈曲し、外下方に伸び、脚部の径を渡ぐ環部に至る。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 口縁部外側ヨコナデ、内面ハケナデ(8本)、环部内外面ヘラミガキ、脚部外側ヘラミガキ、内面ハケナデ、脚部内面ヨコナデ。	茶褐色	雲母・長石・石英等の細砂粒~微砂粒を含む	良好	
96	同 上	口 径 22.8 S D321	环部は外上方した後屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部外側ヘラミガキ、内面不明、环部外側外側ナデ。	茶褐色	3.5mm以下の長石・石英・角閃石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	

遺物番号 回収番号	出土地点	(cm) 口径 法観 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
97	高 坪	高さ 16.0	环部は欠損。柱状部は直下した後屈曲し、下方に伸びる環部に止る。環部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 脚部外表面不規、内面上位へラナダ、下位ハケナダ(6本)。	茶褐色	5mm以下の 長石・角閃 石・石英・ 雲母等を多 量に含む	良好	保証有
	S D 321						
98	土 垒	長さ 5.6 最大径 2.8 管状径 0.9	管状形。 外表面ナダ。	灰色	2.5mm以下 の雲母・角 閃石・長石・ 石英等の 砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321						
99	同 上	長さ 6.2 最大径 2.9 管状径 0.9	管状形。 外表面ナダ。	淡灰褐色	3.5mm以下 の雲母・長 石・石英・ 角閃石等の 砂粒を少 量含む	良好	完形
四十四	S D 321						
100	同 上	長さ 4.6 最大径 3.3 管状径 1.2	管状形。 外表面ナダ。	淡灰茶色	2mm以下の 長石・長 石・石英・ 角閃石等の 砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321						
101	同 上	長さ 5.9 最大径 3.25 管状径 1.05	管状形。 外表面ナダ・指頭痕。	淡茶灰色	2mm以上の 長石・角 閃石・雲母・ 石英等の 砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321						
102	同 上	長さ 6.5 最大径 3.1 管状径 0.9	管状形。 外表面ナダ。	淡茶灰色	3.5mm以下 の雲母・長 石・角閃 石等の砂 粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321						
103	同 上	長さ 6.9 最大径 3.1 管状径 1.1	管状形。 外表面ナダ。	淡灰褐色	3mm以下の 長石・角 閃石・石英・ 雲母等の 砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321						
104	同 上	長さ 7.7 最大径 2.9 管状径 1.15	管状形。 外表面ナダ・指頭痕。	淡灰褐色	2.5mm以下 の長石・雲 母・石英・ 角閃石等の 砂粒を少量 含む	良好	完形
四十四	S D 321						

遺物番号 図版番号	形 出 土 地 点	(cm) 寸 法 量 器 高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	燒 成	備 考
105 四十四	土 塵 S D 321	長さ 6.5 最大径 3.3 管状径 1.2	管形状。 外面ナデ。	乳褐色	4mm以下の 長石・雲母 ・角閃石・石 英等の砂粒 を含む	良好	完形
106 四十四	同 上 S D 321	長さ 6.3 管状径 3.3 管状径 0.9	管形状。 外面ナデ。	暗灰色	2mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	完形
107 四十四	同 上 S D 321	長さ 6.6 最大径 2.85 管状径 1.1	管形状。 外面ナデ。	淡灰褐色	3mm以下の 長石・雲母 等の砂粒を 含む	良好	完形
108 四十四	同 上 S D 321	長さ 7.05 最大径 3.1 管状径 1.1	管形状。接合痕を有す。 外面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	完形
109 四十四	同 上 S D 321	長さ 6.8 最大径 3.0 管状径 1.3	管形状。 外面ナデ。	淡灰褐色	5mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	完形
110 四十四	同 上 S D 321	長さ 6.6 最大径 3.2 管状径 1.25	管形状。 外面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形
111 四十四	同 上 S D 321	長さ 6.85 最大径 3.2 管状径 1.1	管形状。 外面ナデ。	淡茶色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	完形
112 四十四	同 上 S D 321	長さ 5.75 最大径 3.3 管状径 0.95	管形状。 外面ナデ。	暗灰褐色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含 む	良好	完形

遺物番号 河原番号	器 出土 地點	種 類 法量 基高	(cm) 口径 基高	形態・調整等の特徴	色 調	胎 土	焼成 度	備 考
113	土 塚	長さ 6.75 最大径 3.2 管状径 0.7		管状形。 外面ナデ・指彫痕。	暗灰色	9mm以下の 雲母・角閃 石・長石等 の砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321							
114	同 上	長さ 6.3 最大径 3.1 管状径 1.0		管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	3mm以下の 雲母・長石 ・石英等の 砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321							
115	同 上	長さ 7.7 最大径 3.0 管状径 1.2		管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	3mm以下の 長石・角閃 石・雲母等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
四十四	S D 321							
116	同 上	長さ 6.1 最大径 2.85 管状径 0.9		管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	1mm以下の 長石・雲母 ・角閃石・石 英等の砂粒 を含む	良好	完形
四十四	S D 321							
117	同 上	長さ 6.25 最大径 2.85 管状径 1.1		管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	3mm以下の 雲母・角閃 石・長石等 の砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321							
118	同 上	長さ 6.1 最大径 3.2 管状径 1.4		管状形。 外面指彫痕。	灰黑色	7mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
四十四	S D 321							
119	同 上	長さ 7.0 最大径 3.3 管状径 0.8		管状形。 外面ナデ。	深褐色	6mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
四十四	S D 321							
120	同 上	長さ 5.65 最大径 3.1 管状径 1.2		管状形。 外面ナデ。	淡灰色	2mm以下の 雲母・長石 ・角閃石 ・石英等の 砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321							

遺物番号 採取番号	器 種 出上 地点	(cm) 口徑 法量 器高	形態・調査等の特徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
121	土 墓	長さ 5.7 最大径 2.95 管状径 0.7	管状形。 外面ナデ・指痕。	灰色	3mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321						
122	同 上	長さ 7.85 最大径 3.0 管状径 1.5	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	3.5mm以下 の長石・雲母 ・石英等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
四十四	S D 321						
123	同 上	長さ 7.3 最大径 3.55 管状径 1.4	管状形。 外面ナデ。	淡茶褐色	3mm以下の 長石・雲母 ・石英・赤 褐色酸化鉄 等の砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321						
124	同 上	長さ 7.5 最大径 3.15 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ・指痕。	淡灰褐色	2mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
四十四	S D 321						
125	同 上	長さ 7.0 最大径 3.0 管状径 1.05	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	並石・石英 ・雲母・角 閃石等の微 砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321						
126	同 上	長さ 5.8 最大径 3.1 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ。	淡茶褐色	3mm以下の 雲母・角閃 石・長石等 の砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321						
127	同 上	長さ 8.6 最大径 3.15 管状径 0.8	管状形。 外面ナデ・指痕。	淡灰茶色	2mm以下の 長石・雲母 ・赤褐色酸 化鉄・石英 等の砂粒を含む	良好	完形
四十四	S D 321						
128	同 上	長さ 8.3 最大径 3.35 管状径 1.05	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	3mm以下の 砂粒を少量 含む	良好	完形
四十四	S D 321						

遺物番号 団体番号	出土地点	標高 (m) 法基 基面	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
129	土堆	長さ 9.0 最大径 3.65 管状径 1.35	管状形。 外側ナメ。	暗灰色	2mm以下の 長石・石英 ・石英・角 閃石等の砂 粒を少量含む	良形	
四十四	S D321						
130	同上	長さ 8.2 最大径 3.55 管状径 2.15	管状形。 外側ナメ。	淡灰褐色	4mm以下の 長石・角閃 石・チャーベ ト等の砂粒 を少量含む	良形	完形
四十五	S D321						
131	同上	長さ 8.55 最大径 3.05 管状径 1.4	管状形。 外側ナメ。	暗灰褐色	2mm以下の 長石・長石 等の砂粒を 少數含む	良形	完形
四十五	S D321						
132	同上	長さ 8.6 最大径 3.7 管状径 1.55	管状形。 外側ナメ。	淡茶紙色	2.5mm以下の 長石・石英 ・角閃石 ・雲母等の 砂粒を含む	良形	完形
四十五	S D321						
133	同上	長さ 6.65 最大径 3.1 管状径 1.0	管状形。 外側ナメ。	淡灰褐色	3mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含む	良形	完形
四十五	S D321						
134	同上	長さ 6.55 最大径 2.7 管状径 0.9	管状形。 外側ナメ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石 ・石英等の砂 粒を含む	良形	完形
四十五	S D321						
135	同上	長さ 7.1 最大径 2.8 管状径 1.4	管状形。 外側ナメ。	深黒色	1mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良形	完形
四十五	S D321						
136	同上	長さ 7.4 最大径 3.0 管状径 1.4	管状形。 外側ナメ。	深褐色	1mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良形	完形
四十五	S D321						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口徑 法量 底面	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
137	土 墓	長さ 6.4 最大径 3.1 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	1mm以下の 雲母・長石 ・角閃石等 の砂粒を含む	良好	完形
	S D321						
138	同 上	長さ 7.85 最大径 3.2 管状径 0.75	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	3.5mm以下の 雲母・長石 ・角閃石等 の砂粒を含む	良好	完形
	S D321						
139	同 上	長さ 6.3 最大径 3.25 管状径 1.5	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	1mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
	S D321						
140	同 上	長さ 8.2 最大径 2.9 管状径 1.05	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	3.5mm以下の 長石・石 英等の砂粒 を多量に含む	良好	完形 黒斑有
	S D321						
141	同 上	長さ 7.85 最大径 2.95 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	4.5mm以下の 雲母・長 石・石英 ・角閃石等 の砂粒を多 量に含む	良好	
	S D321						
142	同 上	長さ 7.9 最大径 3.15 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2.5mm以下の 長石・石 英・角閃石 等の砂粒を 少量含む	良好	完形
	S D321						
143	同 上	長さ 7.25 最大径 3.55 管状径 1.85	管状形。 外面ナデ。	淡灰色	3mm以下の 砂粒を少量 含む	良好	
	S D321						
144	同 上	長さ 6.95 最大径 3.25 管状径 1.05	管状形。 外面ナデ・指痕有。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	完形
	S D321						

遺物番号 （国庫番号）	出 土 地 点	(cm) 口 径 法 周 管 高	形 独・調 整 等 の 特 徴	色 調	始 土	焼 成	備 考
145 四十五	土 塵 S D 321	長さ 7.45 最大径 3.0 管状径 1.45	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	完形
146 四十五	同 上 S D 321	長さ 6.05 最大径 2.7 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母等の砂 粒を含む	良好	完形
147 四十五	同 上 S D 321	長さ 6.3 最大径 3.0 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	5mm以下の 長石・雲母 ・石英・ナ イアード等の 砂粒を含む	良好	完形
148 四十五	同 上 S D 321	長さ 6.9 最大径 3.0 管状径 1.05	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	6mm以下の 長石・角閃 石・石英・雲 母等の砂 粒を含む	良好	完形 黒斑有
149 四十五	同 上 S D 321	長さ 6.3 最大径 3.0 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・角閃 石・雲母・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形
150 四十五	同 上 S D 321	長さ 7.45 最大径 2.95 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	3mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
151 四十五	同 上 S D 321	長さ 5.65 最大径 3.1 管状径 0.95	管状形。 外面ナデ・指痕痕。	灰褐色	4mm以下の 長石・雲母 ・石英・角閃 石等の砂 粒を多量に含 む	良好	完形
152 四十五	同 上 S D 321	長さ 6.3 最大径 3.2 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ・指痕痕。	淡灰茶色	2.5mm以下 の砂粒を含 む	良好	完形

遺物番号 国宝番号	出土地点	(cm) 口径 法盤 器高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
153	土 塵	長さ 7.2 最大径 3.4 管状径 1.0	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	3mm以下の 長石・雲母 ・角閃石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形
四十五	S D 321						
154	同 上	長さ 7.3 最大径 2.75 管状径 1.0	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母・赤 褐色酸化鉄 等の砂粒を 含む	良好	完形
四十五	S D 321						
155	同 上	長さ 6.0 最大径 2.65 管状径 1.0	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	完形 擦付有
四十五	S D 321						
156	同 上	長さ 6.9 最大径 3.6 管状径 1.8	管状形。 外面ナデ。	淡褐色	1.5mm以下の の長石・雲 母・角閃石 等の砂粒を 少度含む	良好	完形
四十五	S D 321						
157	同 上	長さ 6.6 最大径 3.1 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	淡褐色	7mm以下の 長石・角閃 石・雲母等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
四十五	S D 321						
158	同 上	長さ 7.0 最大径 3.1 管状径 0.95	管状形。 外面ナデ。	灰褐色	2.5mm以上 の長石・雲 母・角閃石 等の砂粒を 含む	良好	完形 黒斑有
四十五	S D 321						
159	同 上	長さ 6.2 最大径 3.0 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含 む	良好	完形
四十五	S D 321						
160	同 上	長さ 6.8 最大径 2.9 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ・指頭痕。	淡茶灰色	4mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含 む	良好	完形
四十五	S D 321						

遺物番号 河原番号	器 出土 地點	種 類	(cm) 口径 法盤 基部	形 態・ 構 造等の特 徴	色 調	胎 土	焼成 度	備 考
161	上 堆	長さ 最大径 管状径	6.5 2.8 0.85	管状形。 外面ナデ。	淡灰色	2.5mm以下の 長石・雲母 等の砂粒を 含む	良好	完形
四十五	S D321							
162	同 上	長さ 最大径 管状径	6.5 3.0 1.15	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・雲母 等の砂粒を 含む	良好	
四十六	S D321							
163	同 上	長さ 最大径 管状径	5.65 3.2 1.05	管状形。 外面ナデ。	淡灰茶色	3.5mm以下の の長石・角 閃石・長石 石英等の砂 粒を含む	良好	完形
四十六	S D321							
164	同 上	長さ 最大径 管状径	6.0 2.8 1.0	管状形。 外面ナデ・指標印。	淡灰色	2mm以下の 砂粒を含む	良好	完形
四十六	S D321							
165	同 上	長さ 最大径 管状径	5.9 3.4 1.1	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	2mm以下の 長石・雲母 等の砂粒を 含む	良好	完形
四十六	S D321							
166	同 上	長さ 最大径 管状径	7.3 3.2 1.3	管状形。 外面ナデ。	淡灰色	5mm以下の 長石・雲母 等の砂粒を 含む	良好	完形
四十六	S D321							
167	同 上	長さ 最大径 管状径	8.35 3.4 1.0	管状形。 外面ナデ。	淡灰茶色	3.5mm以下の 長石・雲 母等の砂粒 を含む	良好	完形
四十六	S D321							
168	同 上	長さ 最大径 管状径	8.7 3.1 1.4	管状形。 外面ナデ。	淡褐色	2mm以下の 砂粒を含む	良好	完形
四十六	S D321							

遺物番号 団体番号	器種 出土 地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
169 四十六	土 塵 SD321	長さ 9.3 最大径 3.15 管状径 1.3	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	2.5mm以下の長石・角 閃石・長石等の砂粒を少 量含む	良好	完形
170 四十六	同 上 SD321	長さ 6.7 最大径 3.0 管状径 1.0	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	完形
171 四十六	同 上 SD321	長さ 8.65 最大径 3.35 管状径 1.5	管状形。 外面ナデ。	淡褐色	2.5mm以下の 長石・雲 母・石英等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
172 四十六	同 上 SD321	長さ 8.4 最大径 3.4 管状径 0.95	管状形。 外面ナデ。	淡灰茶色	2.5mm以下の 長石・石 英・雲母等 の砂粒を含 む	良好	完形
173 四十六	同 上 SD321	最大径 3.4 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	灰褐色	2.5mm以下の 長石・石 英・雲母等 の砂粒を含 む	良好	
174 四十六	同 上 SD321	長さ 6.5 最大径 3.0 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	1.5mm以下の 長石・角 閃石・長石等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
175 四十六	同 上 SD321	長さ 5.9 最大径 3.4 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	2mm以下の 長石・雲 母・角 閃石等の 砂粒を含 む	良好	完形
176 四十六	甕 SD321	口径 10.0 器高 11.2 底径 4.3	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、「外方に伸びる口縁部」による。端部は丸い。底部は突出する平底。口縁部外面に一本の縫合縫を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ナデ、内面ヘラナデ。	淡茶褐色	4.5mm以下の 雲母・角 閃石・長石 ・石英等の 砂粒を含む	良好	

植物名 科属名	出土地点	(cm) 口径 器高 底径	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
177 四十六	斐	口径 11.6 器高 14.0 底径 3.8	橢円形に近い体部から弧曲し、上外方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は突出する平底。体部中位内面に1本の接合痕を有す。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナギ。	茶褐色	5mm以下の 長石・石英 角閃石・雲母等の砂粒 を含む	良好	完形 保付書
178 四十六	同上	口径 13.7 器高 11.5 底径 3.5	肩部の張る球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。端部は若干つまむ。底部は突出する平底。体部内面中位に1本の接合痕を有す。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(2~3本)、下位ハケナギ(8本)後ハラケズリ、内面上位ハラケズリ後ハケナギ、下位ヘラナギ。	淡灰茶色	4mm以下の 長石・雲母 ・角閃石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形 保付書
179 四十六	同上	口径 12.8 器高 21.0 底径 3.9	橢円形の体部から弧曲し、上外方に外反して伸びる口縫部に至る。端部はつまみあげる。底部は突出気味のくぼみ底。底部外面に葉の痕跡を有す。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナギ。	乳灰茶色	4mm以下の 長石・雲母 ・石英等の砂 粒を含む	良好	完形 保付書
180 四十七	同上	口径 13.9 器高 17.4 底径 3.8	球形の体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縫部に至る。端部はつまみあげる。底部は突出気味の上位底。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラナギ、底部ナギ。	淡灰褐色	6mm以下の 雲母・長石 ・石英・赤 褐色氧化鉄 等の砂粒を 若干含む	良好	保付書
181 四十七	同上	口径 14.6 器高 21.0 底径 3.5	肩部に張りのある橢円形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縫部に至る。端部は上につまむ。底部は突出しない平底。底部に葉の痕跡を有す。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ後ハラナギ、下位タタキ(2本)、内面ヘラナギ。	淡茶褐色	4.5mm以下の 長石・石英 等の砂粒 を含む	良好	完形 保付書
182 四十七	同上	口径 16.8 器高 23.8 底径 4.9	橢円形の体部から弧曲し、斜上方に外反して伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は突出する平底。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)、内面ナギ。	乳灰褐色	6mm以下の 長石・チャート ・石英等の砂 粒を多量に 含む	良好	保付書 裏化物付書
183 四十七	同上	口径 14.2 器高 22.9 底径 4.0	橢円形の体部から弧曲し、上外方に外反して伸びる口縫部に至る。端部は若干つまむ。底部は突出気味の平底。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(2~3本)後一部ヘラナギ、内面タタキ?	茶褐色	3mm以下の 長石・石英 ・チャート ・雲母等の 砂粒を含む	良好	完形 保付書
184 四十七	同上	口径 18.4 器高 22.7 底径 4.0	球形に近い体部から弧曲し、上外方に伸びた後上方する口縫部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。底部は突出気味の平底。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3~4本)後一部ハケナギ(6本)、内面ナギ。	淡灰褐色	3mm以下の 長石・チャート等の砂 粒を含む	良好	

遺物番号 試験番号	設 置 地点	(cm) 口径 法量 厚さ	形態・調整等の特徴	色 調	胎 上	焼成	備 考
185	廻	口 径 15.0 厚 さ 23.1 底 径 5.0	楕円形の体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外方に肥厚する。底部は突出する平底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(3本)後へ先によるナゲ、内面ヘラナゲ。	淡茶灰色	6mm以下の 雲母・石英 ・長石等の 砂粒を含む	良好	焼付着
四十七	S D321						
186	同 上	口 径 16.1 厚 さ 25.3 底 径 4.5	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は突出気味の平底。底部内面に二本の接合線を有す。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(2本)後一部ヘラナゲ、下位タタキ後ナゲ、内面ナゲ。	淡灰茶色	1mm以下の 雲母・長石 ・石英等の 砂粒を多量 に含む	良好	充形 焼付着
四十八	S D321						
187	同 上	口 径 10.4	内上方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(5本)、内面ナゲ。	淡灰色	5mm以下の 長石・雲母 ・チャート等の 砂粒を少量 に含む	良好	
	S D321						
188	同 上	口 径 11.2	口縁部は斜上方に伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ。	淡茶灰色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を多量 に含む	良好	
	S D321						
189	同 上	口 径 10.6	上内方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。底部内面に一本の接合線を有す。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(5本)、内面不明。	外 淡茶灰 色 内 淡黄茶 色	雲母等の微 砂粒を含む	良好	
	S D321						
190	同 上	口 径 12.6	上内方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(3本)、内面ヘラナゲ。	茶灰色	3mm以下の 長石・チャ ート・石英 等の砂粒を 多量に含む	良好	
	S D321						
191	同 上	口 径 12.2	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側ナゲ、内面ヘラタグリ。	淡茶灰色	7mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 少量含む	良好	
	S D321						

遺物番号 回収番号	品種 出土地	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
192	斐	口径 12.6 SD321	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反気味で伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(5本)、内面ナナゲ。	淡茶灰色	5mm以下の 長石・石英 ・チャート等の砂粒を 多量に含む	良好	
193	岡上	口径 12.4 SD321	体部から屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外側タタキ(4本)後ヨコナギ、内面摩滅の跡不明、体部外側タタキ(2本)、内面摩滅の跡不明。	淡茶褐色	4mm以下の 砂粒を多量 に含む	良好	
194	岡上	口径 13.0 SD321	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(3本)、内面ヘラナナゲ。	茶灰色	4mm以下の 砂粒を多量 に含む	良好	
195	岡上	口径 14.2 SD321	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(5本)、内面ヘラナナゲ。	淡茶灰色	3mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を少量 含む	良好	保付着
196	岡上	口径 14.4 SD321	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ後タタキ(4本)、内面ヨコナギ、体部外側タタキ(4本)、内面ナナゲ。	茶灰色	3mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を多量 に含む	良好	
197	岡上	口径 14.4 SD321	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(4本)後ヘラナナゲ、内面ヘラナナゲ。	淡茶灰色	3mm以下の 角閃石・長石・ 石英等の砂 粒を少量含む	良好	保付着
198	岡上	口径 14.6 SD321	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(3本)、内面ナナゲ。	褐灰色	2mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	保付着
199	岡上	口径 14.8 SD321	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみあげ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(上3本、下5本)、内面ヘラナナゲ。	淡茶灰色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等の 砂粒を含む	良好	保付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 番号	形態・調整器の特徴	色調	胎土	焼成	備考
200	甕	口径 15.4	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	淡褐色	4mm以下の長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
	SD321						
201	同 上	口径 15.4	最大径を胴中段にもつ球形と退われる体部から屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	淡褐色	5mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化鉄等の砂粒を含む	良好	焼付器
四十八	SD321						
202	同 上	口径 15.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ。	茶灰色	2mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	焼付器
	SD321						
203	同 上	口径 15.4	球形に近い体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は下位欠損。体部内面に一本の接合縫を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	6mm以下の長石・石英・チャート・雲母等の砂粒を含む	良好	焼付器
四十八	SD321						
204	同 上	口径 15.6	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ後ハケナデ(10本)。	淡灰茶色	3mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	焼付器
	SD321						
205	同 上	口径 15.8	体部から屈曲し、外上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	淡灰茶色	3.5mm以下の雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
	SD321						
206	同 上	口径 16.0	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。体部は欠損。頸部内面に一本の接合縫を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	2mm以下の長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
	SD321						
207	同 上	口径 15.0	肩部の張る体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外に凹面をもつ。体部は下位欠損。頸部内面に一本の接合縫を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラナデ。	淡褐色	6mm以下の長石・雲母・石英・角閃石等の砂粒を含む	良好	焼付器
四十八	SD321						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 底盤 高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
208	甕	口径 15.8	上内方に伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は垂下し、外縁する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後タキ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ナデ。	淡茶灰色	4mm以下の 云母・長石・ 石英等の 砂粒を少量 含む	良好	焼付着
	SD321						
209	同上	LJ 径 16.4	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(3本)、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	黒褐色	3mm以下の 長石・石英・ 雲母等の 砂粒を少量 含む	良好	
	SD321						
210	同上	口径 16.2	内上方に内側して伸びる体部から屈曲し、上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干外方に肥厚し、外縁する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ハクナデ(1本)後ヘラナデ	淡灰褐色	5mm以下の 長石・角閃石・ 云母・石英等の 砂粒を含む	良好	焼付着
四十八	SD321						
211	同上	口径 16.3	球形と思われる体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまり。体部は下位欠損。 口縁部内面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)後ハケナデ(10本)、内面ナデ。	淡茶黄色	3mm以下の 長石・石英・ 赤褐色酸化 鉄等の砂 粒を含む	良好	焼付着
四十八	SD321						
212	同上	口径 16.4	内上方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びるLJ縫部に至る。端部は若干上につまり。体部は欠損。腹部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	淡茶灰色	2.5mm以下の 長石・石英・ 雲母・赤褐色 酸化鉄等の砂 粒を含む	良好	
	SD321						
213	同上	LJ 径 16.6	体部から屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部につまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ。	外 増幅灰 色 内 漆黒灰 色	4mm以下の 砂粒を少數 含む	良好	焼付着
	SD321						
214	同上	口径 17.8	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ナデ、内面ナデ。	外 茶褐色 内 暗茶褐色	7mm以下の 砂粒を多量 に含む	良好	
	SD321						
215	同上	口径 17.8	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	茶灰色	7mm以下の 角閃石・ 云母・長石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	焼付着
四十八	SD321						

遺物番号 図版番号	部 地	種 地	(cm) 口径 法量 番号	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
216	慶	SD 321	口径 10.6	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ナデ。	淡茶灰色	4mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
217	岡上	SD 321	口径 10.9	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に内側して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	茶灰色	3.5mm以下の長石・石英・石英等の砂粒を含む	良好	
218	岡上	SD 321	口径 11.6	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸く尖る。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、指彫痕、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	外 淡褐色 内 波茶灰色	7mm以下の砂粒を含む	良好	
219	岡上	SD 321	口径 12.0	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ。	暗茶褐色	4mm以下の砂粒を含む	良好	
220	岡上	SD 321	口径 11.8	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	茶灰色	4mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
221	岡上	SD 321	口径 12.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸く尖る。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	暗灰茶色	2mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	
222	岡上	SD 321	口径 12.6	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ナデ。	茶灰色	5mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
223	岡上	SD 321	口径 13.0	体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	暗灰茶色	2mm以下の長石・石英・雲母・外聞石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 出土地点	種類 (cm) 径 高さ	形態・構造等の特徴	色調	胎土	焼成 度	備考
224 斐 SD321	口 径 13.4	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ナデ。	淡灰褐色	6mm以下の 雲母・角閃石・長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
225 岡 上 SD321	口 径 13.8	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	外 淡茶灰色 内 淡灰茶色	長石等の砂粒を含む	良好	
226 岡 上 SD321	口 径 14.2	体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面不明。	茶灰色	砂粒を含む	良好	
227 岡 上 SD321	口 径 14.0	内側して斜上する体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	暗茶灰色	2mm以下の 長石・雲母・赤褐色酸化鉄等の砂粒を含む	良好	焼付普
228 岡 上 SD321	口 径 14.8	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外方に若干厚厚する。端部は欠損。体部内面下位に一本の接合痕を有す。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ・指痕痕。	淡褐色	4mm以下の 雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	焼付普
229 岡 上 SD321	口 径 15.2	口縁部は外上方に伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)。	茶灰色	4mm以下の 長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
230 岡 上 SD321	口 径 14.4	球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外につまむ。底部は欠損。体部外面中位・底部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)、下位タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	黒褐色	2mm以下の 角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
四十九 SD321	口 径 14.8 SD321	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸く尖る。体部は欠損。 口縁部内外面不明、体部外面タタキ(6本)、内面不明。	茶灰色	3mm以下の 長石・石英・赤褐色酸化鉄等の砂粒を多量に含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 地点	(cm) 口径 法量 厚高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
232	甕 SD321	口 径 15.8	体部から屈曲し、外上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ナデ。	褐灰色	3mm以下の長石・赤褐色・赤鉄化鉱等の砂粒を多量に含む	良好	
233	同 上 SD321	口 径 15.2	上内方に内唇して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明。	茶灰色	8mm以下の砂粒を多量に含む	良好	
234	同 上 SD321	口 径 17.4	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	淡灰茶色	4mm以下の長石・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	
235	同 上 SD321	口 径 15.0	口縁部は上外方に伸びる。端部は斜上方に伸び、つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ。	乳茶灰色	3.5mm以下の長石・チャート等の砂粒を含む	良好	深付着
236	同 上 SD321	口 径 16.2	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(6本)、内面不明、体部外面タタキ(4本)、内面不明。	茶灰色	4mm以下の長石・石英・赤褐色・赤鉄化鉱等の砂粒を多量に含む	良好	
237	同 上 SD321	口 径 21.5	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。口縁部外間に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ヨコナデ。	茶灰色	2.5mm以下の安石・紫褐色・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	
238	同 上 SD321	口 径 15.6	内上方に内唇する体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	7mm以下の角閃石・長石・紫丹等の砂粒を少量含む	良好	
239	同 上 SD321	口 径 17.0	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。端部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ。	赤褐色	2mm以下の長石・石英・紫丹・角閃石等の砂粒を含む	良好	

唐物番号 因数番号	器 出 土 地 点	種 類	(cm) 口徑 法量	高 度	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
240	甕	最大径	21.6		肩部の張る頸長の体部から屈曲し、外上方に伸びる。口縁部・底部は欠損。 体部上面上位ハケナダ(10本)、下位ハケナダ後へラミガキ、内面上位ナナ・括強版、一部ハケナダ、下位へラケズリ。	茶褐色	1mm以下の 角閃石・雲 母等の砂粒 を含む	良好	保存着
四十九	S D321								
243	甕	口 径	13.0		扁平な蝶形の体部から屈曲し、外上方に直線的に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底 部は欠損。 口縁部外面ヨコナダ・ヘラミガキ、内面ヨ コナダ、体部外面ハケナダ(11本)、内面指頭 痕・ヘラケズリ。	茶褐色	3mm以下の 角閃石・雲 母・長石・ 石英等の砂 粒を少量含 む	良好	
四十九	落ち込み26								
244	同 上	口 径	10.8		上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、 上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 体部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ハケナダ(7 本)、体部外面ヘラミガキ、内面ヘラケズリ。	乳白色	2.5mm以下 の長石・雲 母・石英等 の砂粒を含 む	良好	
	落ち込み26								
245	同 上	口 径	5.6		蝶形に近い体部から屈曲し、上外方に外反 気味に伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底 部は突出するくぼみ底。 口縁部内外面ヨコナダ、体部内外面ハケナ ダ(8本)。	淡赤茶色	3mm以下の 石英・長石 ・角閃石等 の砂粒を多 量に含む	良好	
四十九	落ち込み26								
246	同 上	11 徑	13.2		上内方に内側気味に伸びる体部から屈曲し、 上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面不明、内面ナナ・体部外側不明、 内面ナナ・括頭痕。	淡茶灰色	1.5mm以 下の砂粒を多 量に含む	良好	
	落ち込み26								
247	同 上	口 径	17.2		口縁部は上外方に伸びる。端部は丸い。体 部は欠損。 口縁部内外面ヨコナダ。	淡茶灰色	2mm以下 の 長石・石英 ・赤褐色酸 化鉄等の砂 粒を含む	良好	
	落ち込み26								
248	同 上	口 径	15.8		口縁部は上方に後屈曲し、上外方に外 反気味に伸びる。屈曲部は毛下する。端部は 丸い。体部は欠損。 口縁部内外面不明。	淡茶灰色	3mm以下 の 長石・石英 ・チャート 等の砂粒を 多量に含む	良好	
	落ち込み26								
249	同 上	口 径	17.8		口縁部は上外方に外反して伸びる。端部は 丸い。体部は欠損。 口縁部内外面不明。	茶褐色	5mm以下 の 長石・石英 ・赤褐色酸 化鉄等の砂 粒を多量に 含む	良好	
	落ち込み26								

遺物番号 図版番号	出土地点	(cm) 口径 法基 器高	形態・構造等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
250	着	口径 21.6	体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。腹部外面に一本の縫合線を有す。 口縁部外面ハケナデ(7本)後ヨコナデ、内面ハケナデ後ヨコナデ・脂頭模。	淡灰褐色	4.5mm以下の長石・石英・石英等の砂粒を少量含む	良好	
四十九	落ち込み26						
251	同上	口径 14.0	口縁部は複合口縁である。端部は若干下まわる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	茶褐色	2mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み25						
252	同上	口径 16.0	口縁部は複合口縁である。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡褐灰色	2mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						
253	同上	口径 22.4	口縁部は上外方に外反して伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面不明。	外白灰色 内茶褐色	8mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み25						
254	同上	口径 24.0	口縁部は複合口縁である。端部は若干下まわり上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後ヘラミガキ、内面ヨコナデ。	淡灰茶色	3mm以下の石英・角閃石・故石等の砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み26						
255	同上	口径 21.0	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面不明。	淡黄茶色	3mm以下の長石・赤褐色化粧等の砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み26						
256	同上	口径 10.4	体部から丸く屈曲し、上外方に伸びた後屈曲して直上する口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面不明、内面ヨコナデ、腹部内面ハケナデ。	外淡黄茶色 内淡灰褐色	1.5mm以下の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						
257	同上	口径 16.7	口縁部は斜上方に外反して伸びた後回転して直上する。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナゲ、腹部外面ナゲ、内面不明。	淡赤茶色	2mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
	落ち込み26						

遺物番号 図版番号	器 出土 地點	(cm) 口徑 法量 器高	形 態・ 調 整 等の特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
258	蚕	口 径 14.8	球形に近いと思われる体部から丸く膨曲し、上外方に反張味に伸びた口縁部に至る。端部は内側する両面をもつ。体部は下部欠損。体部内面に位に一本の結合痕を有す。	淡灰褐色	3mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	焼付着
四十九	落ち込み26		口縁部内外面ヨコナデ、体部外腹ハケナデ(7本)、内腹折頸痕・ヘラケズリ。				
259	小型丸底甌	口 径 10.8 器 高 8.0	球形に近い体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。口縁部内外面ハラミガキ、体部外腹ハケナデ後ハラミガキ、内腹ナデ。	淡赤茶色	2mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形
五十	落ち込み26						
260	同 上	口 径 11.6	極めて扁平な球形の体部から屈曲し、上外方に内側突出に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。	淡茶灰色	1.5mm以下の長石等の砂粒を少數含む	良好	
	落ち込み26		口縁部内外面ハラミガキ、体部外腹ハラミガキ、内腹ナデ。				
261	同 上		極めて扁平な球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。	淡灰茶色	3mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化鉄等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26		口縁部内外面ヨコナデ、体部外腹ハラケズリ、内腹ナデ。				
262	同 上	口 径 8.8 器 高 8.0	偏平な球形の体部から屈曲し、上外方に内側突出に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。	淡茶灰色	長石・石英・雲母・赤褐色酸化鉄等の微砂粒を含む	良好	完形
	落ち込み26		口縁部内外面ヨコナデ、体部外腹ハラケズリ、内腹ハナナデ(10本)。				
263	鉢	口 径 14.4	口縁部は内側突出に直上した後上外方に外反して伸びる。端部は尖る。体部は欠損。口縁部外腹不明、内腹ハケナデ(10本)。	淡茶灰色	1.5mm以下の砂粒を多量に含む	良好	焼付着
	落ち込み26						
264	同 上	口 径 14.6 器 高 4.7	深い楕円形の体部から斜上方に二段に屈曲して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。	赤茶色	1.5mm以下の雲母・長石・チャート等の砂粒を含む	良好	完形
	落ち込み26		口縁部外腹ヨコナデ、内腹ヨコナデ後ハケナデ(10本)、体部外腹ハラケズリ後ハラミガキ、内腹ハケナデ後暗文。				
265	同 上	口 径 14.0 器 高 4.4	楕円形の体部から斜曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。口縁部外面に後が見られる。	乳灰茶色	2.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化鉄等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26		口縁部内外面ヨコナデ、体部外腹不明、内腹ハラミガキ。				

遺物番号 採取番号	部 種 地點	(cm) 口徑 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
266	鉢	口 径 20.0 器 高 4.5	直形の体部から斜上方に内側して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体外部ヘラケズリ、内面ナゲ後噴文。	赤茶色	2.5mm以下 の紫母・角 閃石・長石 等の砂粒を 含む	良好	黒窯有
	落ち込み26						
267	同 上	口 径 17.4	浅い橢形と思われる体部から直上に内側して伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。 内外面不明。	灰茶色	3mm以下 の長石・石英 ・チャート等の 砂粒を多量に 含む	良好	
	落ち込み26						
268	大型鉢	口 径 43.4	肩部の櫛状の突起部から傾曲し、斜上方に伸びた後屈曲して直上する口縁部に至る。端部は丸底。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部上位タキキ(2本)、下位ヘラミガキ、内面ナデ。	淡茶灰色	1.2mm以下 の長石・石 英・雲母・ 赤褐色酸化 鉄等の砂粒 を含む	良好	
五十	落ち込み26						
269	器 台	口 径 8.6 器 高 11.6 底 径 6.7	受部は外上方に伸びる。端部は尖る。脚部は受部から外下方に伸びる。端部は尖る。受部と脚部は貫通する。 内外面不明。	淡赤茶色	3.5mm以下 の長石等の 砂粒を含む	良好	完形
五十	落ち込み26						
270	同 上	口 径 9.5 器 高 8.5 底 径 10.2	浅い橢形の受部から内側して外上方に伸びた後直上する口縁部に至る。端部は丸い。脚部は受部から下外方に直線的に伸びる。端部は尖る。脚部中位に四方孔を有す。 口縁部外面ヨコナデ、受部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面七位くりぬき後ナデ、下位ハケナデ(4本)。	茶灰色	雲母・長石 ・角閃石・赤 褐色酸化鉄 等の細砂粒 一微砂粒を 含む	良好	完形
五十	落ち込み26						
271	同 上	口 径 9.5 器 高 8.5 底 径 10.2	浅い橢形の受部から内側して外上方に伸びた後内側する口縁部に至る。端部は鋭く尖る。脚部は受部から下外方に直線的に伸びる。端部は尖る。脚部中位に二方孔を有す。 内外面不明。	淡茶色	1.5mm以下 の紫母・角 閃石・長石 等の砂粒を 含む	良好	
	落ち込み26						
272	高 环	口 径 16.2 器 高 12.1 底 径 12.2	环部は外上方に伸びた後上方に伸びる口縁部に至る。端部は鋭く尖る。柱状部は下外方へ直線的に伸びた後屈曲して、外下方へ伸びる脚部に至る。端部は丸底。 环部外面ヨコナデ、内面ナデ、环部外面ヘラナデ、柱状部外面ヘラケズリ、内面しばりぬ、环部外面ヨコナデ、内面不明。	淡灰褐色	2.5mm以下 の長石・石 英・雲母等 の砂粒を多 量に含む	良好	
五十	落ち込み26						
273	同 上	口 径 18.0	环部は外上方に伸びた後屈曲し、外方に伸びる口縁部に至る。端部は鋭く尖る。脚部は欠損。 环部内外面ヘラミガキ。	淡赤茶色	1mm以下 の長石・石 英・角閃石・ 雲母等の砂 粒を含む	良好	
	落ち込み26						

遺物番号 団体番号	器種 出土地点	(cm) L径 W幅 H高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
274	高環	底 径 12.0	環部は欠損。柱状部から外反して下外方に伸びる縫部に至る。端部は丸い。 柱状部外面へラケズリ、内面くりぬき・ハケナデ、底部外面不明、内面ヨコナデ。	乳灰褐色	赤土・長石等の微砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						
275	黒色土器	口 径 11.8	楕円形の縁部から内側して上外方に伸びる口縫部に至る、端部は外側する小さい面をもつ。 脚部は欠損。 环部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	墨色	長石・石英等の微砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						
276	小型盤	口 径 12.6 高 度 9.3	扁平な環形の体部から周曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縫部内外面ヨコナデ、体部外側ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ、底部内面指頭痕。	茶灰色	3mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	焼付着
	落ち込み26						
277	同 上	口 径 12.4 高 度 10.7	極めて扁平な楕円形の体部から周曲し、内側突起に上外方に伸びる口縫部に至る。端部は尖る。 口縫部内外面ヨコナデ、体部外側ナデ、内面ハケナデ(8本)、底部内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	焼付着
五十	落ち込み26						
278	度	口 径 14.8	口縫部は上外方に伸びる。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	3mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	
	落ち込み26						
279	同 上	口 径 16.0	口縫部は斜上方に伸びる。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナデ。	灰茶色	2mm以下の長石・石英・長石・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	焼付着
	落ち込み26						
280	同 上	口 径 12.4	最大径を中位よりやや上にもつ球形の体部から直角し、上外方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縫部外面ナデ、内面ハケナデ、体部外側タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、内面ハケナデ、底部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	8mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形
五十一	落ち込み26						
281	同 上	口 径 14.8	体部から丸く屈曲し、外反気味に上外方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部内面ナデ。	淡茶灰色	4mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
	落ち込み26						

遺物番号 （国版番号）	器種 （出土地点）	（cm）口径 法量・高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎上	焼成	備考
282	甕	口径 10.8 落ち込み26	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	茶褐色	長石・石英等の微砂粒を少量含む	良好	
283	同上	口径 10.6 落ち込み26	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 淡灰茶 内 淡茶灰色	1mm以下の砂粒を含む	良好	
284	同上	口径 13.6 落ち込み26	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の石英・長石等の砂粒を少量含む	良好	
285	同上	口径 14.0 落ち込み26	体部から丸く屈曲し、外反して上方方に伸びる口縁部に至る。端部は外側する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ナデ。	灰褐色	2mm以下の雲母等の砂粒を含む	良好	
286	同上	口径 14.4 落ち込み26	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラケズリ。	淡褐色	2mm以下の石英・長石・赤褐色酸化鉄等の砂粒を含む	良好	鐵付着
287	同上	口径 13.4 落ち込み26	球形の体部から屈曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部は丸く尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の砂粒を少量含む	良好	完形
五十一							
288	同上	口径 12.2 落ち込み25	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上方方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラケズリ。	淡茶褐色	1.5mm以下の紫母・長石・石英・角閃石等の砂粒を多量に含む	良好	
289	同上	口径 13.2 落ち込み26	上内方に伸びる体部から屈曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部は外側する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	4mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	

標本番号 回収番号	発 稩 出土 地点	(cm) 口径 法量 器店	形 番・調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 上	焼成	備 考
290	斐	口径 13.6	体部から折曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外側ヨコナデ。内面ハケナデ(5本)、体部内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	3mm以下の 長石・石英 ・赤褐色 化粧等の砂 粒を少量含む	良好	焼付着
	落ち込み26						
291	岡 上	口径 16.0 高 25.0	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は丸底。 口縁部外側ヨコナデ。内面ハケナデ、体部外側ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	3mm以下の 石英・長石 ・チャート等の砂 粒を多量に含む	良好	完形 焼付着
五十一	落ち込み26						
292	岡 上	口径 14.8	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に内側気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側不明、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	長石・石英 ・赤褐色 化粧等の砂 粒を含む	良好	
	落ち込み26						
293	岡 上	口径 14.0	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に内側氣味に伸びる口縁部に至る。端部は内方に若干肥厚し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	3mm以下の 長石・石英 ・赤褐色 化粧等の砂 粒を多量に 含む	良好	黒焼有
	落ち込み26						
294	岡 上	口径 13.6	上内方に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部外側ヨコナデ、体部外側ハケナデ(9本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	3mm以下の 長石・石英 ・赤褐色 化粧等の砂 粒を多量に 含む	良好	
	落ち込み26						
295	岡 上	口径 14.0	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ナナデ。	淡灰茶色	長石・雲母 等の微砂粒 を多量に含む	良好	
	落ち込み26						
296	岡 上	口径 15.0	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	2mm以下の 長石・雲母 等の砂粒を 少量含む	良好	焼付着
	落ち込み26						
297	岡 上	口径 15.0	上内方に伸びる体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干外方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	2mm以下の 長石・石英 ・赤褐色 化粧等の砂 粒を含む	良好	
	落ち込み26						

遺物番号 出発分	出 土 地 点	種 類	(cm) 口徑 法量 器高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
298	斐	口 管	15.4	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に内寄して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、体部外面ハケナゲ(10本)、内面ヘラケズリ。	淡乳灰色	1.5mm以下の砂粒を含む	良好	焼付着
	落ち込み26							
299	岡 上	口 管	15.4	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に内寄気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまり、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、体部外面ハケナゲ(10本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	長石・石英等の微砂粒を少量含む	良好	焼付着
	落ち込み26							
300	岡 上	口 管	17.2	口縁部は上外方に伸びる。端部は内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ。	茶灰色	3mm以下の角閃石・石英・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み26							
301	岡 上	口 管	16.4	口縁部は上外方に伸びる。端部は内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ。	暗茶灰色	角閃石・石英・長石・石英等の微砂粒を少量含む	良好	焼付着
	落ち込み26							
302	岡 上	口 管	15.6 器 高 22.0	梢円形の体部から屈曲し、斜上方に伸びた後屈曲して直上し、膨幅部を施す。端部は丸い。底部は丸底。古墳地方の清津式の特徴をもつ。 口縁部外面ヨコナゲ、体部外面ナゲ、内面ヘラケズリ。	外 暗茶灰 色 内 茶褐色	3mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	焼付着
五十一	落ち込み26							
303	須恵壺	口 管	10.2	口縁部は矮をもち、上内方に立ち上がる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面回転ナゲ。	暗灰褐色	1.5mm以下の長石等の砂粒を少量含む	良好	ロクロ
五十一	落ち込み26							
304	大型蓄台 (須恵器)	II 管	27.6	口縁部は上外方に伸び、途中二条の凸線を這らす。端部は外上方につまみだす。外面全体に油状文を施す。体部は欠損。 口縁部外面回転ナゲ。	灰青色	2mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	ロクロ(左 方向)
五十一	落ち込み26							
306	蓋	底 管	5.3	口縁部・体部は欠損。底部は突出しない平底。 体部外面ハケナゲ(11本)、内面ヘラケズリ、底部外面ナゲ。	外 淡褐色 内 淡茶色	3.5mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
	SW1							

遺物番号 図版番号	石種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
307	有孔体	底径 4.0	口縁部・体部は欠損。底部は突出しない平底。底部に穿孔を一つ有す。 体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。底部外側ナデ。	淡灰色	2.5mm以下の長石・チャート・雲母等の砂粒を含む	良好	黒既存
	SW1						
308	壺	口径 12.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラナデ。	暗茶灰色	5.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
	SW1						
309	同上	口径 16.2	上内方に内擣気味に伸びる体部から丸く屈曲し、「」外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外側ハケナデ(5本)、内面ヨコナデ、体部外側タタキ(3本)、内面ナデ。	暗茶褐色	9.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
	SW1						
310	同上	口径 16.2	上内方に内擣気味に伸びる体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外につまみだす。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後ハケナデ(6本)、内面ヨコナデ、体部外側タタキ(3本)、内面ナデ。	淡灰茶色	3mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
五十一	SW1						
311	同上	口径 16.8	上内方に内擣して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ハケナデ(5本)。	淡褐茶色	2.5mm以下のチャート・長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
五十一	SW1						
312	同上	口径 21.4	体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ。	淡茶色	4mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を含む	良好	
	SW1						
313	同上	口径 14.8	上内方に内擣して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外側タタキ(3本)後ハケナデ(7本)、内面ハケナデ。	茶色	雲母・角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
	SW1						
314	同上	口径 16.4	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側タタキ(2本)後ハケナデ(9本)、内面ハケナデ。	暗茶灰色	2mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を少量含む	良好	
	SW1						

遺物番号 団体番号	器種 出土地点	(cm) 口徑 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
315	甕	口 径 12.2 SW1	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗褐色	2mm以下の 雲母・角閃石・長石等 の砂粒を多量に含む	良好	
316	甕 上	口 径 13.6 SW1	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(8本)、内面ナデ?	暗灰褐色	5mm以下の 角閃石・石英・長石等 の砂粒を多量に含む	良好	
317	甕 上	口 径 15.4 SW1	内上方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を少額含む	良好	焼付着
318	甕 上	口 径 14.4 SW1	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4~5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	外 淡褐色 内 褐褐色	3mm以下の 角閃石・石英・長石等 の砂粒を含む	良好	
319	甕 上	口 径 15.3 SW1	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	2.5mm以下の 雲母・角閃石・長石等 の砂粒を多量に含む	良好	
320	甕 上	口 径 15.0	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外方に厚厚する。体部は欠損。体部内面上面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	
五十二	SW1						
321	甕 上	口 径 15.2 SW1	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の 角閃石・長石・雲母等 の砂粒を多量に含む	良好	
322	甕 上	口 径 15.6 SW1	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗褐色	2.5mm以下の 角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 国庫番号	器種 出土場所	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
323	甕 SW1	口径 15.4	楕円形と思われる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	外 淡茶灰 色 内 黒灰褐色	雲母等の砂粒を含む。	良好	焼付着
五十二	同上 SW1	口径 17.0	七方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナギ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	2mm以下の 雲母・角閃石・ 長石等の砂粒を少 量含む。	良好	焼付着
325	同上 SW1	口径 16.6	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2.5mm以下の 角閃石・ 長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
326	同上 SW1	口径 16.8	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はんい。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナギ、内面ヨコナギ後ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	外 茶褐色 内 黑灰色	角閃石・ 長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
327	同上 SW1	口径 17.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナギ、内面ハケナデ(7本)、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	5mm以下の 角閃石・ 長石・雲母等の砂粒を少 量含む	良好	
328	同上 SW1	口径 16.8 器高 15.3 底径 3.0	楕円の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ上げる。底部は突出しない平底と思われる。 口縁部外面タタキ後ヨコナギ、内面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	外 淡褐色 内 淡灰褐色	4mm以下の 角閃石等の砂粒を含む	良好	焼付着
五十二	形象埴輪 SD309		家形もしくは輪形と思われる埴輪の小片。外面ハケナデ後ヘラ先による直筆文が見られる。	褐色	細砂粒を含む	良好	
330	甕 SD310	口径 18.5 器高 37.9	胴中位より上に最大径をもつ楕円形の体部から屈曲し、上方外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸底。 口縁部外面ヨコナギ。体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラケズリ、底部内面指ナギ。	暗灰色	6mm以下の 砂粒を多量に含む	良好	完形 焼付着
五十二							

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口徑 法算容積	形態・調整等の特徴	色調	胎上	鏡底	備考
331	吸	最大径 16.2	口縁部は欠損。体部は胴中央に張りのある扁平な球形である。底部は丸い気味。体部内面中位に一本の接合縫を有する。 体部外面上位ハケナダ(7本)、他ヘラケズリ後ヘラミガキ。内面上位ナダ、下位ハケナダ。	淡茶灰色	長石・石英 ・チャート等の微砂粒 を少量含む	良好	
五十三	SD314						
332	同上	口 径 12.8 高さ 22.8	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナダ後ハケナダ(4本)、 体部外面タキ(3本)後ハケナダ(7本)、内面ヘラケズリ後ハケナダ(4本)。	外 端茶灰色 内 茶灰色	雲母・長石等の微砂粒 を含む	良好	充形 煤付着
五十三	SD314						
333	同上	口 径 15.6	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。体部内面中位・中位・下位に一本ずつ二本の接合縫を有する。 口縁部外面ハラミガキ、体部外面タキ(3本)後ヘラケズリ後ヘラミガキ。内面ヘラナダ。	灰褐色	8mm以下の 角閃石・長石・ 雲母等の砂粒を多 量含む	良好	充形 煤付着
五十三	SD314						
334	同上	口 径 15.0	口縁部は上外方に伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハラミガキ。	淡灰茶色	1mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等の砂粒を少 量含む	良好	
	SD314						
335	同上	口 径 18.8 高さ 29.4 底径 3.8	球形の体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味の小さい平底。体部外面中位・下位に一本ずつ二本の接合縫を有する。 口縁部外面ハケナダ後ヨコナダ、体部外 面に位ハケナダ(8本)後ヘラミガキ、中位ハ ケナダ後ナダ、下位ヘラケズリ、内面ハケナダ。	淡茶色	3mm以下の 長石・石英等の砂粒を 多量含む	良好	煤付着
五十三	SD314						
336	同上	口 径 20.0 高さ 37.35	最大径を胴中位にもつ張りのある球形の体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ハケナダ後ヨコナダ、体部外 面ハケナダ(9本)、内面ヘラナダ。	外 乳黃褐色 内 灰褐色	3mm以下の 石英等の微 砂粒を含む	良好	充形 黑既存
五十三	SD314						
337	同上	口 径 18.8 高さ 34.9	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外覆する面をもつ。底部は丸底。 口縁部外面ハケナダ後ヨコナダ、体部外 面ハケナダ(7本)、内面ヘラケズリ。	乳茶色	4mm以下の 長石・石英 ・雲母・赤 褐色酸化鉄等の砂粒を 含む	良好	充形 黑既存
五十三	SD314						
338	同上	口 径 16.0 高さ 26.6	球形の体部から丸く屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は上位に肥厚し、口口状で外に面をもつ。棒状溝文・内向にヒラによる羽状の文様を施す。底部は強く突出する平底と思われる。体部内面中位に二本の接合縫を有す。東海地方の特徴をもつ。 口縁部外面ハケナダ、内面ナダ、体部外 面ハケナダ(6本)後ヘラミガキ、内面ハケナダ 後ナダ。	灰褐色	長石・赤褐色 酸化鉄・ 角閃石・石 英等の砂粒 を多量に含 む	良好	赤色顔料有 り
五十回	SD314						

遺物番号 （内閣文庫番号）	器種 出土地点	（cm）口径 法量 器高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
339	鉢	口径 17.8 高 10.65 底 径 18.2	上外方に内側して伸びる体部から二段に組曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部内外面ヘラミガキ。	淡灰茶色	長石・赤褐色 色鐵化粧等の微妙粒を含む	良好	
	SD314						
340	鉢型器台	口径 16.0 高 10.65 底 径 18.2	山陰地方の特徴をもつ鉢形の器台である。周縁部は丸い。腹部上下に各一条の縦が見られる。外面ヨコナゲ、内面不明。	淡灰茶色	2mm以下の 雲母・長石 ・赤褐色鐵 化粧等の砂 粒を多量に 含む	良好	変形
五十四	SD314						
341	壺	口径 14.8	椭円形と思われる体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は下位欠損。腹部内面に一本の接合線を有す。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナゲ。	外 淡灰茶色 内 淡灰茶色	4mm以下の 長石等の砂 粒を含む	良好	
	SD314						
342	同 上	口径 16.4	体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	長石・石英 ・雲母等の 細砂粒～微 妙粒を含む	良好	輝付有
	SD314						
343	同 上	口径 13.4	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外ハケナゲ後ナゲ、内面ヘラナゲ。	灰褐色	雲母・長石 ・石英・角 閃石等の微 妙粒を少量 含む	良好	
	SD314						
344	同 上	口径 16.6	体部から折曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナゲ(5本)後ヨコナゲ、体部外ハタタキ(5本)。	茶灰色	3mm以下の 長石・雲母 ・角閃石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	
	SD314						
345	同 上	口径 18.7	内上方に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ハケナゲ(7本)後ヨコナゲ、体部外ハタタキ(7本)、内面ヘラケズリ。	褐灰色	3mm以下の 雲母・角閃 石・長石等 の砂粒を含む	良好	
	SD314						
346	同 上	口径 16.0	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に内側して伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚し、曲をもつ。体部は欠損。 口縁部外表面不明、内面ヨコナゲ、体部外表面不明、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	長石・石英 等の微妙粒 を多量に含む	良好	
	SD314						

標物番号 出版書名	器 出 上 地 点	(cm) 口徑 高さ	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼成 度	備 考
347	蓋	口 径 12.8 SD315	体部から弧曲し、上方方に直線的に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナゲ(外5本、内7本)後ヨコナゲ、体部内面ナゲ。	淡茶灰色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を少量 含む	良好	
348	同 上	口 径 17.8 SD315	上内方に内側して伸びる体部から弧曲し、上方方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干平出し、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナゲ(外ヨコナゲ、体部外 面タキ(4本)後ハケナゲ(7本)、内面ハケ ナゲ後ヨコナゲ。	淡茶灰色	4mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 少量含む	良好	
349	同 上	口 径 14.2 SD315	上内方に内側して伸びる体部から丸く折曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外 側する面をもつ。体部は欠損。体部内面上位 に一本の接合縫を有す。 口縁部外面ヨコナゲ、体部外面上位タキ(4 本)、内面ナゲ後ハケナゲ(10本)。	茶灰褐色	8mm以下の チャート・ 長石・石英 ・角閃石等 の砂粒を含 む	良好	
五十四							
350	同 上	口 径 13.6 器 高 27.4 底 径	最大径が胴中位より上にもつ球形の体部か ら弧曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部 は鋸く尖る。底部は丸い。底部は直径 1.5×1.1cmの施成後の穿孔を一つ有す。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面上位タキ (6本)、下位ハケナゲ(6本)、内面ヘラケ ズリ。	外 壁 暗褐色 内 壁 淡茶灰色	2mm以下の 角閃石・長 石等の砂粒 を含む	良好	完形 黒褐色
五十四	SD315						
351	有孔体	口 径 15.6 器 高 8.25 底 径 4.2 五十四 SD315	上方方に内側気泡に伸びる体部から上方方に 伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は 突出気泡の平底。底部に穿孔を一つ有す。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面上位ヘラ ケズリ。下位タキ(4本)後ハラナゲ、内面 ヘラナゲ。	灰茶色	雲母・角閃 石・石英・ 長石等の砂 粒を多量に 含む	良好	完形
352	蓋	口 径 13.5 器 高 14.35 底 径 3.5 五十四 SD315	最大径を胴上位にもつ球形に近い体部から 弧曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部 は丸い。底部は突出しないくぼみ気泡底。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面上位ヘラ ケズリ。下位タキ(4本)後ハラナゲ、内面 ヘラナゲ。	茶灰色	4mm以下の 長石・石英 ・雲母等の砂 粒を多量に 含む	良好	
353	同 上	口 径 12.0 SD315	体部から丸く弧曲し、上方方に伸びる口縁 部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ。	茶灰色	3mm以下の 雲母・長石 ・角閃石等 の砂粒を少 量含む	良好	
354	同 上	口 径 13.0 SD315	体部から弧曲し、斜上方に伸びる口縁部に 至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部内面ヘラケ ズリ。	暗茶灰色	3mm以下の 長石・石英 ・角閃石・ 雲母等の砂 粒を含む	良好	

遺物番号 団紙番号	出土地点	(cm) 口徑 法量 器品	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
355	斐	口径 14.4	体部から細曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に生る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外圍タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
356	同上	口径 15.6	内上方に内側して伸びる体部から細曲し、斜上方に伸びる口縁部に生る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナギ、内面ヨコナギ。	暗茶灰色	5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
357	同上	口径 16.0	体部から細曲し、外上方に伸びる口縁部に生る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外圍タタキ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
358	同上	口径 17.4	上内方に内側して伸びる体部から細曲し、外上方に伸びる口縁部に平ら。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外圍タタキ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
359	斐	最大径 15.0	最大径を胴中位より下にもつ扁平な球形の体部から細曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底部は小さい平底。体部内面上位に一本、下位に一本の接合痕を有す。胴中位に直徑 1.7×0.85 の焼成後の焼孔を有す。 口縁部外圍ヘラミガキ、内面ナゲ、体部外圍ヘラミガキ、内面ナゲ。	外 茶灰色 内 灰茶色	4mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
五十四	SD316	最大径 15.0	体部は最大径を胴中位にもつ扁平な球形。底部は小さい上位底。体部内外面中位に一本ずつの接合痕を有す。口縁部は欠損。 体部内外面不明。	淡赤褐色	2mm以下の長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
360	同上	最大径 15.0	体部は最大径を胴中位にもつ扁平な球形。底部は小さい上位底。体部内外面中位に一本ずつの接合痕を有す。口縁部は欠損。 体部内外面不明。	淡赤褐色	2mm以下の長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
五十五	SD316	口径 9.5	口縁部は上外方に伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ。	茶褐色	1mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	
361	同上	口径 14.0	内上方に伸びる体部から細曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。胴部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部外圍ヘラミガキ、内面不明。体部内面指滅痕。	淡茶褐色	5mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
五十五	SD316	口径 14.0	内上方に伸びる体部から細曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。胴部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部外圍ヘラミガキ、内面不明。体部内面指滅痕。	淡茶褐色	5mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 内版番号	品 出 土 地 点	種 類 (cm) 法 量 高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 上	成 成	備 考
363	壹	口 径 13.0	口縁部は上外方に伸びる。端部は外傾する 面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	茶灰色	長石・石英 ・角閃石等 の粗粒を含む	良好	
364	岡 上	口 径 14.2	体部から丸く屈曲し、上外方に反して伸 びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内面にヘラ記跡を有す。 口縁部内外面ハケナデ(9本)後ヨコナデ。	外 内 乳茶色 茶灰色	3mm以下の 長石・石英 等の砂粒を含む	良好	
365	岡 上	口 径 14.5	球形と思われる体部から屈曲し、上外方に 伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠 損。端部・体部中位内面に一本ずつの接合痕 を有す。 口縁部内外面ヨコナデ後ハケナデ、体部外 面ハケナデ(5本)、内面ハラナデ。	外 内 淡黒褐色 淡灰褐色	雲母等の微 砂粒を含む	良好	
五十五	S D316						
366	岡 上	口 径 13.0 器 高 29.1 底 径 5.6	球形の体部から丸く屈曲し、上外方に伸び る口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出す る平底。体部内面に丸本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、内面ハケナデ後ヨコ ナデ、体部外面ハケナデ(5本)後ヘラ・タキ 内面ナデ。	淡灰褐色	3mm以下の 角閃石・長 石・雲母・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形 保付有
五十五	S D316						
367	岡 上	口 径 16.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、 直上して伸びる口縁部に至る。端部は丸 い。 体部は下位欠損。端部・体部中位内面に一 本ずつの接合痕を有す。 口縁部内面不明、体部外面上位不明、下 位タキ、内面不明。	淡茶色	4mm以下の 長石・石英 ・赤褐色酸 化鉱等の砂 粒を含む	良好	
五十五	S D316						
368	岡 上	口 径 13.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、 直上して伸びる口縁部に至る。端部は上に面をも つ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内 面指痕、ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の 長石・角閃 石・石英・ 赤褐色酸化 鉱等の砂粒 を含む	良好	黒斑有
五十五	S D316						
369	岡 上	口 径 11.4	内上方に伸びる体部から丸く屈曲し、直上 して伸びる口縁部に至る。端部は上に面をも つ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内 面指痕、ヘラケズリ。	淡茶色	長石・石英 等の微砂粒 を含む	良好	
	S D316						
370	岡 上	口 径 18.6	口縁部は上外方に外反して伸びる。端部は 壊下し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、11縫部内外面ハ ケナデ(5本)後ヨコナデ。	乳灰茶色	3mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 含む	良好	
	S D316						

地物番号 試験番号	基 稿 地 点	(cm) 口 横 法量 高さ	形 態・調 整 等 の 特 徵	色 調	胎 土	施成	備 考
371	臺	口 径 24.0	口縁部は外上方に外反気味で伸びる。端部は垂下し、面をもつ。内外面全体に波状文を施す。体部は欠損。 口縁部内外面ナデ。	外 淡灰茶 内 茶灰色	4mm以下の 長石等の砂 粒を含む	良好	媒付着
	SD316						
372	同 上	L1 径 27.0	口縁部は外上方に外反して伸びる。端部は垂下し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部外表面ヨコナデ、内面ヘラミガキ。 口縁部内外面ヘラミガキ。	茶灰色	長石・石英 ・雲母等の 微砂粒を含 む	良好	
	SD316						
373	同 上	口 径 9.9	口縁部は外上方に外反して二段に屈曲して伸びる。端部は垂下し、面をもつ。屈曲部に鈍い棱をもつ。体部は欠損。 頭部外面にヘラ先によるキザミ目を有す。屈曲部外面に一本の接合線を有す。 口縁部外表面ヨコナデ後ハケナデ(6本)、内面ヨコナデ。	灰褐色	8mm以下の 角閃石・青 母・長石等 の砂粒を含 む	良好	黒斑有
	SD316						
374	同 上	口 径 15.0	L1 縫部は二段に屈曲し、上外方に伸びる。端部はつまみ、面をもつ。体部は欠損。口縁部外表面に波状文、口縁部外面にヘラによるヘラ模様を有す。 口縁部内外面ヘラミガキ。	茶灰色	2mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	
五十五	SD316						
375	同 上	口 径 15.8	直上する頭部より屈曲し、外上方に伸びた後、さらに屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部は丸い。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヘラミガキ、頭部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 少量含む	良好	
	SD316						
376	同 上	L1 径 12.6	口縁部は外上方に外反して伸びる。端部は上下に鋸歯し、面をもつ。下部ははりつけ。内外面に波状文を施す。体部は欠損。 口縁部内外面ナデ、ヘラミガキ。	褐灰色	2mm以下の チャート・ 石英・長石 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	
	SD316						
377	同 上	L1 径 17.4	375と同形態で口縁の屈曲はおだやかである。 屈曲部に鈍い棱をもち、上に波状文(10本)後円形浮文(2個/1単位を10単位)を施す。縫部附近内外面に波状文(10本ずつ)、頭部にはりつけ突起のキザミ目を有す。体部は欠損。 口縁部外表面ヨコナデ、内面タテヘラミガキ、頭部外面タテヘラミガキ、内面ヨコヘラミガキ、指痕斑。	淡褐色	長石・雲母 ・角閃石・ 赤褐色酸化 鉄等の微砂 粒を含む	良好	
	SD316						
378	同 上	口 径 17.2	377と同形態で、屈曲部に鈍い棱をもち、上に波状文(12本)後円形浮文(2個/1単位を10単位)を施す。縫部附近内外面に波状文(12本ずつ)、頭部にはりつけ突起のキザミ目、縫部にはりつけ突起のキザミ目、内外面に波状文(2本ずつ)を施す。頭部附近に円形浮文(2個/1単位を5単位)を施す。体部内面上位一本の接合線を有す。体部は下位欠損。 外表面ヨコヘラミガキ、頭部タテヘラミガキ、内面ヨコヘラミガキ、頭部タテヘラミガキ、内面ヨコヘラミガキ、体部しばりめ、ナデ、指痕斑。	淡褐色	長石・雲母 ・角閃石等 の微砂粒を 含む	良好	
	SD316						

遺物番号 団体番号	器種	出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・開口部等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
379 五十六	壺	底径	2.85	体部は胴中位に最大径をもつ球形に近い。口縁部は欠損。底部外側にはつけ突唇のキザミ目を施す。体部下位に直径1.9×1.15cmの焼成後の穿孔を有す。底部内面に二本の接合痕を有す。 底部外側ハラミガキ、内面ナゲ、体部外側上位ハラミガキ、下位不明、内面上位指痕痕、他不明。	褐色	3mm以下の 雲母・長石 等の砂粒を 含む	良好	媒付着
380 五十六	鉢	口径 器高 底径	15.4 5.9 4.0	楕円形の侈部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまりあがる。底部は突出するくぼみ底。 内外面ナゲ。	灰茶色	5mm以下の 角閃石・長 石・雲母・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形
381 五十六	同上	口径 器高	13.2 6.1	椭圆形の体部から直上して伸びる口縁部に至る。端部は鋸く尖る。底部は突出しない平底。 内外面ハラミガキ。	茶灰色	2.5mm以下の 長石・雲 母・石英等 の砂粒を 含む	良好	完形
382 五十六	同上	口径 器高	15.0 7.2	深い楕圆形の体部から上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない小さい平底。外側の一部に赤色釉料を施す。 外面ハケナデ(12本)、内面ハケナデ後ハラ ミガキ。	淡褐色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形 黒斑有
383 五十六	同上	口径 器高	15.6 6.1	楕形の体部からわずかに屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 内外面ハケナデ(6本)後ヘラミガキ。	淡褐色	雲母・長石 ・赤褐色 化粧・石英 ・角閃石等 の砂粒を 少量含む	良好	完形 黒斑有
384 五十七	同上	口径 器高	8.9 3.9	球形に近い体部から丸く屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸い。 口縁部内外面ハケナデ後ヨコナゲ、体部外 面ナゲ、内面ハラカズリ。	外 淡褐色 内 茶褐色	2mm以下の 長石等の砂 粒を含む	良好	完形
385 S D316	同上	口径 器高 底径	10.8 7.75 1.6	偏平な球形の体部から外反気味に直上して伸びる口縁部に至る。端部は鋸く尖る。底部は突出気味の上位底。 口縁部内外面ハラミガキ、体部外側上位ハ ラミガキ、下位不明、内面ナゲ、底部内面ハ ラナゲ。	茶灰色	3mm以下の 雲母・角閃 石・長石等 の砂粒を少 量含む	良好	
386 S D316	同上	口径	9.0	内側して上方に伸びる体部から屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は下位欠損。 内外面不規。	淡茶色	2.5mm以下の 長石・石 英等の砂 粒を含む	良好	

遺物番号 回収番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 着高	形態・調査基準の特徴	色調	胎土	焼成	備考
387	鉢	口径 10.8 SD316	内側して上内方に伸びる体部から屈曲し、上外方に内側気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内外面不明。	茶灰色	3mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
388	円七	口径 11.0 SD316	体部から屈曲し、上外方に内側気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみとする。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ。	暗灰茶色	角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
389	同上	口径 12.8 SD316	内側して上外方に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内外面ナギ。	茶灰色	2mm以下の長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
390	同上	口径 18.0 SD316	半球形と思われる体部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内外面不明。	褐色	3.5mm以下の長石・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	
391	同上	口径 13.0 SD316	半球形と思われる体部からえぐ屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は鋸く丸る。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内外面ナギ。	茶灰色	2mm以下の長石・チャート等の砂粒を少量含む	良好	
392	同上	口径 11.0 SD316	直上に内側気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内外面不明。	茶灰色	3mm以下の長石・雲母・角閃石・石英等の砂粒を含む	良好	
393	同上	口径 18.0 SD316	上外方に内側して伸びる体部からえぐ屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内外面不明、内面ナギ。	外 品灰褐色 内 開灰色	3.5mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	
394	同上	口径 14.4 器高 9.1 SD316	深い半球形の体部から丸く屈曲し、外上方に伸びた後屈曲して底上する口縁部に至る。端部は丸く。底部は丸く。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内外面ナギ。	茶灰色	6mm以下の石英・長石・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	完形
五十七							

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) U.I. 指定 法基 高	形態・構造等の特徴	色調	胎土	焼成 備考
395	鉢	口径 20.4 器高 6.4 底径 SD316	直上して伸びる体部から脚部へ、外上方に伸びて後短く屈曲して外上方に伸びるU縫部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内側ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 含む	良好
396 五十七	円上	口径 28.2 器高 21.3 底径 6.4 SD316	肩部に張りのある球形に近い体部から丸く屈曲し、外上方に伸びるU縫部に至る。端部は丸い。底部は突出気味のくびみ底。 口縫部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(リ本)後ヘラミガキ、内面ハケナデ後ナデ。	淡灰茶色	石英・長石 ・チャート ・赤褐色 化粧部の細 砂粒を多量 に含む	良好 完形
397 五十七	有孔鉢	口径 15.4 器高 11.2 底径 3.6 SD316	内側して上方方に伸びる体部から口縫部に至る。端部は鋸く尖る。底部は突出気味の平底。底部に穿孔を…つ有す。 体部外側タタキ(3本)後ハケナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	6mm以下の 砂粒を多量 に含む	良好 完形
398 五十七	器台	口径 23.0 器高 18.1 底径 18.5 SD316	受部は二段に屈曲し、外反して外上方に伸びる。端部は上下に肥厚し、外に面をもつ。 口縫部は縫をもち、上に円形竹管文、その上に成灰孔(15本)を施す。端部付近外側(15本、7本)に二条、内面(12本)、端部面(6本)に流紋文を施す。端部は疊に柱状部より一段に屈曲し、外反して下方方に伸びる脚部に至る。 脚部は上に肥厚し、面をもつ。底部に鈍い棱をもち、下に円形竹管文を施す。その下に三方孔を有す。受部と脚部は貫通する。 U縫部ヨコナデ、口縫部外面ハケナデ、内面ヘラミガキ、柱状部・脚部外側ヘラミガキ、内面ハケナデ後ヨコナデ、縫部ヨコナデ。	淡茶褐色	2mm以下の 長石・石英 ・チャート 等の砂粒を 含む	良好
399 五十七	円上	口径 9.8 器高 7.25 底径 11.0 SD316	受部は浅く、内側気味に外上方して伸びるU縫部に至る。端部は内方に若干肥厚し、外傾する面をもつ。柱状部は直接的に伸びた後内傾して下外方に伸びる脚部に至る。端部は丸い。脚部上位に三方孔を有す。受部と脚部は貫通する。 受部内外面ヘラミガキ、脚部外側ヘラミガキ、内面ナデ。	褐色～赤 褐色	長石・雲母 ・角閃石・ 赤褐色酸化 粧部の微砂 粒を少量含 む	良好 完形
400 五十七	圓上	口径 8.0 器高 7.0 底径 11.0 SD316	受部は外上方に伸びるU縫部に至る。端部は垂下し、面をもつ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。受部と脚部は貫通する。 受部内外面ヘラミガキ、脚部外側ヘラミガキ、内面ナデ。	茶灰色	3mm以下の 角閃石・長 石・石英・ 雲母等の 砂粒を含む	良好 完形
401 五十七	圓上	口径 8.8 器高 7.5 底径 11.0 SD316	受部は外上方に伸びるU縫部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。受部と脚部は貫通する。 脚部上位に四方孔を有す。 受部内外面ヘラミガキ、脚部外側ヘラミガキ、内面ナデ。	茶灰色	2mm以下の 角閃石・長 石・石英・ 雲母等の 砂粒を含む	良好 完形
402 五十七	圓上	口径 8.7 器高 8.2 底径 10.85 SD316	受部は外上方に伸びるU縫部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。受部と脚部は貫通する。 脚部上位に四方孔を有す。 受部内外面ヘラミガキ、脚部外側ヘラミガキ、内面ハケナデ、縫部内面ヨコナデ。	乳白色	2mm以下の 角閃石・長 石・石英・ 雲母等の 砂粒を含む	良好 完形

遺物番号 河原番号	出上地点	種類	(cm) 口縁 法量	口縁 基部	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
403	器台	口 縁 9.3 器 高 9.4 底 線 10.3			受部は外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。受部と脚部は貫通する。脚部上位に四方孔を有す。 受部外面ヘラナナゲヘラミガキ、内面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナダ(8本)。	茶褐色	5mm以下の 紫母・角閃 石・長石等 の砂粒を含む	良好	完形
五十八	SD316								
404	同 上	口 縁 10.6 器 高 12.4 底 線 10.8			受部は外方に伸びる口縁部に至る。端部は底下し、面をもつ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸く尖る。受部と脚部は貫通する。脚部中位に三方孔を有す。 受部外面ヨコナダ。受部外面ハケナダ後ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面上ナダ。下位ハケナダ(5本)。	外 淡茶灰 色 内 淡灰茶 色	石英等の微 砂粒を含む	良好	完形
五十八	SD316								
405	同 上	口 縁 8.85 器 高 7.05 底 線 10.15			受部は内側氣味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は受部から外反氣味に下外方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に三方孔を有す。 受部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ヨコナダ。	黒褐色～暗 乳灰褐色	3mm以下の 長石・石英 等の砂粒を含む	良好	完形
五十八	SD316								
406	同 上	口 縁 8.9 器 高 9.6 底 線 9.9			受部は内側氣味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまむ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 受部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文、脚部上位ヘラケナダ後ヘラミガキ、下位ヘラミガキ後ハケナダ(10本)、内面しづりめ・ハケナダ。	淡茶灰色	2mm以下の 紫母・角閃 石・長石等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
五十八	SD316								
407	同 上	口 縁 10.0 器 高 9.0 底 線 10.8			受部は内側して外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。脚部は下外方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 受部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文、脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナダ。	淡茶灰色	長石・石英 等の微砂粒 を少含む	良好	完形
五十八	SD316								
408	同 上	LI 線 9.0 器 高 8.6 底 線 8.9			受部は内側して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 受部外面ヨコナダ。受部外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ナダ、脚部内外面ヨコナダ。	茶灰褐色	長石・石英 等の微砂粒 を含む	良好	完形
五十八	SD316								
409	同 上	口 縁 9.1 器 高 10.1 底 線 10.8			受部は内側氣味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまむ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 受部外面ヘラミガキ、内面不明、脚部外面不明、内面上位ハナダ、下位不明。	淡茶灰色	長石・紫母 等の微砂粒 を含む	良好	完形
五十八	SD316								
410	同 上	口 縁 9.7 器 高 10.4 底 線 10.7			受部は内側して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 受部外面ヘラミガキ、脚部外面ハケナダ(9本)、内面ナダ。	乳白色～乳 青褐色	2mm以下の 紫母・長石 等の砂粒を含む	良好	完形
五十八	SD316								

遺物番号 採取番号	品種 出土地点	(cm) H桂 法量 厚高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
411	器台	口 径 9.2 器 高 8.0 底 径 10.6	受部は斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあける。脚部は受部から外反気味に外下方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に三方孔を有す。 受部外面ヨコナナデ。受部内外面ヘラミガキ、脚部外端ヘラミガキ、内面ナナデ。脚部内面ヨコナナデ。	茶灰色	1mm以下の 石英・角閃石・ 長石・雲母等の砂 粒を含む	良好	完形
412	高杯	口 径 8.5 器 高 7.05 底 径 14.8	楕円形の环部から上外方に内側して伸びる口縁部に至る。端部は純く尖る。脚部は短い柱状部から外下方に口縁を渡ぐ大きさに伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 环部内外面ヨコナナデ。受部外端ヘラミガキ、柱状部外端ヘラミガキ、脚部外端不明、内面ナナデ。	茶灰色	長石・石英・ 角閃石等の微砂粒を 少量含む	良好	完形
五十九	SD316						
413	同上	口 径 11.3 器 高 8.7 底 径 17.4	楕円形の环部から上外方に内側して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は短い柱状部から外下方に口縁を渡ぐ大きさに伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 口縁部外端ヨコナナデ。环部外端ヘラミガキ、内面ヘラミガキ無味、脚部外端不明、内面ハケナナデ(6本)。	淡茶褐色	長石・雲母・ 石英等の微砂粒を含む	良好	完形
五十九	SD316						
414	同上	口 径 11.7	楕円形の环部から上外方に内側して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部外端ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後端文。	淡灰茶色	長石・石英等の微砂粒を少量含む	良好	完形
	SD316						
415	同上	底 径 15.0	环部は欠損。脚部は外上方に内側気味に伸び、端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 脚部外端ヘラミガキ、内面ナナデ。	茶灰色	微砂粒を多量に含む	良好	
	SD316						
416	同上	底 径 17.0	环部は欠損。脚部は柱状部から外下方に伸び、端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 脚部外端ヘラミガキ、内面ハケナナデ(6本)。	茶灰色	長石・石英・ 角閃石・雲母等の微 砂粒を少量含む	良好	
	SD316						
417	同上	底 径 18.1	环部は欠損。脚部は短い柱状部から外下方に伸び、端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 环部外端ヘラミガキ、内面ナナデ、脚部外端ヘラミガキ、内面ハケナナデ(6本)。	外 淡茶色 内 淡灰茶色	5mm以下の 砂粒を多量に含む	良好	
	SD316						
418	同上	底 径 18.2	环部は欠損。脚部は短い柱状部から外下方に内側気味に伸び、端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 柱状部外端ヘラミガキ、内面ヘラミガキ、脚部外端ヘラミガキ、内面ナナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 長石・石英等の砂粒を含む	良好	
	SD316						

漁獲番号 (同種番号)	器 出 土 地 点	(cm) 口径 法 高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
419	高 壺	口 径 12.2 器 高 14.6 底 径 8.2	楕円形の环部から上外方に内側して伸びる口 縫部に至る。端部は丸い。 环部外側ヘラミガキ、内面ナダ後ヘラミガ キ、脚部外側ヘラミガキ、内面ナダ。	褐色	2mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	完形
五十九	S D316						
420	同 上	口 径 11.4	楕円形の环部から途中純い縫をもち、上外方 に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。柱状部 は下外方に伸びる。脚部は欠損。 内外面不明。	暗茶灰褐色	4mm以下の 長石等の砂 粒を多量に 含む	良好	
五十九	S D316						
421	同 上	口 径 12.35	深い楕円形の环部から环底部に純い縫をもち、 上外方に内側して伸びる口縫部に至る。端部 は丸い。脚部は环部から外反して外下方に伸 びる。端部は欠損。脚部下位に四方孔を有す。 环部内外面ヨコナダ、环部外面ヘラミガ キ、脚部外側ヘラミガキ、内面ナダ。	暗茶灰褐色	長石等の種 砂粒を少量 含む	良好	媒付書 赤色陶料有 り、(环部内 面)
五十九	S D316						
422	同 上	口 径 21.0	环部は平らに近い环底部から上外方した後 屈曲し、外上方に伸びる口縫部に至る。端部 はつまむ。脚部は欠損。 环部外側ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗 文。	淡赤茶色	2mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	
	S D316						
423	同 上	口 径 23.4	环部は平らに近い环底部から上外方した後 屈曲し、外上方に伸びる口縫部に至る。端部 は外に小さい瘤をもつ。脚部は欠損。 环部外側ハケナダ(7本)後ヘラミガキ、内 面ヘラミガキ後暗文。	赤茶色	長石・雲母 等の微砂粒 を含む	良好	
	S D316						
424	同 上	LI 径 21.4	环部は平らに近い环底部から上外方した後 屈曲し、外上方に伸びる口縫部に至る。端部 は外に瘤をもつ。柱状部は下外方に強く伸び る。脚部は欠損。 环部外側ヘラミガキ、内面ヨコナダ後ヘラ ミガキ、柱状部外面不明、内面しばり口。	淡茶灰褐色	2.5mm以下 の長石・長 石等の砂粒 を少量含む	良好	
	S D316						
425	同 上	口 径 20.8 器 高 14.5 底 径 14.0	环部は平らに近い环底部から屈曲し、外上 方に外反して伸びる口縫部に至る。端部は丸 い。 環部付近内面に波状文(22本ずつ)を施す。 端部は下外方に強く伸びる柱状部から出 曲して外下方に伸び、途中純い縫をもつ。端 部は丸い。脚部外側に波状文(11本・7本)を二 条施す。脚部上位に四方孔を有す。 环部内外側ヘラミガキ、柱状部外側ヘラミ ガキ、内面ぐりぬき、脚部外側ヘラミガキ、 内面ヨコナダ。	茶褐色	長石・雲母 等の微砂粒 を少量化	良好	
五十九	S D316						
426	同 上	口 径 21.4 器 高 14.7 底 径 13.5	环部は平らに近い环底部から屈曲し、斜上 方に外反共に伸びる口縫部に至る。端部は 丸い。 端部は下外方する柱状部から外反して 外下方に伸びる。脚部は丸い。脚部下位に四 方孔を有す。 环部内外側ヘラミガキ、柱状部外側ヘラミ ガキ、脚部外側ヨコナダ、内面ナダ。	黄褐色～茶 褐色	長石・雲母 ・赤褐色 化粧等の微 砂粒を少量 含む	良好	
五十九	S D316						

遺物番号 国庫番号	基 地 点	種 類 (cm) 口径 法量 基高	形 態 ・ 調整等の特徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
427	高 环	口 径 22.6 器 高 13.5 底 径 14.0	环部は外上方から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。底面部に鋸い棱をもつ。端部は丸い。脚部は柱状部から外下方に外反して伸び端部に至る。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。	外 茶灰色 内 暗灰褐色	3mm以下の 雲母等の砂 粒を含む。	良好	完形
五十九	S D316		环部内外面ハラミガキ、柱状部外面ハラミガキ、脚部外面ハケナデ(9本)後ハラミガキ、内面ナゲ。				
428	周 上	口 径 24.4 器 高 14.0 底 径 14.8	环部は平らな环底部から外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は柱状部から外上方に外反気味に伸び環部に至る。端部は丸い。脚部上位に三方孔を有す。 环部内外面ハラミガキ、脚部外面ハラミガキ、内面ナゲハラナデ、下枝ヨカナデ。	暗褐色	3mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 含む	良好	
六十	S D316						
429	同 上	口 径 24.0	环部は平らな环底部から屈曲して斜上方に伸びる。端部は丸く尖る。柱状部は外下方に外反する。端部は欠損。 环部内外面不明、柱状部外面不明、内面くりぬき。	淡茶灰色	長石・角閃 石・石英・ チャート等 の微砂粒を 少量含む	良好	完形
	S D316						
430	同 上	口 径 23.2 器 高 15.0 底 径 15.5	环部は平らな环底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は外方に伸びる柱状部から屈曲して外下方に伸びる。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 环部外面ハラミガキ、内面ハラミガキ後端文、柱状部外面ハラミガキ、内面くりぬき、脚部外面ハラミガキ、内面ハケナデ(9本)。	茶灰色	長石・石英・ 角閃石・ 雲母等の微 砂粒を含む	良好	完形
六十	S D316						
431	同 上	口 径 23.1 器 高 15.7 底 径 16.0	环部は平らに近い环底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は外方に伸びる柱状部から屈曲して外下方に内齊氣味に伸びる。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 环部外面ハラミガキ、内面ハラミガキ後端文、柱状部外面ハラケズリ後ハラミガキ、内面しづりめ、脚部外面ハラミガキ、内面ナゲ。	茶灰色	長石・角閃 石・雲母 等の微砂 粒を少量 含む	良好	完形
六十	S D316						
432	同 上	口 径 23.8	环部は平らな环底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。柱状部は外下方に伸びる。端部は欠損。 环部外面ハケナデ(6本)後ハラミガキ、内面ハラミガキ後端文、柱状部外面ハラケズリ後ハラミガキ後ハケナデ、内面くりぬき。	茶灰色	長石・雲母 等の微砂 粒を少量 含む	良好	黒斑有
六十	S D316						
433	[回] 上	口 径 23.0	环部は平らに近い环底部から屈曲して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。柱状部は外下方に伸びる。端部は欠損。 环部外面ハケナデ後ハラミガキ、内面ハラミガキ後端文、柱状部外面不明、内面しづりめ。	茶灰色	3mm以下の 長石・雲母 等の砂粒を 少量含む	良好	
六十	S D316						
434	同 上	口 径 23.3 器 高 14.15 底 径 16.0	环部は平らな环底部から屈曲して斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方に伸びる柱状部から屈曲し、外下方に伸びる柱状部から屈曲して外下方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 环部外面ハケナデ後ハラミガキ、内面ハラミガキ、脚部外面ハラミガキ、内面ナゲ。	外 淡灰茶 内 茶灰色	3mm以下の 長石等の微 砂粒を含む	良好	縁付 赤色陶料有 り
六十	S D316						

遺物番号 団体番号	登出上地點	種類	(cm) 口径 法量 筋高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
435	高 环	口 径 24.6 器 高 16.4 底 径 17.2		环部は平らに近い环底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。腹部は柱状部から外反して外下方に伸びる。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 环部内外面ヘラミガキ、内面ナデ。	褐色	長石・チャート・雲母・角閃石等の微砂粒を含む	良好	丸形 赤色顔料有 (环部内面)
六十一	S D316							
436	同 上	口 径 23.4 器 高 17.0 底 径 15.8		环部は平らに近い环底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。腹部は下外方に伸びる柱状部から屈曲して外下方に伸びる。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 内外面ハケナデ(9本)。	淡茶色	微砂粒を含む	良好	丸形 黒斑有
六十一	S D316							
437	同 上	口 径 23.25		环部は小さい环底部から屈曲して斜上方した後上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部内外面ヘラミガキ。	外 茶灰色 内 茶色	5mm以下の 長石・チャート等の砂粒を含む	良好	黒斑有
六十一	S D316							
438	同 上	口 径 20.4		环部は平らに近い小さい环底部から屈曲して上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。柱状部は底以下。脚部は欠損。 内外面不明。	淡茶灰色	3mm以下の 長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
	S D316							
439	同 上	口 径 22.0		环部は平らな环底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部内外面ヘラミガキ。	淡茶灰色	長石・雲母・角閃石等の微砂粒を少量含む	良好	
六十一	S D316							
440	同 上	口 径 19.6		环部は平らな环底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部内外面ヘラミガキ。	淡茶灰色	長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	
	S D316							
441	同 上	口 径 19.2		环部は平らな环底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部内外面ヘラミガキ、内面不明。	淡茶灰色	5mm以下の 長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
	S D316							
442	同 上	口 径 23.0		环部は平らな环底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部内外面ヘラミガキ。	淡茶灰色	4mm以下の 石英・チャート・長石等の砂粒を含む	良好	
	S D316							

遺物番号 回収番号	器 出上地点	種 類 (cm) 口径 法量 高さ	形 態 ・ 調整等の特徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
443	高杯	口 径 23.0	环部は平らな环底部から屈曲して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部外面へラミガキ。	茶灰色～暗 灰褐色	3mm以下の 長石・石英・ 雲母等の 砂粒を含む	良好	
	S D 316						
444	同 上	口 径 23.8	环部は环底部から屈曲して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部外面へラミガキ、内面不明。	淡茶灰色	5mm以下の 長石・長石・ チャート等の 砂粒を少 量含む	良好	
	S D 316						
445	同 上	口 径 26.4	环部は平らに近い环底部から屈曲して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部外面へラミガキ。	淡茶黄色	3mm以下の 長石・石英等の 砂粒を少 量含む	良好	
	S D 316						
446	同 上	口 径 20.15	环部は平らに近い环底部から屈曲して斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部外面へラミガキ、内面不明。	外 乳茶褐色 内 乳灰茶褐色	2mm以下の 砂粒を含む	良好	
	S D 316						
447	同 上	底 径 15.0	环部は欠損。脚部は直下する柱状部から屈曲して外下方に伸び、縫部に至る。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 脚部外面へラミガキ、内面ナデ。	茶灰色	4mm以下の 長石・石英等の 砂粒を多 量に含む	良好	
	S D 316						
448	同 上	底 径 15.75	环部は欠損。脚部は柱状部から外反して外下方に伸び、縫部に至る。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 脚部外面へラミガキ、内面ナデ、下位ヨコナデ。	淡茶灰色	3mm以下の 長石・石英・ チャート等の 砂粒を少 量含む	良好	
	S D 316						
449	同 上	底 径 16.5	环部は欠損。脚部は柱状部から外反気味に外下方して伸び、縫部に至る。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 脚部外面へラミガキ、内面ナデ、縫部外面ヨコナデ。	淡茶灰色	3mm以下の チャート・ 長石・石英等の 砂粒を少 量含む	良好	
	S D 316						
450	製陶土器	底 径 4.8	体部は欠損。脚部は外下方に外反気味に伸びる。端部は丸い。 内面ナデ・指擦痕。	外 赤褐色 一淡褐色 内 赤褐色 暗褐色	微砂粒を含む	良好	
	S D 316						

漁物番号 回収番号	出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
451	要	口径 器高 19.6 10.1	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、上方方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は充満氣味。 口縫部外面ヘラミガキ、内面不明。体部外面上位ヘラミガキ、下位ハケナダ、内面不明。	乳茶褐色	長石・石英 ・角閃石等 の微砂粒を 少量含む	良好	充形
六十一	S D316						
452	同上	口径 器高 12.2 14.5	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、上方方に内骨氣味に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は丸底。体部内面中位に一本の接合痕を有す。 口縫部外面不明、内面ヨコナダ、体部外面上位不明、下位ヘラナダ、内面ヘラナダ。	外 内 淡茶褐色 淡茶褐色	5mm以下の 角閃石・長 石・雲母 ・石英等の砂 粒を含む	良好	充形 黒斑有
六十一	S D316						
453	同上	口径 器高 12.0 13.6 底径 1.9	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、上方方に内骨氣味に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は丸底。体部内面中位に二本の接合痕を有す。 口縫部外面ヨコナダ、体部外面上位ヨコナダ、下位ナダ、内面ナダ、一部指頭痕。	淡茶褐色	長石・雲母 ・石英等の 微砂粒を含 む	良好	黒斑有
六十一	S D316						
454	同上	口径 器高 11.2 13.95 底径 2.8	球形に近い体部から屈曲し、上方方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は突出氣味の平底。体部内面下位に一本の接合痕を有す。 口縫部内外面ヨコナダ、体部外面上位ナダ、下位ヘラケズリ、内面ヘラナダ。	淡茶褐色	2mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の砂粒を含 む	良好	充形 黒斑有
六十一	S D316						
455	同上	口径 器高 12.3 12.6 底径 3.3	球形の体部から屈曲し、上方方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は突出氣味の平底。体部内面下位に一本の接合痕を有す。 口縫部内外面ヨコナダ(7本)、体部外面上・中位タタキ(3本)後ハケナダ、下位タタキ(3本)、内面ヘラナダ。	淡灰褐色	2.5mm以下の 長石・雲 母・角閃石 ・石英等の 砂粒を含む	良好	充形 模付有
六十二	S D316						
456	同上	口径 器高 12.4 11.6 底径 2.2	球形の体部から屈曲し、上方方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は突出氣味の平底。体部内面下位に一本の接合痕を有す。 口縫部内外面ヨコナダ、体部外面上・中位ハケナダ(8本)、下位不明、内面ヘラケズリ。	茶褐色	3mm以下の 石英・長石 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	充形
六十二	S D316						
457	同上	口径 器高 12.4 14.0 底径 3.7	球形の体部から屈曲し、上方方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は突出氣味の平底。端部・体部内面下位に一本ずつ接合痕を有す。 口縫部内外面ヨコナダ、体部外面上・中位ハケナダ(3本)、内面ナダ。	茶褐色	5mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を多量 に含む	良好	模付有
六十二	S D316						
458	同上	口径 器高 14.8 18.4 底径 3.9	球形に近い体部から屈曲し、斜上方方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は突出氣味のくぼみ底。体部下位に0.4×2.3の横に長い焼成後の穿孔を有す。体部内外面下位に一本ずつ接合痕を有す。 口縫部内外面ハケナダ後ヨコナダ、体部外面上タタキ(4本)、内面ヘラナダ、底部ナダ。	外 内 灰茶褐色 茶褐色	長石・石英 等の砂粒を 含む	良好	充形 模付有
六十二	S D316						

造物番号 図版番号	種 出土地点	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
459	斐	口径 11.8 器高 11.6 底径 2.1	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から彎曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。体部内面下位に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上・中位ナデ、下位ヘラケズリ、内面ヘラナデ。	茶灰色	5mm以下の 角閃石・長 石・石英・ 雲母等の砂 粒を多量に 含む	良好	変形 黒斑有
六十二	S D316						
460	岡上	口径 12.2 器高 10.7 底径 2.4	球形の体部から屈曲し、内壁気孔に上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気孔の平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上タタキ(3本)後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 角閃石・長 石・石英等の 砂粒を含む	良好	変形 焼付着
六十二	S D316						
461	岡上	口径 11.6 器高 9.1 底径 1.2	最大径を胴上位にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナデ、腹部外面上唇痕、体部外面上タタキ後ヘラナデ(5本)、内面ヘラケズリ、底部外面上ナデ。	外乳茶褐色 内暗褐色	4mm以下の 雲母・長石・ 角閃石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	変形 焼付着
六十三	S D316						
462	岡上	口径 12.15 器高 10.95 底径 1.7	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上タタキ(4本)後ヘナデ、内面ヘラナデ、底部外面上ナデ。	茶褐色	1mm以下の 長石・石英・ 雲母等の砂 粒を含む	良好	変形
六十三	S D316						
463	岡上	口径 12.3 器高 12.4 底径 1.9	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)後ナデ、下位タタキ後ヘナデ(3本)、内面ヘラナデ、底部外面上ナデ。	茶褐色	2mm以下の 雲母・長石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	変形
六十三	S D316						
464	岡上	口径 12.6 器高 11.2 底径 1.6	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)後ヘナデ、内面ヘラナデ。	茶灰色	3mm以下の 雲母・長石・ 角閃石・ 石英等の砂 粒を少量含む	良好	変形 黒斑有
六十三	S D316						
465	岡上	口径 12.4 器高 12.7 底径 2.4	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は内外方に肥厚し、面をもつ。底部は突出しない平底。 口縁部外面上タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)後ナデ、下位ヘラケズリ、内面ヘラナデ。	乳白色	5mm以下の 角閃石・長 石・石英・ 雲母等の砂 粒を含む	良好	変形 焼付着
六十三	S D316						
466	岡上	口径 12.7 器高 9.7 底径 2.6	最大径を胴上位にもつ扁平な球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は純く尖る。底部は突出しないくぼみ平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヘナデ、下位不明、内面ヘラナデ。	外乳茶褐色 内茶褐色	3mm以下の 角閃石等の 砂粒を含む	良好	変形 焼付着
六十三	S D316						

遺物番号 回収番号	器 種 類 出 土 地 点	(cm) 口径 法量 器高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
467	甕	口径 12.8 器高 12.55	球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。端部は若千上につまむ。底部は突出しない小さいくぼみ底。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナギ。	淡褐色	2.5mm以下の 長石・雲母・ 角閃石等の砂粒を 多量に含む	良好	完形 焼付着
六十四	S D316						
468	同 上	口径 13.6	最大径を胴上位にもつ球形と思われる体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナギ。	暗茶灰色	2mm以下の 雲母・長石・ 角閃石等の砂粒を含む	良好	焼付着
六十四	S D316						
469	同 上	口径 13.8 器高 11.25	最大径を胴上位にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縫部に至る。端部は外につまむ。底部は突出しない小さいくぼみ底。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナギ。	淡褐色	2mm以下の 長石・角閃石・ 石英等の砂粒を少量化	良好	完形 焼付着
六十四	S D316						
470	同 上	口径 14.7 器高 11.1	最大径を胴上位にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。端部は丸く底。底部は突出しない小さい平底。 胴部・体部内面下辺に一本ずつ捺合痕を有す。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(3本)。下位不明、内面ヘラナギ。	茶褐色	5mm以下の 角閃石・雲母・ 長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形 焼付着
六十四	S D316						
471	同 上	口径 16.1 器高 19.5 底径 1.9	最大径を胴中央よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は突出しない上げ底。 体部外面上位に3本の捺合痕を有す。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(4本)後ハケナギ(5本)、内面ヘラナギ。	茶褐色～暗 灰褐色	6mm以下の 長石・石英・ 雲母等の砂粒を含む	良好	完形 焼付着
六十四	S D316						
472	同 上	口径 13.0 器高 14.9 底径 3.6	最大径を胴中位より上にもつ梢円形の体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縫部内外面ヨコナギ(8本)、体部外面上位タタキ(3本)、下位ハケナギ。内面ヘラナギ、底部内面捺痕有。	暗茶灰色	3mm以下の 角閃石・長石・ 雲母等の砂粒を含む	良好	
六十四	S D316						
473	同 上	口径 10.3	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縫部に至る。端部は外傾する小さな面をもつ。体部は下位欠損。 口縫部外面上位ヨコナギ、内面ハケナギ(7本)、体部外面上位ハケナギ、内面ハケナギ。	茶褐色	3mm以下の 長石・チャート・ 石英等の砂粒を多量に含む	良好	
	S D316						
474	同 上	口径 12.0	球形と思われる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。端部は外傾する面をもち、一余の沈殿をもつ。底部は欠損。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(2本)、下位ヘラミガキ、内面上位ナギ、下位ヘラナギ。	暗灰茶色	角閃石・雲母・ 石英等の微砂粒を含む	良好	焼付着
	S D316						

遺物番号 図版番号	登 出 土 地 点	種 類	(cm) 口径 法量 高さ	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	粒 土	焼 成	備 考
475	斐	口 径	12.8	球形と思われる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(4本)後ナゲ、内面ヘラナゲ。	淡褐色	2.5mm以下の長石、石英等の砂粒を少量含む	良好	黒斑有
六十五	S D316							
476	同 上	口 径	10.8	上内方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(8本)後ハケナゲ(6本)、内面ヘラナゲ。	茶灰色	3.5mm以下の紫母・長石・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	
	S D316							
477	同 上	口 径	10.8	内壁気味に直上する体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(6本)後ナゲ、内面ナゲ。	淡茶灰色	長石・角閃石・チャート等の微砂粒を少量含む	良好	
	S D316							
478	同 上	口 径	11.0	上内方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干下に肥厚し、面をもつ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(4本)後ナゲ、内面ナゲ。	暗灰色	角閃石・紫母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
	S D316							
479	同 上	口 径	11.8	上内方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。底部・体部内面上位に一本ずつ接合痕を有す。 口縁部内外面ナゲ、体部外面タタキ(3本)、内面ナゲ。	茶褐色	3mm以下の角閃石・紫母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
六十五	S D316							
480	同 上	口 径	12.4	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部内外面ナゲ。	灰茶色	5mm以下の長石・紫母・石英等の砂粒を含む	良好	擦付着
	S D316							
481	同 上	口 径	12.2	内壁で直上する体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部外面ハケナゲ後ヨコナゲ、内面ヨコナゲ、体部内外面ナゲ。	茶灰色	3mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を少量含む	良好	
	S D316							
482	同 上	口 径	13.0	内壁で直上する体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。底部・体部内面上位に一本ずつ接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(5本)後ヘラナゲ、内面ヘラナゲ。	淡灰茶色	4mm以下の紫母・角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	擦付着
六十五	S D316							

遺物番号 (図版番号)	部 出 土 地 点	(cm) 口 径 基 準 器	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
483	窓	口径 13.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反気味に上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。体部内上面位に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ヘラナデ。	淡茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を少量含む	良好	
	S D316						
484	同 上	口径 13.2	高方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ、中位不明、内面ヘラナデ。	灰灰色	4mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	焼付着
六十五	S D316						
485	同 上	口径 13.6	内上方に伸びる体部から屈曲し、上方方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ナデ、内面ナデ。	淡茶灰色	6mm以下のチャート・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	焼付着
	S D316						
486	同 上	口径 14.4	体部から屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ナデ。	灰灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
	S D316						
487	同 上	口径 14.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上方方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は下位欠損。口縁部・体部外面上位に一本ずつの接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ・搭接痕。	外 壁 灰 色 内 部 灰 色 — 灰 色	微砂粒を含む	良好	
	S D316						
488	同 上	口径 12.8	蝶形と思われる体部から屈曲し、内彎気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。頭部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)後ハケナデ(8本)、下位タタキ後ナデ、内面ヘラナデ。	外 部 茶 色 内 部 暗 茶 色	5mm以下の角閃石等の砂粒を含む	良好	
六十五	S D316						
489	同 上	口径 15.6	最大径を胴中央より上にもつ橢円形と思われる体部から屈曲し、上方方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(8本)、内面ヘラナデ。	灰褐色～淡 茶灰色	3mm以下の長石・石英・云母等の砂粒を含む	良好	焼付着
六十五	S D316						
490	同 上	口径 11.8 基 高 度 16.3 1.5	最大径を胴中央より上にもつ橢円形の体部から屈曲し、上方方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は突出しない小さい平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(10本)、内面ヘラケリ。	褐茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	完形 焼付着
六十六	S D316						

遺物番号 図版番号	出上地点	種類 (cm) 口径 法量器高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
491	斐	口径 14.0 器高 14.1	球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。底部は若干つまむ。底部は突出しない小さいくぼみ底。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡灰色	5mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	黒斑有
六十六	S D316						
492	同上	口径 15.4 器高 12.1	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。底部はつまみあげる。底部は丸底。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(5本)後ハケナゲ(5本)、内面ハケナゲ後ヘラケズリ。	茶灰色	4mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を多量 に含む	良好	変形 焼付有
六十六	S D316						
493	同上	口径 17.8 器高 20.6	胴中位に膨りのある球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。底部は外傾する小さい蓋をもつ。底部は突出しない小さい平底。 口縫部外面ヨコナギ、内面ハケナゲ(4本)、体部外面タタキ(5本)後ハケナゲ(4本)、内面ヘラナギ。	茶灰色	3mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を多量 に含む	良好	変形 焼付有
六十六	S D316						
494	同上	口径 11.6	直上に内側気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縫部に至る。底部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縫部外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)後ナギ、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	3mm以下の 角閃石・長 石・雲母等の 砂粒を含む	良好	
	S D316						
495	同上	口径 12.6	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。底部は外方に若干膨らむ。体部は下位欠損。 口縫部外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)後ナギ、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	角閃石・雲 母・長石等の 微砂粒を含む	良好	
	S D316						
496	同上	口径 13.3	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縫部に至る。底部は丸い。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(9本)、内面ヘラケズリ。	灰茶	石英・長石 等の微砂粒 を少量含む	良好	焼付有
	S D316						
497	同上	口径 13.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。底部は若干つまむ。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	2mm以下の 角閃石・長 石・雲母等の 砂粒を少 量含む	良好	
	S D316						
498	同上	口径 11.2	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縫部に至る。底部は上につまむ。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	外 暗灰茶 色 内 淡茶灰色	角閃石等の 微砂粒を含 む	良好	
	S D316						

遺物番号 出典番号	器 種 類	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色 調	胎 土	焼成 度	備 考
499	甕	口径 13.8	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	角閃石・石英・長石等の粗砂粒を少量含む	良好	
	S D316						
500	同 上	口径 13.7	上内方に内擣して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、内面ハケナギ、体部外面タタキ(3本)後ハケナギ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗灰灰色	4mm以下の 雲母・角閃石・石英等の砂粒を含む	良好	
六十六	S D316						
501	同 上	口径 14.6	上内方に内擣して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面上位ハケナギ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	4mm以下の 角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	煤付型
六十六	S D316						
502	同 上	口径 18.9 器 高 22.85	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ハケナギ後ヨコナギ(一部ヘラケズリ)、内面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)後ハケナギ(6本)、内面上位ハケナギ後ハケナギ、下位ヘラケズリ。	外 暗茶灰色 内 暗灰褐色	5mm以下の 砂粒を多量に含む	良好	煤付普 通底有
六十七	S D316						
503	同 上	口径 17.0	球形と思われる体部から屈曲し、段をもって上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)後ハケナギ(6本)、内面ヘラケズリ。	外 暗茶灰色 内 暗灰色	5mm以下の 角閃石等の砂粒を含む	良好	
六十七	S D316						
504	同 上	口径 11.6 器 高 13.1	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(4本)、中位ハケナギ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の 角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	完形
六十七	S D316						
505	同 上	口径 12.4 器 高 11.8	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(5本)、下位ハケナギ(6本)、内面ヘラケズリ。	外 暗灰褐色 内 灰色	長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
六十七	S D316						
506	同 上	口径 12.3 器 高 14.6	球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナギ、内面ハケナギ、体部外面タタキ(4本)後ハケナギ(7本)、内面ヘラケズリ。	上 灰色 下 茶褐色	2mm以下の 角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	完形 煤付型
六十七	S D316						

遺物番号 国版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
507	甕	口径 12.5 器高 12.95	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は小さい平底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラケズリ。	茶褐色	3mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を含む	良好	完形
六十七	S D316						
508	同上	口径 12.8 器高 14.3	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部 外面タタキ(6本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・雲母・長石等の 砂粒を含む	良好	完形 焼付着
六十八	S D316						
509	同上	口径 13.0	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸底。 端部はつまみあける。底部は欠損。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、下位ハケナデ後ナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶褐色	4mm以下の 角閃石・長石・ 石英等の砂粒を含む	やや 良	焼付着
六十九	S D316						
510	同上	口径 13.4 器高 15.3	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみあげる。底部は尖り氣味底。 口縁部外面ヨコナデ、体部上位タタキ(5本)後ハケナデ(5本)、下位ナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶褐色	1.5mm以下の 角閃石・雲母・ 長石等の砂粒を含む	良好	完形 焼付着
六十八	S D316						
511	同上	口径 13.6 器高 13.9	最大径を上位にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみだす。底部は尖り氣味底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、下位ハケナデ、内面ヘラケズリ。	乳灰褐色	雲母・角閃石・長石等の 微砂粒を含む	良好	完形 焼付着
六十八	S D316						
512	同上	口径 13.6 器高 13.0	最大径を上位にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶褐色	3mm以下の 角閃石・長石・雲母等 の砂粒を含む	良好	完形 焼付着
六十八	S D316						
513	同上	口径 13.6	最大径を上位にもつ球形と思われる体部から屈曲し、外方に内側気味に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部 外面タタキ(4本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の 角閃石・長石・ 雲母等の砂粒を含む	良好	焼付着
六十八	S D316						
514	同上	口径 13.8 器高 15.8	最大径を中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗褐灰茶色	4mm以下の 角閃石・雲母・ 長石等の砂粒を多 量に含む	良好	焼付着
六十九	S D316						

遺物番号 図版番号	出土地点	(cm) L径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
515	斐	口 径 14.2 器 高 16.6	球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(5本)後ハケナゲ(6本)、下位ハケナゲ、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	無砂粒を含む	良好	
六十九	S D316						
516	岡 上	口 径 14.2 器 高 17.25	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナギ、體部内面指頭壓痕、体部外面上位タタキ(10本)、下位タタキ後ハケナゲ(9本)、内面ヘラケズリ。	外 増茶灰色 内 黒褐色	3mm以下の 角閃石等の 砂粒を含む	良好	完形 焼付着
六十九	S D316						
517	岡 上	口 径 14.2 器 高 16.4	最大径を上位にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干千ます。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナギ、内面ハケナゲ、体部外面上位タタキ(5本)後ハケナゲ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	3mm以下の 角閃石・長 石等の砂粒 を含む	良好	焼付着
六十九	S D316						
518	岡 上	口 径 14.4 器 高 17.5	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(7本)後ハケナゲ(6本)、内面ヘラケズリ。	增茶灰色	2mm以下の 砂粒を含む	良好	完形 焼付着 表面化物付着
六十九	S D316						
519	岡 上	口 径 14.5 器 高 16.8	球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(5本)後ハケナゲ(7本)、内面ヘラケズリ。	乳茶褐色	4mm以上の 長石・石英 等の砂粒を 含む	良好	完形
六十九	S D316						
520	岡 上	口 径 14.5 器 高 16.1	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(6本)後ハケナゲ(7本)、内面ヘラケズリ。	增茶灰色	2mm以下の 角閃石・長 石・石英・ 安息香等の砂 粒を含む	良好	完形 焼付着
七十	S D316						
521	岡 上	口 径 14.6 器 高 16.1	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(5本)、下位ハケナゲ(7本)、内面ヘラケズリ。	茶褐色	4mm以下の 砂粒を含む	良好	完形
七十	S D316						
522	岡 上	口 径 14.6 器 高 15.9	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は小さい平底。 口縁部内外面ヨコナギ、内面ハケナゲ、体部外面上位タタキ(6本)、下位ハケナゲ(5本)、内面ヘラケズリ。	增茶灰色	3mm以下の 角閃石・長 石・石英・ 安息香等の砂 粒を少數含む	良好	完形 焼付着
七十	S D316						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
523	甕	口径 14.95 器高 17.5	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から弧曲し、上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は尖り気味底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外曲タキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	2mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を含む	良好	完形
七十	S D316						
524	同 上	口径 15.0 器高 20.5	楕円形の体部から弧曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は尖り気味底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(7本)後ハケナデ(6本)、下位タタキ後ナデ、内面ヘラケズリ。	灰茶色	5mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を少 量含む	良好	焼付着
	S D316						
525	同 上	口径 15.2 器高 17.1	球形の体部から弧曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(7本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を含む	良好	完形 焼付着
七十	S D316						
526	同 上	口径 15.2	球形と思われる体部から弧曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。底部は尖り気味底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(7本)後ハケナデ(8本)後ナデ、内面ヘラケズリ。	灰茶色	角閃石・雲母・長石・ 石英等の微 砂粒を少量 含む	良好	焼付着
七十	S D316						
527	同 上	口径 15.4 器高 17.3	最大径を胴上位にもつ体部から弧曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみあける。底部は突出しない小さい平底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部外面上位タタキ(6本)後ハケナデ(8本)後ナデ、内面ヘラケズリ。	灰茶色	角閃石・雲母・長石等 の微砂粒を含む	良好	焼付着 炭化物付着
七十一	S D316						
528	同 上	口径 15.4 器高 20.35	最大径を胴中位より上にもつ体部から弧曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ、一束の伏線を施す。底部は突出しない小さい平底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ、底部外面上位タタキ。	暗茶灰色	角閃石・雲母・長石等 の細砂粒を 少量含む	良好	完形 焼付着 黒斑有
七十一	S D316						
529	同 上	口径 15.5 器高 17.0	球形の体部から弧曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあける。底部は尖り気味底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(6本)、下位タタキ後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	茶褐色	砂粒を含む	良好	完形
	S D316						
530	同 上	口径 16.05	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から弧曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰褐色	長石・雲母等の細砂粒 を多量に含む	良好	焼付着 炭化物付着
七十一	S D316						

遺物番号 図版番号	部 分 地 点	(cm) 口徑 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
531	甕	口 径 16.2 器 高 17.4	最大径を胴中央より上にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は尖り気味底。底部内面に一本の複合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	完形 焼付着
七十一	S D316						
532	同 上	口 径 16.6 器 高 20.05	最大径を胴中央より上にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は尖出しない小さい平底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(7本)後ナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	完形 焼付着
七十一	S D316						
533	同 上	口 径 17.2 器 高 23.9	最大径を胴中央より上にもつ梢円形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナギ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	完形 焼付着
七十一	S D316						
534	同 上	口 径 17.6 器 高 22.5	最大径を胴中央より上にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナギ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	完形 焼付着 異斑有
七十二	S D316						
535	同 上	口 径 17.8 器 高 27.7	梢円形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	茶褐色	砂粒を含む	良好	完形 焼付着 炭化物付着
七十二	S D316						
536	同 上	口 径 11.8	球形と思われる体部から屈曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(8本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・石英等の砂粒を少々含む	良好	焼付着
	S D316						
537	同 上	口 径 12.0	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	焼付着
	S D316						
538	同 上	口 径 12.2	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶色	4mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	焼付着
七十二	S D316						

遺物番号 （内訳番号）	種類	(cm) 口徑 法量 器高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
539	甕	口 径 12.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	4mm以下の角閃石・長石等の砂粒を多量に含む	良好	
S D316							
540	同 上	口 径 12.4	球形と思われる体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部下位・底部は欠損。口縁部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
S D316							
541	同 上	口 径 12.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
S D316							
542	同 上	口 径 12.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を多量に含む	良好	
S D316							
543	同 上	口 径 13.05	体部から屈曲し、内側気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。腹部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面タタキ(4本)後ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)後ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
S D316							
544	同 上	口 径 13.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみあげる。底部は欠損。口縁部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	媒付着
S D316							
545	同 上	口 径 13.3	球形と思われる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみあげる。底部は欠損。口縁部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)、下位不明、内面ヘラケズリ。	外 赤褐色 内 緑褐色	3.5mm以下の砂粒を含む	良好	媒付着
七十二	S D316						
546	同 上	口 径 13.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	灰褐色	角閃石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
七十二	S D316						

遺物番号 区分番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法皇 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成 備考
547	唐 SD316	口径 13.4	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。堆部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	外灰褐色 内灰褐色	5mm以下の 長石・石英等の砂粒を 多量に含む	良好
548	同上 SD316	口径 13.6	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。堆部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(5本)後ヨコナデ、内面ハケナデ(8本)、体部外面ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	角閃石・赤褐色 化粧石・長石・雲母等の 砂粒を少量含む	良好
549	同上 SD316	口径 13.6	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。堆部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	灰褐色	5mm以下の 角閃石・長石・雲母等の 砂粒を少量含む	良好 擦付着
550	同上 SD316	口径 13.8	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。堆部はつまみあげる。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ(9本)後ヨコナデ、中位タタキ(4本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	乳白色	4mm以下の 長石・雲母・角閃石等の 砂粒を少量含む	良好
551	同上 SD316	口径 13.8	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。堆部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(9本)、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	2mm以下の 角閃石・長石等の 砂粒を含む	良好
552	同上 SD316	口径 13.8	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。堆部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(10本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	外暗褐色 内灰褐色	角閃石・雲母・長石等の 砂粒を含む	良好 擦付着
553	同上 SD316	口径 13.8	球形に近いと思われる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。堆部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(10本)、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗褐色	3mm以下の 角閃石・長石・雲母・石英等の 砂粒を含む	良好 擦付着
554	同上 SD316	口径 14.0	球形に近いと思われる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。堆部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(5本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶色	3mm以下の 雲母・角閃石・長石・石英等の 砂粒を含む	良好 擦付着
七十二						

植物番号 区分番号	品種	(cm) 口徑 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
555	麥	口 径 14.0	上内方に内壁して伸びる体部から屈曲し、 上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみある。 体部は下位欠損。 口縁部内外ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)後ハケナギ(8本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	5mm以下の 角閃石・長 石等の砂粒 を含む	良好	焼付着
	S D316						
556	圓上	口 径 14.0	上内方に内壁して伸びる体部から屈曲し、 外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみある。 体部は下位欠損。 口縁部内外ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)後ハケナギ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	4mm以下の 角閃石・長 石・雲母等 の砂粒を含む	良好	焼付着
七十三	S D316						
557	圓上	口 径 14.0	上内方に内壁して伸びる体部から屈曲し、 外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあける。 体部は下位欠損。 口縁部内外ヨコナギ、体部外面タタキ(8本)、 体部タタキ(5本)後ハケナギ、内面ヘラケズリ。	乳褐色	角閃石・長 石・雲母等 の砂粒を含む	良好	焼付着
	S D316						
558	圓上	L1 径 14.1	上内方に内壁して伸びる体部から屈曲し、 斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみある。 体部は欠損。 口縁部内外ヨコナギ、体部外面タタキ(6本)後ハケナギ(8本)、内面ヘラケズリ。	外 淡灰茶 色 内 暗灰色	2mm以下の 角閃石等の 砂粒を含む	良好	焼付着
七十三	S D316						
559	M 上	口 径 14.2	上内方に内壁して伸びる体部から屈曲し、 斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあける。 体部は下位欠損。 口縁部内外ヨコナギ、体部外面タタキ(7本)、中位ナギ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	4mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の砂粒を少 量含む	良好	
	S D316						
560	圓上	口 径 14.2	上内方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、 内壁気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみある。 体部は欠損。 口縁部内外ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)後ハケナギ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3.5mm以下の 角閃石・長 石等の砂 粒を含む	良好	
	S D316						
561	圓上	口 径 14.3	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に 伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみある。 体部は欠損。 口縁部内外ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)後ハケナギ(7本)、内面ヘラケズリ。	乳褐色	雲母・角 閃石・長石等 の砂粒を含む	良好	
	S D316						
562	圓上	口 径 14.4	上内方に内壁して伸びる体部から屈曲し、 上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみある。 体部は欠損。 口縁部外面タタキ(4本)後ヨコナギ、内面 ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラ ケズリ。	暗茶灰色	5mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の砂粒を含む	良好	焼付着
	S D316						

遺物番号 図版番号	部 門 出 土 地 点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎 土	焼成	備 考
563	甕	口径 14.5 SD316	上内方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外側ヨコナゲ、内面ハケナゲ、体部外側タタキ(4本)後ハケナゲ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を少數含む	良好	焼付着
564	甕 上	口径 14.55 SD316	上内方に内導して伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方する口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は下位欠損。 口縁部内面ヨコナゲ、体部外側タタキ(5本)後ハケナゲ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	焼付着
565	甕 上	口径 14.35 SD316	上内方に内導して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみあげる。体部は下位欠損。 口縁部内面ヨコナゲ、体部外側タタキ(5本)後ハケナゲ(7本)、内面ヘラケズリ。	褐灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
566	甕 上	口径 14.5 SD316	上内方に内導して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内面ヨコナゲ、体部外側タタキ(5本)後ハケナゲ、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	焼付着
567	甕 上	口径 14.6 SD316	球形と思われる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は欠損。 口縁部内面ヨコナゲ、体部外側タタキ(5本)後ハケナゲ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	焼付着
568	甕 上	口径 14.7 SD316	上内方に内導して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ外掃する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内面ヨコナゲ、体部外側タタキ(5本)後ハケナゲ(7本)、内面ヘラケズリ。	淡灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
569	甕 上	口径 14.6 SD316	上内方に内導して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内面ヨコナゲ、体部外側タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
570	甕 上	口径 14.8 SD316	上内方に内導して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外側ヨコナゲ、内面ハケナゲ、体部外側タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	3mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	焼付着

遺物番号 団体番号	器 出 土地点	(cm) 口徑 法量 器高	形態・調査等の特徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
571	斐	口 径 15.0	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タキ(3本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
	S D316						
572	岡 上	L1 径 15.0	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、内面ハケナデ、体部外側タキ(3本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微形粒を含む	良好	
	S D316						
573	岡 上	L1 径 15.2	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びるL1縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タキ(4本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・赤褐色・鐵化鉄等の砂粒を含む	良好	媒付着
	S D316						
574	岡 上	口 径 15.25	上内方に内側気味に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、内面ハケナデ(6本)、体部外側タキ(3本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡灰色	6mm以下の角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
	S D316						
575	岡 上	口 径 15.2	環形に近いと思われる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を多量に含む	良好	媒付着
	S D316						
576	岡 上	口 径 15.4	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
	S D316						
577	岡 上	L1 径 15.35	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びるL1縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	乳灰褐色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
	S D316						
578	岡 上	口 径 15.65	上内方に内側気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びるL1縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
	S D316						

遺物番号 回収番号	器 出土地点	種 類 (cm) 口径 法量 等高	形態・調査等の特徴	色 調	胎 土	焼成 度	備 考
579	甕	口 径 15.7 S D316	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、内壁気味に純上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡灰色	雲母・長石・角閃石等の微砂粒を含む	良好	焼付曾
580	同 上	口 径 16.0 S D316	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等を含む	良好	焼付曾
581	同 上	口 径 16.0 S D316	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	長石・角閃石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
582	同 上	口 径 16.0 七十三 S D316	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	
583	同 上	口 径 16.2 S D316	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラケズリ。	茶灰色	5mm以下の長石・角閃石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
584	同 上	口 径 16.2 七十三 S D316	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	茶褐色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	焼付曾
585	同 上	口 径 16.2 七十三 S D316	横円形と思われる体部から屈曲し、上外方に外反に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	暗灰茶色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	焼付曾
586	同 上	口 径 16.4 S D316	上内方へ内側して伸びる体部から屈曲し、外外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	1.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	基 出 地 点	種 類	(cm) 口徑 法盤 高さ	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
587	斐	口 積	16.4	上内方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
SD316								
588	同 上	口 積	16.6	内上方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。体部上位内面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	2.5mm以下の角閃石・石英・長石等の砂粒を多量に含む	良好	
SD316								
589	同 上	口 積	16.9	上内方に内壁して伸びる体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	2mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
SD316								
590	同 上	口 積	17.6	上内方に内壁して伸びる体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	外 淡茶灰色 内 灰茶色	角閃石・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
SD316								
591	同 上	口 積	17.0	上内方に内壁して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナダ、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	6mm以下の角閃石・雲母・磁石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
SD316								
592	同 上	口 積	17.0	最大径を胴中央にもつ楕円形と思われる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナダ、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	煤付着
七十三	SD316							
593	同 上	口 積	17.1	蝶形と思われる体部から屈曲し、外反して上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)、下位ナダ、内面ヘラケズリ。	外 淡茶灰色 内 黑灰褐色	4.5mm以下の砂粒を含む	良好	煤付着
SD316								
594	同 上	口 積	18.2	上内方に内壁して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナダ(6本)、体部外面タタキ後(4本)ハケナダ、内面ヘラケズリ。	灰茶色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
SD316								

植物番号 採取番号	出土地点	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
595	櫻	口 径 18.4	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外反して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナナデ。	暗灰系色	3mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を含む	良好	
七十四	SD316						
596	同 上	口 径 18.6	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外反して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナナデ。	淡茶灰色	2.5mm以下の 赤褐色酸化鉄・石灰等 の砂粒を多量に含む	良好	
	SD316						
597	同 上	口 径 18.8	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ハラケズリ。	暗灰系色	3mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を含む	良好	
	SD316						
598	同 上	口 径 11.2	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ハラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を少量含む	良好	
	SD316						
599	同 上	口 径 11.4	口縁部は外上方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	茶灰色	2mm以下の 雲母・角閃石・長石等 の砂粒を少量含む	良好	焼付着
	SD316						
600	同 上	口 径 11.6	体部から屈曲し、外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ハラケズリ。	暗褐色	角閃石・雲母・長石等 の微砂粒を少量含む	良好	焼付着
	SD316						
601	同 上	口 径 11.8	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、内面ハラケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハラケナ(9本)、内面ハラケズリ。	灰色	2mm以下の 角閃石・長石・雲母等 の砂粒を少量含む	良好	
	SD316						
602	同 上	口 径 12.0	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ハラケズリ。	外 暗茶灰色 内 暗茶色	微砂粒を含む	良好	焼付着
	SD316						

遺物番号 回収番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
603	甕	口 径 12.2 S D316	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微鉱粒を含む	良好	
604	同 上	口 径 12.3 S D316	口縁部は外方に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内面ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の 長石・チャート・石灰等の砂粒を 少量含む	良好	
605	同 上	口 径 12.3 S D316	体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)後ヨコナギ、内面ヘラケズリ。	灰茶色	2mm以下の 砂粒を少量含む	良好	
606	同 上	口 径 12.4 S D316	口縁部は外上方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ。	外 増疣點 色 内 茶灰色	3mm以下の 角閃石等の 砂粒を含む	良好	
607	同 上	口 径 12.5 S D316	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナギ、内面ハケナギ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2.5mm以下の 角閃石・長石・雲母等の微鉱粒を含む	良好	
608	同 上	口 径 12.4 S D316	上内方に内側して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(7本)後ハケナギ、内面ヘラケズリ。	灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微鉱粒を少量含む	良好	
609	同 上	口 径 12.4 S D316	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内面ヘラケズリ。	灰茶色	2mm以下の 角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
610	同 上	口 径 12.5 S D316	口縁部は外反気味に斜上方に伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヘラケズリ、体部内面ヘラケズリ。	灰色	2mm以下の 角閃石・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	

遺物番号 同形番号	器種 補	(cm) 口径 法量 器品	形態・測定等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
611	甕	L1 径 12.8	口縁部は外上方に伸び、端部はつきあひる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ。	暗茶灰色	3mm以下の 角閃石・長 石等の砂粒 を含む	良好	
612	甕 上	口 径 12.8	口縁部は斜上方に伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ハケナゲ(7本) 体部外面タキ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	2mm以下の 角閃石等の 砂粒を少量 含む	良好	
613	甕 上	口 径 12.8	口縁部は上方に伸び、端部は若干つまみ、 外傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ。内面ハケナゲ。	暗茶灰色	3mm以下の 角閃石・達 母・長石等の 砂粒を少 量含む	良好	
614	甕 上	口 径 13.0	L1縁部は外反気味に斜上方へ伸び、端部は つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ハケナゲ(7本)。	暗灰色	3mm以下の 角閃石・長 石・雲母等の 砂粒を含 む	良好	
615	甕 上	口 径 12.8	上内方に内擗して伸びる体部から屈曲し、 外反気味に斜上方へ伸びるL1縁部にまる。端 部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ハケナゲ、体部 外面タキ(8本)後ハケナゲ(6本)、内面ヘ ラケズリ。	淡赤茶色	5mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 少量含む	良好	
616	甕 上	口 径 13.0	口縁部は上方に伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 L1縁部外面ヨコナゲ、内面ハケナゲ、体部 内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の 達母・角閃 石・長石等の 砂粒を多 量に含む	良好	
617	甕 上	口 径 12.8	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に まる。端部は上につまむ。体部は欠損。 L1縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タキ(8 本)、内面ヘラケズリ	茶灰色	3mm以下の 達母・角閃 石・長石・ 石英等の砂 粒を少量含 む	良好	
618	甕 上	口 径 13.0	口縁部は外上方に伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ。	暗茶灰色	1.5mm以下の 角閃石・ 達母・長石等の 砂粒を含む	良好	煤付裏

遺物番号 図版番号	出土地点	(cm) 口径 法量	品高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
619	斐	口 径 13.0		体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)後ハケナギ(6本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	4 mm以下の 角閃石・長 石・雲母等 の砂粒を含む	良好	
	SD316							
620	同 上	口 径 13.2		体側から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2 mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の砂粒を少 量含む	良好	
	SD316							
621	同 上	口 径 13.15		口縁部は斜上方に伸び、端部は外方に若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	1 mm以下の 角閃石・長 石・石英等 の砂粒を含む	良好	
	SD316							
622	同 上	口 径 13.0		上内方に内擡して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(9本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	5 mm以下の 角閃石・長 石・雲母・ 石英等の砂 粒を多量に 含む	良好	
	SD316							
623	同 上	口 径 13.2		口縁部は斜上方に伸び、端部は上につまみだす。体部は欠損。 口縁部外面タタキ後ヨコナギ、内面ヨコナギ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	4 mm以下の 長石・雲母・ 石英・角 閃石等の砂 粒を多量に 含む	良好	
	SD316							
624	同 上	口 径 13.2		口縁部は斜上方に外反気味に伸び、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナギ、内面ハケナギ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	2.5 mm以下の 長石・雲母・ 石英・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	
	SD316							
625	同 上	口 径 13.3		体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナギ、内面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	角閃石・雲 母・長石・ 赤褐色風化 粒等の微砂 粒を少量含む	良好	
	SD316							
626	同 上	口 径 13.2		体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡茶色	角閃石・長 石等の微砂 粒を含む	良好	
	SD316							

漁物番号 図版番号	器 出土地点	種 類	(cm) IT種 法規 器高	形態・調整等の特徴	色 調	胎 土	機成	備考
627	斐 SD316	山 種	13.4	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縫部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の 角閃石・長 石・雲母等 の砂粒を含 む	良好	
628	同 上 SD316	II 種	13.4	体部から細曲し、外反気味に外上方へ伸びる口縫部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、 体部外縫タキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	微砂粒を含 む	良好	
629	同 上 SD316	II 種	13.4	口縫部は斜上方に伸び、端部は若干つまむ。 体部は欠損。 口縫部外面ヨコナデ、内面ハケナデ。	暗茶色	雲母・角閃 石等の微砂 粒を少量含 む	良好	
630	同 上 SD316	口 種	13.4	口縫部は斜上方に伸び、端部はつまみあげ る。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナデ。	暗茶灰色	3mm以下の 角閃石・長 石・雲母等 の砂粒を含 む	良好	媒付着
631	同 上 SD316	口 種	13.4	上内方に内弯気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナデ、体部外縫タキ(6 本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	5mm以下の 石英・長石 ・角閃石等 の砂粒を多 量に含む	良好	
632	同 上 SD316	口 種	13.4	上内方に内弯気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナデ、体部外縫タキ(6 本)、内面ヘラケズリ。	暗茶色	2mm以下の 雲母・長石 ・石英等の 微砂粒を含 む	良好	
633	同 上 SD316	口 種	13.4	上内方に内弯気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。端部は上につまむ。 口縫部外面ヨコナデ、体部外縫ナデ、内 面ヘラケズリ。	乳白茶色	角閃石・長 石等の微砂 粒を含む	良好	媒付着
634	同 上 SD316	II 種	13.3	口縫部は外反気味に外上方に伸び、端部は上につまみだす。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナデ、内面ヘラケズリ、体 部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	4mm以下の 長石・雲母 ・石英・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	

植物番号 固形番号	品種	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎上	焼成	備考
635	葉	口径 13.5 SD316	口縁部は上方に外反して伸び、端部は若干下つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶系色	2mm以下の 角閃石・長 石等の砂粒 を含む	良好	風乾有
636	同上	口径 13.6 SD316	体部から弧曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあがる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶系色	5mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の砂粒を少 量含む	良好	焼付有
637	同上	口径 13.6 SD316	体部から弧曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶系色	3mm以下の 長石・角 閃石・雲 母等の 砂粒を含 む	良好	
638	同上	口径 13.6 SD316	上内方に内側して伸びる体部から弧曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	外 壁 内 部 淡茶 色	角閃石等の 微細粒を含 む	良好	
639	同上	口径 13.6 SD316	口縁部は外方に伸び、端部は若干下まむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶系色	微砂粒を含 む	良好	
640	同上	口径 13.6 SD316	638と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶系色	4mm以下の 角閃石・長 石・雲母等 の砂粒を含 む	良好	
641	同上	口径 13.6 SD316	638と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側タタキ(6本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	雲母・角 閃石・長石等 の砂粒を含 む	良好	
642	同上	口径 13.55 SD316	上内方に内側して伸びる体部から弧曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側不明、内面ヘラケズリ。	淡茶色	長石・雲母 ・角閃石等 の微細粒を 含む	良好	焼付有

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
643	甕	口径 13.8	642と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	媒付有
	S D316						
644	同上	口径 13.8	642と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
645	同上	口径 13.8	体部から弧曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	媒付有
646	同上	口径 13.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
647	同上	口径 13.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ後ヨコナデ、体部外面タタキ、内面ヘラケズリ。	灰色	1mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
648	同上	口径 13.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ。内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	長石等の微砂粒を含む	良好	
649	同上	口径 14.0	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の方母・角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
650	同上	口径 14.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面上位ナデ、中位ヘラケズリ。	深褐色	2mm以下の方母・石英・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 (同系番号)	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
651	甕	11 径 14.0	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)、内面へラケズリ。	灰茶色	3mm以下の角閃石・黄母・長石等の砂粒を含む	良好	
	SD316						
652	同 上	口 径 14.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナギ、内面ハケナギ、体部外面タタキ(5本)、内面へラケズリ。	淡灰茶色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
	SD316						
653	同 上	口 径 14.0	口縁部は斜上方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(5本)、内面へラケズリ。	暗灰褐色	1mm以下の角閃石・長石・黄母等の砂粒を含む	良好	
	SD316						
654	同 上	口 径 14.0	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(6本)、内面へラケズリ。	暗灰褐色	黄母・角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
	SD316						
655	同 上	口 径 14.0	口縁部は外反気味に外上方へ伸び、端部は上につまみ、外に凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(4本)、内面ヨコナギ。	灰茶色	角閃石・黄母等の微砂粒を含む	良好	
	SD316						
656	同 上	口 径 14.0	口縁部は外反気味に上外方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内面へラケズリ。	暗灰茶色	2mm以下の角閃石・長石・黄母等の砂粒を少量含む	良好	
	SD316						
657	同 上	11 径 14.0	体部から屈曲し、外反気味に斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)、内面へラケズリ。	外 暗茶灰 内 灰茶色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	埋付蓋
	SD316						
658	M 上	口 径 14.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナギ、内面ハケナギ、体部外面タタキ(4本)、内面へラケズリ。	暗灰茶色	4mm以下の角閃石・黄母・長石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 発掘場所	出土地点	種類	(cm) 口径 法身 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
659	斐	口 径 14.2		体部から屈曲し、上方に伸びる口縫部に ある。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナギ、内面ハケナギ、体部 外面タタキ。	淡茶灰色	角閃石・長 石・雲母等 の微斜紋を 含む	良好	
	SD316							
660	島 上	口 径 14.2		口縫部は斜上方に伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 口縫部外面ヨコナギ。	暗灰茶色	角閃石・雲 母・長石・ 石英等の微 斜紋を少量 含む	良好	焼付着
	SD316							
661	同 上	口 径 14.2		口縫部は斜上方に外反気味に伸びる、端部 は若干つまむ。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナギ、体部外面タタキ(5 本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	雲母・角閃 石・長石等 の微斜紋を 含む	良好	
	SD316							
662	同 上	口 径 14.2		上内方に内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方に伸びる口縫部に並ぶ。端部はつまみ あける。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナギ。	暗灰茶色	2mm以下の 角閃石・石 英・長石・ 雲母等の微 斜紋を含む	良好	
	SD316							
663	同 上	口 径 14.2		上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、 外上方に伸びる口縫部に並ぶ。端部は若干つ まむ。 口縫部外面ヨコナギ。内面ハケナギ、体部 外面タタキ(9本)後ハケナギ(7本)、内面ヘ ラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・雲 母・長石等 の微斜紋を 含む	良好	
	SD316							
664	同 上	口 径 14.4		体部から屈曲し、口縫部は外上方に、端部 は上につまむ。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4 本)、内面ヘラケズリ。	外 暗灰茶 色 内 淡灰茶 色	角閃石等の 微斜紋を含 む	良好	焼付着
	SD316							
665	同 上	口 径 14.4		口縫部は斜上方に伸び、端部はつまみあげ る。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナギ。	外 淡灰茶 色 内 暗灰茶 色	2mm以下の 雲母等の砂 粒を含む	良好	
	SD316							
666	同 上	口 径 14.4		口縫部は斜上方に外反し、端部は上につま む。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナギ、体部内面ヘラケズ リ。	外 暗灰茶 色 内 茶灰色	角閃石・雲 母・長石等 の微斜紋を 含む	良好	
	SD316							

遺物番号 (採取番号)	出土地点	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調査等の特徴	色調	胎土	施成	備考
667	斐	口径 14.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)後ハケナゲ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	4mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を含む	良好	
	SD316						
668	岡上	口径 14.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内面ヘラケズリ。	外 壁灰茶 色 内 暗茶灰 色	3mm以下の 砂粒を含む	良好	
	SD316						
669	岡上	口径 14.3	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	淡褐色	角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	焼付着
	SD316						
670	岡上	口径 14.6	口縁部は上方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ。	淡灰茶色	角閃石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
	SD316						
671	岡上	口径 14.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。口縁部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)後ハケナゲ(8本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	5mm以下の 角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
	SD316						
672	岡上	口径 14.6	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	4mm以下の 角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	焼付着
	SD316						
673	岡上	口径 14.6	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石等の砂粒を少量含む	良好	焼付着
	SD316						
674	岡上	口径 14.6	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
	SD316						

遺物番号 団体番号	器種	(cm) 口徑 法量 厚さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
675	甕	口 径 14.6	体部から丸く弧曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は純く尖る。体部は欠損。口縫部外側に一本の接合縫を有す。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	2mm以下の 角閃石・長 石・雲母等 を含む	良好	焼付着
676	例 上	口 径 14.6	内壁気泡の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	外 緑系灰 色 内 青灰色	角閃石・長 石等の微 妙な砂粒を 少量含む	良好	焼付着
677	内 上	口 径 14.7	口縫部は斜上方に伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナギ、体部内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・長 石・雲母等 の微妙粒を 少量含む	良好	焼付着
678	同 上	口 径 14.8	口縫部は外反気味に斜上方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナギ、内面ハケナギ、体部 外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	灰色	角閃石・長 石等の砂 粒を含む	良好	焼付着
679	同 上	口 径 14.8	口縫部は上外方へ伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナギ。	灰褐色	角閃石・長 石等の微 妙な砂粒を 少量含む	良好	焼付着
680	同 上	口 径 14.8	口縫部は外上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縫部外面タタキ(6本)後ヨコナギ、内面 ヨコナギ。体部内面ヘラケズリ。	外 淡灰茶 色 内 青灰色	4.5mm以下 の角閃石・ 長石等の砂 粒を含む	良好	焼付着
681	同 上	口 径 14.8	体部から屈曲し、外反気味に外上方へ伸びる口縫部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。口縫部内面に一本の接合縫を有す。 口縫部外面ヨコナギ、内面ハケナギ、体部 外面タタキ(8本)、内面ヘラケズリ。	素灰褐色	1.5mm以下 の角閃石・ 長石等の砂 粒を含む	良好	焼付着
682	同 上	口 径 14.8	体部から弧曲し、斜上方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶褐色	6mm以下の 角閃石・長 石等の砂 粒を含む	良好	焼付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法蓋 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
683	甕	口径 14.8 SD316	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の 角閃石・青 母・長石等 の砂粒を含む	良好	
684	同上	口径 14.8 SD316	体部から屈曲し、外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	1.5mm以下の 角閃石・ 長石等の砂 粒を含む	良好	
685	同上	口径 14.8 SD316	体部から屈曲し、伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の 角閃石・青 母・長石等 の砂粒を含む	良好	
686	同上	口径 15.0 SD316	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長 石等の飛砂 粒を少量含む	良好	
687	同上	口径 15.0 SD316	体部から屈曲し、斜外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外側ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外側タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	角閃石・青 母・赤褐色 酸化鉄等の 飛砂粒を含む	良好	
688	同上	口径 15.0 SD316	上内方に内擗して伸びる体部から屈曲し、斜外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側タタキ(4本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の 長石・石英・ 青母等の砂 粒を含む	良好	
689	同上	口径 15.0 SD316	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外側ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外側タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の 角閃石・長 石・石英・ 云母等の砂 粒を少額含む	良好	
690	同上	口径 15.0 SD316	口縁部は外上方に伸び、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	3mm以下の 角閃石・石 英・長石等 の砂粒を少 量含む	良好	

遺物番号 内板番号	出上地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整器の特徴	色調	胎上	焼成	備考
691	廻上	口 径 15.0	体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に生る。端部は若干つまり。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	焼付着
	S D316						
692	廻上	口 径 15.0	口縁部は外上方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面ヘラケズリ。	暗灰灰色	1mm以下の角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	焼付着
	S D316						
693	廻上	口 径 15.0	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ、外に面をもつ。体部欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	焼付着
	S D316						
694	廻上	口 径 15.0	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面ヘラケズリ。	暗灰褐色	2.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
	S D316						
695	廻上	口 径 15.0	693と同様 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	外 暗灰茶色 内 暗灰茶色	角閃石等の細砂粒を含む	良好	焼付着
	S D316						
696	廻上	口 径 15.0	体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に生る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナギ、内面ハケナギ、体部内面ヘラケズリ。	茶褐色	3mm以下の石英・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
	S D316						
697	廻上	口 径 15.0	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む	良好	焼付着
	S D316						
698	M 上	口 径 15.0	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に生る。端部はつまみあげ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	1mm以下の石英・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
	S D316						

遺物番号 図版番号	器 出 土 地 点	(cm) 口径 深さ	形態・調整等の特徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
699	斐	口径 15.1	口縁部は上外方に伸び、端部は若干下つむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(4本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ。	暗灰茶色	角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を多量に含む	良好	
SD316							
700	同 上	口径 15.1	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
SD316							
701	同 上	口径 15.2	上内方に内壺して伸びる体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干下つむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	外:灰茶色 内:茶灰色	3.5mm以下の角閃石等の砂粒を多量に含む	良好	
SD316							
702	同 上	口径 15.2	体部から屈曲し、上外方した後外上方に屈曲して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
SD316							
703	同 上	口径 15.2	口縁部は外上方に伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
SD316							
704	同 上	口径 15.2	体部から屈曲し、斜上方に外反弧時に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	媒付有
SD316							
705	同 上	口径 15.2	上内方に内壺して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・石英等の微砂粒を含む	良好	
SD316							
706	同 上	口径 15.2	内上方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(8本)、体部タタキ(8本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
SD316							

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) IT法 量測器高	形態・測定等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
707	甕	口径 15.3	体部から丸く膨曲し、斜上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は鍛く尖る。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	角閃石・長石・雲母等の飛砂粒を少量含む	良好	焼付着
708	同上	口径 15.6	口縁部は外上方に伸び、端部はつまみあげ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外曲ヨコナデ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	焼付着
709	同上	口径 15.4	LI縁部は斜上方に伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外曲ヨコナデ、内面ハケナダ(7本)、体部外曲タキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・長石等の飛砂粒を含む	良好	
710	同上	口径 15.5	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ。体部は欠損。 口縁部外曲ヨコナデ、体部外曲タキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
711	同上	口径 15.6	LI縁部は外上方に伸び、端部は上につまみだす。体部は欠損。 LI縁部外曲タキ(4本)後ヨコナデ、内面ハケナダ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の長石・雲母・石英・角閃石等の砂粒を多量に含む	良好	焼付着
712	同上	口径 15.6	体部から屈曲し、斜上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ。体部は欠損。 LI縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	灰色	角閃石・長石・雲母等の飛砂粒を含む	良好	
713	同上	口径 15.6	LI縁部は外反突出斜上方に伸び、端部は上につまみ。体部は欠損。 LI縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
714	同上	口径 15.6	体部から屈曲し、斜上方へ外反して伸びるLI縁部に至る。端部は上につまみ。体部は欠損。 LI縁部内外面ヨコナデ、体部外曲タキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	

魚名番号 (試験番号)	器 出上地點	(cm) 口徑 法蓋 留高	形態・隔壁等の特徴	色調	胎 生	焼成	備考
715	麥	口 径 15.6	口縫部は外上方へ伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
716	同 上	口 径 15.6	上内方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方へ伸びる口縫部に至る。端部はつまみあげ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡白色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	
717	同 上	口 径 15.6	上内方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、外上方へ外反して伸びる口縫部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	
718	同 上	口 径 15.8	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縫部に至る。端部は上につまみだす。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	角閃石・長石等の微砂粒を含む。	良好	
719	同 上	口 径 15.8	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縫部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	
720	同 上	口 径 15.8	内壁気味の体部から屈曲し、口縫部は外上方へ伸びる口縫部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	角閃石・長石等の微砂粒を含む。	良好	
721	同 上	口 径 15.8	体部から屈曲し、斜上方へ外反して伸びる口縫部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縫部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を少量含む。	良好	
722	同 上	口 径 15.8	上内方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縫部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縫部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	3.5mm以下 の雲母・角 閃石・長石等 の微砂粒 を含む。	良好	底付着

標本番号 回収番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法泉 略記	形態・隔壁等の特徴	色調	地上	焼成	備考
723	甕	口 径 16.0 SD316	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部内面へラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
724	同 上	口 径 16.0 SD316	L1縁部は外上方へ伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 L1縁部内外面ヨコナゲ。	暗灰茶色	4mm以下の 角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
725	同 上	口 径 16.0 SD316	口縁部は外上方へ伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(5本)、内面へラケズリ。	外 暗茶色 内 暗灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
726	同 上	口 径 16.0 SD316	上内方に内唇して伸びる体部から屈曲し、 外上方へ外反する口縁部に至る。端部は外傾する 面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(5本)、内面へラケズリ。	淡灰茶色	4mm以下の 石英・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
727	同 上	L1 径 16.0 SD316	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方へ 伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体 部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(4 本)、内面へラケズリ。	淡灰褐色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
728	同 上	L1 径 16.0 SD316	体部から屈曲し、外反気味に外上方へ伸びる 口縁部に至る。端部は上につまみだす。体 部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部内面へラケズ リ。	淡灰茶色	1.5mm以下の 角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
729	同 上	口 径 16.1 SD316	L1縁部は外上方に伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部内面へラケズ リ。	暗茶灰色	角閃石・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
730	同 上	L1 径 16.1 SD316	上内方に伸びる体部から屈曲し、外反気味に 外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する 面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(3 本)、内面へラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の 角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 同種番号	器 出 土 地 点	種 類 (cm) 口径 法量 器高	形 態 ・ 構 造 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
731	便	口 楕 16.2	体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	5mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
	SD316						
732	同 上	口 楕 16.2	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶褐色	1.5mm以下の角閃石・長母等の砂粒を含む	良好	掛付着
	SD316						
733	同 上	口 楕 16.2	内上方へ内側気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡灰色	青母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
	SD316						
734	同 上	口 楕 16.2	体部から屈曲し、外反気味に斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は伸び平つまみ、外傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	2.5mm以下の角閃石・長石・青母等の砂粒を含む	良好	
	SD316						
735	同 上	II 楕 16.2	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	外 淡茶灰色 内 茶灰色	2mm以下の角閃石の砂粒を含む	良好	
	SD316						
736	同 上	口 楕 16.3	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
	SD316						
737	同 上	口 楕 16.3	体部から屈曲し、外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外側タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・青母・石英等の砂粒を含む	良好	
	SD316						
738	同 上	口 楕 16.2	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナギ、内面ハケナギ(6本)、体部外側タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	茶灰褐色	2mm以下の角閃石・青母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
	SD316						

標本番号 採取場所	出土地点	(cm) 口径 法盤 器高	形態・調査等の特徴	色調	胎上	焼成	備考
739	斐 SD316	L1 径 16.4	口縁部は外方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部内面ヘラケズリ。	淡灰色	4mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を少 量含む	良好	
740	岡上 SD316	口 径 16.4	口縁部は外方へ伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・雲母・長石等 の微砂粒を少 量含む	良好	
741	岡上 SD316	L1 径 16.4	口縁部は外反気味に外方へ伸び、端部は上につまみだし、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	2.5mm以下の 角閃石・長石・雲母・ 石英等の砂 粒を含む	良好	焼付済
742	岡上 SD316	口 径 16.4	体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	4mm以下の 雲母・角閃石・ 長石等の砂 粒を含む	良好	
743	岡上 SD316	口 径 16.4	体部から屈曲し、斜上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ後 ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長 石・雲母等 の微砂粒を 含む	良好	
744	岡上 SD316	口 径 16.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ あげ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	角閃石・長 石・雲母等 の微砂粒を 少 量含む	良好	
745	岡上 SD316	口 径 16.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部は若干つまみあげ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	基灰色	4mm以下の 雲母・角閃 石・長石等 の砂 粒を含む	良好	
746	岡上 SD316	口 径 16.6	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみあげ。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の砂 粒を含む	良好	

遺物番号 内訳番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
747	甕	口径 16.6 SD316	口縁部は斜上方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ。	暗茶灰色	2mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を含む	良好	焼付着
748	甕 上	口径 16.8 SD316	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみあげ、 外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ。	灰茶色	雲母・角閃 石・長石、 赤褐色酸化 鉄等の微 砂粒を含む	良好	
749	甕 上	口径 16.8 SD316	口縁部は外反気味に上方へ伸び、端部は 若干つまみ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ。	淡灰茶色	角閃石・雲 母・長石、 石英等の微 砂粒を含む	良好	焼付着
750	甕 上	口径 16.8 SD316	上内方へ伸びる体部から屈曲し、外上方へ 伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体 部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ、 内面ヘラケズリ。	灰茶色	3mm以下の 雲母・角閃 石・長石等 の砂粒を含む	良好	焼付着
751	甕 上	口径 16.9 SD316	上内方へ伸びる体部から屈曲し、斜上方へ 伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体 部は欠損。 口縁部外面ヨコナギ、内面ハケナダ(5本)、 体部外面ハケナダ後ヨコナギ、内面ヘラケズ リ。	暗茶灰色	角閃石・長 石等の微砂 粒を含む	良好	
752	甕 上	口径 17.0 SD316	上内方へ伸びる体部から屈曲し、斜上方へ 伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。 体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4 本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	角閃石・長 石・石英等 の微砂粒を 含む	良好	
753	甕 上	口径 17.0 SD316	上内方へ伸びる体部から屈曲し、外反気味 に斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつま みあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3 本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3.5mm以下 の角閃石・ 長石・石英 等の砂粒を 含む	良好	
754	甕 上	口径 17.0 SD316	上内方へ伸びる体部から丸く屈曲し、外上 方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸 い。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(3本)後ヨコナギ、内面 ヨコナギ、体部外面タタキ(2本)、内面ヘラ ケズリ。	淡灰茶色	3mm以下の 長石・赤褐色 酸化鉄・ 雲母等の砂 粒を含む	良好	

遺物番号 送致箇所	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 残高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
755	甕	口 径 17.0 SD316	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	焼付着
756	同 上	口 径 17.0 SD316	上内方へ内側気味に伸びる体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
757	同 上	口 径 17.1 SD316	上内方に伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	1mm以下の角閃石・長石・雲母・赤褐色酸化鉄等の砂粒を含む	良好	
758	同 上	口 径 17.2 SD316	体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
759	同 上	口 径 17.2 SD316	体部から屈曲し、上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・長石・赤褐色酸化鉄等の砂粒を含む	良好	
760	同 上	口 径 17.2 SD316	内上方へ伸びる体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡褐色	粗砂粒を含む	良好	
761	同 上	口 径 17.2 SD316	上内方へ伸びる体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	焼付着
762	同 上	口 径 17.3 SD316	内上方へ伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	焼付着

遺物番号 国版番付	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
763	甕	口径 17.4 SD316	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	輝付着
764	同 上	口径 17.4 SD316	上内方に外反気味に伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(7本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	2.5mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
765	同 上	口径 17.4 SD316	山縁部は外上方に伸び、端部はつまみあげ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ナデ。	外 暗灰灰 内 墓灰 —暗茶 灰茶色	6mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
766	同 上	口径 17.4 SD316	口縁部は斜上方に伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂粒を含む。	良好	
767	同 上	口径 17.4 SD316	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	茶灰 —茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
768	同 上	口径 17.7 SD316	体部から屈曲し、外上方へ伸びる山縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ。内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少暈含む	良好	
769	同 上	口径 17.7 SD316	体部から屈曲し、斜上方へ伸びる山縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰 —灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
770	同 上	口径 17.7 SD316	体部から屈曲し、外反気味に斜上方へ伸びる山縁部に至る。端部は軽くつまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	基灰 —茶色	角閃石・石英・長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法蓋 蓋高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
771	甕	口径 17.9 SD316	内上方に伸びる体部から屈曲し、外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の粗砂粒を含む	良好	
772	同上	口径 18.0 SD316	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナデ(7本)。	淡灰茶色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	難付着
773	同上	口径 18.0 SD316	体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ後ハケナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	1.5mm以下の砂粒を含む	良好	
774	同上	口径 18.2 SD316	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつぶみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を多量に含む	良好	
775	同上	口径 18.0 SD316	口縁部は斜上方へ伸び、端部は外に小さい面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
776	同上	口径 18.6 SD316	口縁部は外上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
777	同上	口径 18.8 SD316	口縁部は斜上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	角閃石・長石・石英等の細砂粒を含む	良好	
778	同上	口径 19.0 SD316	口縁部は外上方へ伸び、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 暗灰茶 内 暗基底 色	3mm以下の砂粒を含む	良好	

遺物番号 開拓番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
779	甕	口径 19.0 SD316	口縁部は外上方へ伸び、底部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	2mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を含む	良好	
780	同上	口径 19.2 SD316	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。底部はつまみあける。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗灰色	角閃石・長石・石英・ 雲母等の砂 粒を含む	良好	
781	同上	口径 20.4 SD316	779と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	外 暗灰色 内 暗褐色	5mm以下の 角閃石・雲母等の砂 粒を少量含む	良好	
782	同上	口径 12.7 器高 17.55 底径	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形に近い体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。底部は丸い。底部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8~11本)、内面ヘラケズリ。	乳白色	6mm以下の 長石・石英・赤褐色化 粧等の砂 粒を多量に 含む	良好	
七十四	SD316						
783	同上	口径 14.1 器高 16.5 底径 2.2 SD316	最大径を胴中位にもつ球形に近い体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。底部は丸い。底部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)、下位ハケナデ(8本)、内面上位ハケナデ、下位ヘラケズリ。	茶灰色	5mm以下の 長石・雲母・ 石英等の砂 粒を多量に 含む	良好	焼付着
七十四	SD316						
784	同上	口径 14.1 器高 15.2 SD316	最大径を胴中位にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に内壁気味に伸びる口縁部に至る。底部は上につまむ。底部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ(6本)、下位ハケナデ、内面ヘラケズリ。	乳茶褐色	6mm以下の 長石・石英・ 雲母・赤褐色化粧等の砂 粒を含む	良好	焼付着
七十四	SD316						
785	同上	口径 14.2 SD316	上内方に内壁して伸びる体部から丸く屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。底部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	3mm以下の 長石・雲母・ 石英等の砂 粒を含む	良好	焼付着
七十四	SD316						
786	同上	口径 15.4 SD316	横円形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。底部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	乳灰色	6mm以下の 長石・石英等の砂 粒を多量に 含む	良好	焼付着 黒斑有

遺物番号 河床番号	出土地点	(m) 口径 法量 岩高	形態・調整器の特徴	色調	胎土	焼成	備考
787	斐	口径 15.6 SD316	最大径を割中位より上にもつ球形と思われる体部から屈曲し、内壁気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外側する面をもつ。体部は下が欠損。体部外面上位に5本の沈継を施す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラケズリ。	外 乳白色 内 墓乳褐色	石英等の微砂粒を含む	良好	煤付着
788	岡上	口径 16.6 SD316	球形と思われる体部から屈曲し、外反気味に上外方に伸びる口縁部に至る。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	外 淡茶灰色 内 灰茶色	長石・赤褐色酸化鉄等の細砂粒を少量含む	良好	煤付着
789	岡上	口径 12.8 SD316	上内方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	乳茶色	7mm以下のチャート・長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
790	岡上	口径 13.4 SD316	上内方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、外反して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ。	外 淡茶色 内 淡灰褐色～淡墨灰色	微砂粒を含む	良好	
791	岡上	口径 14.5 SD316	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	茶灰色	長石等の微砂粒を少量含む	良好	
792	岡上	口径 15.2 SD316	内上方へ内壁気味に伸びる体部から丸く屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は上に至る。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(7本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部内外面ハケナデ。	外 乳白色 内 乳茶灰色	5mm以下の砂粒を含む	良好	
793	岡上	口径 14.4 SD316	内上方へ伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ナデ。	淡褐色	長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
794	岡上	口径 16.0 SD316	内上方へ内壁して伸びる体部から屈曲し、内壁気味に外上方して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラケズリ。	乳白色	3mm以下の石英・長石・チャート等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 回収番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
795	甕	口径 15.6 器高 27.5 底径 4.9	最大径を胴上位に有する口縁部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上内方に屈曲して丸い。外端面に櫛痕き文を施す。底部は突出しない平底。古墳地方の酒津式の特徴をもつ。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(4本)後ハケナデ(6本)後ヘラ先によるナゲ、下位ヘラ先によるナゲ、内面ヘラケズリ、底部外面ナゲ、内面指頭痕。	灰褐色一時 茶褐色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を少量 含む	良好 砂粒	完形 保付有
七十四	S D316						
796	甕 上	口径 13.3	内側して上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上内方に屈曲して丸い。外端面に櫛痕き文を施す。体部は下位欠損。古墳地方の酒津式の特徴をもつ。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面上位ハケナデ(12本)後ヘラミガキ、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	2.5mm以下 の微砂粒を 多量に含む	良好	保付有
797	甕 上	口径 12.0	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は直上に欠損して丸い。外端面に櫛痕き文を施す。体部は欠損。古墳地方の酒津式の特徴をもつ。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面上位ヘラケズリ。	淡灰茶色	角閃石・長 石・石英等の 微砂粒を 少量含む	良好	
	S D316						
798	高 环	口径 16.4	浅い橢形の環部から外上方向に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 環部内外面ハケナデ(8本)。	外 桃色 内 茶褐色	4mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	黒斑有
	S D318						
799	甕	口径 16.4	上内方に内壁気味に伸びる体部から屈曲し、外上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面上位タタキ(2本)、内面ヘラナゲ。	灰褐色	4mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	
	S D318						
800	甕 上	底径 4.4	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底で、外面に水の葉の跡跡がみられる。 体部外面上位タタキ(4本)、内面ナゲ。	淡灰茶色	長石・石英 等の微砂粒 を含む	良好	
	S D318						
802	钵	口径 11.6 器高 5.3	半球形の体部から上外方に内側して伸びる口縁部に至る。端部は斜く尖る。底部は丸底。 体部外面上位ナゲ、下位ヘラケズリ、内面ナゲ。 落ち込み16	乳灰茶色	6mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 多量に含む	良好	完形
	落ち込み16						
803	高 环		深い橢形の環部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は欠損。脚部は下外方に伸びる。 脚部は下位欠損。脚部上位に三方孔を有す。 口縁部内外面ヨコナギ、環部外面ハケナデ、内面ヘラナゲ、脚部外面ヘラナゲ、内面ヘラケズリ。 落ち込み16	茶色	6mm以下の 長石等の砂 粒を少量含 む	良好	
	落ち込み16						

造物番号 出典番号	出土地点	種類 (cm) 口径 法量 基高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成度	備考
804	斐	口径 13.0	上内方に内寄気味に伸びる体部から丸く屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は下位欠損。 内外面剥離のため不明。	外 淡茶色 内 茶色	4.5mm以下の 長石等の 砂粒を含む	良好	
	落ち込み16						
805	同上	口径 14.2	上内方に内寄して伸びる体部から屈曲し、上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナナ、体部外面タキ(3本)、内面ヘナナナ。	外 淡灰茶 色 内 茶灰色	4mm以下の 長石等の 砂粒を含む	良好	焼付着
	落ち込み16						
807	高坏	口径 12.4	環部は上方に内寄して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。环底部・脚部は欠損。 内外面不規。	淡茶灰色	2mm以下の 砂粒を含む	良好	
	落ち込み19						
808	円筒形埴輪		体部上段は欠損。下位は若干外に漸く。端部は下に面をもつ。 外面ハナナナ(9本)後ヘナナナ、内面ヘタナナ。	乳茶灰色	長石・雲母等の 微砂粒を含む	良好	
	落ち込み19						
809	高坏	口径 12.0	環部は欠損。脚部は下方に伸びる柱状部から屈曲して下方に伸びる部に至る。端部は丸い。 脚部外面不規。柱状部内面くりぬき、脚部内面ハケナナ後階級。	淡灰茶色	長石・雲母・角閃石等の 微砂粒を含む	良好	
	落ち込み19						
810	斐	口径 16.6	口縁部は外上方に外反して伸び、端部はつまみあげる。端部外面に波状文を施す。体部は欠損。 口縁部外面ナナ、内面ヨコナナ。	淡灰茶色	3mm以下の 長石・雲母・石英等の 砂粒を含む	良好	
	落ち込み24						
811	小型丸底壺 器	口径 8.1 高 8.15	最大径を胴中位より上にもつ扁平な球形の体部から屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナナ、体部外面上位ナナ、下位ハケナナ(8本)、内面ナナ。	外 淡灰茶 色 内 灰茶色	3mm以下の 砂粒を多量 に含む	良好	完形
	落ち込み24						
812	斐	口径 30.2	口縁部は二重口縁で、上方に外反気味に伸びる。稍曲部は垂下し、端部はつまみ出す。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナナ、口縁部外面ハケナナ(8本)後ナナ、内面ハケナナ。	外 茶色 内 淡灰褐色	3mm以下の 雲母等の砂 粒を含む	良好	焼付着
	落ち込み24						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
813	高环	口径 21.5 落ち込み24	環部は上外方に伸びた後外方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、外面にキザキ。内面に波状文を施す。脚部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ。	乳白色	長石・石英等の微砂粒を少量含む	良好	
814	同 上	口径 11.6 落ち込み24	環部は欠損。脚部は中型で下外方に伸びる柱状部から屈曲して外下方に伸びる脚部に至る。端部は丸い。柱状部下位に二方孔を有す。 脚部外面ハケナデ(11本)後ヘラミガキ、内面ナナメ斜傾版、端部外面ヨコナデ。	外 基色 内 灰茶色	5mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	焼付着
815	變	口径 14.0 落ち込み24	球形と思われる全体から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側ハケナデ(6本)、内上面外指ナデ、指屈版、下位ヘラケズリ。	外 淡灰茶色 内 茶色 灰褐色	4mm以下の砂粒を含む	良好	
816	變	口径 13.2 落ち込み24	口縁部は外上方に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(8本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ。	暗褐色	雪母・角閃石・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
817	同 上	口径 13.6 落ち込み24	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外側タタキ(5本)後ヨコナデ、内面ヘラケズリ。	外 基茶灰色 内 基灰色	微砂粒を含む	良好	
818	同 上	口径 13.8 落ち込み24	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、内側気泡に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(5本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外側タタキ後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	茶褐色	4mm以下の長石・石英・角閃石・雪母等の砂粒を含む	良好	焼付着
819	同 上	口径 15.6 落ち込み24	口縁部は斜上方に伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶褐色	2.5mm以下の角閃石・雪母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	焼付着
820	同 上	口径 13.7 落ち込み24	上内方に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は内方につまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外側ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	灰褐色	4mm以下の角閃石・雪母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	焼付着

遺物番号 内版番号	器種 種類	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成 備考
821	甕	口径 13.4	820と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラケナリ。	褐灰色	長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好
	落ち込み24					
822	同上	口径 14.0	820と同様。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)後ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラケナリ。	淡灰褐色	1.5mm以下 の長石・雲母・石英・角閃石等の 砂粒を含む	良好 輝付有
	落ち込み24					
823	同上	口径 14.1	上内方に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(4本)後ハケナデ、内面ヘラケナリ。	淡茶灰色	3.5mm以下 の角閃石・長石・石英・雲母等の 砂粒を含む	良好
	落ち込み24					
824	同上	口径 14.7	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は内方につまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面ヘラケナリ。	外 内 茶色 灰茶色	長石・雲母・石英・角 閃石等の微 砂粒を含む	良好 輝付有
	落ち込み24					
825	同上	口径 14.7	口縁部は内側して上外方に伸び、端部は内方につまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部内面ナデ。	乳灰茶色	2.5mm以下 の長石・雲 母・石英等の 砂粒を少 量含む	良好
	落ち込み24					
826	同上	口径 16.1	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、内壁気味に上外方に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)後ヨコナデ、内面ヘラケナリ。	乳灰褐色～ 茶色	6.5mm以下 の長石・石 英等の微 砂粒を多 量に含む	良好 輝付有 開窓有
	落ち込み24					
827	形象埴輪		ヘラ先での模様を施す。 内外面ナデ。	淡茶灰色	長石等の細 砂粒を少量 含む	良好
七十五	S D 303					
828	朝顔形埴輪		ラッパ状の部分で、端部は欠損。タガ削面は台形をなし、表面は平らな面をもつ。器壁は厚い。 タガ外側ナデ、内外面ヘラナデ。	灰褐色	長石・チャート・石英・雲母等の 細砂粒を少 量含む	良好
七十五	S D 303					

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	鉱土	焼成	備考
829	円筒形埴輪		タガ断面は台形をなし、側面は平らな面をもつ。 外面ヨコナゲ、内面ナゲ。	灰茶色	長石・石英等の粗砂粒を含む	良好	
七十五	S D 303						
830	同 上		タガ断面は台形をなし、側面は平らな面をもつ。 内外面不明。	乳茶色	長石・石英等の粗砂粒を含む	良好	
七十五	S D 303						
831	同 上		タガ断面は極平な台形をなし、側面は凹面をもつ。 内外面不明。	淡黄茶色	チャート・長石等の粗砂粒を含む	良好	
七十五	S D 303						
832	同 上		タガ断面は低く、ゆるやかな台形をなし、側面は平らな面をもつ。 内外面ナゲ。	乳灰茶色	長石・チャート等の粗砂粒を多量に含む	良好	
七十五	S D 303						
833	同 上		小片のみ。 外面ハケナゲ、内面ナゲ。	乳灰茶色	長石・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む	良好	
七十五	S D 303						
834	同 上		小片のみ。 外面ハケナゲ、内面ナゲ。	淡茶灰色	長石・雲母・チャート等の粗砂粒を含む	良好	
七十五	S D 303						
835	同 上		小片のみ。 外面指痕痕、内面不明。	淡茶灰色	2mm以下の長石等の砂粒を多量に含む	良好	
七十五	S D 303						
836	同 上		小片のみ。 内外面ナゲ。	淡茶灰色	石英・長石等の粗砂粒を含む	良好	
七十五	S D 303						

遺物番号 同族番号	標 出 土 地 点	(cm) 口徑 法量 基部	形 態・調 整 等 の 特 徴	色 調	給 士	焼 成	備 考
837	円筒形埴輪		小片のみ。 外面ハケナデ、内面ナデ。	乳茶色	長石・石英 ・チャート等の微砂粒 を含む	良好	
七十五	S D 303						
838	同 上		小片のみ。 内外面ナデ。	乳灰茶色	2.5mm以下の 長石・チャート等の 砂粒を多量に含む	良好	
七十五	S D 303						
839	同 上		小片のみ。 内外面ナデ。	淡茶灰色	6mm以下の 長石・石英等の砂粒を 含む	良好	
七十五	S D 303						
840	同 上		円形のスカシが認められる。 外側不明、内面ハケナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 長石・チャート・石英等の砂粒を 多量に含む	良好	
七十五	S D 303						
841	同 上	底 径 12.2	体部は直下し、端部は下に面をもち、若干 肥厚する。 外面ハケナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	長石・雲母等の微砂粒 を少量含む	良好	
七十五	S D 303						
842	台付き鉢	口 径 10.8	橢形の体部から内壁して上方に伸びる口 縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ヘラナ デ、脚部内外面ナデ。	淡灰褐色	3mm以下の 長石・チャート・雲母等の微砂粒 を含む	良好	
		S R 10					
843	有孔鉢	口 径 17.3 基 高 5.2 底 径 4.8	半球形の体部から口縁部に至る。端部は外 傾する面をもつ。底部は突出する平底。底部 に穿孔を一つ有す。 体部外側ナデ、内面ヘラナデ、底部外側タ タキ(4本)、内面ナデ。	淡褐色	4mm以下の 雲母・長石・角閃石・ 石英等の砂粒を含む	良好	
		S E 10					
844	高 环	口 径 23.0	浅い半球形と思われる体部から外方に伸 びる口縁部に至る。端部は外に回転をもつ。 底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、环部内外面ヘラミ ガキ。	淡茶色	3mmの長石・ 石英・雲母・角閃石等の砂粒を 含む	良好	
		S E 10					

遺物番号 河原春丹	器種 出土地点	(cm) 口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
845	甌	口径 14.7	口縁部は上方に外反気味に伸び、端部は丸く、沈縫をもつ。端部直下に筋をもつ。体部は丸く、欠損をもつ。 口縁部外面ヨコナデ、口縁部内外面ハケナダ(9本)後ヨコナダ。	淡灰褐色	2.5mm以下の空母・角 隅石・チャート等の砂 粒を多量に含む	良好	焼付着
		SE 10					
846	皿	口径 11.6 器高 2.6	平らに近い底部から上外方に短く伸びる口 縁部に至る。端部は内方に肥厚する。 口縁部内外面ヨコナデ、底部外面ナデ・指 痕痕、内面ヨコナデ。	乳灰褐色	精良	良好	完形
七十六	SE 10						
847	同上	口径 11.6 器高 2.4	平らに近い底部から上外方に短く伸びる口 縁部に至る。端部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、底部外面ナデ・指 痕痕、内面ヨコナデ。	乳灰褐色	精良	良好	完形
七十六	SE 10						
848	同上	口径 19.1 器高 3.4	広く平らな底部から上外方に短く外反気味 に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚する。 内面に放射状・螺旋状の堆文を施す。 口縁部内外面ヨコナデ、底部外面ハラナダ 後指痕痕、内面ヨコナデ。	乳灰褐色	精良	良好	完形 焼付着
七十六	SE 10						
849	同上	口径 22.0 器高 2.4	848と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、底部外面ナデ・指 痕痕。	淡褐灰色	長石等の散 砂粒を少量 含む。	良好	完形 焼付着
七十六	SE 10						
850	鉢	口径 9.4 器高 5.0	半球形に近い体部から弧曲し、上外方に短 く伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。 底部は平底に近い。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ。	乳灰褐色	精良	良好	完形
七十六	SE 10						
851	甌 (須恵器)	口径 23.5	内上方に内側氣味に伸びる体部から丸く屈 曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は 外方に肥厚し、外に凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面格子タタ キ、内面同心円タタキ。	青灰色	長石等の散 砂粒を少量 含む。	良好	
	SE 10						
852	皿	口径 9.4 器高 1.4	平らに近い底部から上外方に短く伸びる口 縁部に至る。端部は丸い。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、底部内外 面ナデ。	淡乳灰褐色	長石・青母 等の微砂粒 を含む。	良好	完形
七十六	SE 9						

造物番号 試験番号	器種 出土地点	(cm) LI 法量 基準	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
853	瓶	LI 径 10.1 器高 2.0	平らに近い底部から斜上方に短く伸びる口縁部に至る。腹部は丸い。 口縁部外側ヨコナダ、内面ナダ、底部内外面ナダ。	淡乳茶褐色	長石・玄母 等の微砂粒 を含む。	良好	完形
七十六	S K 9						
854	鉢	LI 径 13.4	深い楕円形と思われる体部から上外方に伸びる口縁部に至る。腹部は丸い。底部は欠損。 LI縫部内外面ヨコナダ、体部外側上位ヘラミガキ、下位ナダ、内面ヘラミガキ。	外 錆褐色 一灰褐色 内 錆褐色	精良	良好	
	S K 9						
855	瓦器小皿	口 径 8.0 器 高 1.65	平らに近い底部から上外方に短く伸びる口縁部に至る。腹部は外傾する小さい面をもつ。 内外面不明。	淡灰褐色	精良	良好	
	S P 115						
857	小形碗 (底位土器)	LI 径 器高 底径	8.3 3.2 3.5	浅い楕円形の体部から上外方に伸びる口縁部に至る。腹部は丸い。高台は断面逆台形。 外面ナダ、内面ヘラミガキ。	褐灰色	精良	良好 完形
七十六	S D 288						
858	両上	口 径 器高 底径	7.8 3.4 3.6	楕円形の体部から上外方に外反気味に伸びるLI縫部に至る。腹部は丸い。高台は断面逆三 角形で縁部は丸い。 内外面不明。	黑色	3mm以下の 微砂粒を少 量含む	良好
七十六	S D 288						
877	壺	口 径 16.0	LI縫部は斜上方に外反して伸び、縁部は上下に肥厚し、外に面をもつ。端部外側にヘラ 先による櫛歯を施す。体部は欠損。 口縫部外側ヨコナダ、内面ヘラミガキ、縫部外側ハナナダ(12本)、内面不明。	外 茶色 内 淡茶灰 色	長石・角閃 石・玄母等 の微砂粒を多 量に含む	良好	
	包含層						
878	鉢	口 径 高 度 底 径	9.5 6.0 1.6	半球形の体部から上外方に伸びるLI縫部に至る。縁部は丸い。底部は突出しない平底。 LI縫部内外面ヨコナダ、体部外側タタキ(4 本)、内面不明。	淡茶褐色	4.5mm以下の 長石・雲母 等の微砂粒を多 量に含む	良好 採付着
	包含層						
879	壺	口 径 13.4	上内方に内轉気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びるLI縫部に至る。腹部 は外に頭をもつ。体部は欠損。 LI縫部内外面ヨコナダ、体部外側タタキ(4 本)、内面ナダ。	外 淡茶色 内 孔底茶 色	4mm以下の 長石等の微 砂粒を含む	良好	
	包含層						

※856は古残

遺物番号 (同種番号)	器 鉢	地 点	(cm) 口徑 法量 高さ	形 態・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
880	甕	口 径	13.2	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)後ナデ、内面ヘラナギ。	淡灰系色	3.5mm以下の長石・玄母等の砂粒を多量に含む	良好	
	包含層							
881	同 上	口 径	14.0	内上方に内側して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(5本)、内面ナギ。	灰褐色	3mm以下の長石・玄母等の砂粒を多量に含む	良好	
	包含層							
882	同 上	口 径	13.8	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外方に外反し、外側する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘタナギ。	茶灰色	5.5mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を多量に含む	良好	焼付着
	包含層							
883	同 上	口 径	16.7	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)、内面ナギ。	茶色	5mm以下の長石・チャート・雲母・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
	包含層							
884	長颈甕	底 径	5.2	肩部の張る球形に近い体部から屈曲し、直上する口縁部に至る。端部は欠損。底部は突出質味のくぼみ底。口縁部中内面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラナギ、内面ナデ、頸部外皿ハケナギ、体部外面ナギ。	灰褐色	3mm以下の長石・石英・雲母・チャート等の砂粒を含む	良好	
七十九	包含層							
885	甕	口 径	13.6	口縁部は上外方に外反して伸び、端部は若干外方に肥厚し、外側する面をもつ。体部は欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面ハケナギ、内面ナギ。	淡茶灰色	4.5mm以下の秀母・長石・石英等の微砂粒を多量に含む	良好	
	包含層							
886	同 上	口 径	15.2	内上方に内側して伸びる体部から屈曲し、外反して上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。端部内面にヘリ先による横様を施す。体部は欠損。口縁部・頸部内面に一本ずつ接合痕を有す。 口縁部ヨコナギ、外側ヘラミガキ、頸部ナデ、体部内面ナギ。	外 灰 色 内 淡 茶 色	4.5mm以下の長石・石英等の微砂粒を多量に含む	良好	
七十九	包含層							
887	同 上	口 径	22.7	内上方に内側して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に伸びた後、直上する口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ナギ。	茶灰色	8.5mm以下の砂粒を含む	良好	焼付着
七十九	包含層							

遺物番号 (同版番号)	出 土 地 点	(cm) 口径 法量 高さ	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼成 度	備 考
888	台付壺	口径 18.25 器高 32.3 底径 15.5 脚 高 5.0	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は外下方に外反して伸びる。端部は外傾する面をもつ。 口縁部外面ハケナダ(1本)後崎文様のヘラミガキ。体部外面上・中位ハケナダ後ヘラミガキ。下位ハケナダ・内面ハケナダ後ナダ。脚部外面ハケナダ後ナダ。内面上位指輪痕、下位ハケナダ後ナダ。	赤褐色～茶 褐色	長石・角閃 石・雲母等 の微少粒を 含む	良好	ほぼ完形 無疵有 赤色顔料有
七十九	包含層	口径 12.8	球形と思われる体部から丸く屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。腹部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラミガキ。内面ヨコナナ後ヘラミガキ。腹部内面ナダ。体部外面ヘラミガキ。内面ヘラナア・指輪痕。	灰褐色	6mm以下の 長石・角閃 石・雲母・ 石英等の砂 粒を含む	良好	焼付着
890	同 上	口径 19.6	口縁部は底上した後丸く屈曲し、外上方に伸びる。端部は上手に肥厚し、外に凹面をもつ。体部は欠損。 口縁端部内外面ヨコナダ、口縁部内面ヘラミガキ。腹部外面ハケナダ後ヨコナダ。内面ナダ。	乳灰茶色	2.5mm以下 の長石・石 英・雲母等 の砂粒を少 量含む	良好	焼付着 黒斑有
891	鉢	口径 9.7 器高 8.85 底径 3.3	深い楕円形の体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出するだけ。 口縁部内外面ヨコナダ。体部外側ナダ。内面ヘラナダ。底部外側ナダ。	外 内 茶灰褐色	4mm以下の 長石・雲母 等の砂粒を多 量に含む	良好	
892	同 上	口径 8.1	扁平な球形と思われる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干内方に肥厚する。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナダ。体部外面上位ヘラミガキ。下位ヘラケズリ後ヘラミガキ。内面ナダ。	外 内 淡茶色 茶灰褐色	3mm以下の 長石等の砂 粒を少量含 む	良好	
893	有孔小鉢	口径 11.15 器高 5.4	半球形の体部から上外方に内壁氣味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸い。 内外面不明。	淡茶色	3.5mm以下の 長石等の砂 粒を少量含 む	良好	完形
七十九	包含層						
894	鉢	口径 11.2	平底形と思われる体部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナダ。体部外側ハケナダ(2本)。内面ナダ。	灰褐色	長石・石英 等の微少粒 を含む	良好	
895	高 环	口径 12.4	楕円形の环部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部外側ハケナダ(2本)。内面ナダ。	暗茶褐色	4.5mm以下 の長石・角 閃石・雲母 等の砂粒を 含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土 地点	(cm) 口径 基高	形態・構造等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
896	高环	口径 17.5	平らに近い环底部から外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、环部外面ハケナデ(18本)、内面ヨコナデ。	灰茶色	9mm以下の 長石・石英 ・チャート ・赤褐色酸化鉄等の砂粒を含む	良好	保存有
	包含層						
897	同上	口径 15.7 基高 9.6 底径 10.0	环部は平らに近い环底部から弧曲して外方に伸びる口縁部に至る。端部は外方に若干肥厚する。脚部は环底部から下外方に伸びる。端部は丸い。環増部内面に一本の接合痕を有す。 环部外面ハラナデ後ハケナデ(6本)、内面ハケナデ後ナデ、脚部外面ナデ、内面ハケナデ。	淡灰褐色	3mm以下の 長石・石英 ・骨灰・赤褐色酸化鉄等の砂粒を含む	良好	完形
七十九	包含層						
898	同上	口径 19.6	环部は外方に伸びた後屈曲して外方に反り咲くに伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 环部内外面ヨコナデ。	灰茶色	3mm以下の 長石・骨灰 ・石英等の 砂粒を多量 に含む	良好	
	包含層						
899	同上	口径 19.2	环部は平らに近い环底部から屈曲して外方に伸びた後外方に走る口縁部に至る。屈曲部に背面二角形の鋭い棱をもつ。端部は丸い。脚部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、环部外面ナデ、内面不明。	灰茶色	長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	
	包含層						
900	同上	口径 13.8	环部は平らな环底部から屈曲して外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、环部外面ナデ。	淡褐色	1.5mm以下の 長石・石英 ・チャート等の砂粒を含む	良好	黒斑有
	包含層						
901	同上	口径 11.7	浅い碗形の体部から内側して直上する口縁部に至る。端部は鈍く丸る。脚部は欠損。环部内外面不規。	淡茶褐色	長石等の微 砂粒を少量 含む	良好	
	包含層						
902	甕	口径 16.0	底大径を胴中段より上にもち、直上に内側して伸びる体部から丸く屈曲し、外にして上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげ、外に凹面をもつ。体部は下位欠損。環部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(6本)、内面ハラナデ。	淡灰茶色	4.5mm以下の の長石・石 英・雲母等 の砂粒を含む	良好	
	包含層						
903	同上	口径 13.2	楕円形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。体部外面下段に二本、内面上段、下位に一本ずつ接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	外:茶色 内:淡茶色	7.5mm以下 の長石・石 英・雲母等 の砂粒を含む	良好	
	包含層						

遺物番号 回収番号	部 種 上小地点	(cm) 口徑 法量 器高	形態・測定等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
904	甕	口 径 16.2	上内方に内擣して伸びる体部から屈曲し、外反して上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)、内面ハラナギ。	灰茶色	3mm以下の 長石・石英・ 角閃石・ 雲母等の砂 粒を含む	良好	
905	甕 上	口 径 14.1	上内方に内擣して伸びる体部から屈曲し、外反して上方へ伸びる口縁部にある。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)後一部ハケナギ(7本)、内面ハケナギ。	灰褐色	4mm以下の 長石・石英・ 雲母等の 砂粒を少量 含む	良好	
906	甕 上	口 径 15.4	体部から屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ナギ。	外 壁 内 底 褐色 灰色	5mm以下の 砂粒を含む	良好	
907	甕 上	口 径 16.9	上内方に内擣して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外に凹曲をもつ。体部は欠損。体部内面に一本の接合痕をもつ。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3本)、内面指ナギ。	茶灰色	4.5mm以下の 石英・長 石・角閃石・ 雲母等の 砂粒を含む	良好	
908	甕 上	口 径 16.3	体部から屈曲し、外反気味に外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(6本)後ヨコナギ、内面ヨコナギ、体部外面ハラケズリ。	黒灰褐色	角閃石・ 雲母・ 長石等 の微細 粒を含む	良好	
909	甕 上	口 径 15.0	体部から屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は上方に膨張し丸い。外端面に櫛括き文を施す。体部は欠損。古墳地方の酒津式の特徴をもつ。 口縁部内外面ヨコナギ、内面ハラケズリ。	深灰茶色	長石・雲母 角閃石・石 英等の微細 粒を含む	良好	
910	甕 上	口 径 17.5	上内方に内擣して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(6本)後ヨコナギ、内面ハケナギ、体部外面タタキ(8本)、内面ハラケズリ。	外 壁 内 底 褐色 深褐色	3mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の砂粒を含 む	良好 煤付着	
911	甕 上	口 径 15.1	体部から屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみあがる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面ハケナギ(8本)、内面ハラケズリ。	淡茶灰色	長石・石英・ 雲母等の 細砂粒を含 む	良好 煤付着	

造物番号 試験番号	固 構 出上 地点	(cm) 上位 法量 部位	形 状・調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
912	環 壁 (須恵器)	11 径 12.4 縦 径 12.5	丸味のある天井部から下外方へ内壁気味に伸び、底に至る。縫は鈍く、下方に凹線がある。天井部は内壁気味に直し、端部は明顯な段をもつ。 天井部外側約2周転ヘラケズリ、他同転ナデ。	淡灰青色	粘土	良好	ロクロ 左方向
	包含層						
913	环 壁 (須恵器)	口 径 11.3 たちあ がり高 1.85 受部径 13.6	体部から水平に伸びて受部に至り、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾した後直し。端部は明顯な段をもつ。全体部は欠損、内外面回転ナデ。	淡灰色	4mm以下の 砂粒を多量 に含む	良好	ロクロ 右方向
	包含層						
914	円筒形埴輪		タガ断面は台形をなし、側面は凹面をもつ。外延ヨコナデ、内面ナデ。	灰茶色	長石・雲母 等の粗砂粒 を含む	良好	
八十	包含層						
915	同 上		底部の一部と離れる小片のみ。外延ハケナデ、内面ナデ。	外 淡褐色 内 茶灰色	5.5mm以下の 長石・雲母等の砂粒 を含む	良好	
八十	包含層						
916	同 上		タガ断面は変形な台形をなし、側面は凹面をもつ。 外延ナデ、内面ハケナデ(11本)。	茶褐色	5mm以下の 長石。	良好	
八十	包含層						
917	刺繩形埴輪		タガ断面は変形な台形をなし、側面は平らな面をもつ。 タガ外延ヨコナデ、内外面ハケナデ(7本)。	淡茶色	4mm以下の 長石・チャート等の砂 粒を多量に 含む	良好	
八十	包含層						
918	円筒形埴輪		タガはゆるやかな台形をなし、側面は平らな面をもつ。 タガ外延ナデ、内外面ハケナデ(6本)後指痕。	外 茶灰色 内 灰茶色	3mm以下の 長石・石英 ・チャート等の砂 粒を含む	良好	
八十	包含層						
919	壺 (須恵器)	底 径 7.0	体部は欠損。高台は、方形の断面をもつ。内外面回転ナデ。	淡灰青色	微砂粒を少 量含む	良好	ロクロ 左方向
	包含層						

試験番号	器種	出土地点	(cm) 口徑 法量 基高	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
920	縁 (須恵器)	底盤	6.3	体部は内寄気味に上外方に伸び、口縁部は欠損。高台は、二角形の断面をもち、端部は丸い。 内外面凹凸ナゲ。	外 白灰色 内 乳白色	精良	良好	
	包含層							
921	豆	口 瓢	12.3	口縁部は内寄気味に斜上方に伸びる。端部は丸い。底部は欠損。 内外面ナゲ。	外 淡灰茶色 内 黑紫色	3.5mm以下の石英等の微砂粒を含む	良好	
	包含層							
922	瓦質土器	口 瓢	12.0	口縁部は上外方に内側して伸びる。端部は丸い。底部は欠損。 内外面不規。	暗灰色	長石等の粗砂粒を少く含む	良好	
	包含層							
923	丸瓦			巴は右巻きである。外縁は高い位置にある。やや小粒で纏起も小さい珠文は密に施らす。 内外面ナゲ。	墨色	微砂粒を含む	良好	
	包含層							
924	同 上			巴は欠損。外縁は低い位置にある。大程で纏起も大きい珠文は密に施らす。 内外面ナゲ。	暗灰色	2mm以下の微砂粒を含む	良好	
	包含層							
925	蓋	II 瓢	22.2	口縁部は外上方に伸びた後屈出して上外方に外反弧味に伸びる。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面、頸部内面ナゲ。	淡灰茶色	2mm以下の石英・長石・角閃石等の砂粒を多量に含む	良好	無付着
	包含層							
926	縁型小型瓶	口 瓢 器 高 基 径	4.3 1.3 1.3	浅い円形の体部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上に頭をもつ。底部は低い貧弱な高台をもつ。 内外面同紙ナゲ。口縁部に向って、放射状の沈線を施す。	淡灰白色	精良	良好	灰釉
	包含層							
927	輪内器	底 瓢	5.0	体部は欠損。底部は断面方形で垂直に下る高台をもつ。高台裏に刻印の跡がある。 内外面凹凸ナゲ。	乳白茶色	精良	良好	自然釉
八十	包含層							

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 基高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
928	櫛陶器	底径 5.0	体部は欠損。底部は断面逆台形で直上に下る高台をもつ。二条(?)の箇所内に「鳥」(?)の絵を染付けている。 内外面同軸ナゲ。	乳白色(触色 -底白色)	精良	良好	輪付着
八十	包含層						
929	壺	口径 25.4	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、直上した後外上方に屈曲して上方に外反気味に伸びる口縁部に平ら。底部は外に面をもつ。底面部に長い縦をもつ。すぐ上の外腹全体に波状文(27本)を施す。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ヘラミガキ、体部外面ハケナゲ(7本)後ヘラミガキ、内面ナゲ。	淡灰茶色～ 茶灰色	6mm以下の 長石・石英等の 砂粒を多量含む	良好	輪付着 黒斑有
八十	包含層						
930	筒上	口径 16.6	口縁部は外反して上方に伸びる。底部は下方に肥厚し、外に面をもつ。腹部外面に波状文(4本)を施す。体部は欠損。 口縁部外面ナゲ、内面ヨコナゲ。	外 淡茶色 内 淡灰茶色	長石・雲母等の 細砂粒を少量含む	良好	
	包含層						
931	鉢	口径 8.9 基高 6.8 底径 3.2	深い半球形の体部から直上して伸びる口縁部に生る。底部は丸い。底部は突出気味のくぼみ底。 体部外面タタキ(5本)、内面ヘリナゲ、底部外面ヘラナゲ。	灰茶色	長石・雲母・ 石英等の 細砂粒を含む	良好	
	包含層						
932	筒上	口径 9.15 基高 5.9 底径 2.4	体部は上方に内側気味に伸びる口縁部に平ら。底部は丸い。底部は突出しない平底。 内外面ナゲ。	灰褐色	4mm以下の 長石・石英等の 砂粒を含む	良好	黒斑有
	包含層						
933	台付鉢	口径 15.5 基高 7.45 底径 4.9	半球形の体部から上方に内側して伸びる口縁部に生る。底部は丸い。底部は外傾する小さい面をもつ。底部は突出するやや上げ底。 内外面ナゲ。	茶灰色	4mm以下の 角閃石・石英・ 長石・ 雲母等の 砂粒を含む	良好	輪付着
八十一	包含層						
934	鉢	口径 14.3	深い半球形と思われる体部から屈曲し、上方に短く伸びる口縁部に生る。底部は丸い。 底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部内外面ナゲ。	茶色	3mm以下の 長石・雲母・ 石英等の 砂粒を多量 に含む	良好	輪付着
	包含層						
935	小型壺	口径 9.0	内側気味に直上する体部から屈曲し、上方に内側して伸びる口縁部に平ら。底部は純く丸る。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部内外面不明。	淡茶色	長石・角閃石・ 雲母等の 微砂粒を含む	良好	
	包含層						

植物名等 固有番号	基 地 点	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色 調	胎 土	機 成	備 考
936	土堆	長さ 8.95 最大径 3.35 管状径 2.4	管状形。 外歯ナナ。	淡灰褐色	4.5mm以下 の長石・石 英等の砂粒 を多量に含む	良好	完形
八十一	包含層						
937	高坏	口 径 22.1	端部は外上方に伸びた後屈曲して外反気味 に上外方する口緑部に毛る。端部は丸い。頭部 は下外方に伸びる。頭部は欠損。 口緑部外面ヨコナギ、内面不明、体部外面不 明、内面ナナ。	茶灰色	長石等の微 砂粒を含む	良好	
	包含層						
938	裏	口 径 17.0	上内方に内轉して伸びる体部から屈曲し、 外反して斜上方に伸びる口緑部に生る。端部 は丸い。体部は欠損。 口緑部外面ヨコナギ、体部外面タタキ(3 本)、内面ヘラナナ。	外 灰褐色 内 灰茶色	3.5mm以下 の長石・長 石・角閃石 等の砂粒を 含む	良好	輝付着
	包含層						
939	同 上	口 径 13.9	最大径を脚下より上にもつ錐形の思われる 体部から屈曲し、上外方に伸びる口緑部に生 る。端部は屈曲して上外方につまります。体 部は欠損。 1脚感外面ヨコナギ、内面ハケナナ(7本)、 体部外面ハケナナ、内面ヘラナナ。	淡灰褐色	4.5mm以下 の石英・云 母・長石等 の砂粒を含む	良好	輝付着
	包含層						
940	同 上	口 径 15.4	口緑部は外反して上外方に伸び、端部は若 干つまつ。体部は欠損。 口緑部外面ヨコナギ、内面ハケナナ(5本)、 体部外面ハケナナ、内面ヘラナナ。	淡灰褐色	長石・雲母 等の微砂粒 を少量含む	良好	
	包含層						
941	同 上	口 径 14.6	上内方に内轉気味に伸びる体部から丸く屈 曲し、外反して上外方に伸びる口緑部に毛る。 端部は丸い。体部は欠損。 1脚感外面ヨコナギ、頭部内面ヘラナナ (?)、体部外面タタキ(4本)後ハケナナ(3本)、 内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	3.5mm以下 の長石・角 閃石・云母 等の砂粒を 含む	良好	
	包含層						
942	同 上	口 径 14.0	口緑部は外反して上外方に伸び、端部はふ くらみ、内傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口緑部外面ヨコナギ、内面不明、口緑端部 上面ナナ。	外 暗灰褐色 内 淡灰褐色	長石・雲母 等の微砂粒 を含む	良好	輝付着
	包含層						
943	鉢 (頭巣岩)	口 径 14.4	肩部の瘤う球形と思われる体部から屈曲し、 上外方に伸びる口緑部に毛る。端部は外傾す る凹面をもつ。体部は下位欠損。 口緑部・体部上位回転ナナ、体部下位不定 方向ナナ。	淡灰色	稍良	良好	
	包含層						

遺物番号 登録番号	器種 出土地點	(cm) 口径 法縫 高さ	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
944	环豆 (須恵器)	口径 11.2	丸味のある天井部から外下方へ直線的に伸び、底に至る。後は鋸く尖る。口縫部は底下し、端部は丸い。 天井部外面同部へラケズリ、他回転ナゲ。	淡灰色	2mm以下の 長石・チャート等の 砂粒を少量含む	良好	ロクロ 左方向 底かぶり
945	豆 (須恵器)	口径 9.0	平底で低い天井部から外下方へ直線的に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。内面にかえりを有し、かえり端部は鋸く尖る。 天井部外面回転へラケズリ、他回転ナゲ。	淡灰褐色	長石等の微 砂粒を少量含む	良好	ロクロ 左方向
946	环身 (須恵器)	口径 9.2	受部は上方に伸び、端部は鋸く尖る。立ち上がりには内側に伸び、端部は明瞭な段をもつ。底部は欠損。 内外面回転ナゲ。	白灰色	微砂粒を含む	良好	ロクロ 右方向
947	筒上	口径 9.8	受部は外上方に伸び、端部は外傾する面をもつ。立ち上がりは内側筋跡に直しし、端部は内傾する浅い段をもつ。底部は欠損。 内外面回転ナゲ。	灰青色	3mm以下の 砂粒を含む	良好	ロクロ 左方向
948	古けき鉢 (須恵器)	底径 10.0	底部は断面扁平な台形の高台をもつ。体部は欠損。 内外面回転ナゲ。	外 淡灰色 内 白灰色	精良	良好	自然釉
949	瓦器柄	底径 5.3	体部は内側して斜上方に伸びる。端部は欠損。底部は断面三角形をもち、直下する高台をもつ。 体部外面ナゲ後へラミガキ、内面暗文、底部外面ナゲ。	灰黒色	精良	良好	
八十一	包含層						
950	土師皿	口径 10.8	広く平らと思われる底部から上方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。底部は一部欠損。 口縫部外面ヨコナゲ、底部内外面ナゲ。	茶褐色	2.5mm以下の 長石等の 砂粒を含む	良好	
951	筒上	口径 16.4 器高 2.7	広く平らな底部から上方に伸びる口縫部に至る。端部は丸い。 口縫部外面ヨコナゲ、内面ナゲ、底部外面ナゲ後指擦痕、内面ナゲ。	外 茶色 内 乳茶色	2mm以下の 長石・石英等の 砂粒を含む	良好	定期 解剖着

遺物番号 （国際番号）	出土 地點	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成 度	備考
952	藤台	口径 9.6	受部は内壁気味に外上方に伸びた後屈曲し、外反して直上して伸びる口縁部に至る。端部は尖る。脚部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、受部内外面ヘラミガキ後暗文。	淡灰茶色	黄母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
	包含層						
953	円筒形埴輪	底径 18.4	底部の一帯の小片のみ。 外腹タテハケナデヨコナデ、内面ナデ。	乳茶色	長石・黄母・チャート等の細砂粒を含む	良好	
八十一	包含層						
954	周上		タガは断面台形で、側面はやや四面をもつ。 タガ外周ヨコナデ、他外腹タテハケナデ後ヨコハケナデ、内面ナデ。	淡乳茶色	長石・黄母・赤褐色酸化鉄等の細砂粒を含む	良好	
	包含層						
955	つまみ竹蓋	器高 1.9 底径 3.4	つまみ状、底面に解説不明の墨書きが認められている。 外腹同軸ナデ、内面永切り。	乳白色	細砂粒～微砂粒を少量含む	良好	完形
	包含層						
956	鉢 (陶質土器)	口径 13.2 器高 3.5 底径 4.6	平らな底部から屈曲して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は二段に屈曲し、外傾する頭をもつ。底部は断面台形の高台をもつ。体部は断面台形の高台をもつ。底部内外面同軸ナデ、高台部縦板ヘラケズリ。	褐灰色	精良	良好	白釉付着
	包含層						
957	小型丸底壺	口径 9.05 器高 7.9	扁平な球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。外腹不明。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ナデ。	茶灰色	4.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化鉄等の砂粒を多量に含む	良好	完形 黒施釉
八十一	包含層						
958	有孔鉢	口径 10.9 器高 7.2 底径 3.2	体部は外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。底部に穿孔を一つ有す。 外腹タテキ(4本)後ナデ、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	7mm以下の石英・角閃石・黄母・長石等の砂粒を含む	良好	
八十一	包含層						
959	小型丸底壺	口径 9.4 器高 9.2	極めて扁平な球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸く尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヘラミガキ。体部外腹上位ヘラミガキ、下位ヘラケズリ。内面ヘラナデ。	灰茶色	長石・紫母・角閃石等の微砂粒を含む	良好	完形
八十一	包含層						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
960	甕	口径 12.2 包含層	上内方に内側して伸びる体部から屈曲し、上方外方に外側上方に伸びる口縁部に至る。端部は外側する面をもつ。体部は下位欠損。 口縁部内外ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)後ハナダ(6本)、内面ナギ。	淡褐色	8mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	
961	同上	口径 17.4 包含層	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外側ヨコナギ、内面ハケナギ。体部 外側ハケナギ、内面ヘラケズリ。	茶褐色	3mm以下の 角閃石・雲母 ・長石等の 砂粒を含む	良好	焼付着
962	杯身 (須恵器)	口径 9.4 包含層	平底に近い底部から上外方に直線的に伸びる受部に至る。受部は外上方に伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾して伸びる。端部は内側し、浅い凹面をもつ。 底外部外側約半周部ヘラケズリ、他削除ナ ギ。	淡灰青色	微細粒を少 量含む	良好	ロクロ 左方向
963	鉢 (陶質土器)	口径 16.6 包含層	口縁部は上外方に伸びる。端部は屈曲して外上方に、内方に肥厚する。体部は欠損。 内外面回転ナギ、一部不定方向のナギ。	乳灰茶色	2mm以下の 砂粒を少量 含む	良好	繩文付着
964	蓋	口径 12.4 器高 22.5 包含層	底部に近い体部から屈曲し、上方方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底 部は丸底。底部内面に一本の接合縫を有す。 口縁部・脚部外側タタキ(3本)後ヨコナギ、 口縁部内面ヨコナギ、体部外側ナギ、内面上 斜折ナギ・指痕痕、下位ナギ。	淡黄茶色～ 暗褐色	4mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を多量 に含む	良好	焼付着 炭化物付着
965	器台	口径 8.5 器高 7.0 底径 10.6 包含層	受部は外上方に伸びる。端部は外側する面 をもつ。端部は受部から外反して外下方に伸 びる。端部は丸い。脚部中央に四方孔を有す。 受部内外側ナギ、脚部外側ハケナギ。内面 ナギ。	淡灰茶色	長石・雲母 ・角閃石・ 石英等の細 砂粒を含む	良好	
966	同上	口径 10.2 包含層	受部は斜上方に外反気味に伸びる。端部は 丸い。脚部は欠損。 受部内外側ヘラミガキ。	淡褐色	雲母・長石 等の微砂粒 を少量含む	良好	
967	甕	口径 14.0 包含層	内壁気味に底上する体部から丸く屈曲し、 上方方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端 部は外側する面をもつ。体部は下位欠損。 口縁部内外ヨコナギ、体部外側タタキ(4 本)、内面ナギ。	褐色	2.5mm以下 の長石・石 英・赤褐色 酸化粒等の 砂粒を含む	良好	焼付着

遺物番号 国宝登録番号	名 称 出土 地点	(cm) 口 径 法量 表出	形 態・調 整 等 の 特 徴	色 質	胎 土	焼成	備 考
968	寶	11 径 15.6	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(4本)、内面ナナ。	茶褐色	6mm以下の 長石・石英等の砂粒を 含む	良好	
969	同 上	口 径 16.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外に頭をもつ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナギ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶褐色	3mm以下の 角閃石・雲母等の砂粒を 含む	良好	輝付着
970	円筒形埴輪		タガ断面は台形をなし、側面は四面をもつ。外表面ヨコナギ、内面ナナ。	淡灰褐色	長石・石英等の細砂粒を 含む	良好	
971	坏 身	口 径 9.7 受部径 12.0	斜上方へ直線的に伸びる受部に生る。受部は外上方に伸び、端部は丸い。立ち上がりは直線的に内彎し、端部は純く尖る。底部は欠損。 底体部外面回転ヘラケズリ、釉回転ナナ。	灰青色	微砂粒を含む	良好	
972	土師器	口 径 7.4 器 高 2.0	底部から外上方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 内外面ナナ。	乳白色	微砂粒を少 量含む	良好	
973	同 上	口 径 8.9	平らと思われる底部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は一部欠損。 内外面ナナ。	乳灰茶色	微砂粒を少 量含む	良好	
974	同 上	11 径 9.6	広く平らと思われる底部から上外方に短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は一部欠損。 口縁部外面ヨコナギ、他ナナ。	乳灰褐色	稍良	良好	
975	同 上	11 径 10.2	外上方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、直しする口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 内外面ナナ。	乳灰色	2.5mm以下の 砂粒を少 量含む	良好	

遺物番号 回数番号	発出土地点	種類 (cm) 口径 法量 深さ	形態・調査等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
976	瓦器皿 (褐色土器)	口径 10.4 器 高 2.55	平らに近い底部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。 口縁部外面ヨコナギ、体部外面ナゲ、内面ヘラミガキ。	黒色	精良	良好	
八十一	包含層						
977	土師皿	口径 12.6	丸底と思われる底部から斜上方に内壁気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は一部欠損。 内外面ナゲ。	淡灰色	微砂粒を少 量含む。	良好	
	包含層						

第6章 まとめ

この報告は、八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査である。「第1章 調査の経過」で記述しているように4年ないし5年間に分割して発掘調査を実施している。今回は昭和57年度の第1次調査に断続するもので、昭和58年度事業として第2次調査と第3次調査を行った。第2次調査は当該地の北部にあたり、大阪府教育委員会が実施した小阪合ポンプ場建設地の西部に位置する。第3次調査は第1次調査地の南部に位置する。調査は前回と同様に細長トレンチの限定された調査である為、遺構の全容を明確に検出したものはごく僅かであり、遺跡及び遺構の性格の位置付け等は不明瞭な点が多くあると言える。

遺構では、古墳時代前期に比定される方形周溝墓と思われる溝状遺構や古墳時代中期に比定される埴輪を作り古墳等の墓域が新たに発見された。また、奈良時代の居住域が第1次調査地の南部にも存在すること等が明らかになった。

では、今回の報告書では出土遺物について触れてみることにする。特に、第1次調査や今回の調査で出土した多量の遺物は弥生時代後期から古墳時代前期にかけての土器が殆どであり、この時期の土器を中心として記述することにする。

出土遺物について

第3次調査は、既往第1次調査で出土した遺物とほぼ同じ量の遺物を出土した。出土量はコソテナ箱にして約80箱を数え、これらは弥生時代後期から中世に至る多種多様の出土遺物である。特に弥生時代後期から古墳時代前期にかけての土器が最も多く出土された。よって、今回の報告ではこの時期の土器を中心に記していくこととする。

弥生時代後期から古墳時代前期にかけての土器は、第1次調査A-Ⅲ地区の落ち込み7等の堆積土内より多量の遺物が出土されている。この調査地の南部に位置する第3次調査の発掘調査では調査区の全般に出土されている。検出した遺構は、基本層序で述べている第5層と第6層の上面から切込まれていて、この堆積土内からは畿内第V様式・庄内式・布留式と呼称される土器が多量に出土された。これらの土器は弥生時代から古墳時代に移行する時期にあたり、弥生式土器から土器へと変遷する接点で、重要な位置を占める土器である。

また、これらの土器の資料が増加するにつれ、各地域の調査報告や考古学者らの論考等で、型式学的により細分している「細分編年案」がいくつか提唱されている。八尾市に於いても「八尾南遺跡」の報告で古墳時代前期の土器についての細分編年案が試みられている。当遺跡の調査でもこの時期の良好な資料が多量に出土していることから、当遺跡に於ける細分編年案を試みることが今後できるであろう。

では、第3次調査で検出された弥生時代後期から古墳時代前期（畿内第V様式から布留式）に至る良好な一括土器が出土した遺構について列記し、各地域で報告されている資料と比較してみたい。

まず、今回の調査に於いては検出面によって2つの時期に分けられる。前者は第6層上面で検出した遺構と後者は第5層上面より検出した遺構である。これらは「第3章 調査の結果」で前者を弥生時代後期から古墳時代初頭の時期、後者を古墳時代前期の時期として取扱っている。前者の遺構内からの出土遺物は、畿内第V様式の形態的特徴をもつ土器が多く出土している。遺構は落ち込み28・落ち込み29・S P 135・S D 321等から多量の土器が出土している。後者の遺構内からの出土遺物は、庄内式～布留式古相の形態的特徴をもつ土器である。遺構は落ち込み26・S W 1・S D 314・S D 315・S D 316等から多量の土器が出土している。

弥生時代後期から古墳時代初頭の遺構

落ち込み28

出土した器種は壺・有孔鉢・甕である。壺は形態的に大きく4つに分られる。上方した後屈曲外上方する口縁部で、端部は上下に肥厚し、外に面をもつもので畿内第V様式に類似するものの(16)・体部より屈曲し上方した後傾い角度で屈曲上外方する口縁部に伸び、端部は尖り気味につまみ出すもの(17・18・20)・19は大きく外上方する口縁部で、端部は上下に長く肥厚して外に面をもち、1本の波状文を施しているもの・蝶形の体部より上外方に外反する口縁部に伸び、端部はつまみ上げる（又は丸い）もの(21・22)である。甕は畿内第V様式の形態をもつものであるが、30の1点だけはやや器壁が厚いものの庄内式甕の形態や調整が酷似している。

胎土は一部に在地の胎土をみるがほとんど生駒山西麓の胎土であると思われる。

落ち込み29

出土した器種は壺・土壙・甕である。壺(38)は体部より上外方に外反した後穏やかに屈曲し上方に伸びる口縁部で、体部外面にヘラミガキ、内面ハケナデを施している。土壙(39)は管形状で指の握り痕がみられる。甕(40～47)は畿内第V様式の形態的特徴をもつもので、底部の形態が突出気味又は突出しない平底を呈している。

胎土は在地と生駒山西麓の胎土をもつ土器がある。

S P 135

出土した器種は壺・甕である。壺(51)は1点だけで最大径を中位にもつ体部から丸く屈曲上外方に外反気味に伸びる口縁部に至り、端部は僅かにつまみ上げる。底部は突出する平底をもつ形態である。甕(52～55)は畿内第V様式の形態・調整が酷似するが、口縁端部の形態にはつまみ上げる・丸く終わる・外に面をもつものの3形態がみられる。

胎土は在地及び生駒山西麓の胎土をもつもので、割合はほぼ半々である。

S D 321

出土した器種は壺・鉢・高杯・土壇・甕である。壺は形態的特徴から大きく3分類に分けることができる。器壁の厚い手づくねの小形壺(57)・外反する口縁をもつもの(59~62・64・69~71・74)・大きく開く複合口縁をもつもの(58・66・68)などがみられ、これらは畿内第V様式の系譜を引くものである。鉢は突出気味の平底をもつもの(75~78)・屈曲する口縁をもつもの(77~86)などの形態的特徴から大きく7分類が可能である。有孔鉢(91)は底部に円孔を穿しているが、畿内第V様式甕の体部下位の部分と形態・調整が類似している。脚台付鉢(92)は外下方に開く脚部をもつ鉢である。高杯は杯部が碗形(3形状に細部できる)で、脚部は短い柱状部より屈曲して大きく開くもの(93~95)・平坦な杯底部より屈曲し外上方に外反する杯部をもつもの(96)がある。土壇(98~175)は円形の棒状(径1cm位の竹や木など)のものに握り巻ぐらいい粘土を巻き付けて製作したもので、管状形を呈している。胎土は生駒山西麓の胎土で製作している。甕は畿内第V様式の形態的特徴をもつもの(176~237)と口縁部は不明であるが最大径を中位より上位にもつ体部で器壁を薄く仕上げているもの(240)で東部瀬戸内地方にみられる形態によく似ている。また、この遺構の上層から庄内式甕(238・239)の形態をもつ甕2点が出土している。

胎土は在地と生駒山西麓の胎土がほとんどである。これらの遺構から出土した土器は畿内第V様式の土器に位置付けられる資料で、東大阪市北島池遺跡の出土土器・柏原市船橋遺跡第9トレンチの出土土器等に類似するものと思われる。八尾市域では成法寺遺跡のSW2・SW3・東郷遺跡第13次調査のSK10・東弓削遺跡の溝状遺構等の出土土器に類似がみられる。しかし、これらの畿内第V様式の土器は庄内式土器の中に混入して出土することがみられるようで、一概に畿内第V様式の土器といえないのが現状である。

古墳時代前期の遺構

SW 1

出土した器種は壺・有孔鉢・甕である。壺(306)・有孔鉢(307)は突出しない平底をもつ底部のみの細片である。甕は畿内第V様式系(308~314)と庄内式(315~328)の形態をもつものに分れるが、畿内第V様式系は体部外面にタタキ後ハケナデを施すものが多い。庄内式の甕は畿内第V様式の系譜を引くように思えるもので、体部外面は底部までみられる粗いタタキ調整や底部に小さな平底が残る。この庄内式の甕は庄内式でも古相に位置づけられるものと考えられる。資料では成法寺遺跡のSW1・東郷遺跡第9次調査のSE2等があげられる。

S D 314

出土した器種は壺・鉢・談形器台・甕である。壺は布留式古相にみられる形態的特徴をもつもの(331・335~337)と東海地方(尾張)にみられる形態的特徴をもつもの(338)がある。

鉢（339）は口縁部が二段に屈曲する椀形のもので布留式土器によくみられる特徴のものである。

器台（340）は鼓形器台と呼称されている山陰地方に特有の形態的特徴をもつもの。壺は壺の形態をもつもの（332～334）・畿内第V様式系（341～343）・庄内式（342・344）・布留式古相（345～346）の形態的特徴がみられるものがある。

338は朝日遺跡などの東海地方の遺跡に類例がみられる。340は山陰地方で布留式の時期に位置付けている。

S D 315

出土した器種は壺・有孔鉢・壺である。壺は畿内第V様式にみられる壺（348・349）と庄内式にみられる壺（350）のものがある。有孔鉢（351）は畿内第V様式によくみられる形態的特徴をもつ。壺はわずかに畿内第V様式の壺（353）がみられるが、殆どは生駒山西麓の胎土をもつ庄内式壺（353～358）である。

S D 316

出土した器種は壺・鉢・有穿鉢・器台・高杯・製塙土器・壺で、最も出土量が多かった遺構である。壺（359～379）は10分類できる。特徴的なものは底部に小さな窪み底がみられ、最大径を下位にもつ偏平な体部より屈曲し上外方に伸びる口縁部をもつもの（359～361）。体部より屈曲し上外方に（外反して）伸びる口縁部をもつもの（363～367）。そして端部は上下に肥厚して面をもつもの（371・372・376）があり、船橋遺跡などに類似する資料がある。体部より屈曲し上方へ伸びた後屈曲外下方へ伸び、再び屈曲外反する口縁部をもつもの（373～375・377・378）で波状文などの装飾を施すものなどである。鉢は椀形の体部に平底をもち、口縁部は受口状に屈曲するいわゆる畿内第V様式系のもの（380）・椀形の体部よりそのまま口縁部に至るもの（381～383）と口縁部が屈曲し（内弯気味に）上外方するもの（384～393）・偏平な体部より屈曲外反する口縁部に伸び、端部を上方に長く拡張するもの（394）・突出気味の平底をもつ大形の鉢（396）・口縁部が小さく二段屈曲し上外方するもの（395）などで、他地域の形態的特徴がみられ、383は口縁部外面にヨコナデ調整による稜線があるもので東部瀬戸内地方の特徴をもつ鉢である。有孔鉢（397）は畿内第V様式の壺の下位体部に酷似した形態的特徴をもつ。器台は受部と脚部の間が貫通するもの（398～404）と貫通しないもの（405～411）に分れる。398は高杯の器形に酷似し、口縁部付近は外面に波状文などの装飾を施している特殊な器台である。高杯は椀形の杯部に脚部が大きく開く低い脚部をもつもの（412～418）・椀形の杯部に小さい脚部をもつもの（419）・椀形の杯部で口縁部に稜線がみられるもの（420）・平坦な杯底部より屈曲外上方に外反する杯部（426～466）と平坦な杯底部より屈曲上外方に短く伸びた後屈曲外上方に伸びるもの（422～424）とがある。壺は畿内第V様式の系譜を引くもの（455～468）・庄内式古相の形態をもつもの（504～781）・型式学的様式をもたない形態をもつもの（499～503）。

他地域の形態的特徴をもつもの（782～797）がある。畿内第V様式系の甕には突出した平底をもつもの（455～458）と突出しない小さい窪み底をもつもの（459～498）とがある。他地域の形態的特徴をもつものは体部より大きく外上方に屈曲する短い口縁部で、端部は上につまみ上げる形態をもつもので東部瀬戸内系の形態的特徴がみられるもの（793）・最大径を中位にもつ体部より大きく屈曲外上方に外反する短い口縁部に伸び、端部は上方へ長くつまみ出し拡張する形態をもつもの（795～797）で岡山県の吉備地方にある酒津式といわれる甕に類似する。

以上、出土した畿内第V様式から布留式を含む各遺構で出土した土器の形態的特徴について簡単に記述してみた。これらの出土した土器は、弥生時代から古墳時代へと移行する時期にあたり、古墳出現の時期に於ける前後を左右する重要な位置を占めるものである。また土器は考古学の上で、社会・経済や人々の生活様式等の歴史を知る一つの尺度で重要な物的証拠としての役割を果たすものであろう。

では、以上の各遺構から出土した土器の結果から半断できることについて箇条書に明記してみる。

- 1、各遺構の器種構成をみると煮沸容器である甕形土器が圧倒的に多く、統いて壺・鉢・高杯等が少量含む。甕は形態的特徴によって畿内第V様式と庄内式と布留式がある。
 - 2、甕には（Ⅰ）畿内第V様式の甕のみを出土する遺構（落ち込み28・落ち込み29・S P 135・S D 321）・（Ⅱ）畿内第V様式系の甕と庄内式の甕が共存する遺構（S W 1・S D 315・S D 316）・（Ⅲ）畿内第V様式系の甕と庄内式の甕と布留式の甕が共存する遺構（S D 314）の3形式が認められる。これは（Ⅰ）→（Ⅱ）→（Ⅲ）と時期差があると考えられる。
 - 3、土器の胎土に含まれる砂礫の相違で製作地又は粘土の採集地が判斷できる。これによると（Ⅰ）は在地の胎土が圧倒的に多く、生駒山西麓やその他の地域のものはごく少量である。（Ⅱ）は畿内第V様式系の甕が在地の胎土を多く含み、庄内式の甕が生駒山西麓の胎土を多く含む。（Ⅲ）は畿内第V様式系の甕が在地の胎土・庄内式の甕は生駒山西麓・布留式の甕は在地又は他地域の胎土である。
- 以上、今回の調査で得られた。これらの資料はその後の当遺跡の調査でも多量に出土している。今後、これらの資料を積重ねて、他地域の土器の実体究明や土器の細分編年を行うことにより当遺跡の様相を明らかにしていきたい。

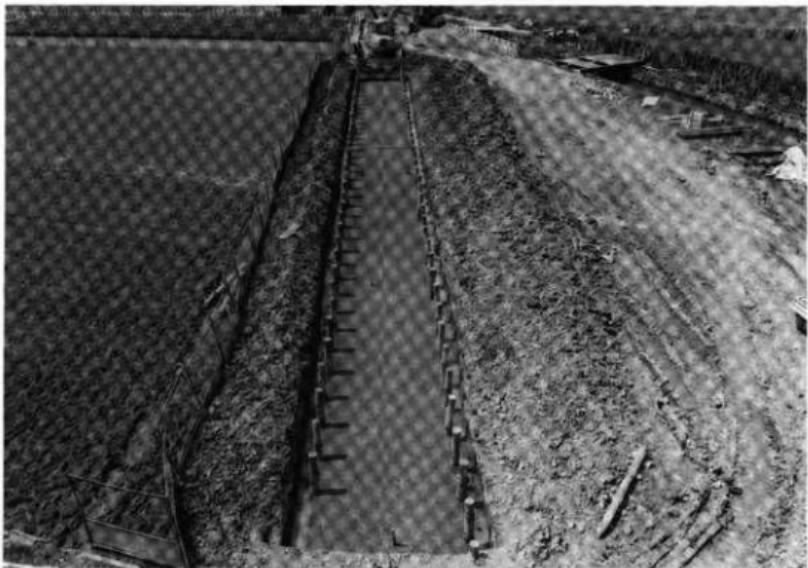
参考文献

- 1 小林行雄 「大阪府枚岡市額田町西ノ辻遺跡 I 地点の土器、D・E・H地点」『弥生時代土器集成』資料編 1 1958
- 2 佐原真「畿内地方」『弥生式土器集成』本編 2 1968
- 3 都出比呂志「古墳出現前夜の集団関係—淀川水系を中心に—」『考古学研究』第20巻 4号 1974
- 4 寺沢薰 奈良県教育委員会「大和におけるいわゆる第五様式土器の細別と二・三の問題」『六条山』1980
- 5 大阪府立花園高等学校地盤部「北島池遺跡」『河内古代遺跡の研究』 1970
- 6 (財)大阪文化センター「船橋」一大和川環境整備事業柏原地区高水敷整正工事に伴う船橋遺跡試掘調査報告書— 1976
- 7 岡山県教育委員会「旭川放水路(百間川)改修工事に伴う発掘調査」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告書39』 1980
- 8 鳥取県教育委員会「鳥取・秋里遺跡」 1976
- 9 愛知県教育委員会 編集「朝日遺跡 I (本文篇)」 1982
- 10 大阪府教育委員会「萱振遺跡発掘調査概要 I」一八尾市緑ヶ丘2丁目所在— 1983
- 11 (財)大阪文化センター「美濃」—近畿自動車道天理~吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書— 1985
- 12 八尾南遺跡調査会「八尾南遺跡」—大阪市電気軌道2号線建設に伴う発掘調査報告書— 1981
- 13 米田敏幸・奥田尚「土器の胎土分析について」『古代学研究』第99巻 1983
- 14 八尾市教育委員会「東郷遺跡」『八尾市埋蔵文化財発掘調査概報 1980・1981年度』 1983
- 15 八尾市教育委員会「成法寺遺跡」一八尾市光南町1丁目29番地の調査— 1983
- 16 (財)八尾市文化財調査研究会「弓削遺跡(第1次調査)」『昭和59年度事業概要報告』 (財)八尾市文化財調査研究会報告 7 1985
- 17 (財)八尾市文化財調査研究会「小阪合遺跡(第3次調査)」『昭和58年度事業報告』 (財)八尾市文化財調査研究会 6 1985
- 18 八尾市教育委員会「東郷遺跡」『八尾市埋蔵文化財発掘調査概報 1980・1981年度』 1983

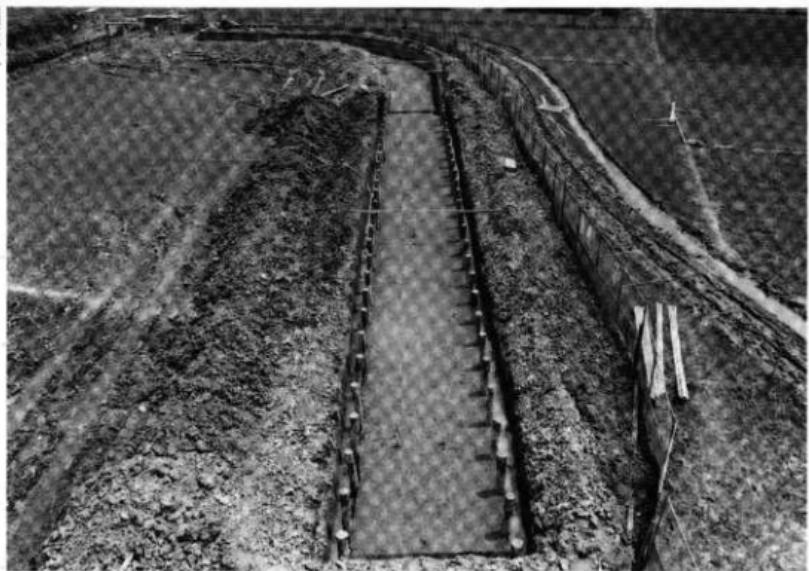
図 版



1. K—I地区全景（南より）



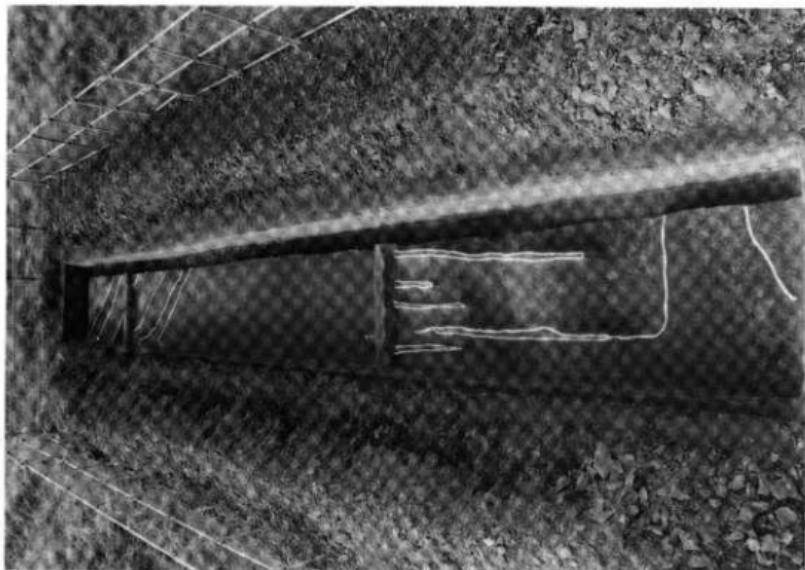
2. K—II地区全景（南より）



1. K-III地区全景（北より）



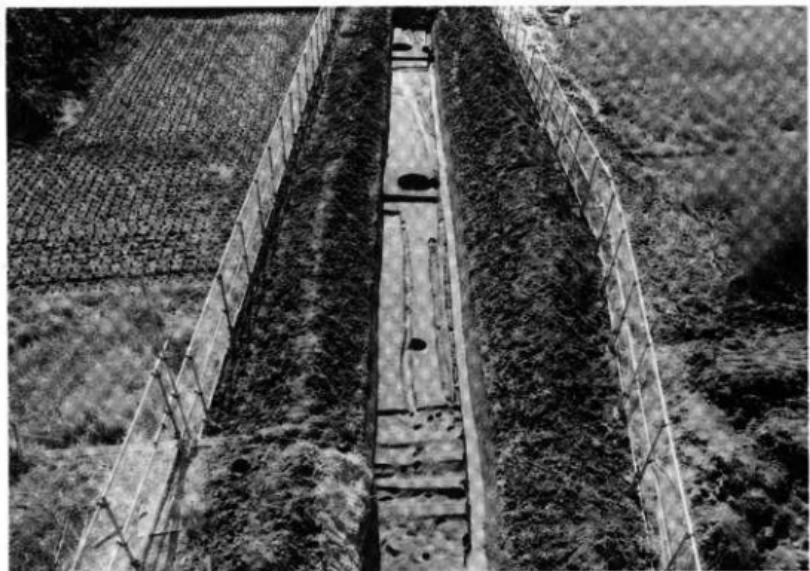
2. K-IV地区全景（東より）



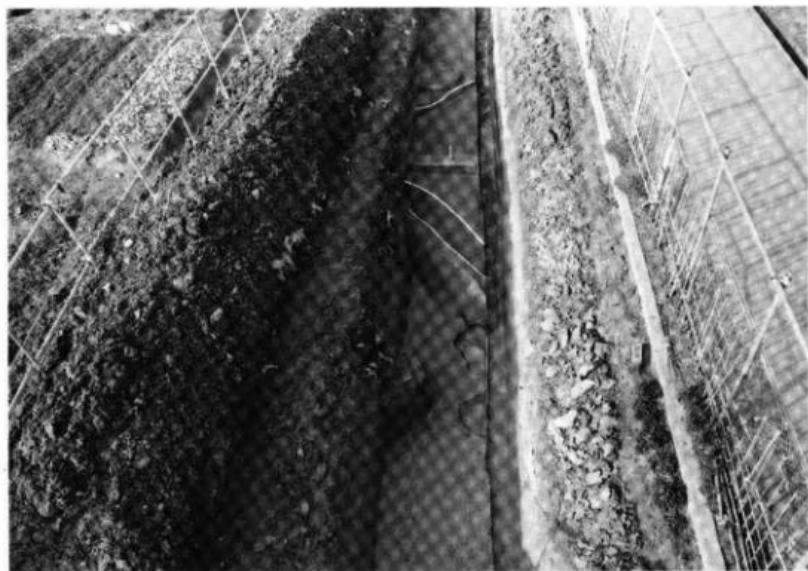
1. 22e～q地区第1調査面（東より）



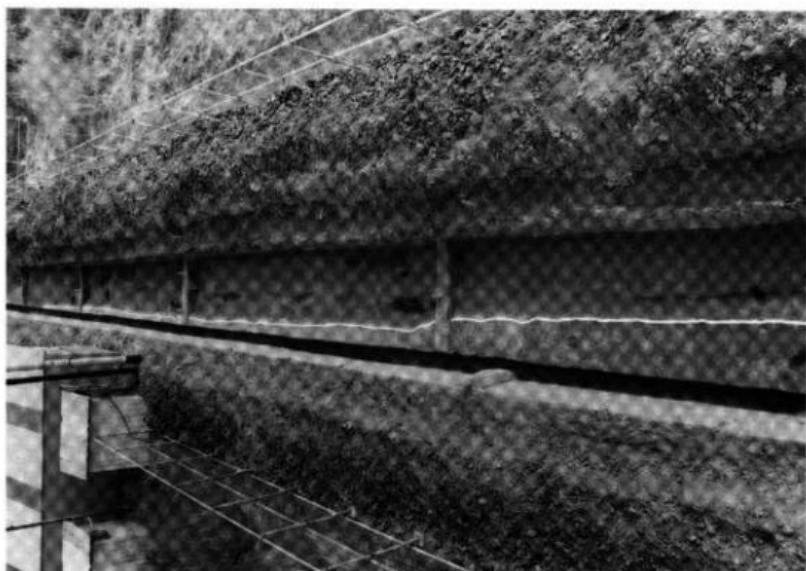
2. 22e～q地区第2・3調査面（東より）



1. 23 a~d 地区第1調査面（北より）



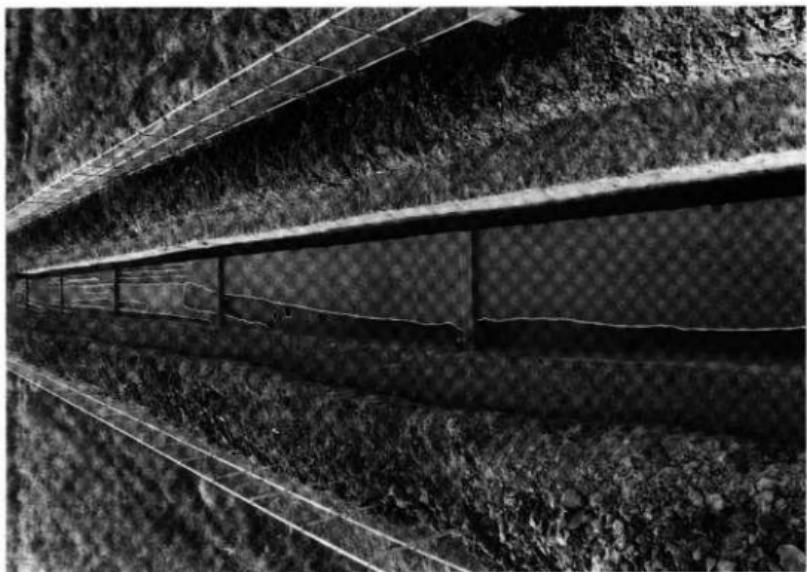
2. 23 i~n 地区第2・3調査面（南より）



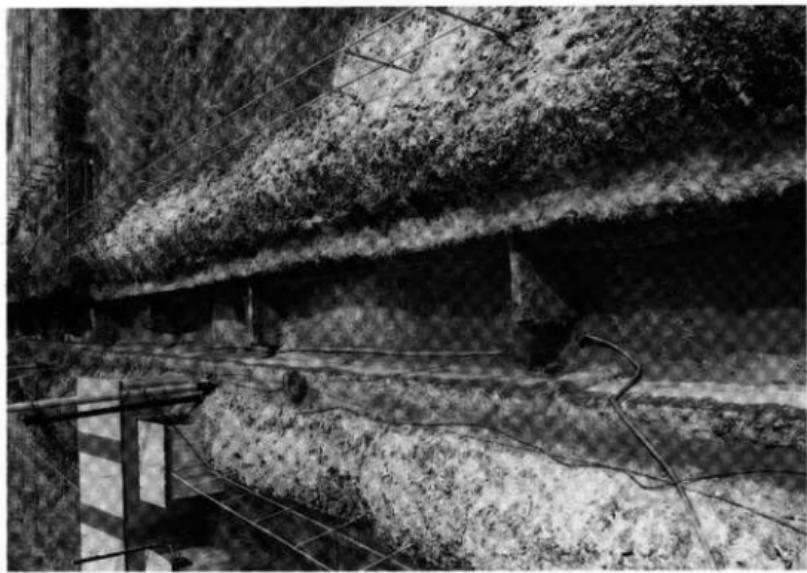
1. 24—1 a～d 地区第1調査面（西より）



2. 24—1 e～j 地区第1調査面（西より）



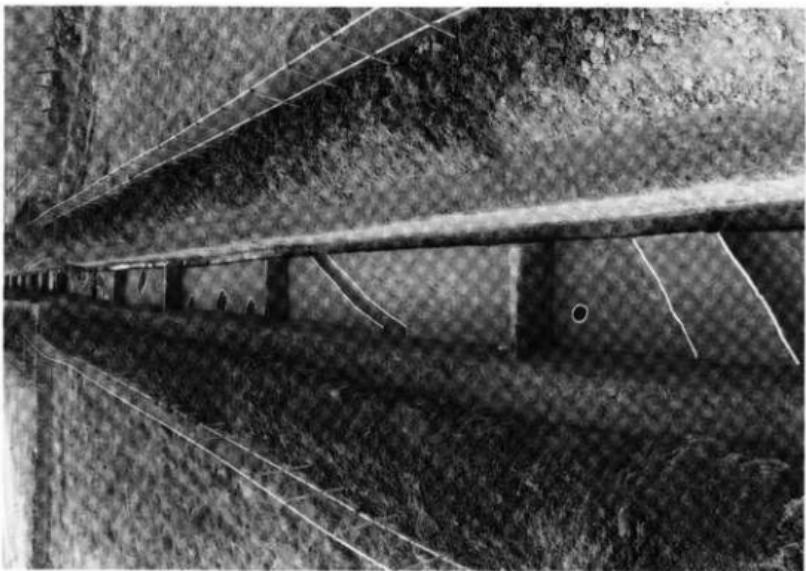
1. 24—1 k～e 地区第1調査面 (東より)



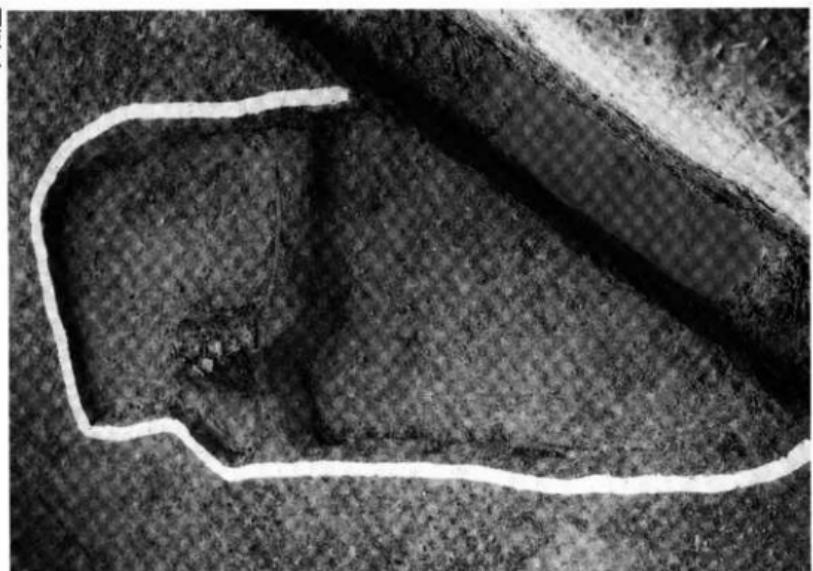
2. 24—1 a～g 地区第2調査面 (西より)



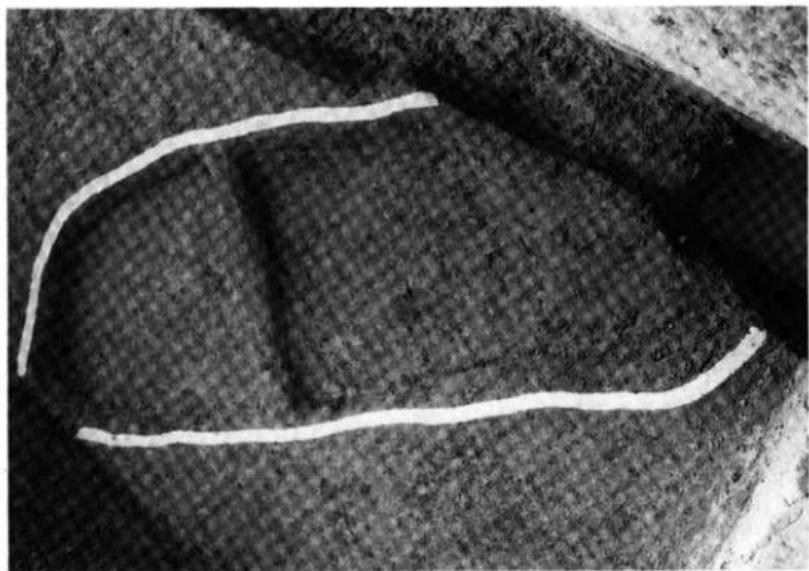
1. 24—1 m～o 地区第2調査面（東より）



2. 24—1 k～o 地区第3調査面（東より）



1. 24-1 地区SK52 (北東より)



2. 24-1 地区SK53 (北東より)